第２次安城市スポーツ振興計画
スポーツに関する基礎調査報告書

令和３年度

令和４年１月

安城市

もくじ

第１章　調査概要 1
１　調査目的 3
２　調査の方法 3
３　回収結果 3
４　調査項目 4
５　報告書の見方 5

第２章　スポーツに関する市民意識調査 7
１　あなた自身について 9
２　スポーツ・運動は好きですか 12
３　スポーツ・運動の実施状況について 16
４　将来のスポーツ活動について 28
５　スポーツ観戦について 42
６　スポーツボランティアについて 47
７　スポーツ指導について 52
８　地域におけるスポーツ活動について 64
９　市のスポーツ施策について 72
１０　施設利用について 90
１１　オリンピック・パラリンピックについて 97

第３章　中学、高校生のスポーツに関する 意識調査 107
１　あなた自身についてお聞きします 109
２　スポーツ・運動は好きですか 112
３　学校の部活動について 116
４　スポーツの実施状況について 123
５　将来のスポーツ活動について 135
６　スポーツ・運動への参加希望について 144
７　スポーツ観戦について 148
８　スポーツボランティアについて 151
９　総合型地域スポーツクラブについて 157
１０　オリンピック・パラリンピックについて 159
１１　その他について 167

第４章　自由記述 169
　１　　一般成人向け調査 171
　２　　中高生向け調査 186

第５章　調査結果総括 193
　１　　一般成人向け調査 195
　２　　中高生向け調査 203

資料編　調査票 211
　一般成人向け調査票 214
　中学生・高校生向け調査票 226

第1章　調査概要

1　調査目的

本調査は、平成 28 年度に策定した「第２次安城市スポーツ振興計画」の中間見直しの実施にあたり、現在の計画の進捗状況の把握や計画の見直しに際して今後の取組への基礎資料とするために実施しました。

2　調査の方法

	一般成人向け調査	中学生、高校生向け調査
調査対象者数	・安城市内在住の 20 歳以上の市民	・安城市内在住の中学生 （市内８中学校の２年生各１クラス） ・高校生 （市内５高校の高校２年生 40 名）
標本数	4,000 名	中学生：283 名 高校生：200 名
抽出方法	無作為抽出	―
調査方法	郵送による配布・回収、及びインターネット回答による回収	各学校を通じて配布・回収
調査期間	令和３年 11 月 19 日（金） ～令和３年 12 月 10 日（金）	令和３年 11 月 19 日（金） ～令和３年 12 月 10 日（金）

3　回収結果

	一般成人向け調査	中学生、高校生向け調査	
		中学生	高校生
総配布数	4,000 件	283 件	200 件
回収数	1,706 件 （うちインターネット回答 524 件）	283 件	200 件
回収率	42.7%	100.0%	100.0%

4　調査項目

【一般成人向け調査】

	調査項目	設問番号
1	あなた自身について	問１～問５
2	スポーツ・運動は好きですか	問６～問７
3	スポーツ・運動の実施状況について	問８～問 12
4	将来のスポーツ活動について	問 13～問 17
5	スポーツ観戦について	問 18～問 20
6	スポーツボランティアについて	問 21～問 24
7	スポーツ指導について	問 25～問 30
8	地域におけるスポーツ活動について	問 31～問 34
9	市のスポーツ施策について	問 35～問 43
10	施設利用について	問 44～問 47
11	オリンピック・パラリンピックについて	問 48～問 52
12	その他	問 53

【中学生、高校生向け調査】

	調査項目	設問番号
1	あなた自身について	問１～問４
2	スポーツ・運動は好きですか	問５～問６
3	学校の部活動について	問７～問 10
4	スポーツの実施状況について	問 11～問 14
5	将来のスポーツ活動について	問 15～問 17
6	スポーツ・運動への参加希望について	問 18～問 19
7	スポーツ観戦について	問 20～問 22
8	スポーツボランティアについて	問 23～問 26
9	総合型地域スポーツクラブについて	問 27～問 28
10	オリンピック・パラリンピックについて	問 29～問 32
11	その他	問 33

5　報告書の見方

（１）調査結果の数値は、各質問の回答者数（ｎ）を基数とした百分率（%）で表記しています。ただし、年代別や経年変化などの母数が異なるものを比較する場合は、割合の差（ポイント）で表記しています。

（２）集計は、小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（ｎ）に対する回答比率のため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

（３）回答があっても、小数点第２位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、表・グラフには 0.0%と表記しています。

（４）本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、意味合いやスペース等の関係から一部改変、省略した表現としている箇所があります。

（５）回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。

第２章　スポーツに関する市民意識調査

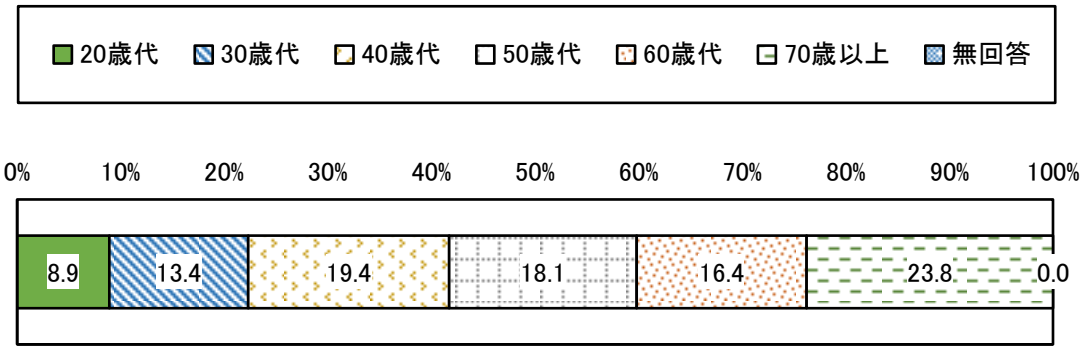
1　あなた自身について

（1）年齢

問1　あなたの年齢を教えてください。（○は1つ）

回答者の年齢について、「20 歳代」が 8.9%、「30 歳代」が 13.4%、「40 歳代」が 19.4%、「50 歳代」が 18.1%、「60 歳代」が 16.4%、「70 歳以上」が 23.8%となっています。

（n=1,706）

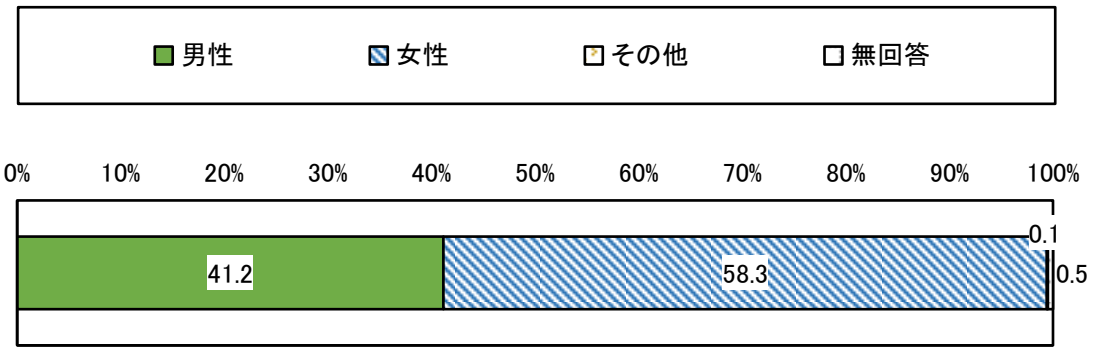


（2）性別

問2　あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

回答者の性別について、「男性」が 41.2%、「女性」が 58.3%、「その他」が 0.1%となっています。

（n=1,706）

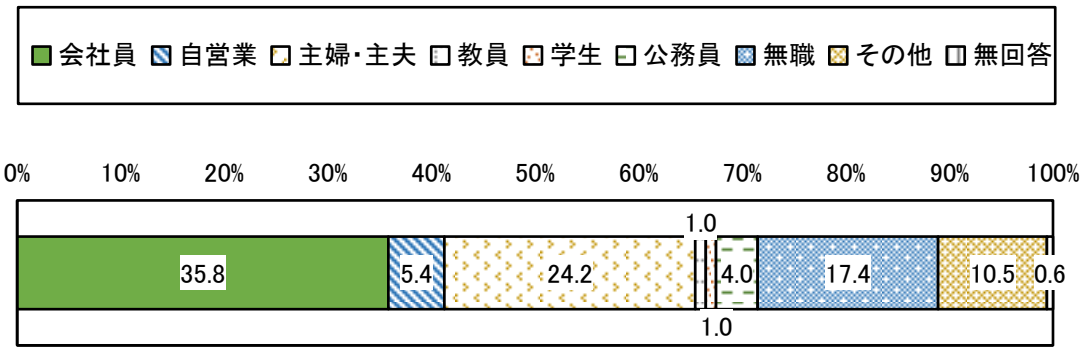


（3）職業

問3　あなたの職業を教えてください。（○は1つ）

回答者の職業について、「会社員」が 35.8%、「自営業」が 5.4%、「主婦・主夫」が 24.2%、「教員」と「学生」がともに 1.0%、「公務員」が 4.0%、「無職」が 17.4%となっています。

（n=1,706）



【その他の回答】

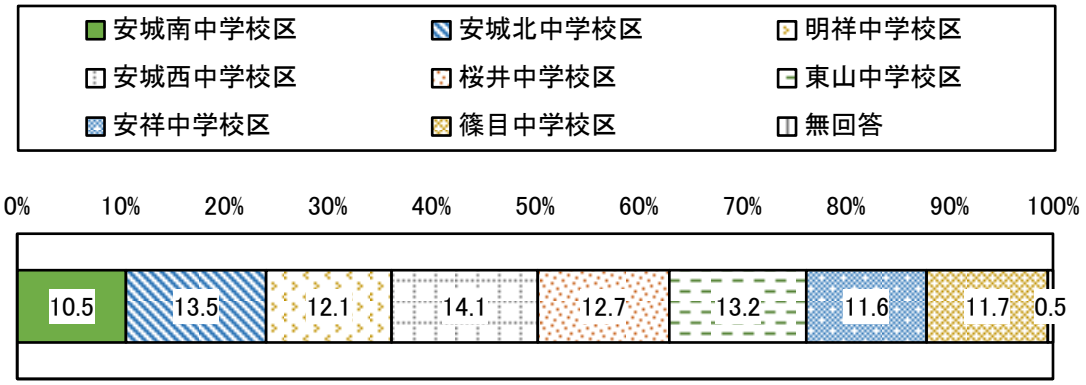
NPO 法人、看護師等医療関係職、団体職員、パート・アルバイト、派遣社員、有償ボランティア

（4）居住中学校区

問4　あなたが住んでいる中学校区を教えてください。（○は1つ）
（中学校区がわからない場合は、封筒のあて名シールをご参照ください。）

回答者が居住している中学校区について、「安城南中学校区」が 10.5%、「安城北中学校区」が 13.5%、「明祥中学校区」が 12.1%、「安城西中学校区」が 14.1%、「桜井中学校区」が 12.7%、「東山中学校区」が 13.2%、「安祥中学校区」が 11.6%、「篠目中学校区」が 11.7%となっています。

（n=1,706）



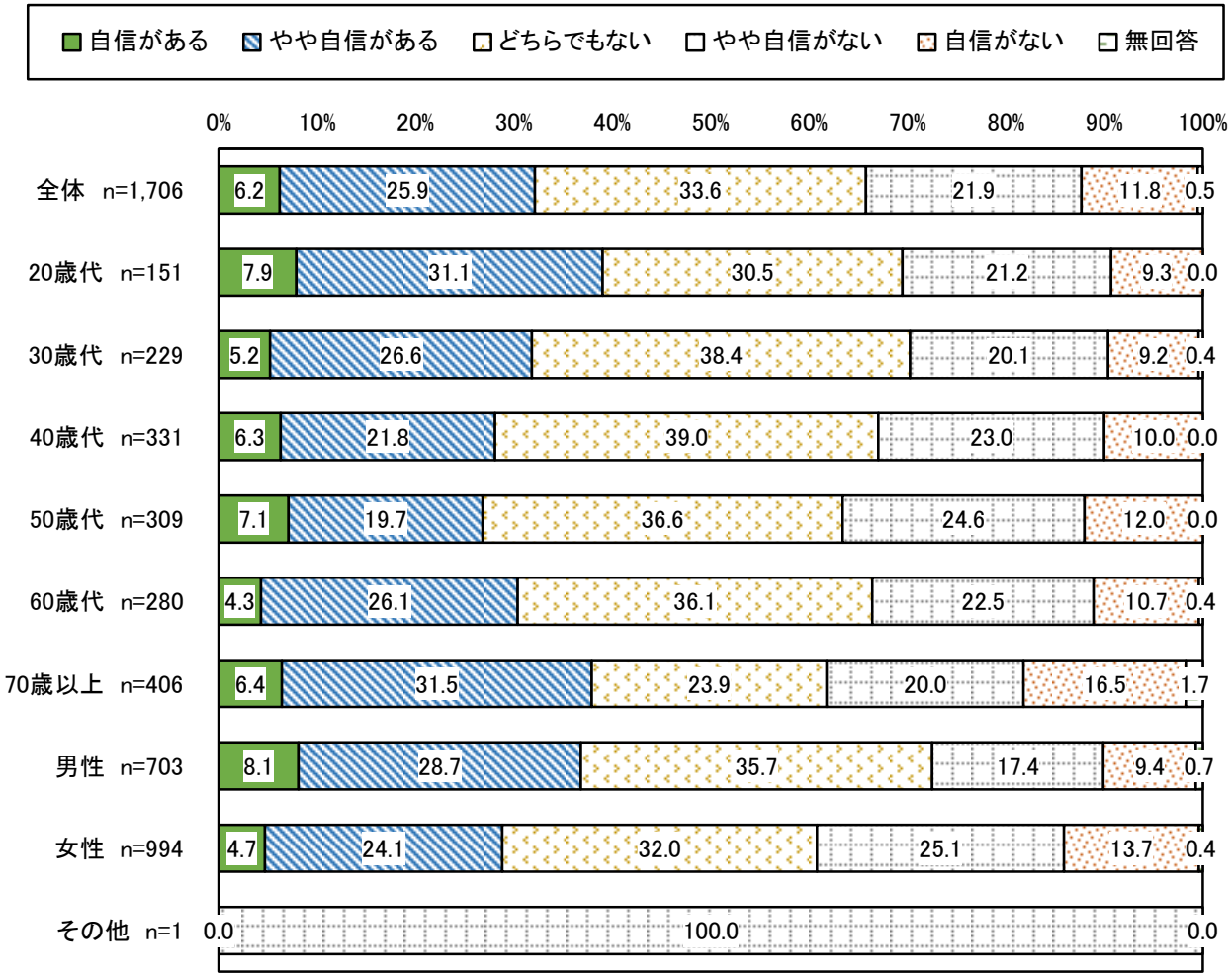
（5）健康への自信

問5　あなたは、自分の健康に自信を持っていますか。（○は1つ）

健康への自信について、「自信がある」と「やや自信がある」を合わせた“自信がある”が 32.1%、「どちらでもない」が 33.6%、「やや自信がない」と「自信がない」を合わせた“自信がない”が 33.7%となっています。

年齢別にみると、20 歳代と 70 歳以上で“自信がある”が３割程度となっている一方、50 歳代で“自信がある”が最も少なくなっています。

性別にみると、女性の方が男性よりも“自信がない”が多くなっています。



2　スポーツ･運動は好きですか

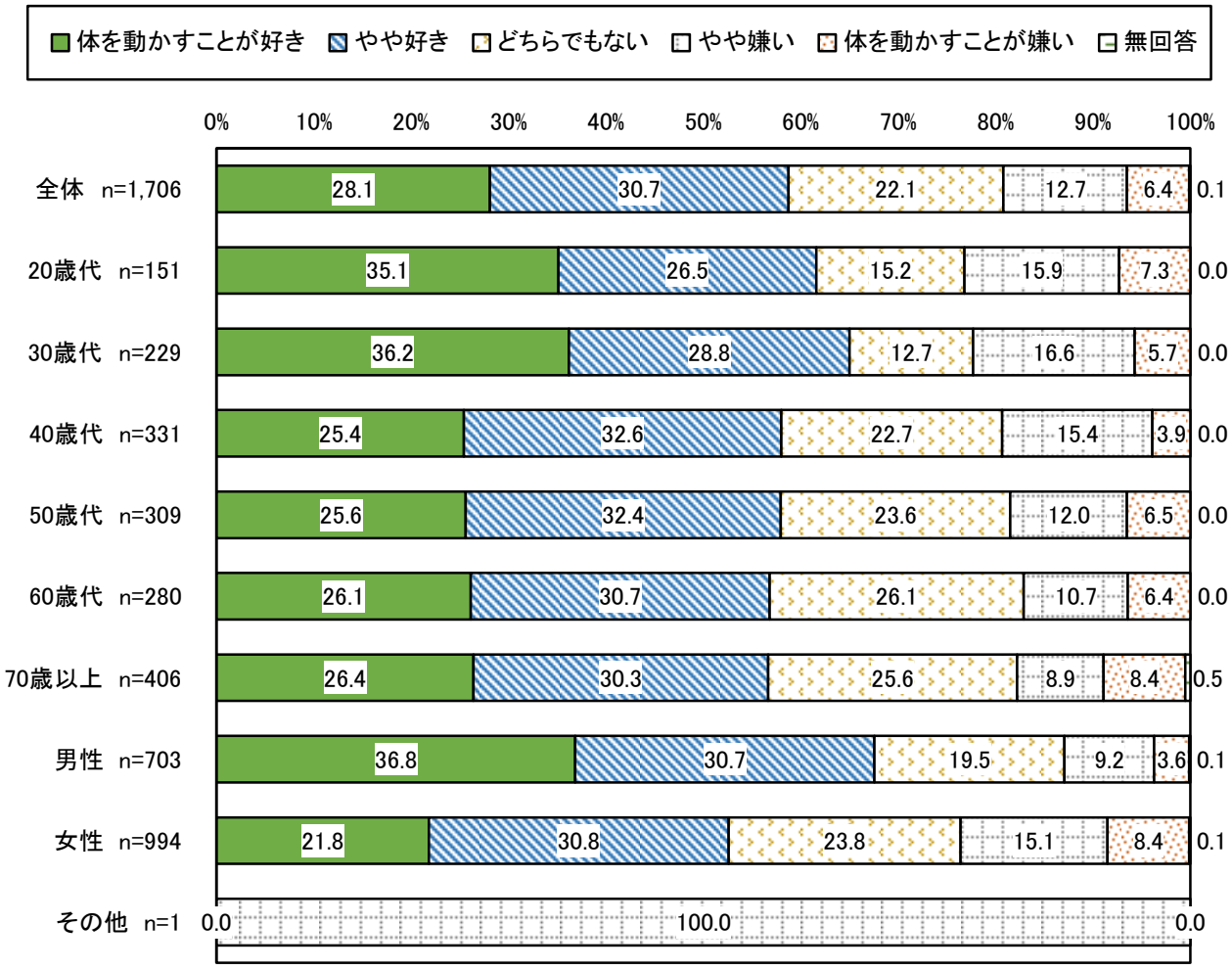
（1）スポーツ･運動の好嫌度

問6　あなたは、スポーツ･運動で体を動かすことは好きですか。（○は1つ）

スポーツ・運動の好嫌度について、「好き」と「やや好き」を合わせた“体を動かすことが好き”が 58.8%、「どちらでもない」が 22.1%、「やや嫌い」と「嫌い」を合わせた“体を動かすことが嫌い”が 19.1%となっています。

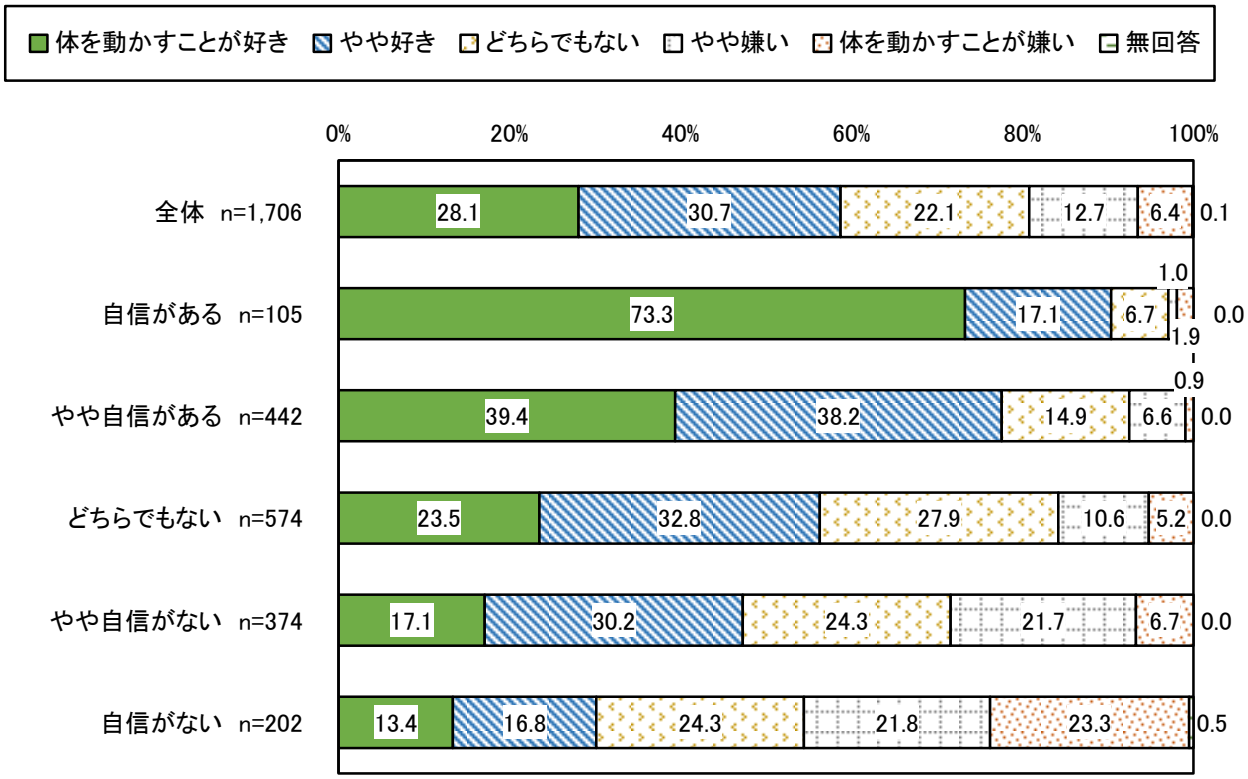
年齢別にみると、20 歳代及び 30 歳代で“体を動かすことが好き”が６割を超えています。

性別にみると、男性の方が女性より“体を動かすことが好き”が多くなっています。



【健康への自信度別】

健康への自信度別に見ると、健康に自信がある人ほど、スポーツ・運動で体を動かすことが好きと回答している人が多く、「自信がある」と回答した人の 90.4%が“体を動かすことが好き”と回答しています。



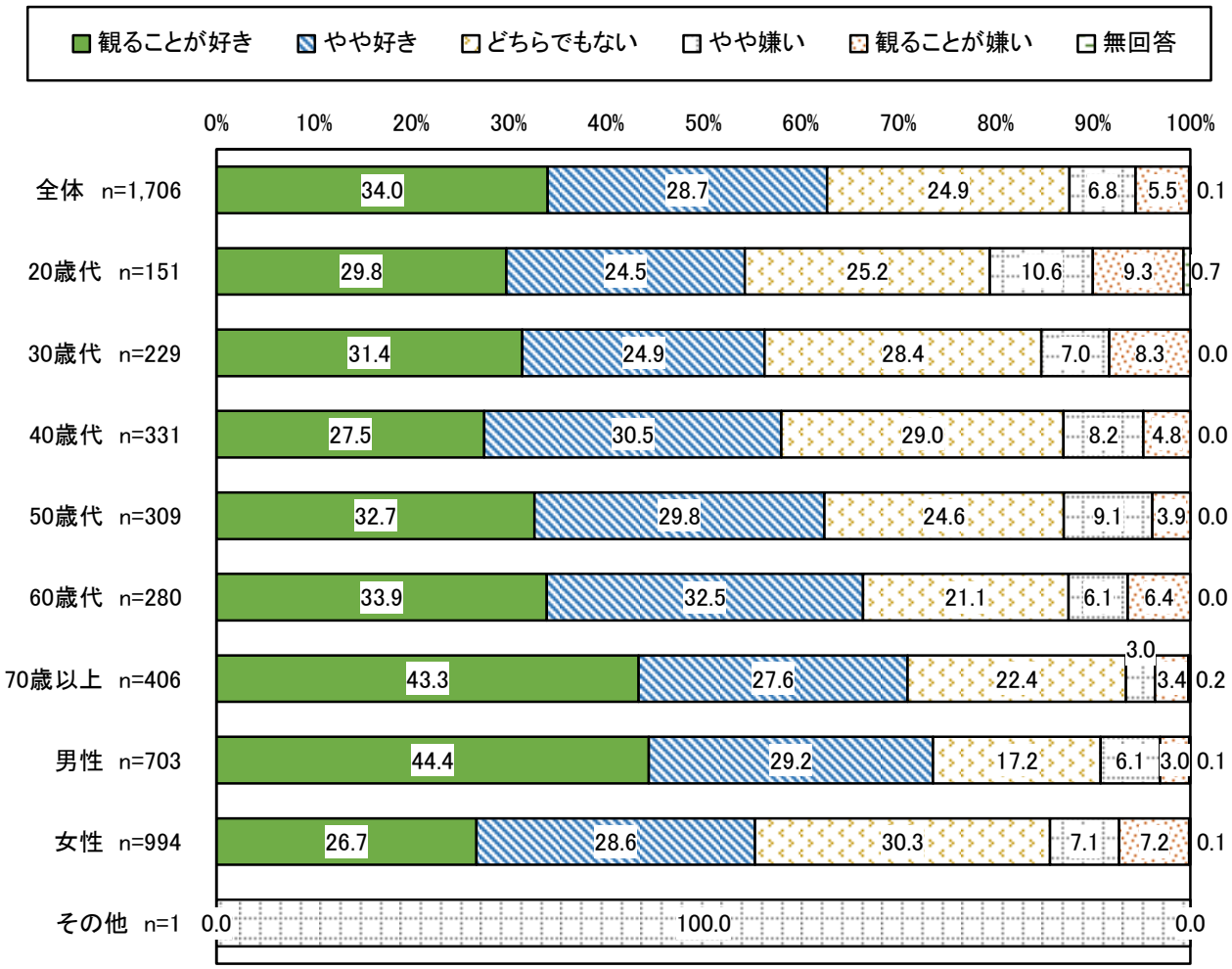
（2）スポーツ観戦の好嫌度

問7　あなたは、テレビや競技場でスポーツを観ることは好きですか。（○は1つ）

スポーツ観戦の好嫌度について、「好き」と「やや好き」を合わせた“観ることが好き”が 62.7%、「どちらでもない」が 24.9%、「やや嫌い」と「嫌い」を合わせた“観ることが嫌い”が 12.3%となっています。

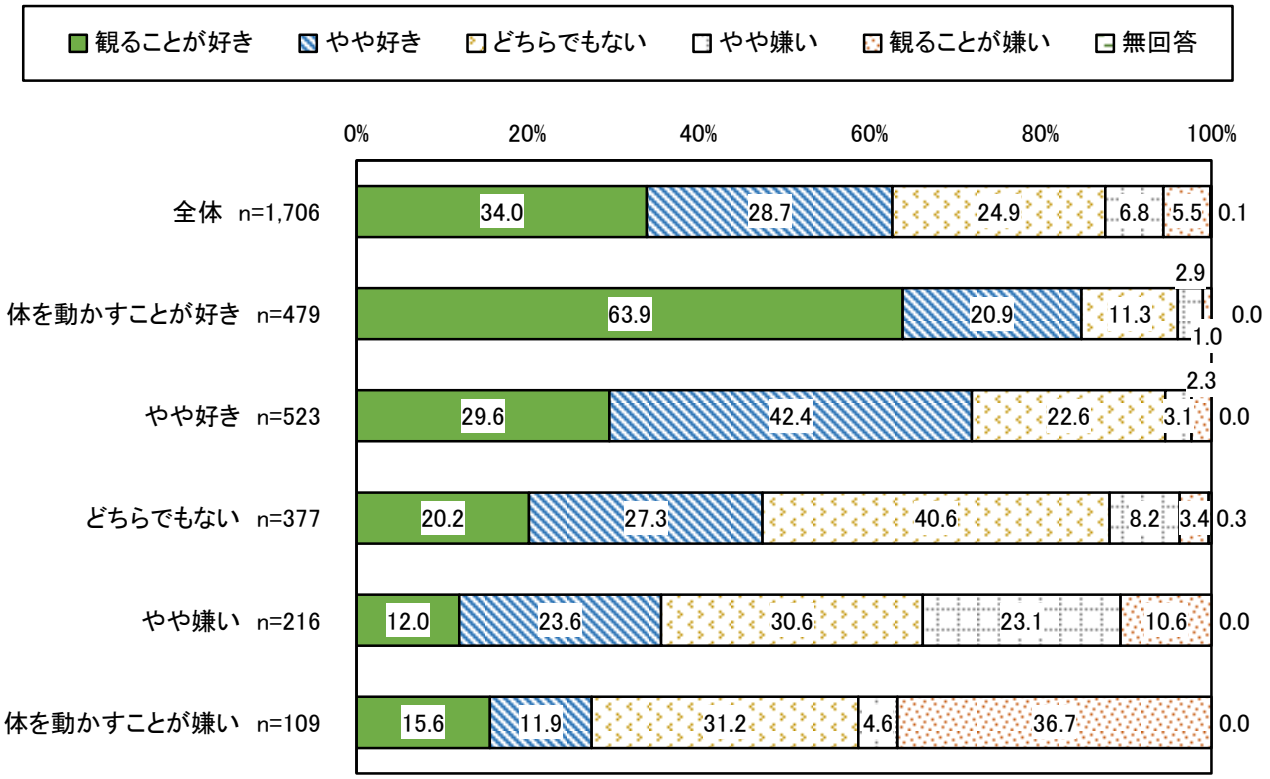
年齢別にみると、70 歳以上で“観ることが好き”が他の年齢に比べて最も多くなっています。

性別にみると、男性の方が女性より“観ることが好き”が多くなっています。



【スポーツ･運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、スポーツ・運動で体を動かすことが好きな人ほど、スポーツを観ることが好きと回答している人が多く、「体を動かすことが好き」と回答した人の 84.8%が“観ることが好き”と回答しています。



3　スポーツ･運動の実施状況について

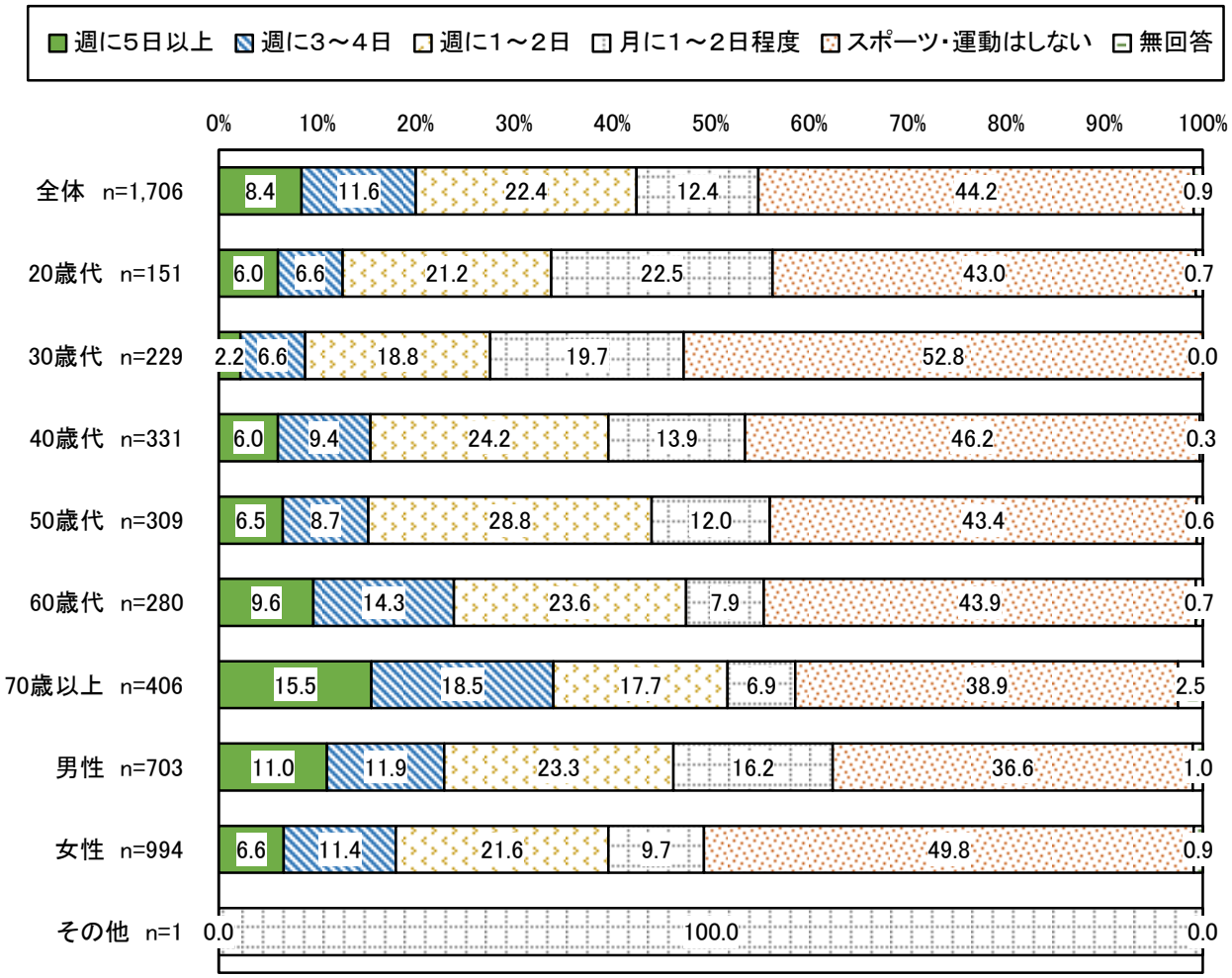
（1）スポーツ･運動の頻度

問8　あなたは、普段何日くらいスポーツ･運動をしていますか。（○は1つ）

スポーツ・運動の頻度について、「週に５日以上」が 8.4%、「週に３～４日」が 11.6%、「週に１～２日」が 22.4%、「月に１～２日程度」が 12.4%、「スポーツ・運動はしない」が 44.2%となっており、“週に１日以上”スポーツ・運動をしているのは 42.4%となっています。

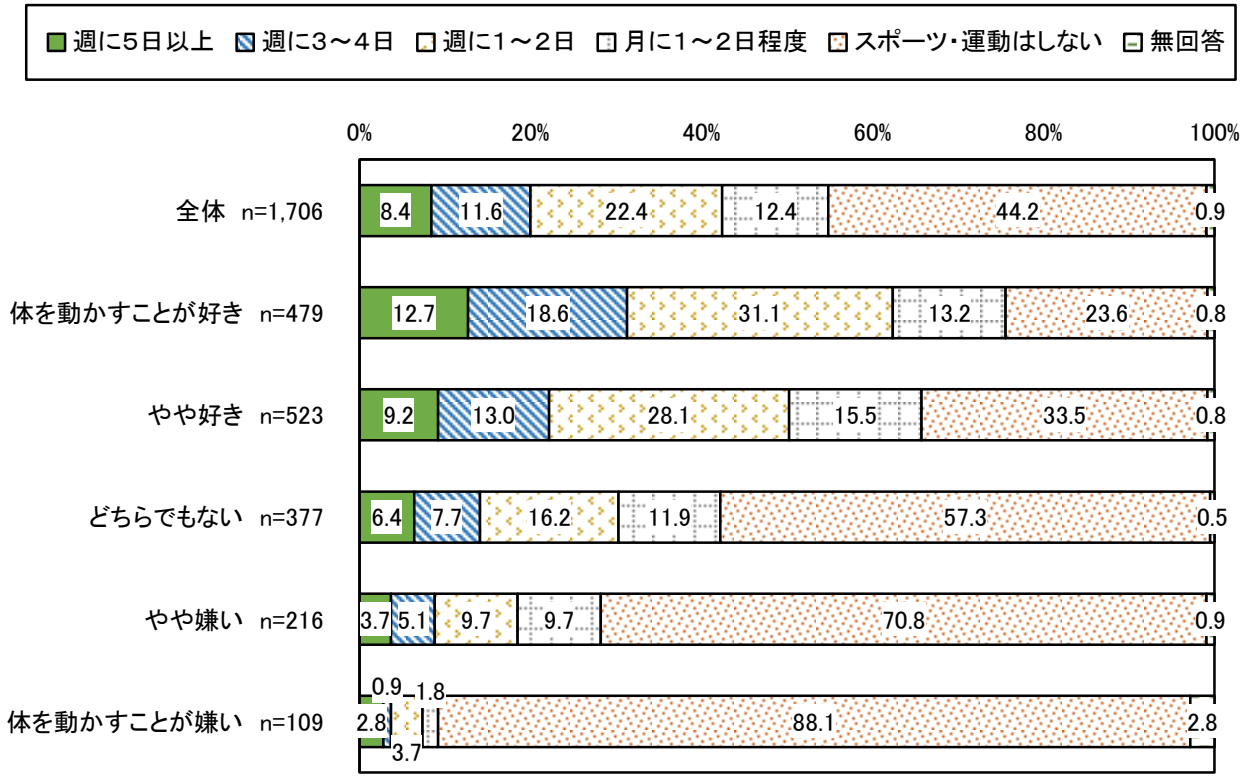
年齢別にみると、“週に１日以上”スポーツ・運動をしているのは、70 歳以上が 51.7%で最も多く、30 歳代が 27.6%で最も少なくなっています。

性別にみると、“週に１日以上”スポーツ・運動をしているのは、男性が 46.2%、女性が 39.6%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



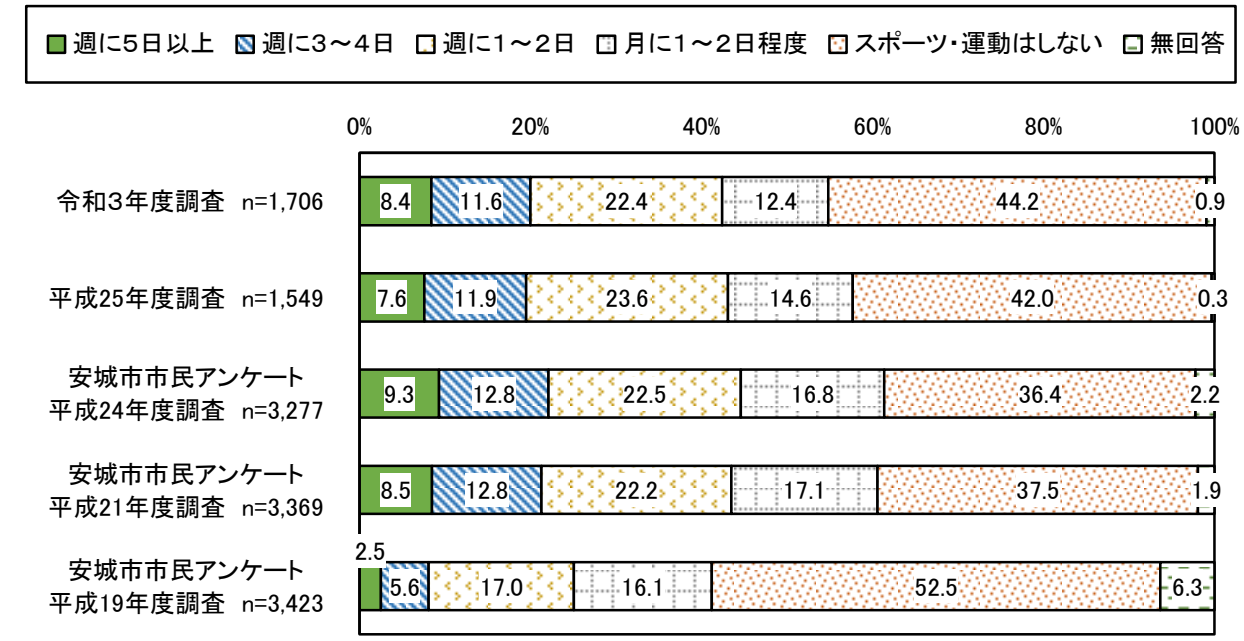
【スポーツ･運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、スポーツ・運動で体を動かすことが好きな人ほど、スポーツ・運動の頻度高くなっています。「体を動かすことが好き」と回答した人の 62.4%が“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答してる一方、「月に１～２日程度」と「スポーツ・運動はしない」を合わせた 36.8%が、体を動かすことが好きでも日常的にスポーツ・運動をしないと回答しています。



【経年比較】

スポーツ・運動の頻度について過去の調査結果と比較すると、“週に１日以上”スポーツ・運動をする人は、今回の調査が 42.4%、平成 25 年度調査では 43.1%と、大きな差が見られません。

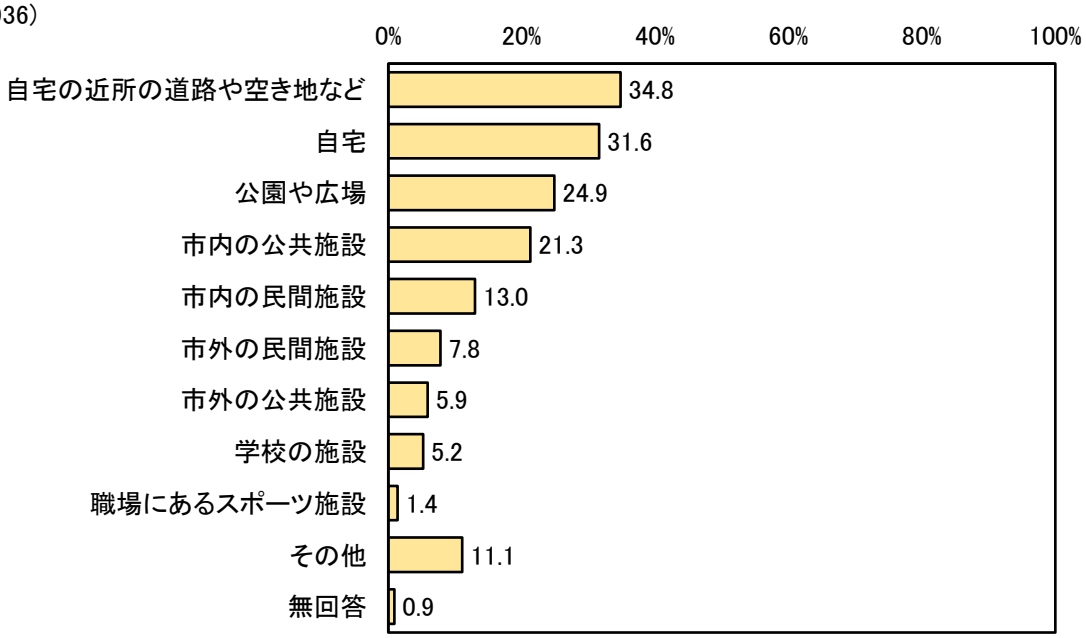


（2）スポーツ･運動をする場所

問9　問8で､｢1～4｣を選んだ人にお聞きします。
あなたは、普段どこでスポーツ･運動をしていますか。（○はいくつでも）

月に１日以上スポーツ・運動をする人に、普段スポーツ・運動をする場所について尋ねると、「自宅の近所の道路や空き地など」が 34.8％で最も多く、次いで「自宅」が 31.6％、「公園や広場」が 24.9％、「市内の公共施設」が 21.3％、「市内の民間施設」が 13.0％となっています。

(n=936)



【その他の回答】
海、川、公道、ゴルフ場・ゴルフ練習場、職場、サイクリングロード、スーパー銭湯、スポーツジム・フィットネスジム（カーブス等）、釣り場、山、友人の家、老人保健施設

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代及び 30 歳代では「自宅」が最も多く、40 歳以上は「自宅の近所の道路や空き地など」が最も多くなっています。

性別にみると、男性は「自宅の近所の道路や空き地など」が、女性は「自宅」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	無回答
全体 n=936	31.6	**34.8**	24.9	5.2	21.3	13.0	5.9	7.8	1.4	11.1	0.9
20歳代 n=85	**44.7**	25.9	18.8	9.4	16.5	14.1	11.8	11.8	1.2	7.1	1.2
30歳代 n=108	**46.3**	31.5	38.0	5.6	13.0	9.3	7.4	8.3	1.9	6.5	－
40歳代 n=177	34.5	**35.6**	33.9	6.8	17.5	12.4	5.1	7.9	1.1	11.3	0.6
50歳代 n=173	28.3	**30.1**	13.3	5.8	23.7	14.5	6.4	6.9	2.3	15.6	0.6
60歳代 n=155	24.5	**36.1**	20.0	3.9	24.5	14.8	6.5	11.6	2.6	13.5	1.3
70歳以上 n=238	25.2	**41.6**	26.1	2.9	25.6	12.6	2.9	4.2	－	9.7	1.3
男性 n=439	30.3	**38.0**	30.1	5.2	16.9	11.8	7.5	10.0	2.3	14.1	0.9
女性 n=490	**32.9**	31.6	19.4	5.3	24.9	14.1	4.5	5.9	0.6	8.6	0.8
その他 n=1	**100.0**	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－

【中学校区別】

中学校区別にみると、「安城北中学校区」、「安城西中学校区」、「安祥中学校区」では「自宅」が最も多くなっており、「安城南中学校区」、「明祥中学校区」、「桜井中学校区」、「東山中学校区」、「篠目中学校区」では「自宅の近所の道路や空き地など」が最も多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	無回答
全体 n=936	31.6	**34.8**	24.9	5.2	21.3	13.0	5.9	7.8	1.4	11.1	0.9
安城南中学校区 n=92	28.3	**35.9**	27.2	3.3	20.7	20.7	2.2	8.7	1.1	8.7	2.2
安城北中学校区 n=145	**31.0**	24.8	24.1	6.2	24.8	19.3	4.1	6.9	1.4	9.7	2.1
明祥中学校区 n=118	33.9	**36.4**	15.3	4.2	22.9	12.7	5.1	7.6	0.8	8.5	0.8
安城西中学校区 n=113	**35.4**	31.9	16.8	8.8	19.5	6.2	8.0	5.3	0.9	16.8	－
桜井中学校区 n=125	29.6	**40.0**	38.4	3.2	20.8	10.4	6.4	7.2	2.4	12.8	－
東山中学校区 n=132	26.5	**37.9**	28.0	3.0	25.0	13.6	10.6	12.9	1.5	9.1	0.8
安祥中学校区 n=98	**36.7**	32.7	24.5	4.1	15.3	10.2	5.1	7.1	2.0	12.2	1.0
篠目中学校区 n=112	32.1	**41.1**	24.1	8.9	18.8	10.7	4.5	6.3	0.9	11.6	－

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、週に１日以上スポーツ・運動をする人は「自宅の近所の道路や空き地など」が、月に１～２日程度スポーツ・運動をする人は「自宅」が、それぞれ最も多くなっています。

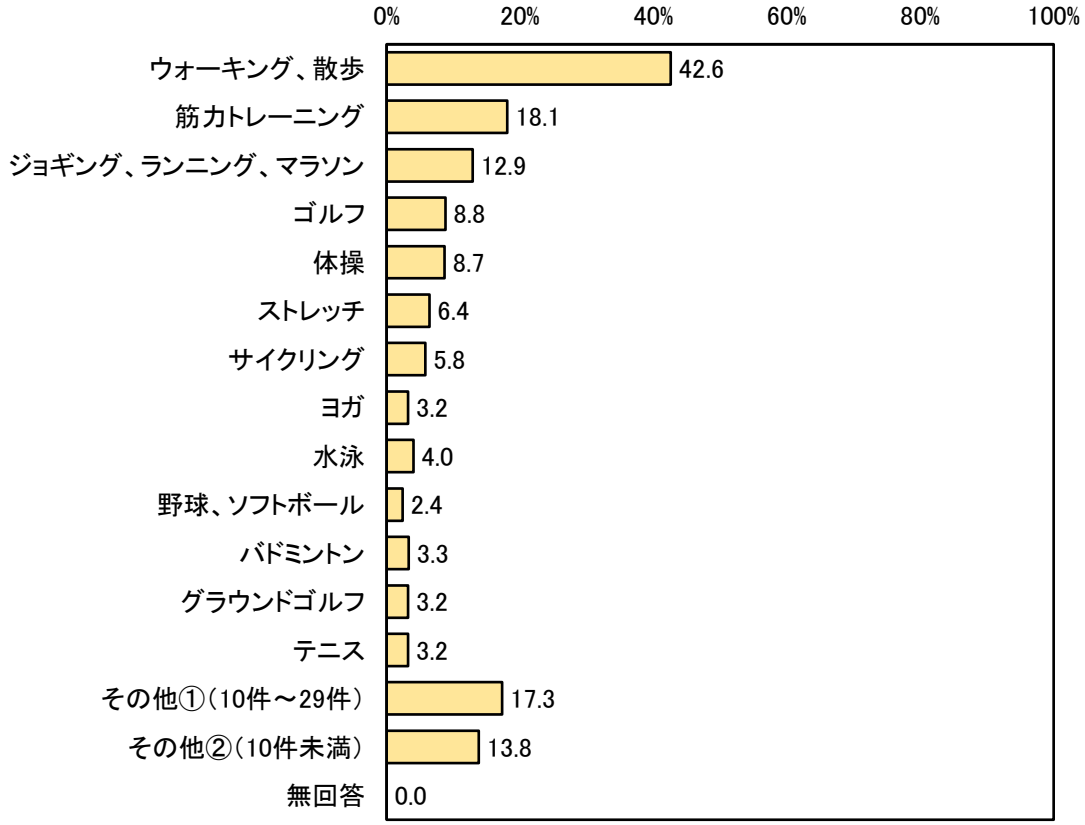
（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	無回答
全体 n=936	31.6	**34.8**	24.9	5.2	21.3	13.0	5.9	7.8	1.4	11.1	0.9
週に5日以上 n=144	38.2	**50.0**	31.3	2.8	13.9	11.1	5.6	4.9	2.1	13.2	0.7
週に3～4日 n=198	30.3	**35.9**	27.8	5.6	26.3	14.6	5.6	6.1	1.0	13.1	1.5
週に1～2日 n=382	28.0	**31.9**	21.2	7.6	24.1	16.0	6.0	9.7	1.0	9.7	0.5
月に1～2日程度 n=212	**34.9**	28.8	24.5	2.4	16.5	7.5	6.1	8.0	1.9	10.4	0.9

（3）現在行っているスポーツ・運動

問 10　問8で、「1～4」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、現在行っているスポーツ・運動は何ですか。以下の空欄に**3つまで**記入してください。

月に１日以上スポーツ・運動をする人に、現在行っているスポーツ・運動について尋ねると、「ウォーキング、散歩」が 42.6％で最も多く、次いで「筋力トレーニング」が 18.1％、「ジョギング、ランニング、マラソン」が 12.9％、「ゴルフ」が 8.8％、「体操」が 8.7％となっています。

（n=936）



【その他①の回答】

卓球、ダンス、登山、ハイキング、トレッキング、スポーツジム等での運動、バレーボール、サッカー、太極拳、ゲームのフィットネス、フットサル、エアロビクス、仕事による運動

【その他②の回答】

バスケットボール、エクササイズ、縄跳び、ボウリング、有酸素運動、エアロバイク、フットベースボール、キャッチボール、サーフィン、釣り、空手、自彊術、スケートボード、スノーボード、リハビリテーション、鬼ごっこ、ハンドボール、ボッチャ、剣道、鉄棒、ドッジボール、ピラティス、吹矢、陸上競技、カーリング、カローリング、気功、キックボクシング、弓道、クライミング、ゲートボール、ジャンプ、乗馬、スキー、スキューバダイビング、太鼓、竹馬、トランポリン、バトントワーリング、バレエ、ビリヤード、ボール投げ、マッサージャー、モータースポーツ、ヨット

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代では「ジョギング、ランニング、マラソン」、30 歳代では「ウォーキング、散歩」、「筋力トレーニング」、40 歳以上では「ウォーキング、散歩」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「ウォーキング、散歩」が最も多くなっています。

（%）	ウォーキング、散歩	筋力トレーニング	ジョギング、ランニング、マラソン	ゴルフ	体操	ストレッチ	サイクリング	ヨガ
全体 n=936	**42.6**	18.1	12.9	8.8	8.7	6.4	5.8	3.2
20歳代 n=85	21.2	23.5	**24.7**	9.4	－	3.5	3.5	3.5
30歳代 n=108	**26.9**	**26.9**	24.1	8.3	0.9	6.5	3.7	1.9
40歳代 n=177	**37.3**	22.6	16.9	7.9	2.3	8.5	5.1	4.0
50歳代 n=173	**42.8**	21.4	12.1	5.8	5.8	5.8	6.9	6.9
60歳代 n=155	**51.0**	15.5	8.4	11.0	10.3	5.2	8.4	3.2
70歳以上 n=238	**55.9**	8.0	4.2	10.1	21.0	7.1	5.5	0.4
男性 n=439	**41.5**	19.4	18.0	15.5	4.6	4.8	8.0	0.5
女性 n=490	**43.5**	16.7	8.4	2.9	12.4	8.0	3.9	5.7
その他 n=1	**100.0**	－	－	－	－	－	－	－

（%）	水泳	野球、ソフトボール	バドミントン	グラウンドゴルフ	テニス	その他①（10件～29件）	その他②（10件未満）	無回答
全体 n=936	4.0	2.4	3.3	3.2	3.2	17.3	13.8	7.4
20歳代 n=85	1.2	5.9	4.7	－	3.5	28.2	9.4	9.4
30歳代 n=108	5.6	3.7	7.4	－	1.9	18.5	20.4	6.5
40歳代 n=177	3.4	3.4	5.6	－	2.3	14.7	19.8	6.8
50歳代 n=173	3.5	0.6	1.7	－	6.4	17.3	9.8	11.0
60歳代 n=155	7.1	1.9	1.9	－	1.9	12.9	12.9	5.2
70歳以上 n=238	2.9	1.3	1.3	12.6	2.9	17.6	11.3	6.3
男性 n=439	3.6	4.8	2.3	3.4	3.4	15.3	14.1	4.3
女性 n=490	4.1	0.2	4.3	3.1	2.9	18.8	13.7	10.2
その他 n=1	－	－	－	－	－	100.0	－	－

【スポーツ・運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、いずれも「ウォーキング、散歩」が最も多くなっていますが、スポーツ・運動をする頻度が高い人ほど、「ウォーキング、散歩」と回答した人が多くなっています。

（%）	ウォーキング、散歩	筋力トレーニング	ジョギング、ランニング、マラソン	ゴルフ	体操	ストレッチ	サイクリング	ヨガ
全体 n=936	**42.6**	18.1	12.9	8.8	8.7	6.4	5.8	3.2
週に5日以上 n=144	**64.6**	25.0	9.7	9.0	13.2	7.6	5.6	2.8
週に3～4日 n=198	**47.5**	21.2	11.6	8.6	10.6	5.6	5.6	4.0
週に1～2日 n=382	**35.6**	18.6	14.9	8.4	7.9	5.8	6.0	2.9
月に1～2日程度 n=212	**35.8**	9.4	12.7	9.4	5.2	7.5	5.7	3.3

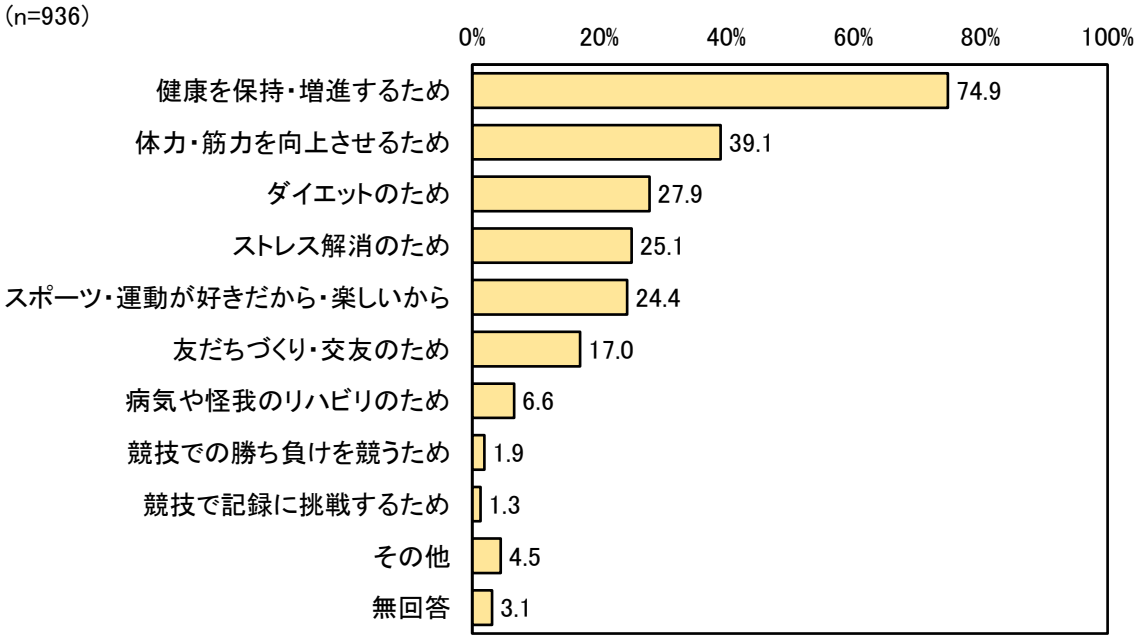
（%）	水泳	野球、ソフトボール	バドミントン	グラウンドゴルフ	テニス	その他①（10件～29件）	その他②（10件未満）	無回答
全体 n=936	4.0	2.4	3.3	3.2	3.2	17.3	13.8	7.4
週に5日以上 n=144	4.9	2.1	0.7	6.3	2.1	11.8	8.3	3.5
週に3～4日 n=198	5.1	2.5	4.0	8.1	3.0	16.2	12.6	6.6
週に1～2日 n=382	3.7	1.8	3.7	1.0	4.7	20.9	15.2	8.1
月に1～2日程度 n=212	2.8	3.3	3.8	0.5	1.4	15.6	16.0	9.4

（4）スポーツ･運動を行う理由

問 11　問8で、「1～4」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、今、スポーツ･運動を行っているのはどのような理由からですか。（○は**3つまで**）

月に１日以上スポーツ・運動をする人に、スポーツ・運動を行っている理由について尋ねると、「健康を保持･増進するため」が 74.9％で最も多く、次いで「体力･筋力を向上させるため」が 39.1％、「ダイエットのため」が 27.9％、「ストレス解消のため」が 25.1％、「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」が 24.4％となっています。

（n=936）



【その他の回答】
ボランティアのため、子どもと一緒にするため、仕事のため、健康マイレージに参加しているため、趣味、指導をするため

【性別、年齢別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「健康を保持・増進するため」が最も多く、特に 60 歳以上は８割以上が回答しています。また、30 歳代及び 40 歳代については、「ダイエットのため」が他の年代に比べて多くなっています。

性別にみると、男女ともに「健康を保持・増進するため」が最も多く、ともに７割以上が回答しています。

（%）	健康を保持・増進するため	ダイエットのため	友だちづくり・交友のため	スポーツ・運動が好きだから・楽しいから	ストレス解消のため	体力・筋力を向上させるため	病気や怪我のリハビリのため	競技で記録に挑戦するため	競技での勝ち負けを競うため	その他	無回答
全体 n=936	**74.9**	27.9	17.0	24.4	25.1	39.1	6.6	1.3	1.9	4.5	3.1
20歳代 n=85	**55.3**	30.6	10.6	27.1	28.2	30.6	1.2	1.2	3.5	9.4	4.7
30歳代 n=108	**56.5**	47.2	7.4	37.0	28.7	32.4	2.8	－	3.7	8.3	1.9
40歳代 n=177	**69.5**	41.2	9.0	22.0	31.1	39.0	4.5	1.1	3.4	6.2	2.3
50歳代 n=173	**75.1**	27.2	13.9	23.1	30.1	39.3	4.6	1.7	1.2	3.5	5.2
60歳代 n=155	**85.8**	23.9	20.6	20.6	25.2	40.0	9.7	2.6	0.6	1.9	2.6
70歳以上 n=238	**87.0**	11.3	29.4	22.7	14.3	44.5	11.3	0.8	0.8	2.1	2.5
男性 n=439	**72.7**	28.0	17.3	28.0	25.7	36.4	6.6	2.1	3.4	5.5	1.8
女性 n=490	**77.1**	27.3	16.7	21.2	24.7	41.4	6.7	0.6	0.6	3.5	4.3
その他 n=1	**100.0**	－	－	－	－	**100.0**	－	－	－	－	－

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、スポーツ・運動をする頻度が高い人ほど、「健康を保持・増進するため」が多くなっています。

（%）	健康を保持・増進するため	ダイエットのため	友だちづくり・交友のため	スポーツ・運動が好きだから・楽しいから	ストレス解消のため	体力・筋力を向上させるため	病気や怪我のリハビリのため	競技で記録に挑戦するため	競技での勝ち負けを競うため	その他	無回答
全体 n=936	**74.9**	27.9	17.0	24.4	25.1	39.1	6.6	1.3	1.9	4.5	3.1
週に5日以上 n=144	**85.4**	28.5	16.0	16.0	22.9	51.4	13.2	3.5	1.4	4.2	2.1
週に3～4日 n=198	**79.3**	30.3	17.2	25.3	21.7	48.5	7.1	1.0	2.0	1.5	5.1
週に1～2日 n=382	**75.9**	25.1	16.8	28.5	27.7	36.6	5.0	0.8	1.6	3.9	2.9
月に1～2日程度 n=212	**61.8**	30.2	17.9	21.7	25.0	26.4	4.7	0.9	2.8	8.5	2.4

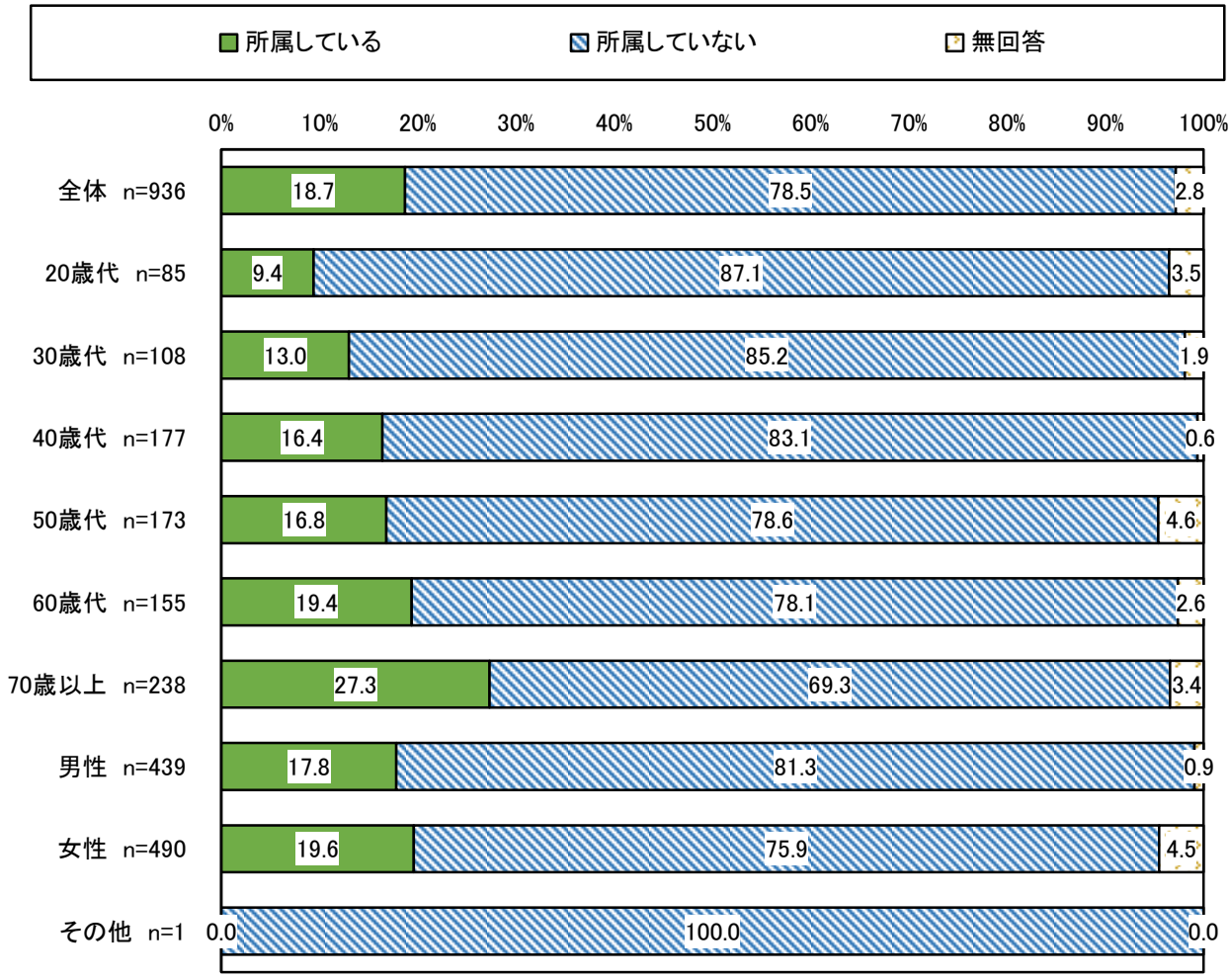
（5）スポーツ団体への所属

問 12　問8で、「1～4」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、スポーツクラブやチーム等の団体に所属していますか。（○は1つ）

月に１日以上スポーツ・運動をする人に、スポーツ団体への所属状況について尋ねると、「所属している」が 18.7%、「所属していない」が 78.5%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「所属している」が多くなっており、70 歳以上では 27.3%となっています。

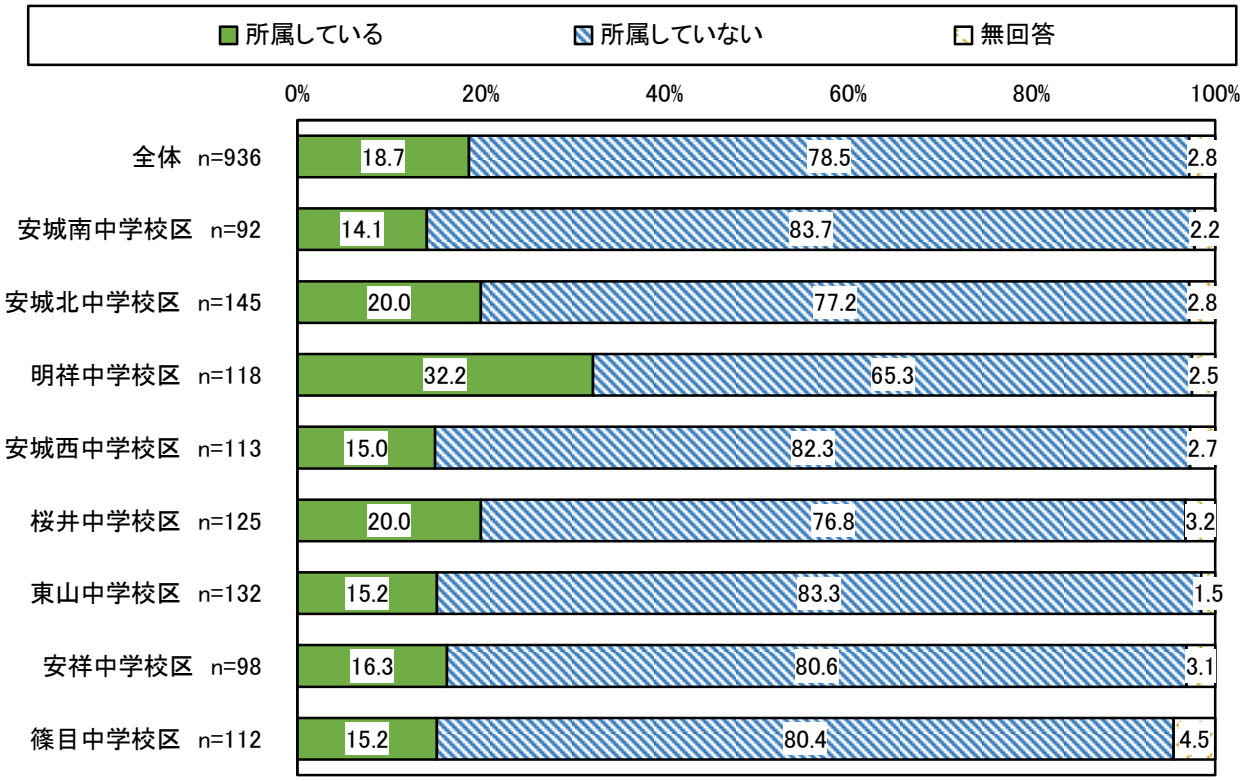
性別にみると、「所属している」について男性が 17.8%、女性が 19.6%と、男女ともに２割程度となっています。



【中学校区別】

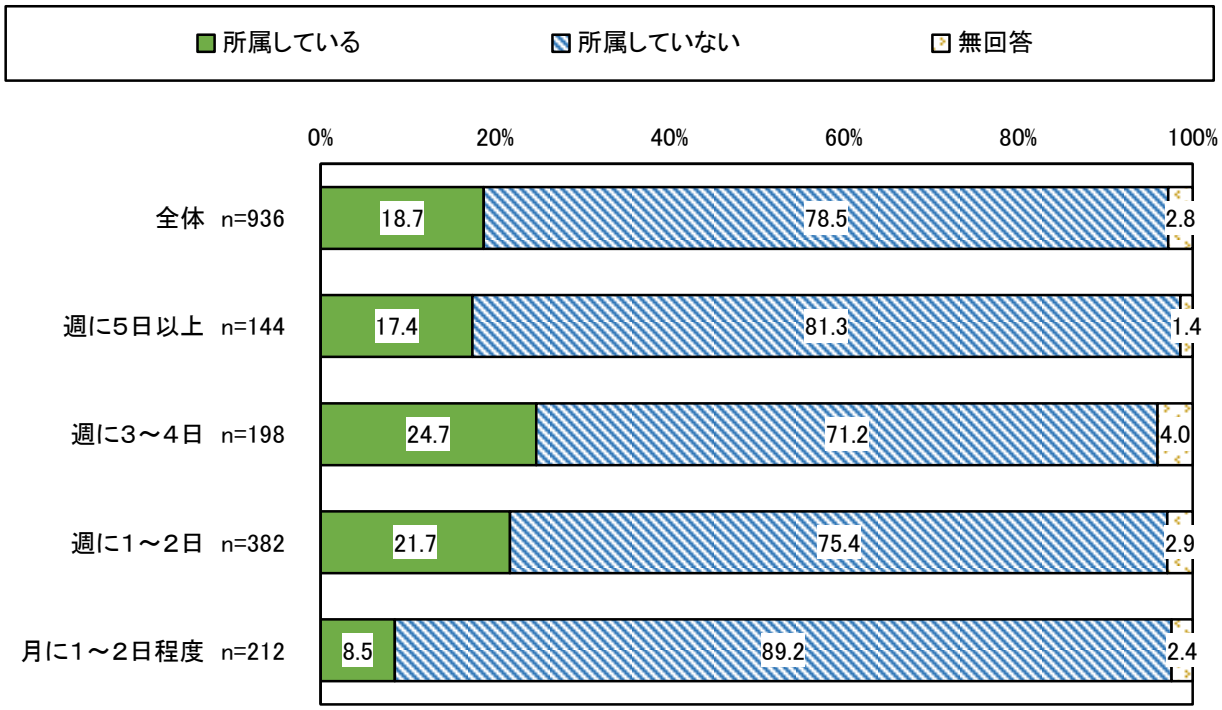
中学校区別に見ると、「明祥中学校区」で「所属している」が 32.2%と、他の中学校区に比べて最も多くなっています。

一方、「所属していない」が最も多いのは「安城南中学校区」となっています。



【スポーツ・運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、「所属している」が最も多いのは「週に３～４日」となっています。



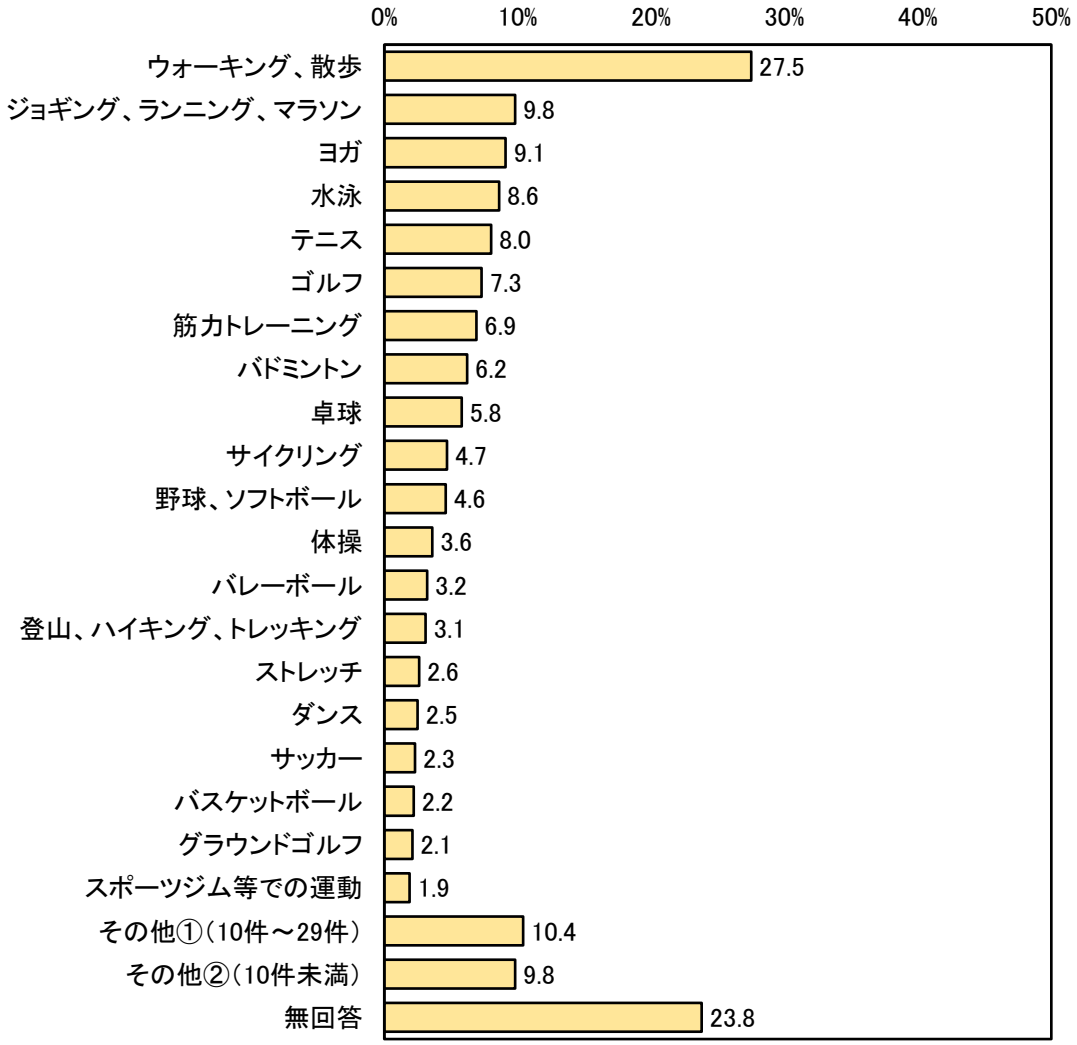
4　将来のスポーツ活動について

（1）やってみたい、続けていきたいスポーツ・運動

問 13　あなたがこれからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動を以下の空欄に**3つまで**記入してください。

これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動について、「ウォーキング、散歩」が 27.5％で最も多く、次いで「ジョギング、ランニング、マラソン」が 9.8％、「ヨガ」が 9.1％、「水泳」が 8.6％、「テニス」が 8.0％となっています。

（n=1,706）



【その他①の回答】 　ボルダリング、フットサル、エアロビクス、ボウリング、スキー、太極拳、ピラティス、弓道、スノーボード、サーフィン
【その他②の回答】 　トランポリン、空手、キックボクシング、有酸素運動、剣道、仕事による運動、スケートボード、陸上競技、アーチェリー、ゲートボール、スキューバダイビング、縄跳び、フットベースボール、カーリング、クライミング、自彊術、ボッチャ、合気道、スケート、釣り、ハンドボール、吹矢、インディアカ、エクササイズ、キャッチボール、ゲームのフィットネス、乗馬、太鼓、パルクール、バレエ、武道、ボクシング、ロッククライミング、ｅスポーツ、アンティメット、いろんな器具を使った運動、カヌー、気功、競歩、グラウンドホッケー、サルサ、自宅での運動、室内トレーニング、射撃、ジャンプ、柔道、少林寺拳法、スカイダイビング、スタンドアップパドルボート、タスポニー、ドッジボール、トライアスロン、バトントワーリング、パラグライダー、フィギュアスケート、フラフープ、フリスビー、棒を使った護身術、モータースポーツ、モルック、ヨット、ラージボール、ラグビー、ラフティング、リハビリテーション

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代では「ウォーキング、散歩」と「ジョギング、ランニング、マラソン」が、30 歳代では「ジョギング、ランニング、マラソン」が、40 歳以上では「ウォーキング、散歩」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「ウォーキング、散歩」が最も多くなっています。また、女性では「ヨガ」が２番目に多くなっています。

（%）	ウォーキング、散歩	ジョギング、ランニング、マラソン	ヨガ	水泳	テニス	ゴルフ	筋力トレーニング	バドミントン	卓球	サイクリング	野球、ソフトボール	体操
全体 n=1,706	**27.5**	9.8	9.1	8.6	8.0	7.3	6.9	6.2	5.8	4.7	4.6	3.6
20歳代 n=151	**13.9**	**13.9**	7.3	9.3	9.3	9.9	9.3	9.3	5.3	2.0	7.9	－
30歳代 n=229	11.8	**16.2**	10.5	10.0	12.7	7.0	7.0	13.1	3.9	6.6	10.0	－
40歳代 n=331	**24.2**	15.4	13.9	11.5	12.1	6.9	8.2	9.7	6.0	4.5	6.0	0.3
50歳代 n=309	**33.3**	11.0	12.9	8.7	8.7	7.1	10.0	4.9	4.9	5.8	3.6	2.9
60歳代 n=280	**37.5**	5.0	8.6	9.6	5.4	7.9	5.7	2.5	6.4	5.0	2.5	4.6
70歳以上 n=406	**32.8**	2.5	2.7	4.2	2.7	6.4	3.4	2.0	7.1	3.7	1.2	9.4
男性 n=703	**27.9**	13.7	1.0	6.7	6.0	12.9	7.7	2.7	4.3	7.7	9.5	2.6
女性 n=994	**27.2**	7.1	15.0	9.8	9.5	3.3	6.3	8.7	6.7	2.6	1.1	4.3
その他 n=1	**100.0**	－	－	－	－	－	－	－	**100.0**	－	－	－

（%）	バレーボール	登山、ハイキング、トレッキング	ストレッチ	ダンス	サッカー	バスケットボール	グラウンドゴルフ	スポーツジム等での運動	その他①（10件～29件）	その他②（10件未満）	無回答
全体 n=1,706	3.2	3.1	2.6	2.5	2.3	2.2	2.1	1.9	10.4	9.8	23.8
20歳代 n=151	11.3	2.6	1.3	4.6	6.0	3.3	0.7	1.3	15.9	13.2	15.9
30歳代 n=229	4.8	3.1	2.2	3.5	4.8	8.3	－	2.2	14.0	13.5	15.7
40歳代 n=331	3.6	3.6	1.8	1.8	4.5	3.3	－	1.2	12.4	8.5	16.9
50歳代 n=309	2.6	4.5	3.2	2.9	1.3	0.6	0.3	2.9	12.6	10.0	20.1
60歳代 n=280	1.8	3.2	5.0	3.6	0.4	－	1.1	2.9	9.6	10.7	23.6
70歳以上 n=406	0.2	1.7	1.7	0.7	－	－	7.4	1.2	3.4	6.7	39.9
男性 n=703	1.0	5.1	1.6	0.6	4.8	2.6	2.4	2.6	11.8	11.4	19.3
女性 n=994	4.6	1.7	3.3	3.9	0.6	1.8	1.8	1.5	9.5	8.8	26.9
その他 n=1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、いずれも「ウォーキング、散歩」が最も多くなっていますが、スポーツ・運動をする頻度が高い人ほど、「ウォーキング、散歩」と回答した人が多くなっています。また、“週に１日以上”スポーツ・運動をする人は、「筋力トレーニング」の割合が比較的多くなっており、「月に１～２日程度」スポーツ・運動をする人は、「ゴルフ」が比較的多くなっています。

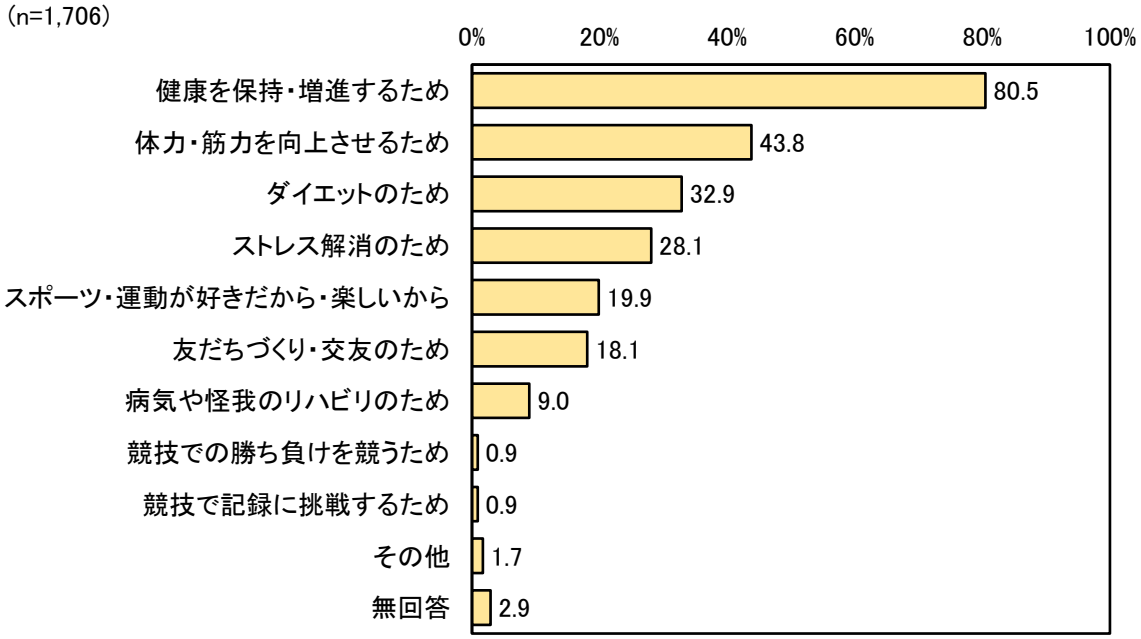
（%）	ウォーキング、散歩	ジョギング、ランニング、マラソン	ヨガ	水泳	テニス	ゴルフ	筋力トレーニング	バドミントン	卓球	サイクリング	野球、ソフトボール	体操
全体 n=1,706	**27.5**	9.8	9.1	8.6	8.0	7.3	6.9	6.2	5.8	4.7	4.6	3.6
週に5日以上 n=144	**42.4**	6.9	4.9	9.0	5.6	8.3	10.4	1.4	2.8	4.2	0.7	8.3
週に3～4日 n=198	**33.3**	13.6	7.6	7.6	8.6	8.6	12.1	4.0	7.1	5.1	3.0	3.5
週に1～2日 n=382	**24.1**	9.4	10.7	9.7	9.9	9.7	12.3	5.8	6.3	5.2	5.0	4.2
月に1～2日程度 n=212	**24.5**	12.3	12.3	7.5	7.5	12.7	4.7	9.0	4.2	6.1	9.0	2.4

（%）	バレーボール	登山、ハイキング、トレッキング	ストレッチ	ダンス	サッカー	バスケットボール	グラウンドゴルフ	スポーツジム等での運動	その他①（10件～29件）	その他②（10件未満）	無回答
全体 n=1,706	3.2	3.1	2.6	2.5	2.3	2.2	2.1	1.9	10.4	9.8	23.8
週に5日以上 n=144	1.4	5.6	4.9	2.1	3.5	－	6.3	1.4	9.0	11.1	19.4
週に3～4日 n=198	1.0	4.0	3.5	2.5	0.5	0.5	8.6	1.5	7.6	9.6	16.7
週に1～2日 n=382	2.9	3.7	3.4	3.9	2.9	2.9	1.3	1.8	12.6	10.5	14.9
月に1～2日程度 n=212	4.2	3.8	1.4	2.8	3.8	2.8	0.5	1.4	11.8	12.3	11.8

（2）スポーツ・運動を行おうとする理由

問 14　今後、あなたがスポーツ・運動を行おうとする場合、どのような目的・理由で行うことになると思いますか。
（○は**3つまで**）

今後、スポーツ・運動を行おうとする理由について、「健康を保持・増進するため」が 80.5%で最も多く、次いで「体力・筋力を向上させるため」が 43.8%、「ダイエットのため」が 32.9%、「ストレス解消のため」が 28.1%、「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」が 19.9%となっています。



【その他の回答】

家族の共通の趣味であるため、体のプロポーション維持のため、興味があったため、子どもとのコミュニケーションのため、護身術、指導を通じてスポーツの楽しさを伝えるため、時間を有意義に過ごしたいため、趣味や遊びの延長、長生きするため、年齢に負けないため

【年齢別、性別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「健康を保持・増進するため」が最も多くなっており、特に50歳以上では８割を超えています。

性別にみると、男女ともに「健康を保持・増進するため」が最も多くなっており、８割程度となっています。また、女性については「ダイエットのため」、「体力・筋力を向上させるため」が男性よりも５ポイント以上多く回答されています。

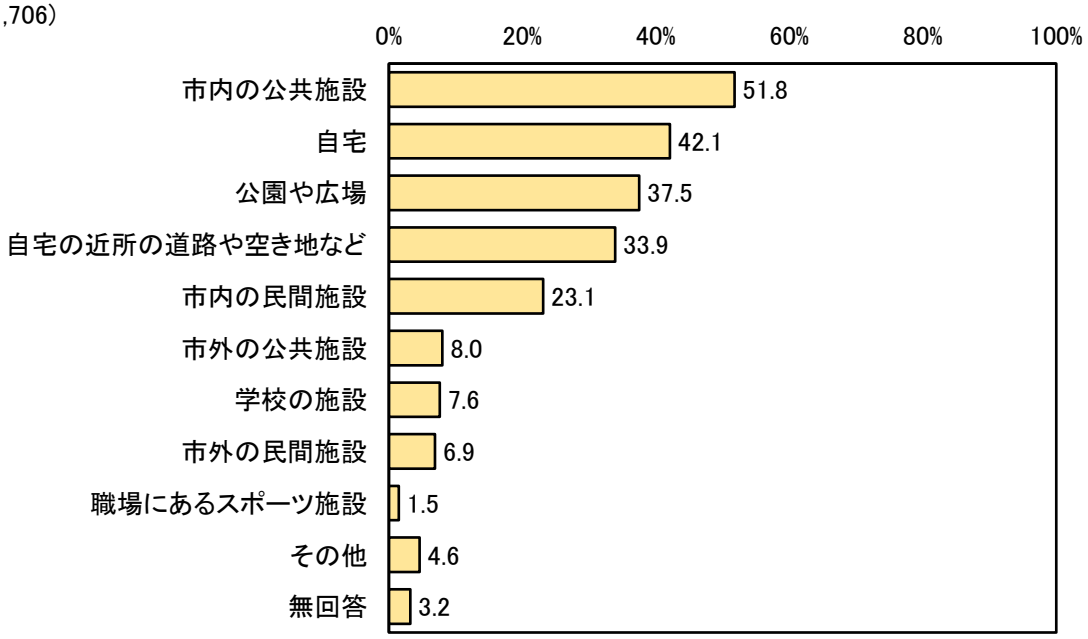
（%）	健康を保持・増進するため	ダイエットのため	友だちづくり・交友のため	スポーツ・運動が好きだから・楽しいから	ストレス解消のため	体力・筋力を向上させるため	病気や怪我のリハビリのため	競技で記録に挑戦するため	競技での勝ち負けを競うため	その他	無回答
全体 n=1,706	**80.5**	32.9	18.1	19.9	28.1	43.8	9.0	0.9	0.9	1.7	2.9
20歳代 n=151	**73.5**	43.7	15.2	29.1	37.7	45.0	4.6	1.3	2.0	2.0	－
30歳代 n=229	**74.2**	52.0	13.5	31.9	34.5	42.4	3.5	1.7	1.7	2.2	1.3
40歳代 n=331	**79.5**	42.6	11.5	22.1	33.5	45.3	5.7	0.6	0.6	1.5	1.8
50歳代 n=309	**82.5**	35.9	15.5	16.2	27.5	50.5	8.7	0.6	1.0	1.6	0.3
60歳代 n=280	**87.5**	24.6	21.1	15.7	25.7	48.2	11.4	1.4	0.4	0.4	1.4
70歳以上 n=406	**81.3**	13.5	26.8	13.8	18.7	34.7	14.8	0.2	0.7	2.5	8.6
男性 n=703	**79.8**	28.7	18.3	22.5	26.0	40.0	8.5	1.6	2.0	2.3	2.8
女性 n=994	**81.0**	35.7	18.0	18.1	29.5	46.5	9.4	0.4	0.2	1.3	2.9
その他 n=1	**100.0**	－	－	－	**100.0**	**100.0**	－	－	－	－	－

（3）スポーツ･運動を行いたい場所

問 15　今後、あなたがスポーツ･運動を行おうとする時、どこで行いたいですか。（○はいくつでも）

スポーツ・運動を行いたい場所について、「市内の公共施設」が 51.8％で最も多く、次いで「自宅」が 42.1％、「公園や広場」が 37.5％、「自宅の近所の道路や空き地など」が 33.9％、「市内の民間施設」が 23.1％となっています。

（n=1,706）



【その他の回答】

海、ゴルフ場、サイクリングロード、自然のある所、商業施設、スポーツジム・フィットネスジム（カーブスなど）、山

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代では「自宅」と「市内の公共施設」が、30 歳代から 50 歳代では「市内の公共施設」が、70 歳以上では「自宅の近所の道路や空き地など」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「市内の公共施設」が最も多くなっています。また、男性では「公園や広場」が、女性では「自宅」が、それぞれ２番目に多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	無回答
全体 n=1,706	42.1	33.9	37.5	7.6	**51.8**	23.1	8.0	6.9	1.5	4.6	3.2
20歳代 n=151	**53.0**	29.8	39.1	11.9	**53.0**	34.4	16.6	13.9	4.0	3.3	－
30歳代 n=229	47.2	31.0	47.6	11.4	**59.0**	31.9	14.8	12.2	3.5	3.1	0.4
40歳代 n=331	44.1	34.1	38.7	9.1	**61.6**	29.3	10.0	7.6	1.5	4.8	1.2
50歳代 n=309	46.3	30.4	32.7	6.5	**57.9**	26.5	8.1	6.1	1.6	5.5	1.6
60歳代 n=280	38.6	34.6	32.9	7.1	**52.5**	16.1	4.3	5.7	0.4	3.9	1.4
70歳以上 n=406	33.0	**38.9**	36.9	3.9	34.0	11.1	1.7	2.0	－	5.4	10.1
男性 n=703	33.9	38.3	45.9	8.1	**48.1**	20.3	11.2	9.4	2.1	6.8	3.0
女性 n=994	48.2	30.8	31.1	7.3	**54.4**	25.2	5.6	5.1	1.0	3.0	3.4
その他 n=1	**100.0**	－	**100.0**	－	**100.0**	－	**100.0**	－	－	－	－

【中学校区別】

中学校区別にみると、「安城南中学校区」、「安城北中学校区」、「明祥中学校区」、「安城西中学校区」、「桜井中学校区」、「東山中学校区」、「篠目中学校区」では「市内の公共施設」が、「安祥中学校区」では「自宅」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	無回答
全体 n=1,706	42.1	33.9	37.5	7.6	**51.8**	23.1	8.0	6.9	1.5	4.6	3.2
安城南中学校区 n=179	34.1	32.4	39.1	6.7	**54.7**	26.8	7.8	8.4	1.1	5.6	1.7
安城北中学校区 n=231	45.9	29.4	36.8	6.5	**54.1**	26.8	3.9	2.6	2.2	3.5	0.4
明祥中学校区 n=207	42.5	31.4	26.6	6.8	**53.1**	21.3	9.7	7.2	1.4	3.4	6.3
安城西中学校区 n=241	45.2	40.7	33.6	9.5	**48.1**	19.1	8.7	5.8	1.2	5.8	4.1
桜井中学校区 n=216	38.0	38.9	42.6	4.6	**52.8**	21.8	9.3	7.9	1.9	6.5	2.8
東山中学校区 n=226	41.2	34.1	39.4	8.8	**55.3**	28.8	11.5	11.5	1.8	4.9	2.2
安祥中学校区 n=198	**47.5**	33.3	37.4	9.1	46.0	20.2	5.1	4.0	0.5	2.5	5.6
篠目中学校区 n=200	41.0	31.0	45.0	9.0	**52.0**	21.0	8.0	8.0	1.5	4.5	2.0

【スポーツ･運動をする頻度別】

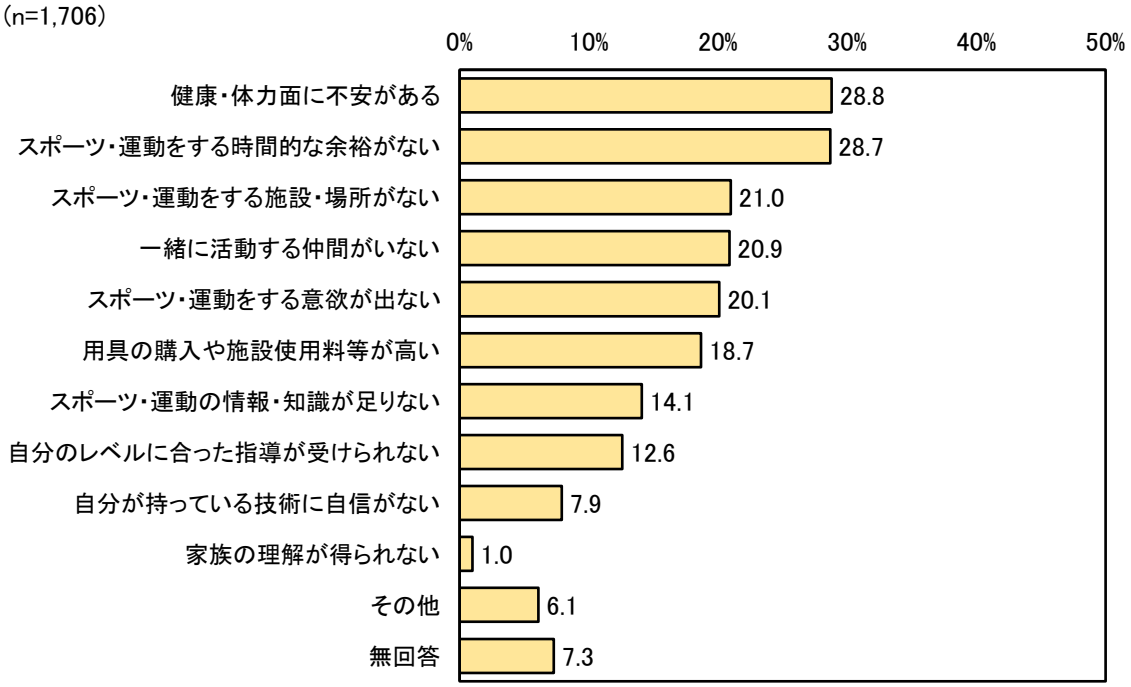
スポーツ・運動をする頻度別にみると、月に１日以上スポーツ・運動をする人は「市内の公共施設」が、スポーツ・運動をしない人は「自宅」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	無回答
全体 n=1,706	42.1	33.9	37.5	7.6	**51.8**	23.1	8.0	6.9	1.5	4.6	3.2
週に5日以上 n=144	42.4	47.9	43.1	6.9	**43.1**	20.1	9.0	6.3	1.4	6.9	2.1
週に3～4日 n=198	32.3	36.9	44.9	7.1	**57.1**	24.2	7.6	6.1	－	4.0	1.5
週に1～2日 n=382	35.6	30.1	35.1	9.7	**62.3**	32.2	10.5	10.7	2.1	6.0	0.8
月に1～2日程度 n=212	33.5	31.1	40.6	7.5	**58.5**	20.3	14.6	12.7	4.2	6.6	1.4
スポーツ･運動はしない n=754	**50.5**	32.8	34.9	7.0	45.6	19.6	4.9	3.6	0.7	3.1	5.2

（4）スポーツ･運動を行おうとする時の問題

問 16　あなたが、将来、スポーツ･運動を行おうとする時に問題になると考えられることは何ですか。
（○は**3つまで**）

将来、スポーツ・運動を行おうとする時に問題になると考えられることについて、「健康・体力面に不安がある」が 28.8％で最も多く、次いで「スポーツ・運動をする時間的な余裕がない」が 28.7％、「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が 21.0％、「一緒に活動する仲間がいない」が 20.9％、「スポーツ・運動をする意欲が出ない」が 20.1％となっています。



【その他の回答】

お金がかかる、親の介護がある、共用施設などは衛生面から利用したくない、子どもが小さい、一人でやりたい・団体でやるのは苦手、スポーツ・運動をする場所への交通手段がない、スポーツ・運動をする場所に駐車場がない

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代から 40 歳代は「スポーツ・運動をする時間的な余裕がない」が、50 歳以上は「健康・体力面に不安がある」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「スポーツ・運動をする時間的な余裕がない」が、女性では「健康・体力面に不安がある」が、それぞれ最も多くなっています。また、女性について「スポーツ・運動をする意欲が出ない」が男性よりも５ポイント以上多くなっています。

（%）	スポーツ・運動をする施設・場所がない	自分のレベルに合った指導が受けられない	一緒に活動する仲間がいない	用具の購入や施設使用料等が高い	スポーツ・運動の情報・知識が足りない	スポーツ・運動をする時間的な余裕がない	健康・体力面に不安がある	スポーツ・運動をする意欲が出ない	自分が持っている技術に自信がない	家族の理解が得られない	その他	無回答
全体 n=1,706	21.0	12.6	20.9	18.7	14.1	28.7	**28.8**	20.1	7.9	1.0	6.1	7.3
20歳代 n=151	30.5	7.3	32.5	32.5	9.3	**42.4**	13.2	32.5	9.3	0.7	4.0	2.0
30歳代 n=229	32.3	10.0	27.9	26.6	14.8	**45.9**	13.5	19.7	8.3	2.6	7.9	1.7
40歳代 n=331	24.8	12.7	23.0	22.1	13.0	**46.2**	16.0	23.3	7.3	0.3	5.7	2.4
50歳代 n=309	19.1	16.2	17.5	17.8	17.2	27.8	**30.7**	21.0	9.1	0.6	8.4	3.9
60歳代 n=280	19.6	13.9	20.0	18.6	16.4	15.4	**38.6**	17.5	7.5	0.7	4.6	5.7
70歳以上 n=406	10.3	12.3	14.0	7.1	12.3	9.4	**45.3**	14.3	7.1	1.2	5.4	20.2
男性 n=703	28.6	11.7	24.9	20.3	11.9	**29.0**	25.9	16.5	5.1	1.1	5.1	8.3
女性 n=994	15.6	13.3	17.8	17.5	15.6	28.2	**30.8**	22.7	10.0	0.9	6.8	6.7
その他 n=1	**100.0**	**100.0**	**100.0**	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【これからやってみたい、続けていきたいスポーツ・運動別】

これからやってみたい、続けていきたいスポーツ・運動別にみると、特に「バスケットボール」について「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が 59.5%と非常に高くなっており、次いで「野球」や「サッカー」などの広い面積を使う種目で多く回答されています。

（%）	スポーツ・運動をする施設・場所がない	自分のレベルに合った指導が受けられない	一緒に活動する仲間がいない	用具の購入や施設使用料等が高い	スポーツ・運動の情報・知識が足りない	スポーツ・運動をする時間的な余裕がない	健康・体力面に不安がある	スポーツ・運動をする意欲が出ない	自分が持っている技術に自信がない	家族の理解が得られない	その他	無回答
全体 n=1,706	21.0	12.6	20.9	18.7	14.1	28.7	**28.8**	20.1	7.9	1.0	6.1	7.3
ウォーキング、散歩 n=469	16.2	13.4	16.6	14.5	18.3	25.8	**38.6**	23.5	8.1	0.6	5.5	6.2
ジョギング、ランニング、マラソン n=167	26.3	15.0	26.3	13.2	19.8	**47.3**	20.4	22.2	6.0	1.2	7.2	2.4
ヨガ n=156	22.4	22.4	17.3	22.4	15.4	**38.5**	28.2	21.2	12.2	1.3	3.8	1.9
水泳 n=146	26.7	12.3	24.0	27.4	15.8	**36.3**	26.7	20.5	4.1	2.1	9.6	4.1
テニス n=136	35.3	14.7	32.4	21.3	8.8	**36.8**	16.9	15.4	6.6	1.5	10.3	3.7
ゴルフ n=124	29.0	19.4	**37.1**	25.8	9.7	31.5	21.0	14.5	4.8	2.4	4.0	4.0
筋力トレーニング n=118	26.3	16.9	12.7	26.3	16.1	**39.8**	18.6	21.2	5.9	－	5.1	3.4
バドミントン n=106	28.3	16.0	34.0	26.4	18.9	**41.5**	17.0	11.3	16.0	－	10.4	0.9
卓球 n=99	25.3	16.2	**41.4**	17.2	26.3	24.2	28.3	11.1	17.2	－	5.1	3.0
サイクリング n=80	18.8	13.8	25.0	23.8	18.8	**30.0**	27.5	22.5	5.0	1.3	10.0	6.3
野球、ソフトボール n=78	35.9	9.0	39.7	29.5	3.8	**41.0**	17.9	10.3	6.4	3.8	10.3	1.3
体操 n=61	11.5	14.8	14.8	3.3	21.3	16.4	**52.5**	19.7	9.8	－	1.6	4.9
バレーボール n=54	31.5	3.7	35.2	24.1	13.0	**38.9**	24.1	13.0	13.0	－	5.6	1.9
登山、ハイキング、トレッキング n=53	**32.1**	15.1	28.3	11.3	20.8	18.9	30.2	17.0	5.7	－	13.2	3.8
ストレッチ n=44	29.5	15.9	9.1	15.9	31.8	18.2	**40.9**	20.5	11.4	2.3	9.1	2.3
ダンス n=43	30.2	18.6	16.3	**41.9**	16.3	34.9	23.3	4.7	16.3	4.7	9.3	7.0
サッカー n=40	35.0	5.0	45.0	22.5	12.5	**42.5**	17.5	10.0	10.0	5.0	7.5	5.0
バスケットボール n=37	**59.5**	5.4	37.8	16.2	16.2	18.9	13.5	13.5	13.5	5.4	10.8	2.7
グラウンドゴルフ n=35	8.6	8.6	22.9	8.6	11.4	8.6	**54.3**	14.3	14.3	－	5.7	20.0
スポーツジム等での運動 n=33	21.2	27.3	3.0	27.3	15.2	**39.4**	27.3	21.2	6.1	－	6.1	9.1
その他① n=177（10件～29件）	32.2	13.6	28.8	32.8	13.0	**36.2**	19.8	17.5	9.0	1.7	5.6	4.0
その他② n=167（10件未満）	**32.3**	15.6	19.8	24.6	16.8	**32.3**	26.3	14.4	7.2	1.8	9.0	3.6

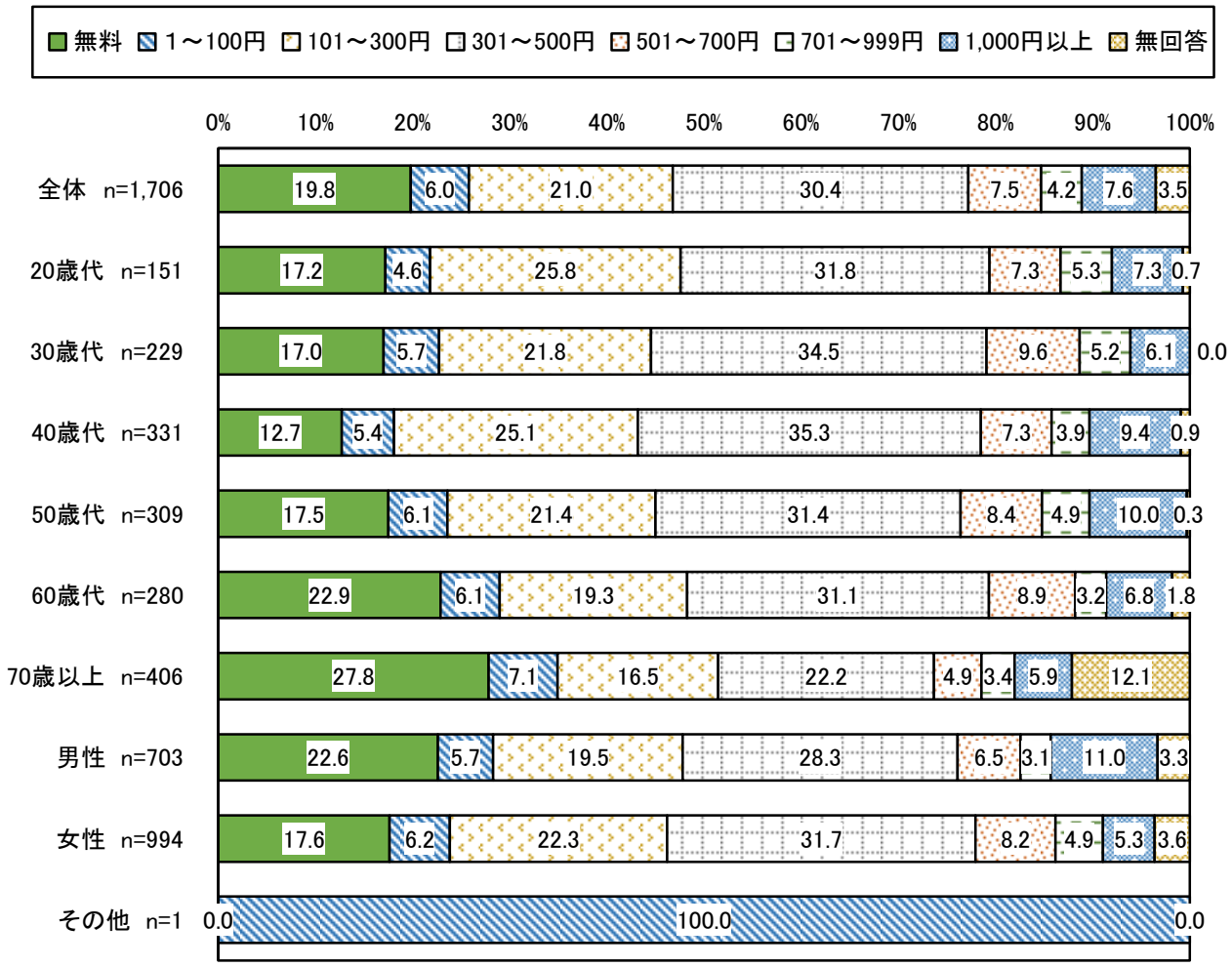
（5）負担しても良いと思う施設利用料

問 17　スポーツ・運動を行う際、あなたが負担しても良いと思う一回あたりの施設使用料はいくらですか。（○は1つ）

負担しても良いと思う一回あたりの施設使用料について、「無料」が 19.8%、「１～100 円」が 6.0%、「101～300 円」が 21.0%、「301～500 円」が 30.4%、「501～700 円」が 7.5%、「701～999 円」が 4.2%、「1,000 円以上」が 7.6%となっています。

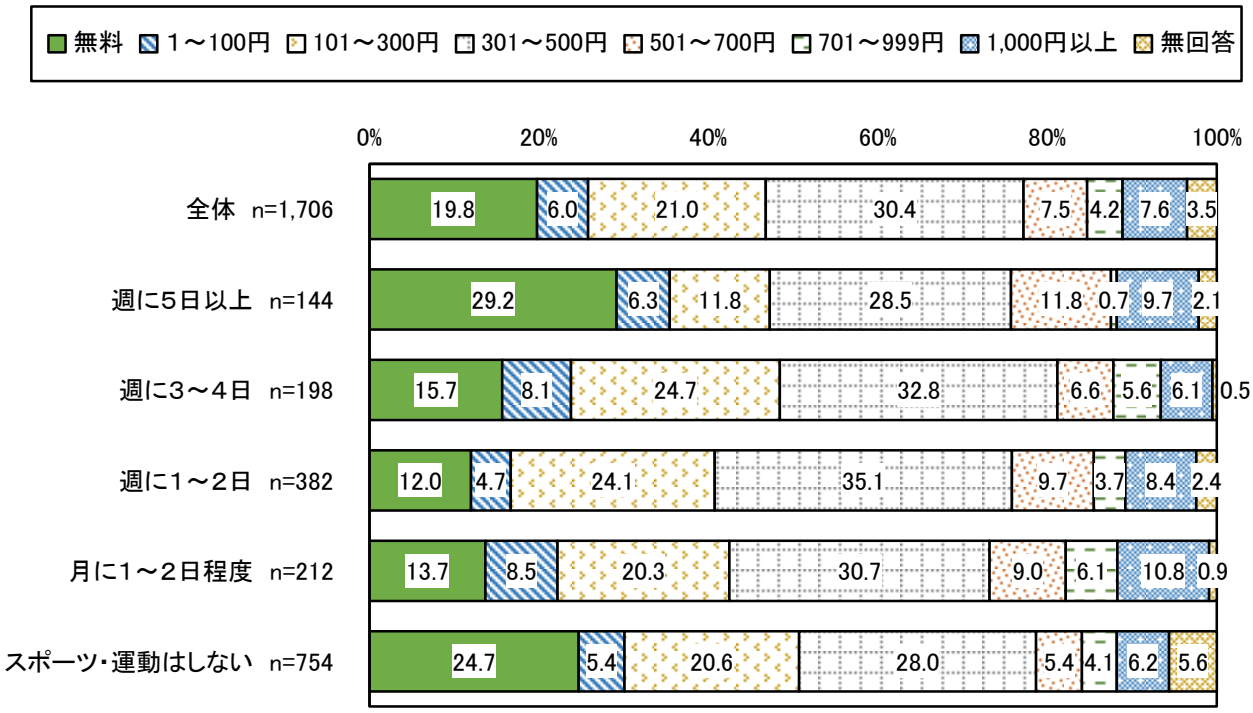
年齢別にみると、20 歳代から 60 歳代の幅広い年代で「301～500 円」が最も多くなっている一方、70 歳以上では「無料」が最も多くなっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも「無料」が多くなっています。



【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、「週に５日以上」スポーツ・運動をする人と、スポーツ・運動はしない人で、「無料」が２割以上と比較的多く回答されています。



5　スポーツ観戦について

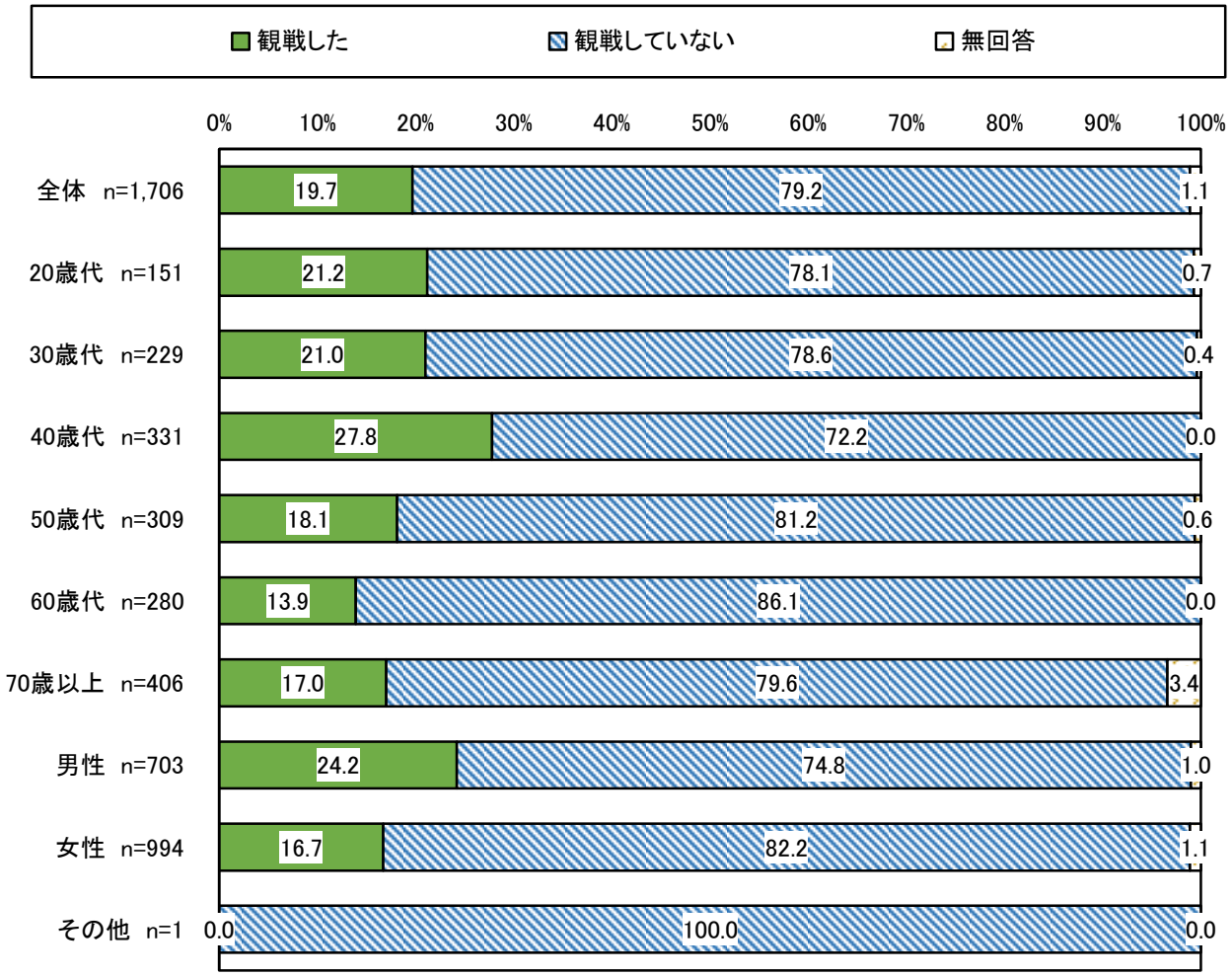
（1）スポーツ観戦の状況

問 18　あなたは、この一年間に直接スポーツ（プロ、アマ問わず）を観戦しましたか。（○は1つ）
※テレビ観戦は含みません。

スポーツ観戦の状況について、「観戦した」が 19.7%、「観戦していない」が 79.2%となっています。

年齢別にみると、40 歳代の「観戦した」の回答が 27.8%と他の年代に比べて最も多くなっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも「観戦した」が多くなっています。

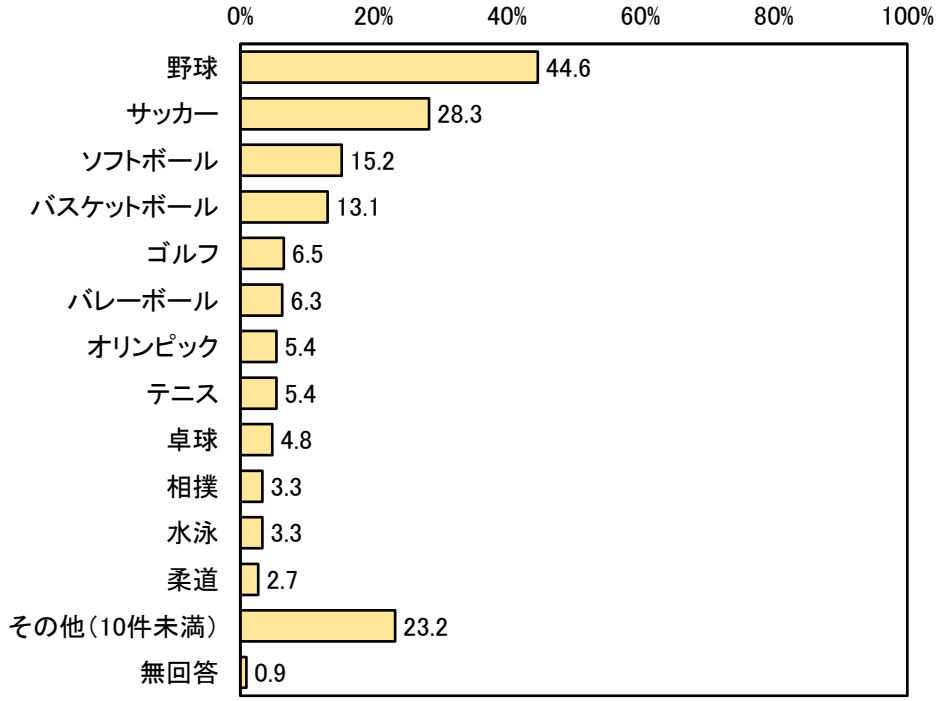


（2）観戦したスポーツ

問 19　問 18 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、観戦したスポーツは何ですか。以下の空欄に3つまで記入してください。

観戦したスポーツについて、「野球」が 44.6％で最も多く、次いで「サッカー」が 28.3％、「ソフトボール」が 15.2％、「バスケットボール」が 13.1％、「ゴルフ」が 6.5％となっています。

（n=336）



【その他の回答】

マラソン、ラグビー、陸上、駅伝、スケートボード、スケート、体操、バドミントン、ダンス、フィギュアスケート、フットベースボール、空手、ハンドボール、ボウリング、モータースポーツ、運動会、グラウンドゴルフ、プロレス、インカレ、サイクリング、ドッジボール、パラリンピック、フットサル、ボート、ボルダリング、ラクロス、リフトボール

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代及び 40 歳代以上では「野球」が、30 歳代では「サッカー」が、それぞれ最も多くなっています。また、70 歳以上では「ソフトボール」が他の年代に比べて多くなっています。

性別にみると、男女ともに「野球」が最も多くなっており、特に男性では 57.6%と過半数を超えています。

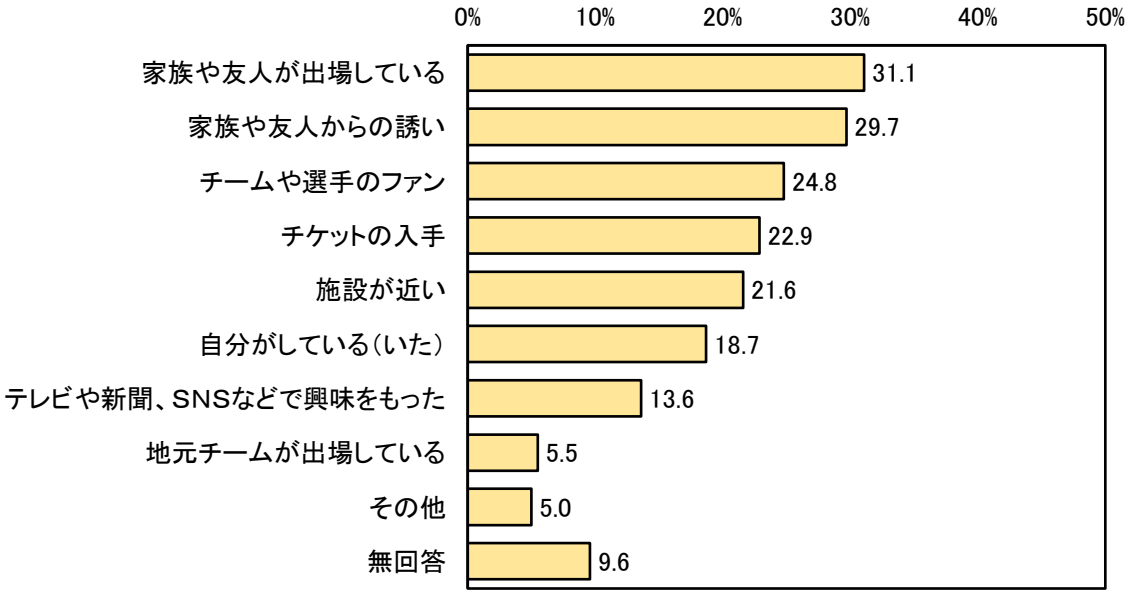
（%）	野球	サッカー	ソフトボール	バスケットボール	ゴルフ	バレーボール	オリンピック	テニス	卓球	相撲	水泳	柔道	その他（10件未満）	無回答
全体 n=336	**44.6**	28.3	15.2	13.1	6.5	6.3	5.4	5.4	4.8	3.3	3.3	2.7	23.2	0.9
20歳代 n=32	**46.9**	25.0	15.6	9.4	3.1	3.1	6.3	6.3	12.5	－	3.1	6.3	9.4	－
30歳代 n=48	33.3	**45.8**	10.4	16.7	2.1	8.3	－	2.1	4.2	－	4.2	4.2	20.8	－
40歳代 n=92	**32.6**	31.5	15.2	21.7	4.3	8.7	6.5	2.2	3.3	1.1	3.3	2.2	25.0	1.1
50歳代 n=56	**39.3**	25.0	10.7	10.7	10.7	7.1	7.1	8.9	3.6	－	1.8	1.8	19.6	1.8
60歳代 n=39	**53.8**	20.5	15.4	5.1	2.6	7.7	12.8	2.6	－	5.1	2.6	2.6	28.2	－
70歳以上 n=69	**66.7**	20.3	21.7	7.2	13.0	1.4	1.4	10.1	7.2	11.6	4.3	1.4	29.0	1.4
男性 n=170	**57.6**	30.6	16.5	12.4	8.8	2.4	7.1	2.4	3.5	2.9	1.8	2.4	21.2	1.2
女性 n=166	**31.3**	25.9	13.9	13.9	4.2	10.2	3.6	8.4	6.0	3.6	4.8	3.0	25.3	0.6
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（3）スポーツ観戦を始めたきっかけ

問 20　あなたは、どのようなきっかけでスポーツ観戦を始めましたか。問 18 で、「2」を選んだ人は、どのようなきっかけがあれば、スポーツ観戦をしたいと思いますか。（○は**3つま**で）

スポーツ観戦を始めたきっかけについて、「家族や友人が出場している」が 31.1％で最も多く、次いで「家族や友人からの誘い」が 29.7％、「チームや選手のファン」が 24.8％、「チケットの入手」が 22.9％、「施設が近い」が 21.6％となっています。

（n=1,706）



【その他の回答】

オリンピック・パラリンピックが開催されたことがきっかけ、偶然テレビ等で観戦したから、子どもが興味を持ったから、コロナが収束したら観戦したい、仕事の関係で観戦した、スポーツ観戦が好きだから、有名選手が地元に来たら観戦したい

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代、30 歳代、70 歳以上では「家族や友人からの誘い」が、40 歳代、50 歳代では「家族や友人が出場している」が、60 歳代では「チケットの入手」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「チームや選手のファン」が、女性では「家族や友人が出場しているから」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自分がしている（いた）	家族や友人が出場している	家族や友人からの誘い	チームや選手のファン	施設が近い	チケットの入手	テレビや新聞、SNSなどで興味をもった	地元チームが出場している	その他	無回答
全体 n=1,706	18.7	31.1	**29.7**	24.8	21.6	22.9	13.6	5.5	5.0	9.6
20歳代 n=151	26.5	33.1	**38.4**	31.1	12.6	18.5	13.9	2.0	3.3	5.3
30歳代 n=229	23.6	38.0	**39.3**	28.4	19.7	24.0	8.7	3.9	3.9	7.0
40歳代 n=331	19.9	**37.8**	28.7	26.0	18.7	21.8	10.9	4.5	6.0	5.4
50歳代 n=309	18.4	**32.7**	29.4	29.4	26.5	29.4	15.2	5.5	5.5	3.9
60歳代 n=280	14.3	27.1	25.4	21.8	27.9	**28.9**	16.8	6.4	6.4	6.4
70歳以上 n=406	15.3	22.4	**24.9**	18.0	20.4	15.8	15.0	7.9	3.9	22.4
男性 n=703	26.5	21.9	22.8	**28.3**	20.3	24.2	14.8	6.7	6.0	9.5
女性 n=994	13.2	**37.5**	34.5	22.4	22.4	22.0	12.8	4.6	4.2	9.7
その他 n=1	**100.0**	**100.0**	**100.0**	－	－	－	－	－	－	－

６ スポーツボランティアについて

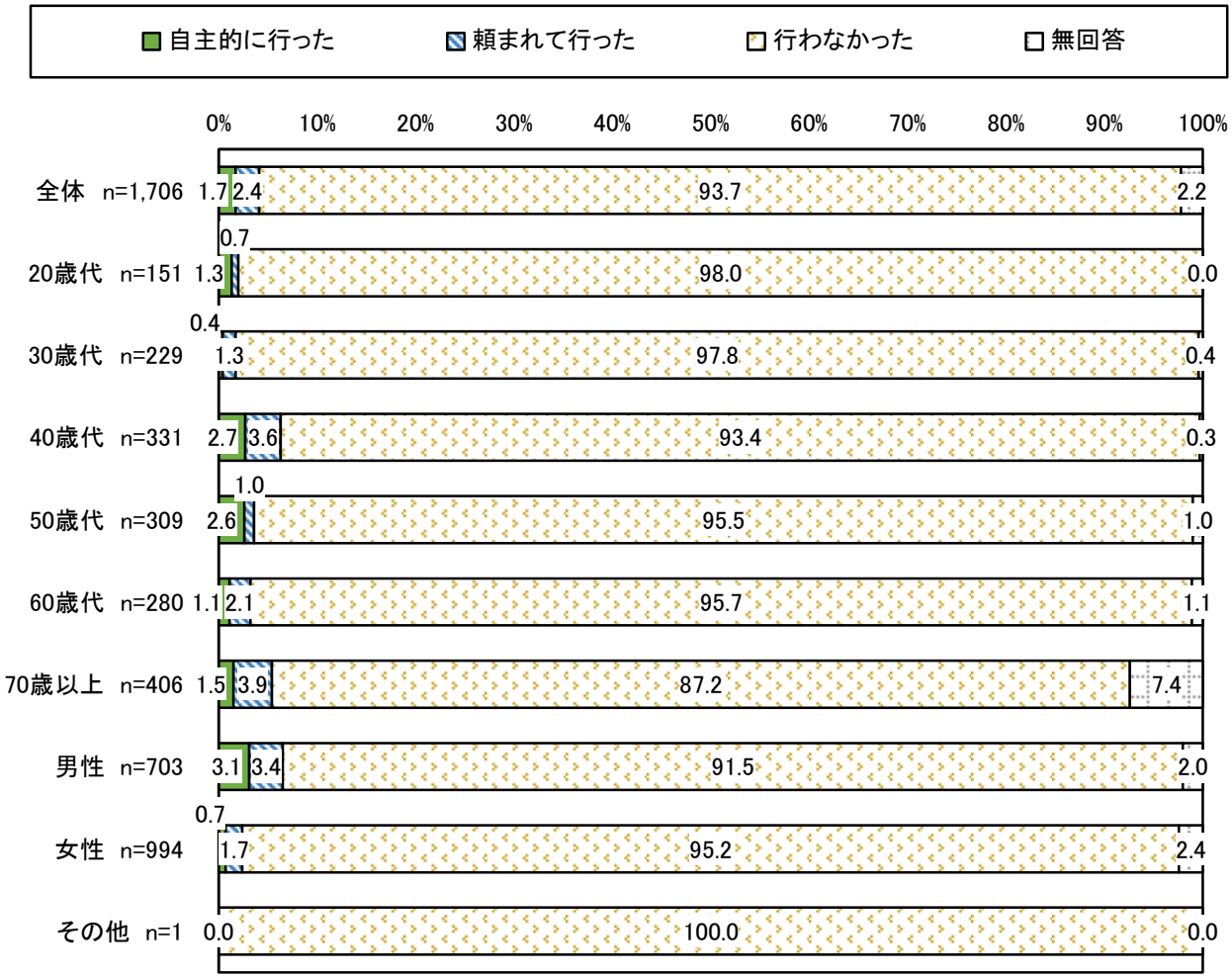
（1）スポーツボランティアの参加

問 21　あなたは、この一年間にスポーツボランティアをしたことがありますか。（○は1つ）

スポーツボランティアの参加について、「自主的に行った」と「頼まれて行った」を合わせた“行った”が 4.1%、「行わなかった」が 93.7%となっています。

年齢別にみると、“行った”の回答が最も多いのは 40 歳代となっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも“行った”の回答が多くなっています。

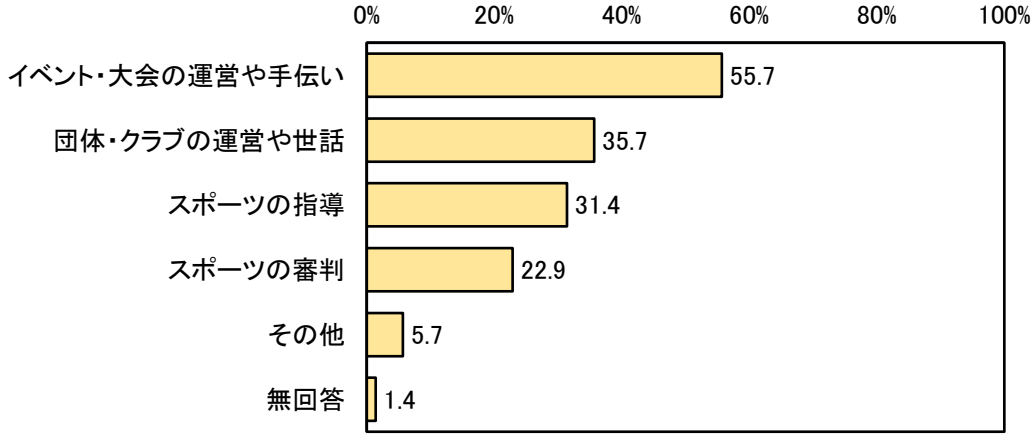


（2）参加経験のあるスポーツボランティア

問 22　問 21 で、「1」又は「2」を選んだ人にお聞きします。
あなたがしたことがあるスポーツボランティアは何ですか。（○はいくつでも）

スポーツボランティアを“行った”と回答した人に、参加経験のあるスポーツボランティアについて尋ねると、「イベント・大会の運営や手伝い」が 55.7％で最も多く、次いで「団体・クラブの運営や世話」が 35.7％、「スポーツの指導」が 31.4％、「スポーツの審判」が 22.9％となっています。

(n=70)



【その他の回答】
ゴミ拾い、野良猫の散歩、ラジオ体操リーダー、子供会活動の支援、スポーツチームの監督

【性別、年齢別】

年齢別にみると、20 歳代では「イベント・大会の運営や手伝い」と「スポーツの指導」が、30 歳代では「スポーツの指導」が、40 歳代では「団体・クラブの運営や世話」が、50 歳代と 70 歳以上では「イベント・大会の運営や手伝い」が、60 歳代では「スポーツの審判」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「イベント・大会の運営や手伝い」が最も多くなっています。

（%）	イベント・大会の運営や手伝い	スポーツの指導	スポーツの審判	団体・クラブの運営や世話	その他	無回答
全体 n=70	**55.7**	31.4	22.9	35.7	5.7	1.4
20歳代 n=3	**66.7**	**66.7**	33.3	－	－	－
30歳代 n=4	50.0	**75.0**	－	－	－	－
40歳代 n=21	38.1	33.3	23.8	**42.9**	14.3	－
50歳代 n=11	**90.9**	27.3	27.3	45.5	－	－
60歳代 n=9	55.6	33.3	**66.7**	44.4	－	－
70歳以上 n=22	**54.5**	18.2	4.5	31.8	4.5	4.5
男性 n=46	**56.5**	39.1	30.4	37.0	6.5	2.2
女性 n=24	**54.2**	16.7	8.3	33.3	4.2	－
その他 n=0	－	－	－	－	－	－

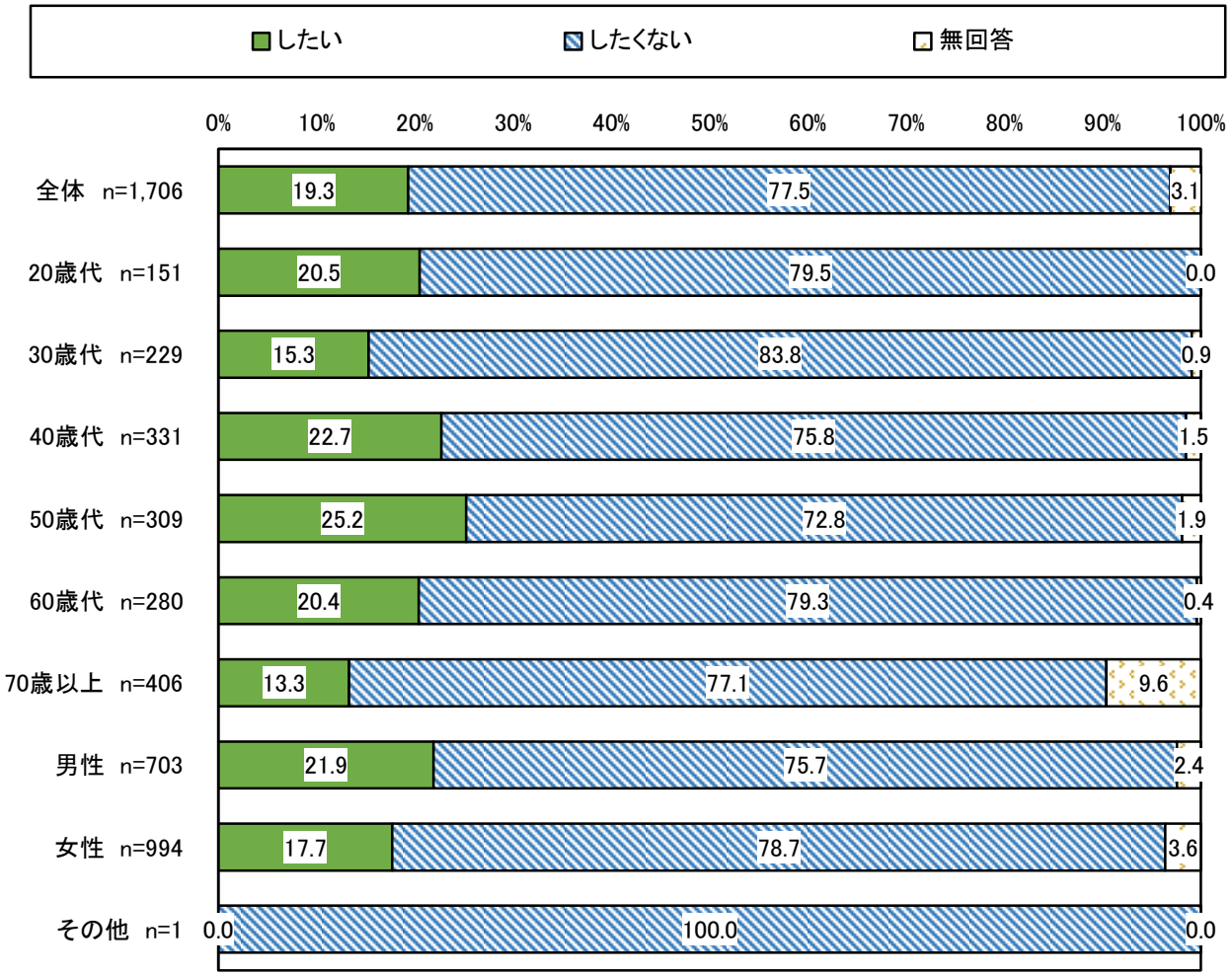
（3）スポーツボランティアの参加意向

問 23　すべての方にお聞きします。
あなたは、今後（も）スポーツボランティアをしたいと思いますか。（○は1つ）

今後のスポーツボランティアの参加意向について、「したい」が 19.3%、「したくない」が 77.5%となっています。

年齢別にみると、50 歳代の「したい」の回答が 25.2%と他の年代に比べて最も多くなっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも「したい」の回答が多くなっています。

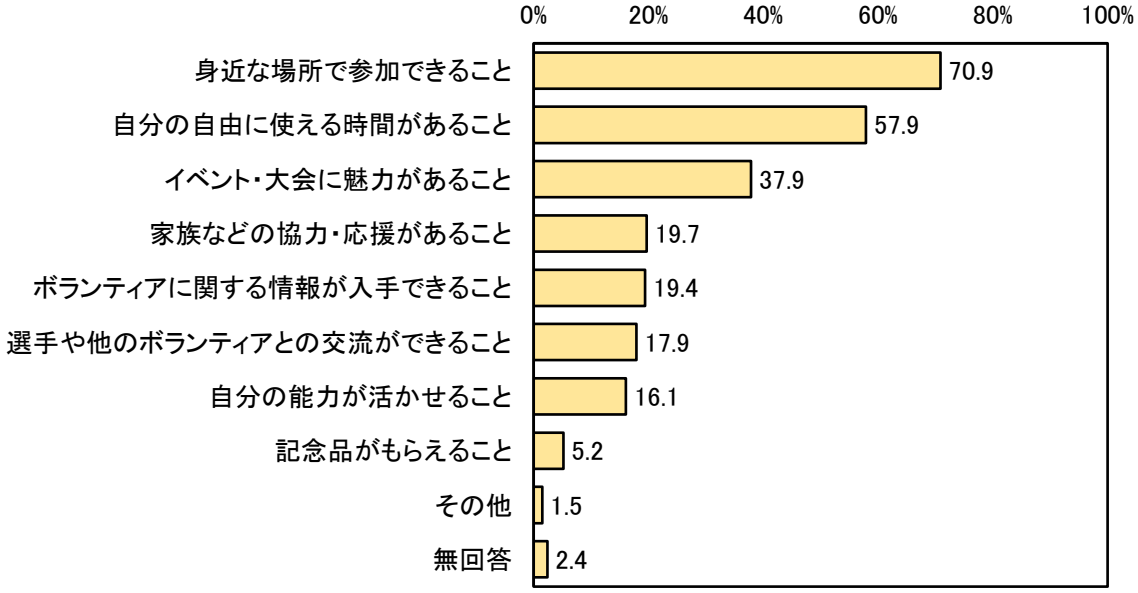


（4）スポーツボランティアをするために必要な事

問 24　問 23 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、スポーツボランティアをするためには、どのようなことが必要だと思いますか。
（○は**3つまで**）

今後、スポーツボランティアを「したい」と回答した人に、スポーツボランティアをするために必要なことを尋ねると、「身近な場所で参加できること」が 70.9%で最も多く、次いで「自分の自由に使える時間があること」が 57.9%、「イベント・大会に魅力があること」が 37.9%、「家族などの協力・応援があること」が 19.7%、「ボランティアに関する情報が入手できること」が 19.4%となっています。

（n=330）



【その他の回答】
公共交通機関が使える場所であること、仕事と被らないこと、自分にとって勉強になること、スポーツとの関わり合いが必要であると思うこと、ボランティアに興味を持つこと

【年齢別、性別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「身近な場所で参加できること」が最も多くなっています。また、20 歳代については「自分の能力が活かせること」が、他の年代に比べて多くなっています。

性別にみると、男女ともに「身近な場所で参加できること」が最も多くなっており、特に女性の方が男性よりも 10 ポイント多く回答されています。

（%）	自分の自由に使える時間があること	身近な場所で参加できること	家族などの協力・応援があること	自分の能力が活かせること	イベント・大会に魅力があること	記念品がもらえること	選手や他のボランティアとの交流ができること	ボランティアに関する情報が入手できること	その他	無回答
全体 n=330	57.9	**70.9**	19.7	16.1	37.9	5.2	17.9	19.4	1.5	2.4
20歳代 n=31	48.4	**71.0**	19.4	35.5	35.5	12.9	19.4	19.4	－	－
30歳代 n=35	68.6	**74.3**	31.4	17.1	28.6	5.7	20.0	22.9	－	2.9
40歳代 n=75	62.7	**64.0**	24.0	8.0	36.0	6.7	17.3	17.3	－	4.0
50歳代 n=78	62.8	**73.1**	19.2	14.1	44.9	2.6	17.9	20.5	－	－
60歳代 n=57	50.9	**73.7**	15.8	22.8	35.1	1.8	14.0	28.1	5.3	1.8
70歳以上 n=54	50.0	**72.2**	11.1	11.1	40.7	5.6	20.4	9.3	3.7	5.6
男性 n=154	61.7	**65.6**	13.6	21.4	41.6	6.5	17.5	17.5	1.3	1.9
女性 n=176	54.5	**75.6**	25.0	11.4	34.7	4.0	18.2	21.0	1.7	2.8
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

7　スポーツ指導について

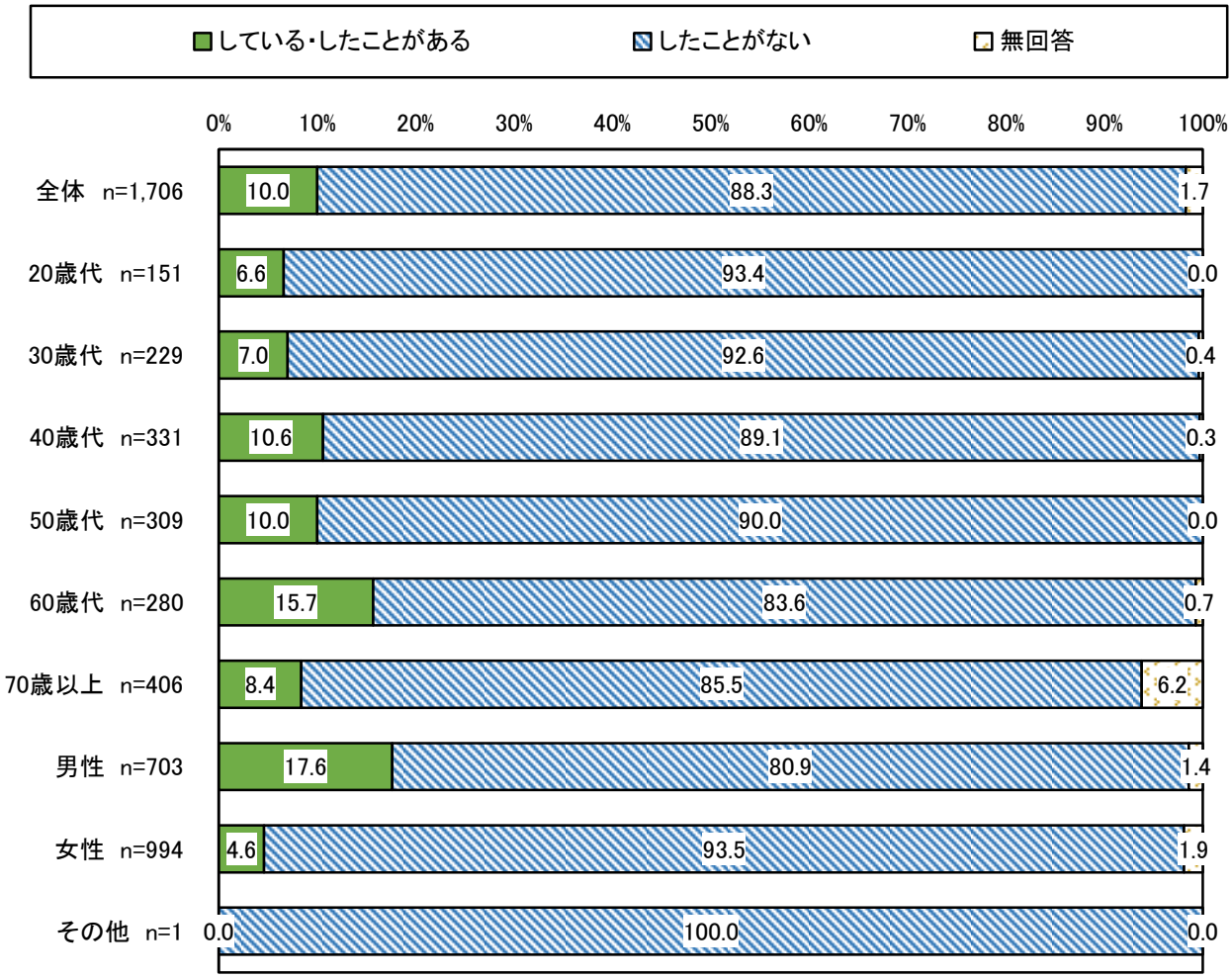
（1）スポーツ･運動指導経験

問 25　あなたは、スポーツ･運動の指導をしたことがありますか。（○は1つ）

スポーツ・運動の指導経験について、「している・したことがある」が 10.0%、「したことがない」が 88.3%となっています。

年齢別にみると、60 歳代の「している・したことがある」の回答が 15.7%と他の年代に比べて最も多くなっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも「している・したことがある」が 10 ポイント以上多くなっています。



（2）指導したスポーツについて

問 26　問 25 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたが指導しているスポーツ・運動の種目、その指導年数、主な指導対象、指導目的について教えてください。

スポーツ・運動の指導を「している・したことがある」と回答した人に、指導しているスポーツ・運動の種目を尋ねると、「ソフトボール」が 18.8%で最も多く、次いで「フットベースボール」が 11.2%、「野球」が 8.8%、「水泳」が 7.1%、「バレーボール」が 6.5%となっています。

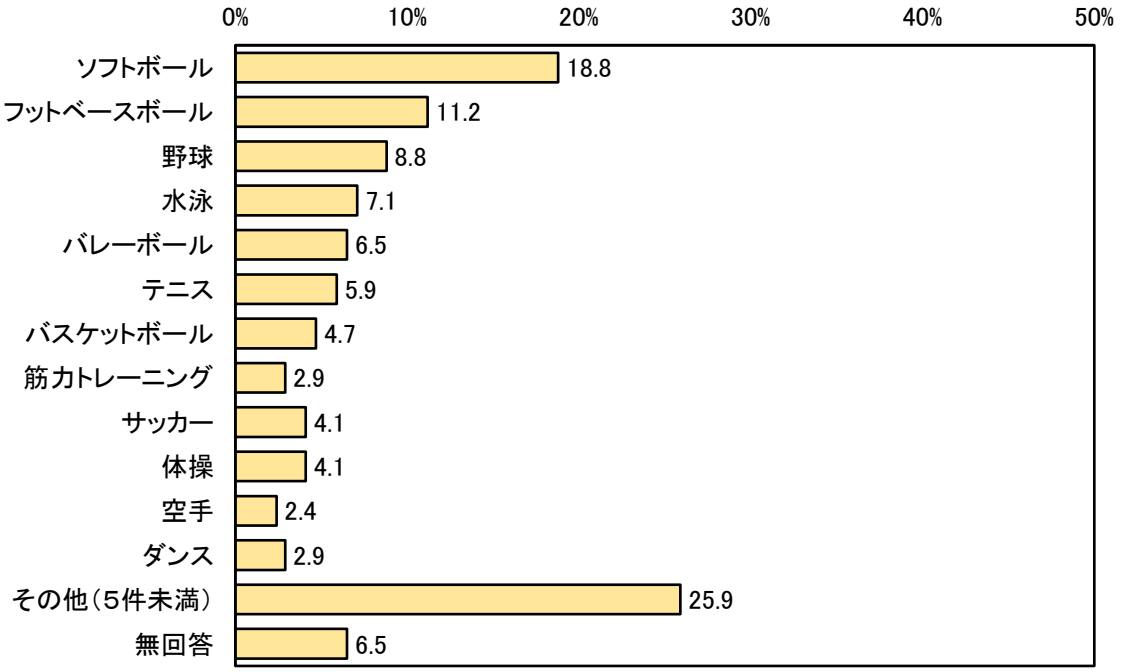
指導年数については、「３年未満」が 27.6%、「３年以上５年未満」が 25.3%、「５年以上 10 年未満」が 21.2%、「10 年以上 20 年未満」が 17.1%、「20 年未満」が 12.9%となっています。

主な指導対象については、「少年」が 74.1%、「青年」が 14.7%、「中年」が 18.2%、「高齢者」が 14.1%となっています。また、「男性」が 24.7%、「女性」が 27.6%、「男女とも」が 47.6%となっています。

指導目的については、「健康」が 21.2%、「楽しみ」が 32.4%、「競技」が 46.5%、「リハビリ」が 1.2%となっています。

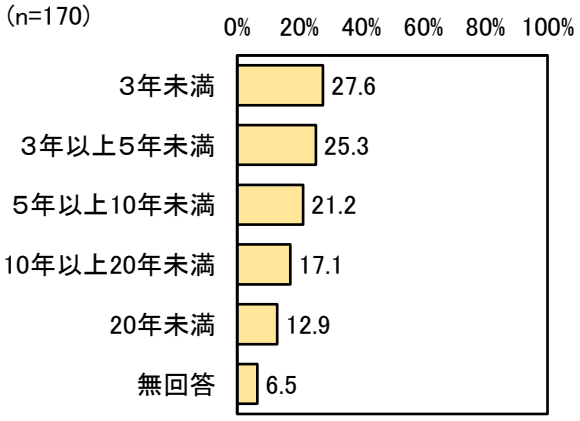
・指導しているスポーツ

（n=170）

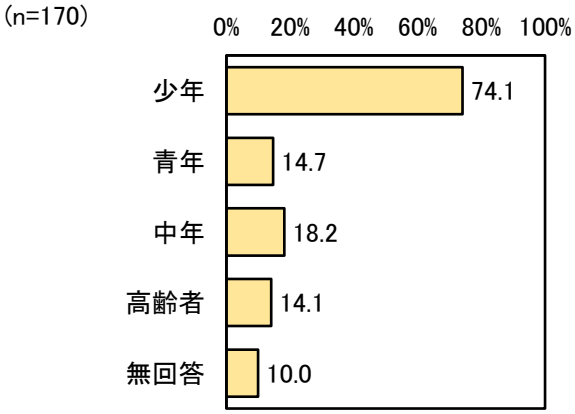


【その他の回答】
　柔道、陸上、レクリエーション、剣道、スキー、卓球、ハンドボール、ウォーキング、弓道、バドミントン、ヨガ、インディアカ、エアロビクス、カヌー、カローリング、グラウンドゴルフ、ゴルフ、障害者スポーツ、スキューバダイビング、スケートボード、体育、登山、ドッジボール、縄跳び、フライングディスク、マット運動、よさこい、ラグビー

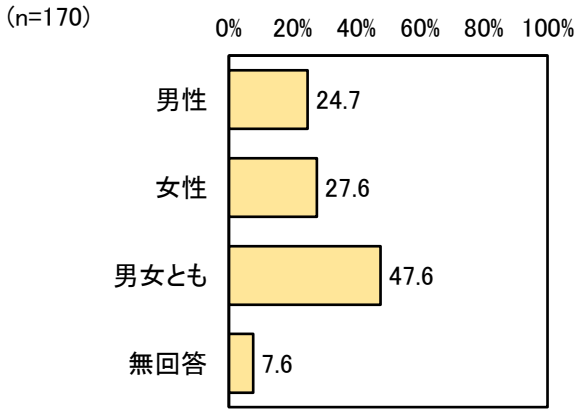
・指導している年数



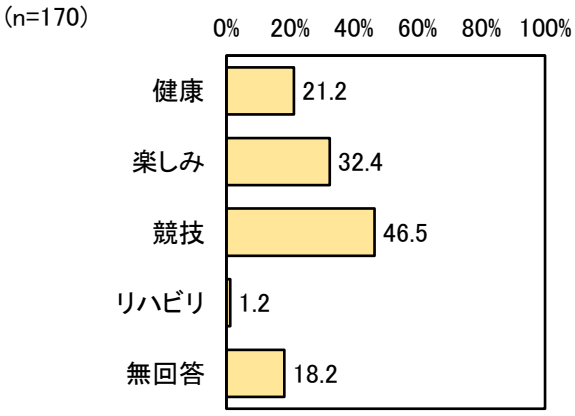
・指導対象（年齢）



・指導対象（性別）



・指導目的



【年齢別、性別】

年齢別にみると、40 歳代を除く年代で「ソフトボール」が最も多くなっており、40 歳代では「フットベースボール」が最も多くなっています。

性別にみると、男性では「ソフトボール」が、女性では「水泳」が、それぞれ最も多くなっています。

・指導しているスポーツ

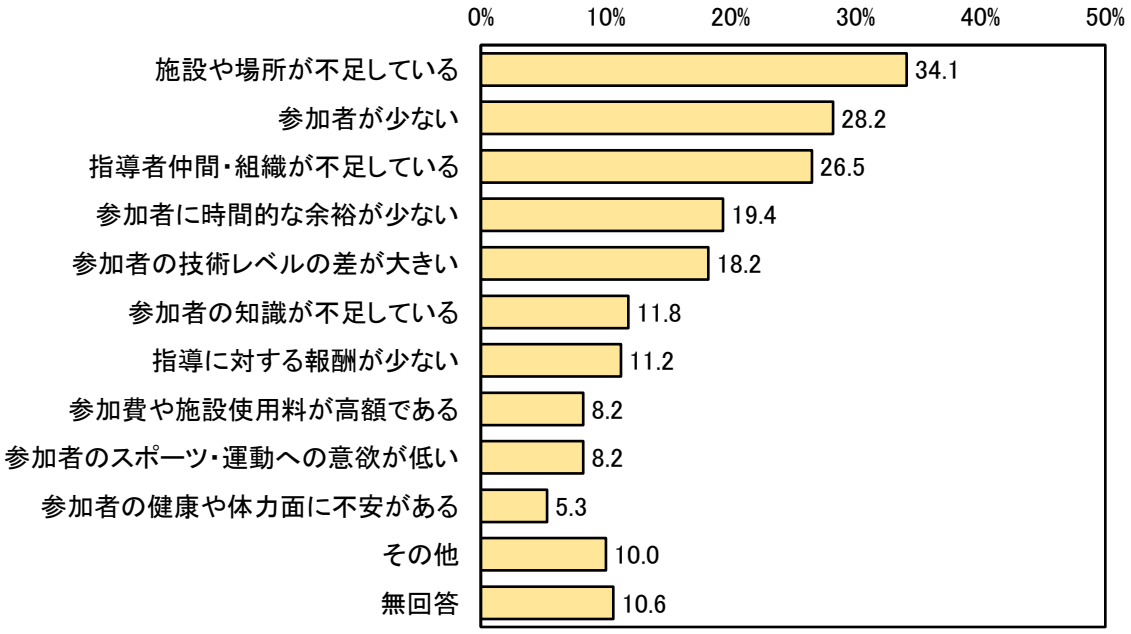
（%）	ソフトボール	フットベースボール	野球	水泳	バレーボール	テニス	バスケットボール	筋力トレーニング	サッカー	体操	空手	ダンス	その他（５件未満）	無回答
全体 n=170	**18.8**	11.2	8.8	7.1	6.5	5.9	4.7	2.9	4.1	4.1	2.4	2.9	25.9	6.5
20歳代 n=10	**10.0**	－	**10.0**	－	**10.0**	**10.0**	**10.0**	**10.0**	－	－	－	10.0	30.0	－
30歳代 n=16	**12.5**	－	－	**12.5**	－	6.3	**12.5**	－	6.3	6.3	－	**12.5**	43.8	－
40歳代 n=35	8.6	**25.7**	11.4	5.7	2.9	8.6	8.6	8.6	2.9	2.9	2.9	－	17.1	2.9
50歳代 n=31	**16.1**	9.7	**16.1**	12.9	12.9	－	6.5	3.2	3.2	－	3.2	－	19.4	3.2
60歳代 n=44	**27.3**	13.6	4.5	4.5	11.4	9.1	－	－	6.8	4.5	4.5	4.5	25.0	6.8
70歳以上 n=34	**26.5**	2.9	8.8	5.9	－	2.9	－	－	2.9	8.8	－	－	32.4	17.6
男性 n=124	**25.8**	15.3	12.1	1.6	7.3	5.6	4.0	0.8	5.6	2.4	2.4	0.8	22.6	4.8
女性 n=46	－	－	－	**21.7**	4.3	6.5	6.5	8.7	－	8.7	2.2	8.7	34.8	10.9
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（3）スポーツ・運動指導における問題

問 27　問 25 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、スポーツ・運動の指導を行う際に、何か問題になっていることはありますか。
（○はいくつでも）

スポーツ・運動の指導を「している・したことがある」と回答した人に、スポーツ・運動の指導における問題を尋ねたところ、「施設や場所が不足している」が 34.1％で最も多く、次いで「参加者が少ない」が 28.2％、「指導者仲間・組織が不足している」が 26.5％、「参加者に時間的な余裕が少ない」が 19.4％、「参加者の技術レベルの差が大きい」が 18.2％となっています。

（n=170）



【その他の回答】

子どもが小さく預けられない、仕事が忙しくて指導ができない、時代にそぐわない指導方法が多々見られる、指導者の知識が不足している、指導者のレベルが低い、ライセンスを取っている指導者が少ない

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代及び 50 歳以上では「施設や場所が不足している」が、30 歳代では「指導者仲間・組織が不足している」が、40 歳代では「参加者が少ない」が、それぞれ最も多くなっています。

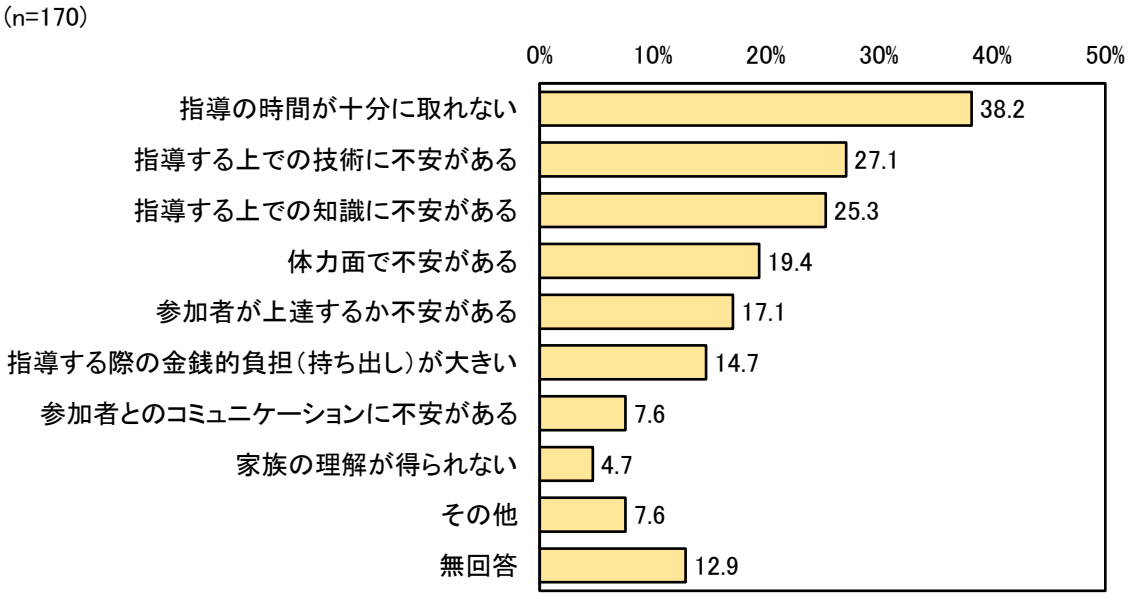
性別にみると、男女ともに「施設や場所が不足している」が最も多くなっています。

（%）	施設や場所が不足している	指導者仲間・組織が不足している	参加者が少ない	参加費や施設使用料が高額である	参加者の知識が不足している	参加者に時間的な余裕が少ない	参加者の健康や体力面に不安がある	参加者のスポーツ・運動への意欲が低い	参加者の技術レベルの差が大きい	指導に対する報酬が少ない	その他	無回答
全体 n=170	**34.1**	26.5	28.2	8.2	11.8	19.4	5.3	8.2	18.2	11.2	10.0	10.6
20歳代 n=10	**50.0**	30.0	10.0	10.0	－	20.0	10.0	－	40.0	20.0	－	－
30歳代 n=16	25.0	**37.5**	31.3	－	18.8	31.3	－	－	12.5	6.3	－	6.3
40歳代 n=35	34.3	31.4	**37.1**	14.3	17.1	17.1	－	5.7	8.6	20.0	8.6	2.9
50歳代 n=31	**45.2**	22.6	32.3	6.5	16.1	16.1	3.2	3.2	22.6	9.7	12.9	12.9
60歳代 n=44	**36.4**	29.5	31.8	11.4	9.1	25.0	9.1	15.9	22.7	13.6	9.1	9.1
70歳以上 n=34	**20.6**	14.7	14.7	2.9	5.9	11.8	8.8	11.8	14.7	－	17.6	23.5
男性 n=124	**35.5**	30.6	33.9	7.3	12.9	22.6	4.8	9.7	18.5	10.5	9.7	6.5
女性 n=46	**30.4**	15.2	13.0	10.9	8.7	10.9	6.5	4.3	17.4	13.0	10.9	21.7
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（4）スポーツ･運動指導をしていく上での問題点

問 28　問 25 で､｢1｣を選んだ人にお聞きします。
スポーツ･運動を指導していく上で､あなた自身が抱えている問題点はありますか。
（○はいくつでも）

スポーツ・運動の指導を「している・したことがある」と回答した人に、自身が抱ええている問題について尋ねると、「指導の時間が十分に取れない」が 38.2%で最も多く、次いで「指導する上での技術に不安がある」が 27.1%、「指導する上での知識に不安がある」が 25.3%、「体力面で不安がある」が 19.4%、「参加者が上達するか不安がある」が 17.1%となっています。



【その他の回答】
一緒に指導をする人が少ない、活動日が多い、「競技・勝ち負け」を優先するカテゴリーと「楽しむこと」を優先としたカテゴリーがあると指導しやすい、興味ある人に情報が伝わっていかない、参加者が高齢化し若い人が入らないためサークルの存続が心配、指導者同士の考えが合わない

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳から 50 歳代では「指導の時間が十分に取れない」が、60 歳代では「指導の時間が十分に取れない」と「体力面で不安がある」が、70 歳以上では「指導する上での技術に不安がある」と「体力面で不安がある」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「指導の時間が十分に取れない」が、女性では「指導する上での技術に不安がある」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	指導の時間が十分に取れない	指導する際の金銭的負担（持ち出し）が大きい	家族の理解が得られない	指導する上での技術に不安がある	指導する上での知識に不安がある	体力面で不安がある	参加者が上達するか不安がある	参加者とのコミュニケーションに不安がある	その他	無回答
全体 n=170	**38.2**	14.7	4.7	27.1	25.3	19.4	17.1	7.6	7.6	12.9
20歳代 n=10	**40.0**	20.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	－	－	20.0
30歳代 n=16	**68.8**	25.0	6.3	31.3	25.0	－	12.5	－	－	6.3
40歳代 n=35	**37.1**	22.9	2.9	22.9	28.6	14.3	31.4	5.7	11.4	8.6
50歳代 n=31	**45.2**	9.7	12.9	29.0	29.0	6.5	12.9	6.5	16.1	12.9
60歳代 n=44	**36.4**	15.9	－	27.3	27.3	**36.4**	13.6	15.9	4.5	6.8
70歳以上 n=34	20.6	2.9	2.9	**26.5**	17.6	**26.5**	14.7	5.9	5.9	26.5
男性 n=124	**41.9**	16.9	6.5	25.8	27.4	20.2	20.2	8.9	8.1	8.1
女性 n=46	28.3	8.7	－	**30.4**	19.6	17.4	8.7	4.3	6.5	26.1
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

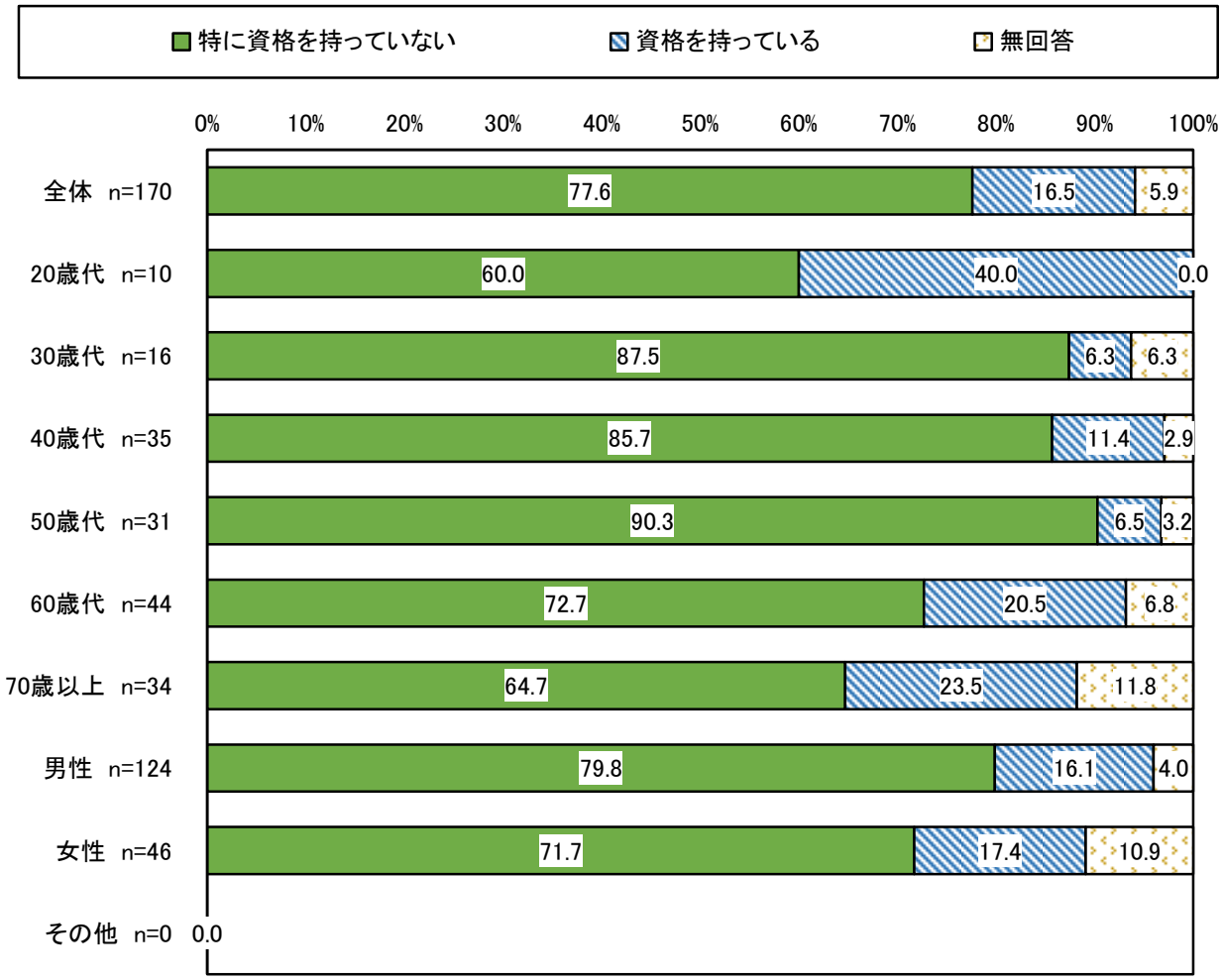
（5）スポーツ･運動に関する資格の有無

問 29　問 25 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、スポーツ･運動に関する資格を取得していますか。
取得している場合は、その資格名や取得後の年数などについて教えてください。

スポーツ・運動の指導を「している・したことがある」と回答した人に、資格の取得について尋ねると、「特に資格を持っていない」が 77.6%、「資格を持っている」が 16.5%となっています。

年齢別にみると、30 歳代から 50 歳代では「特に資格を持っていない」が８割以上となっており、特に 50 歳代では 90.3%と他の年代に比べて最も多くなっています。

男女別にみると、「資格を持っている」について、男性が 16.1%、女性が 17.4%と男女で大きな差が見られません。



【取得している資格について】

スポーツ・運動に関する「資格を持っている」と回答した人に、所有している資格種目について尋ねると、「ソフトボール」が 21.4％で最も多く、次いで「健康指導」と「サッカー」と「陸上」がいずれも 7.1％となっています。

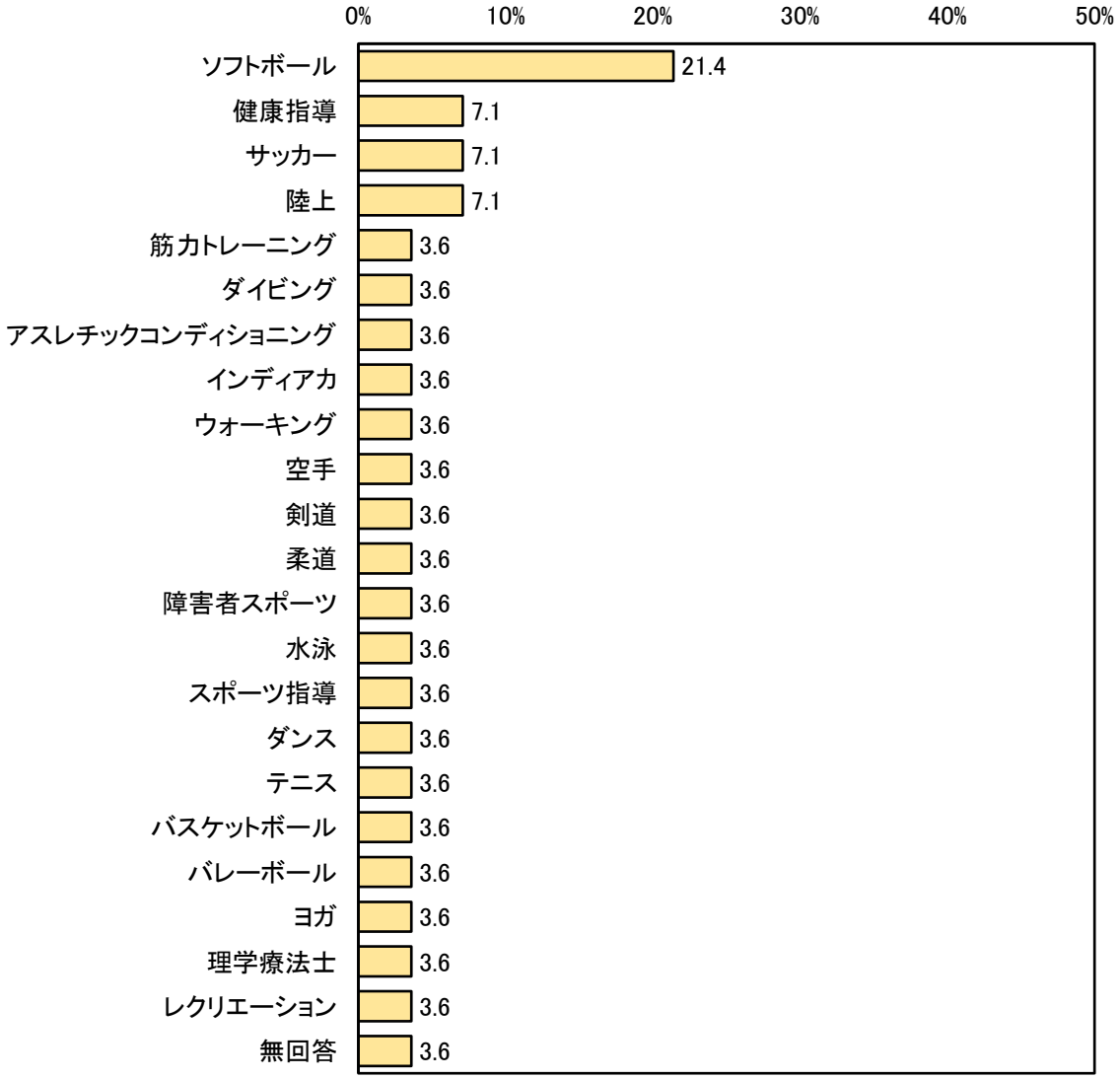
資格付与団体について、「日本ソフトボール協会」が 14.3％で最も多く、次いで「日本スポーツ協会」が 10.7％、「日本体育協会」と「日本陸上競技連盟」がともに 7.1％となっています。

取得後の年数について、「３年未満」と「３年以上５年未満」がともに 3.6％、「５年以上 10 年未満」が 25.0％、「10 年以上 20 年未満」が 21.4％、「20 年以上」が 50.0％となっています。

指導の有無について、「指導していた」と「指導している」がともに 32.1％、「大会の審判をしている」と「指導経験無し」がともに 14.3％となっています。

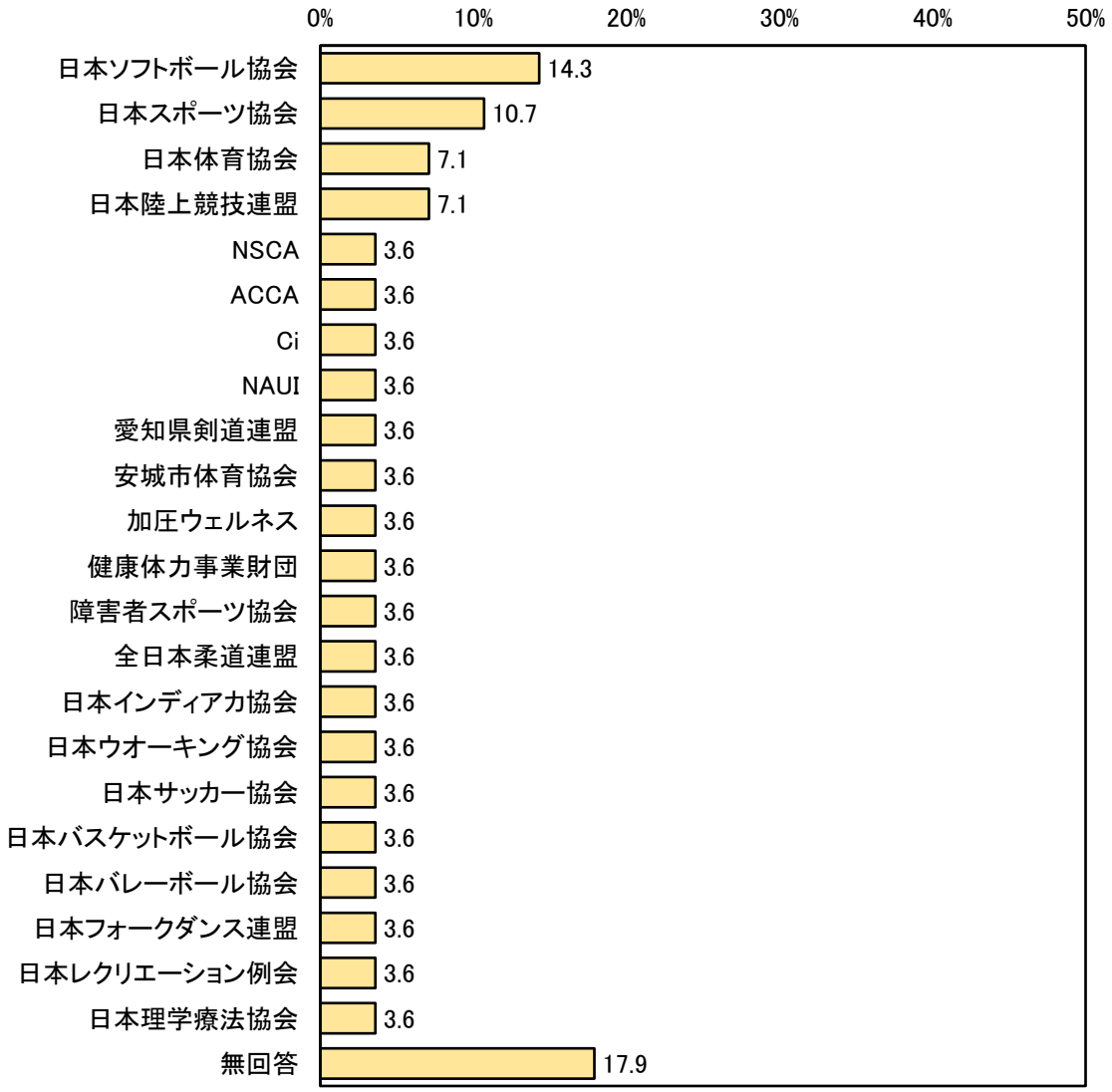
・所有している資格名

（n=28）



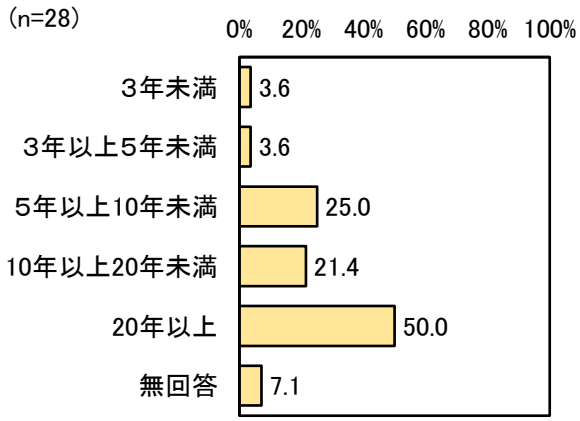
・資格付与団体名

（n=28）



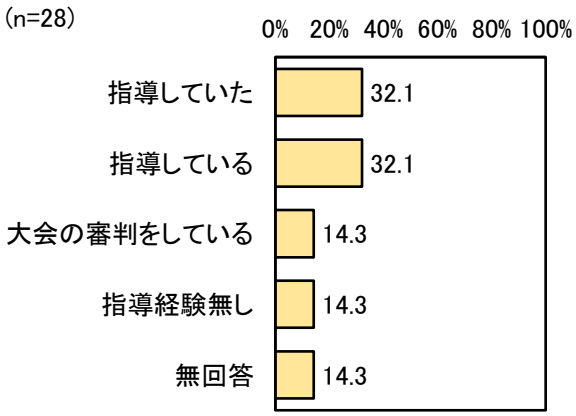
・取得後の年数

（n=28）



・その資格での指導の有無

（n=28）



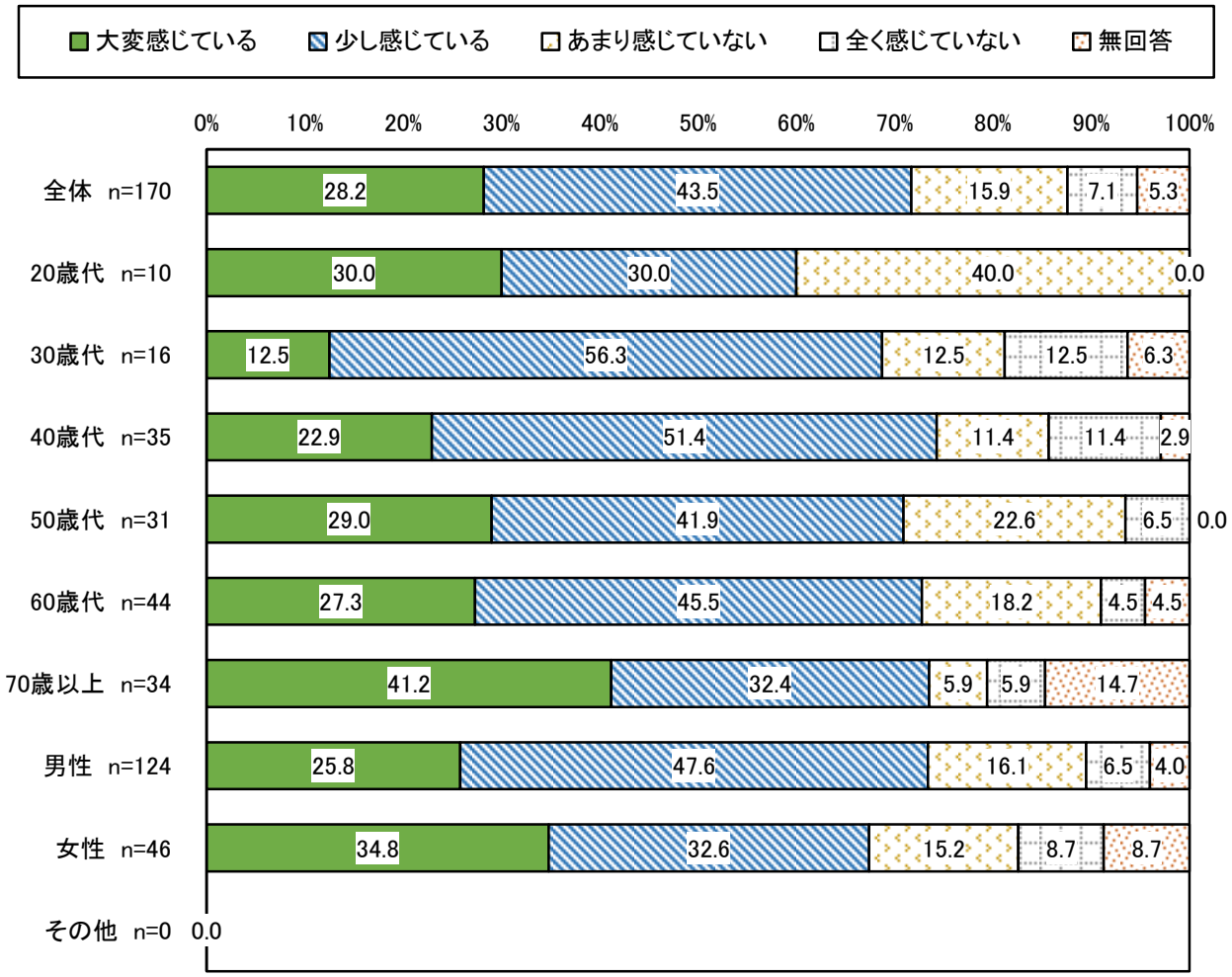
（6）スポーツ･運動指導による生きがい

問 30　問 25 で､｢1｣を選んだ人にお聞きします。
あなたは、自分がスポーツ･運動の指導を行っていることに生きがいを感じていますか。（○は1つ）

スポーツ・運動の指導を「している・したことがある」と回答した人に、指導に生きがいを感じているかについて尋ねると､｢大変感じている｣と｢少し感じている｣を合わせた“感じている”が 71.7%、「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合わせた“感じていない”が 23.0%となっています。

年齢別にみると、40 歳代の“感じている”の回答が 74.3%と他の年代に比べて最も多くなっています。

性別にみると、“感じている”について、男性では 73.4%、女性では 67.4%となっています。



8　地域におけるスポーツ活動について

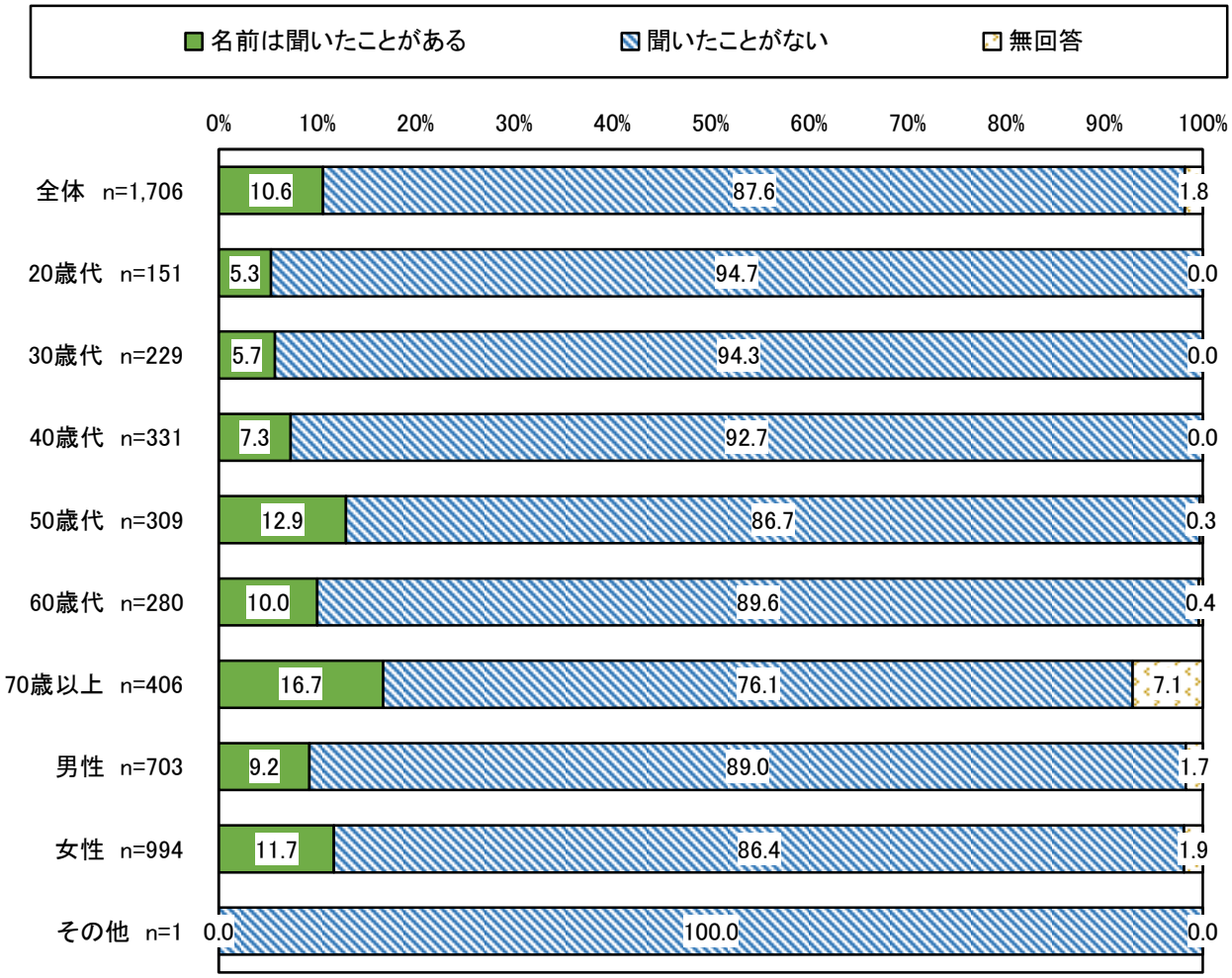
（1）「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

問 31　あなたは、「総合型地域スポーツクラブ（※）」の名前を聞いたことがありますか。（○は1つ）

「総合型地域スポーツクラブ」の認知度について、「名前は聞いたことがある」が 10.6%、「聞いたことがない」が 87.6%となっています。

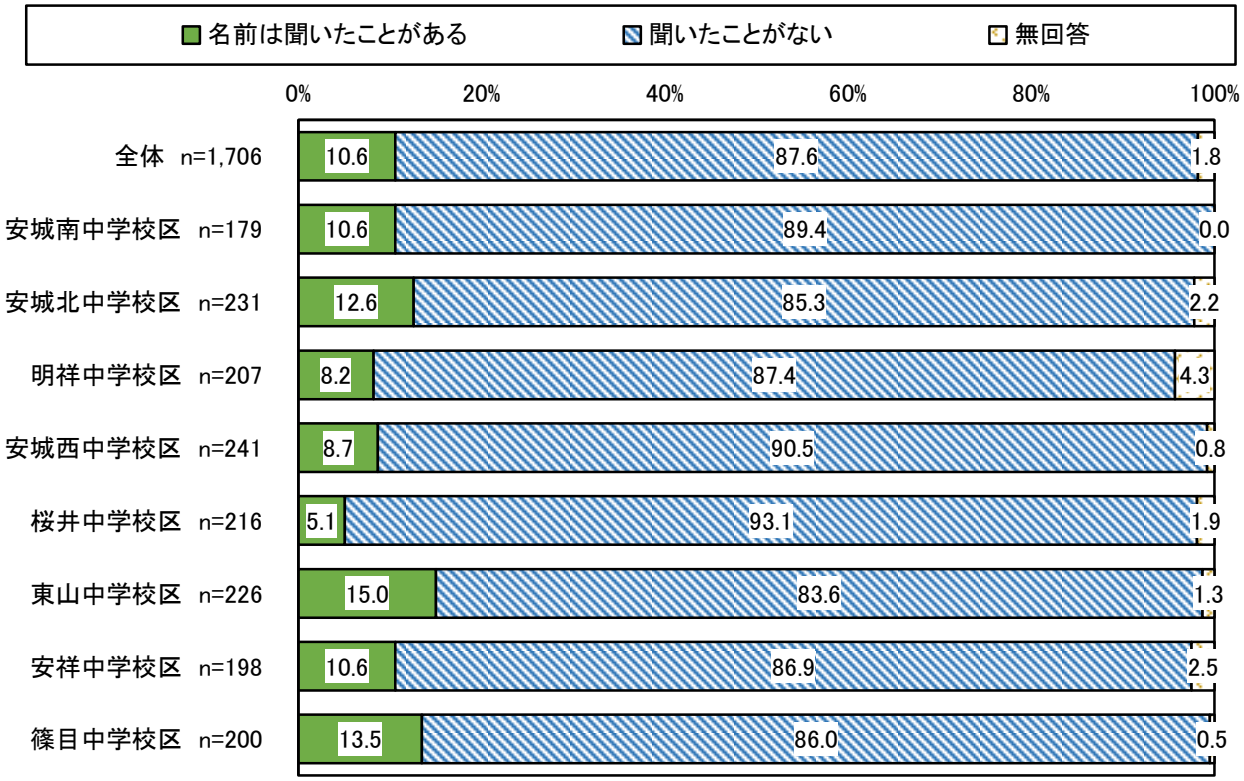
年齢別にみると、70 歳代の「名前は聞いたことがある」の回答が 16.7%と他の年代に比べて最も多く、次いで 50 歳代が 12.9%、60 歳代が 10.0%となっています。

性別にみると、「名前は聞いたことがある」について、男性では 9.2%、女性では 11.7%となっています。



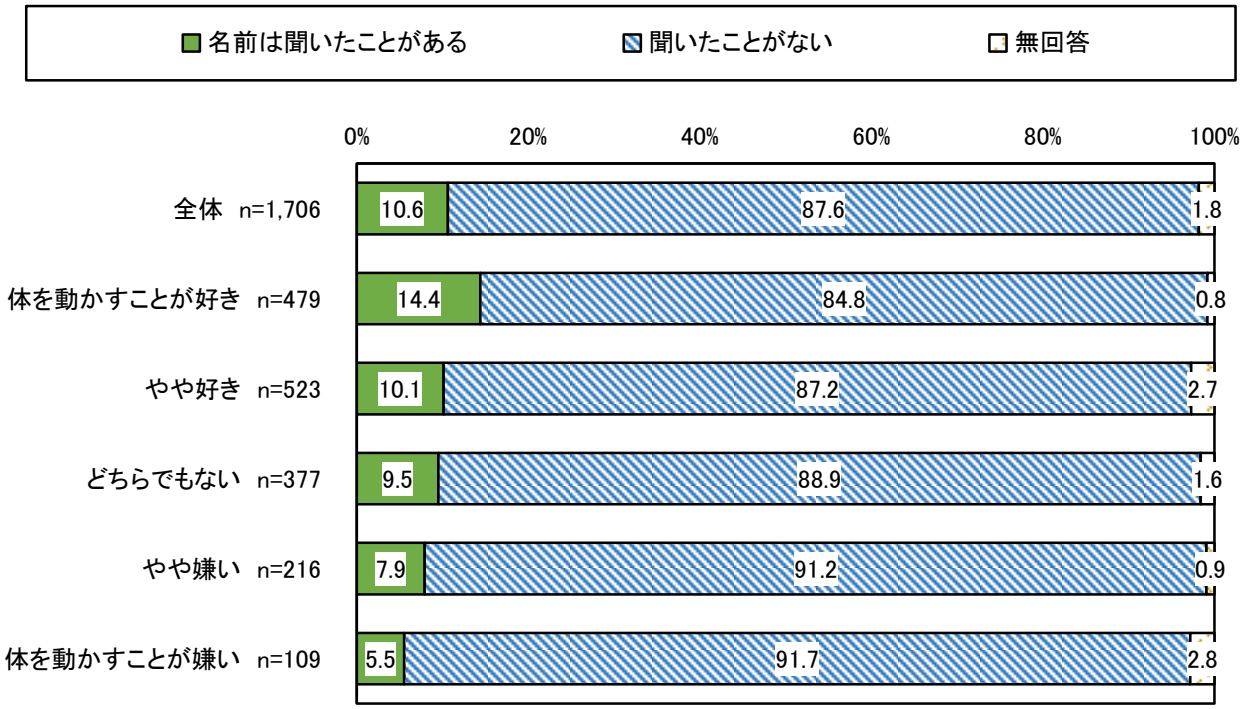
【中学校区別】

中学校区別に見ると、「東山中学校区」の「名前は聞いたことがある」の回答が 15.0%と他の中学校区に比べて最も多く、次いで「篠目中学校区」が 13.5%、「安城北中学校区」が 12.6%となっています。



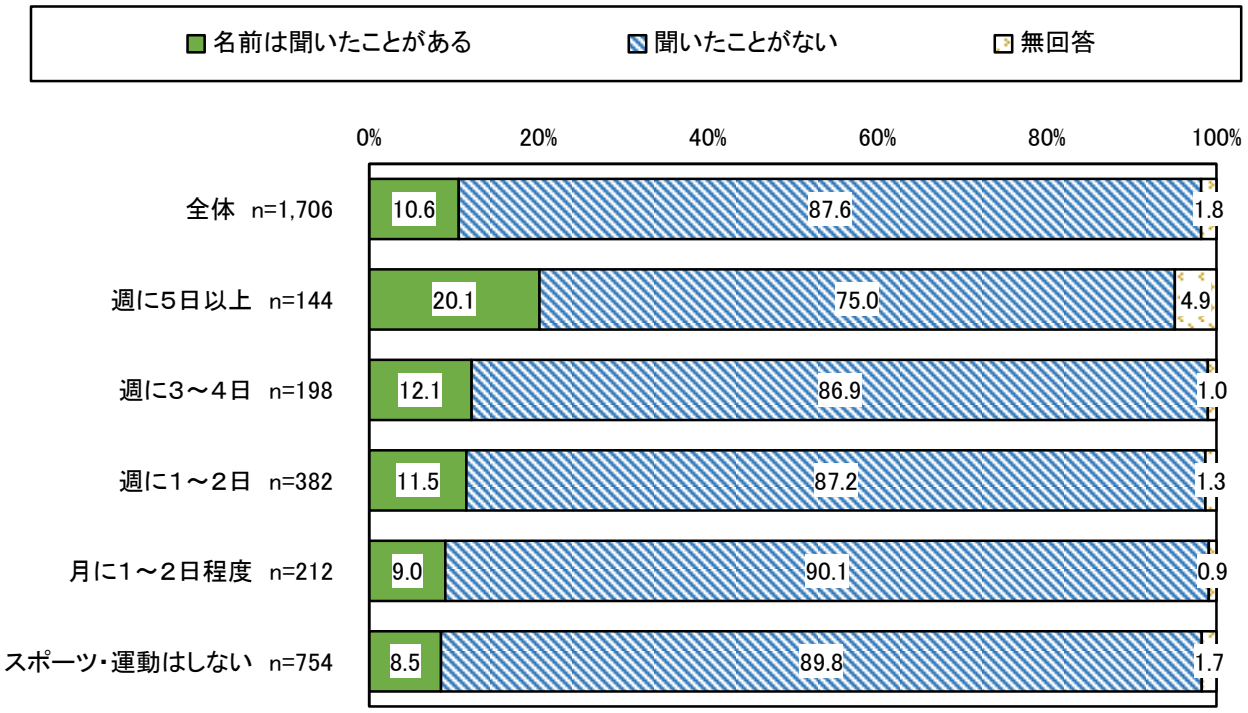
【スポーツ・運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると体を動かすことが好きな人ほど「名前は聞いたことがある」が多くなっています。



【スポーツ・運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、スポーツ・運動をする頻度が高い人ほど「名前は聞いたことがある」が多くなっています。



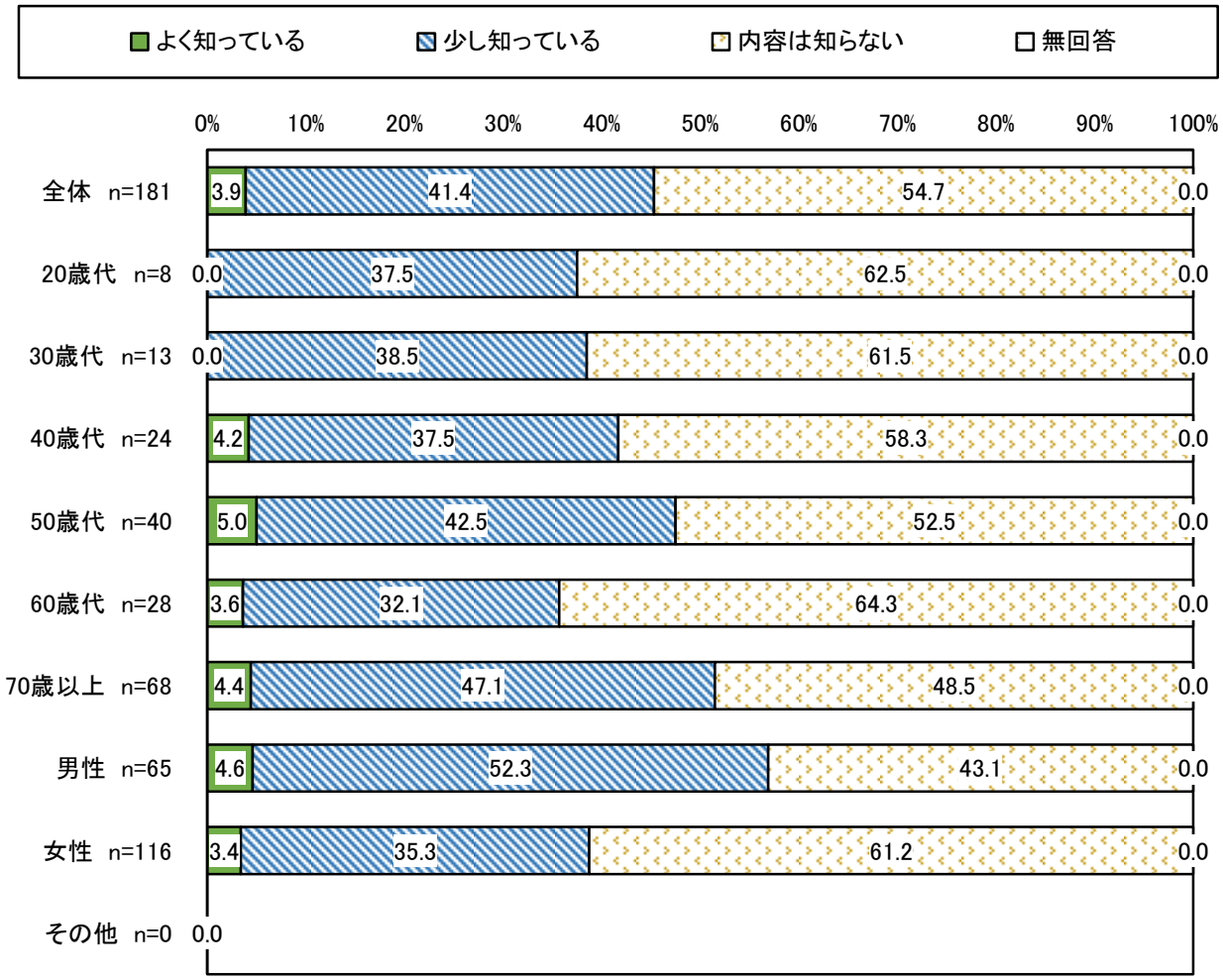
（2）「総合型地域スポーツクラブ」について

問 32　問 31 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」がどのようなものか知っていますか。（○は1つ）

「総合型地域スポーツクラブ」の「名前は聞いたことがある」と回答した人に、どのようなものか知っているか尋ねると、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”が 45.3%、「内容は知らない」が 54.7%となっています。

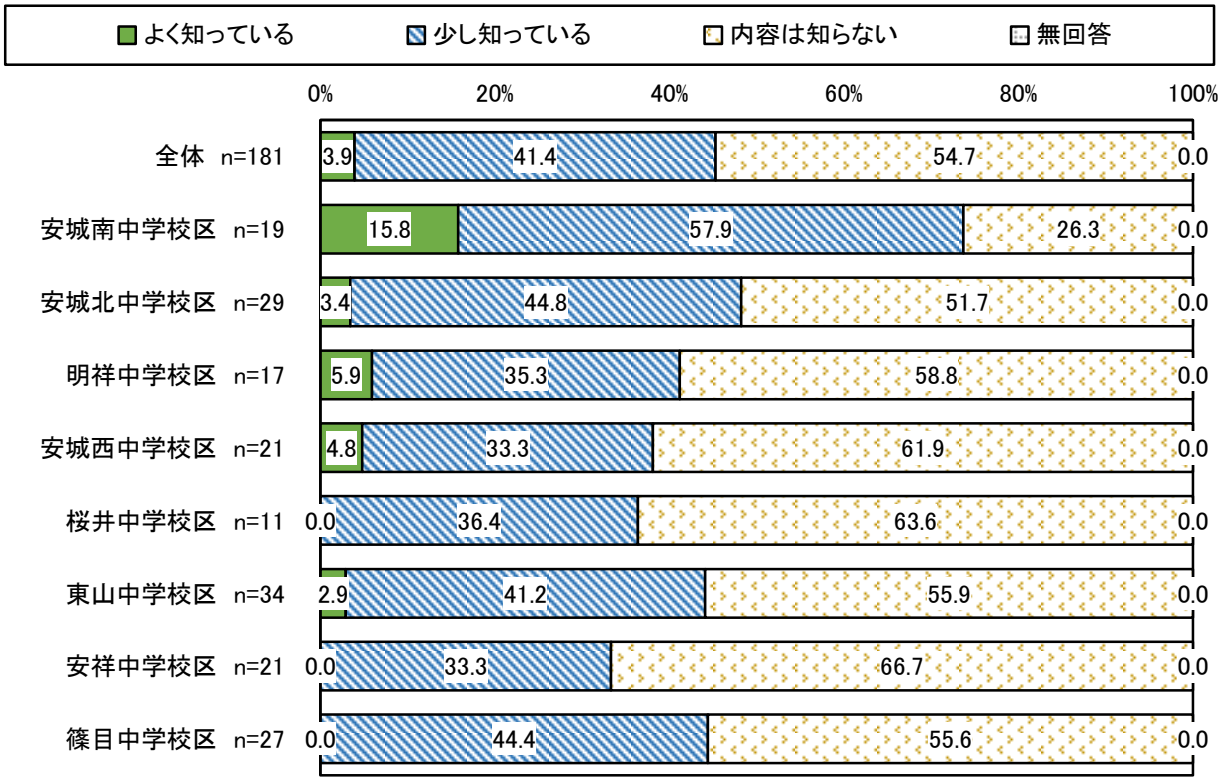
年齢別にみると、について、70 歳以上が 51.5%と他の年代に比べて最も多くなっています。また、20 歳代及び 30 歳代では「よく知っている」が 0.0%となっています。

性別にみると、“知っている”について、男性では 56.9%、女性では 38.7%と、男性の方が女性よりも約 20 ポイント多くなっています。



【中学校区別】

中学校区別に見ると、「安城南中学校区」の“知っている”の回答が 73.7%と他の中学校区に比べて最も多くなっています。また、「桜井中学校区」、「安祥中学校区」、「篠目中学校区」では、「よく知っている」がいずれも 0.0%となっています。



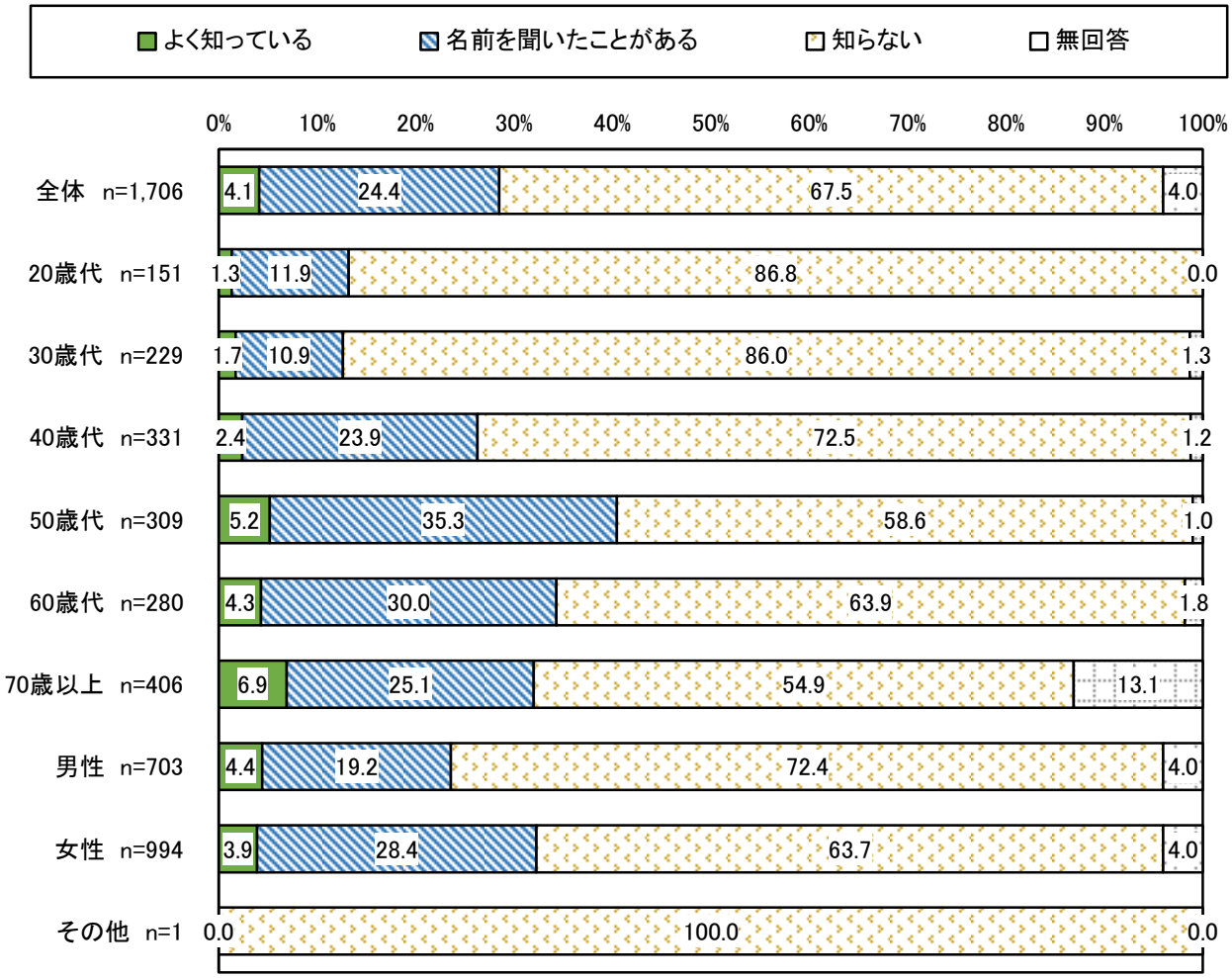
(3)「スポーツ推進委員」の認知度

問 33　地域スポーツの振興を図るため活動している「スポーツ推進委員（※）」を知っていますか。
（○は1つ）

「スポーツ推進委員」の認知度について、「よく知っている」が 4.1%、「名前を聞いたことがある」が 24.4%、「知らない」が 67.5%となっています。

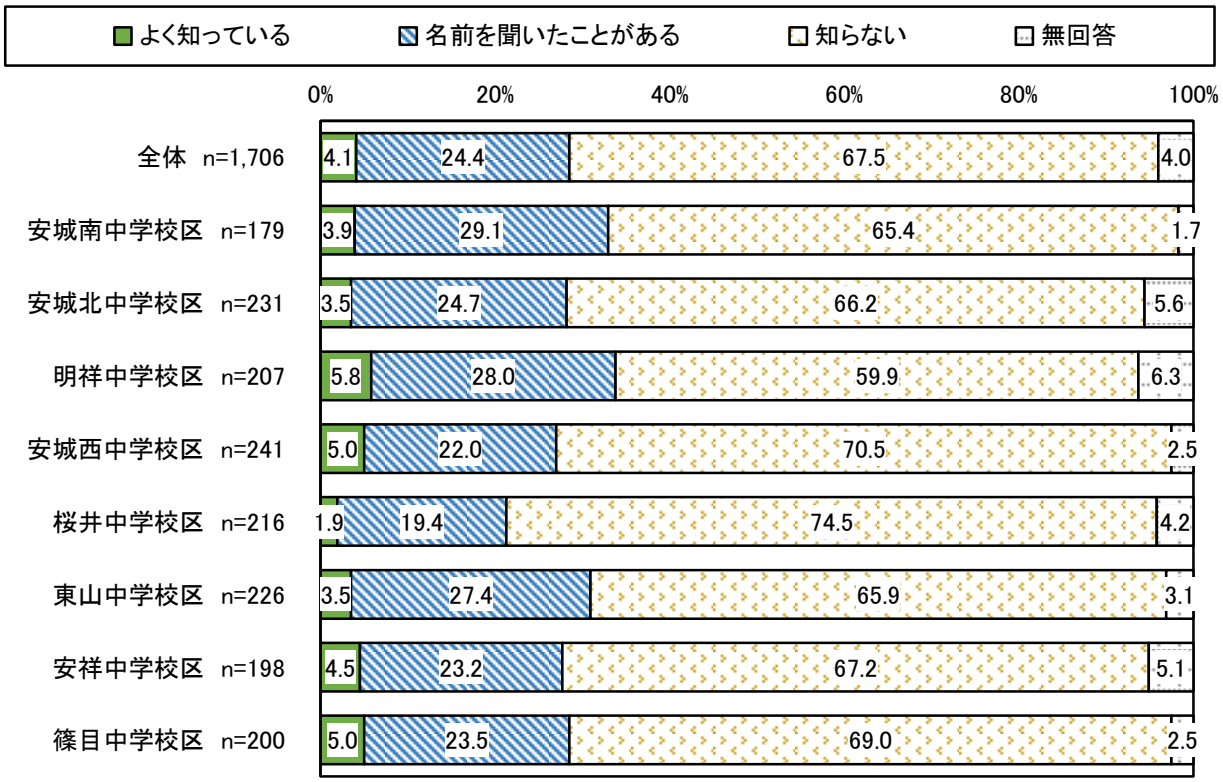
年齢別にみると、20 歳代及び 30 歳代で「知らない」がいずれも８割以上となっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも「知らない」が多くなっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、「桜井中学校区」の「知らない」の回答が 74.5%と他の中学校区に比べて最も多くなっています。



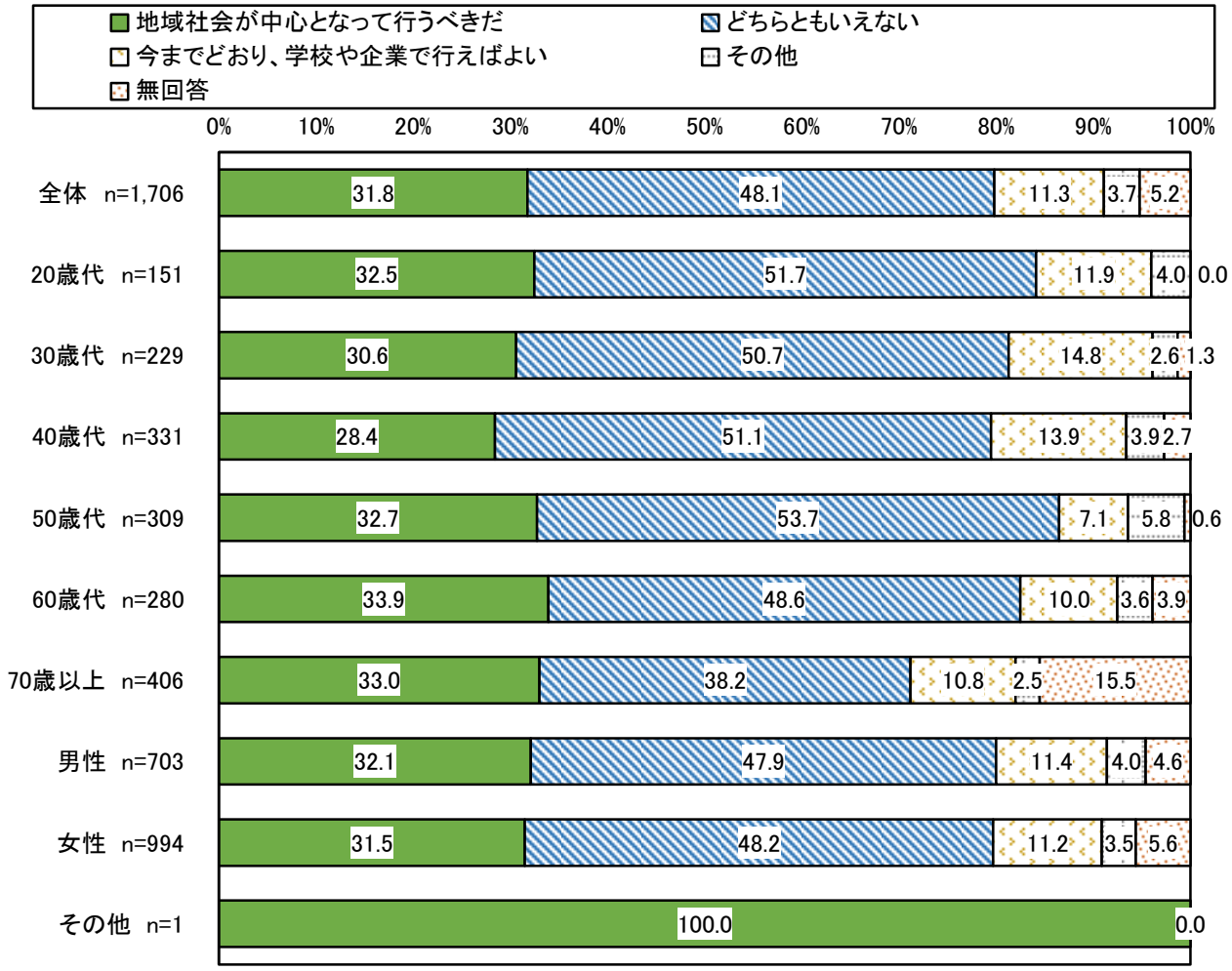
（4）地域社会が中心となったスポーツ活動の取組について

問 34　これまでのスポーツ活動は学校や企業が中心ですが、現在、地域社会が中心になってスポーツに取り組んでいくべきだと言われています。このような考え方に対して、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

地域社会が中心となったスポーツ活動の取組について、「地域社会が中心となって行うべきだ」が31.8%、「どちらともいえない」が48.1%、「今までどおり、学校や企業で行えばよい」が11.3%となっています。

年齢別にみると、いずれの年代でも「どちらともいえない」が最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「どちらともいえない」が最も多くなっています。



【その他の回答】

色々な方面からの取組が必要、学校に民間の指導者等を招く、協力体制をつくる、個人の意識が重要、参加したいと思うような情報や内容にしていく、地域社会と学校・企業の両方で取り組むべき、やりたい人や団体が連携してやればいい

9　市のスポーツ施策について

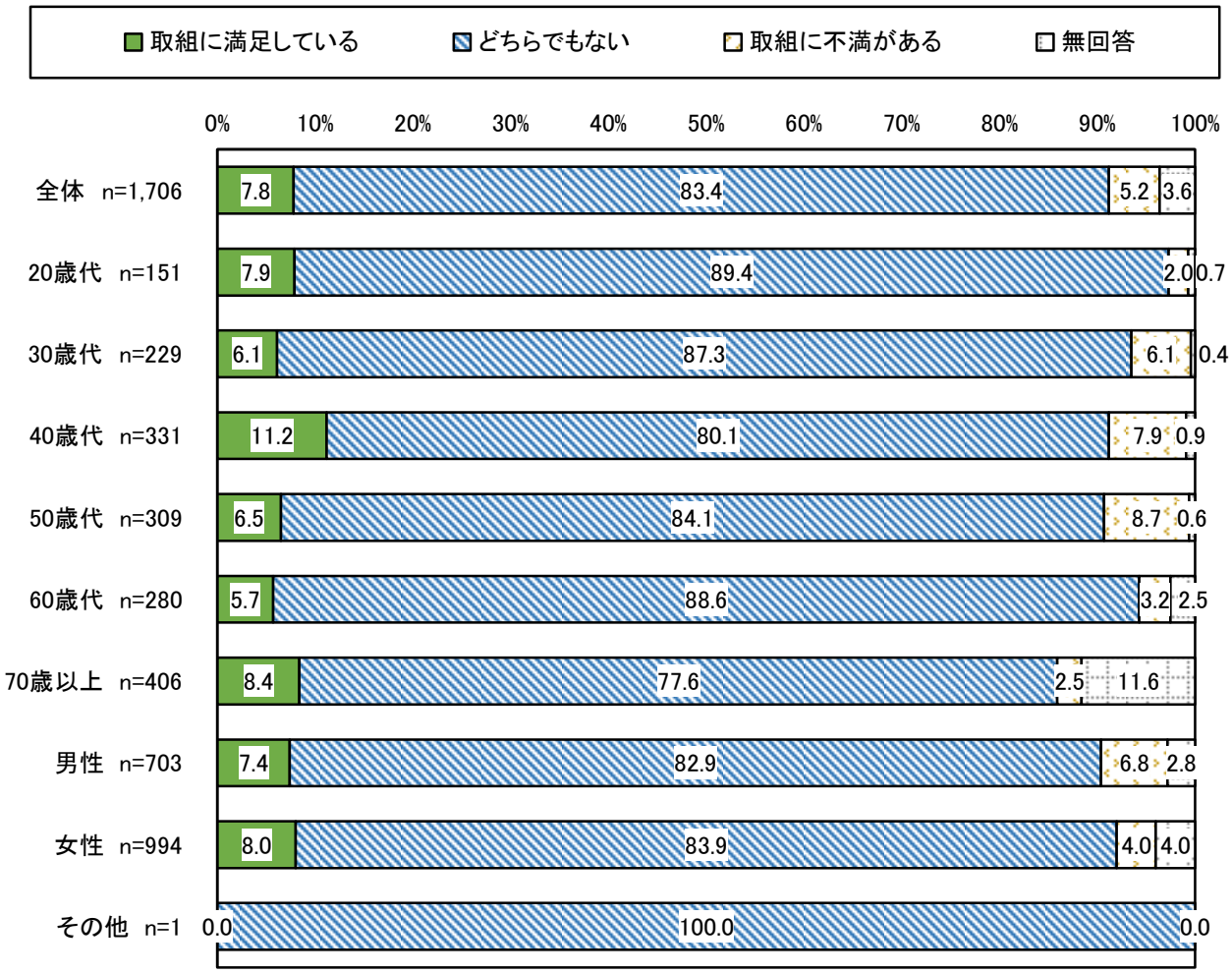
（1）スポーツ振興のための取組への満足度

問 35　あなたは、安城市が行っているスポーツ振興のための取組や施策に満足していますか。（○は1つ）

市のスポーツ振興のための取組や施策への満足度について、「取組に満足している」が 7.8%、「どちらでもない」が 83.4%、「取組に不満がある」が 5.2%となっています。

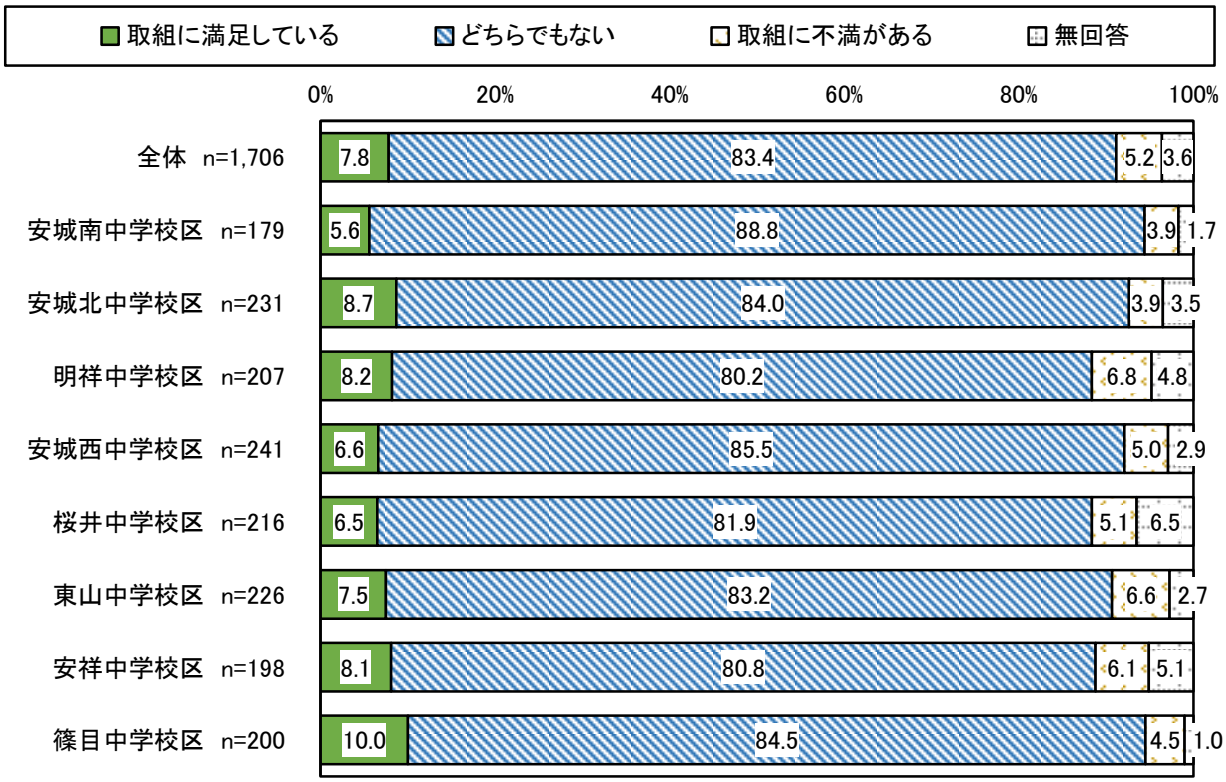
年齢別にみると、40 歳代の「取組に満足している」の回答が 11.2%と他の年代に比べて最も多い一方、50 歳代の「取組に不満がある」が 8.7%と他の年代に比べてやや多くなっています。

性別にみると、男女ともに「取組に満足している」の回答は１割弱となっています。



【中学校区別】

中学校区別に見ると、「安城北中学校区」、「明祥中学校区」、「安祥中学校区」、「篠目中学校区」で「取組に満足している」が１割程度となっています。



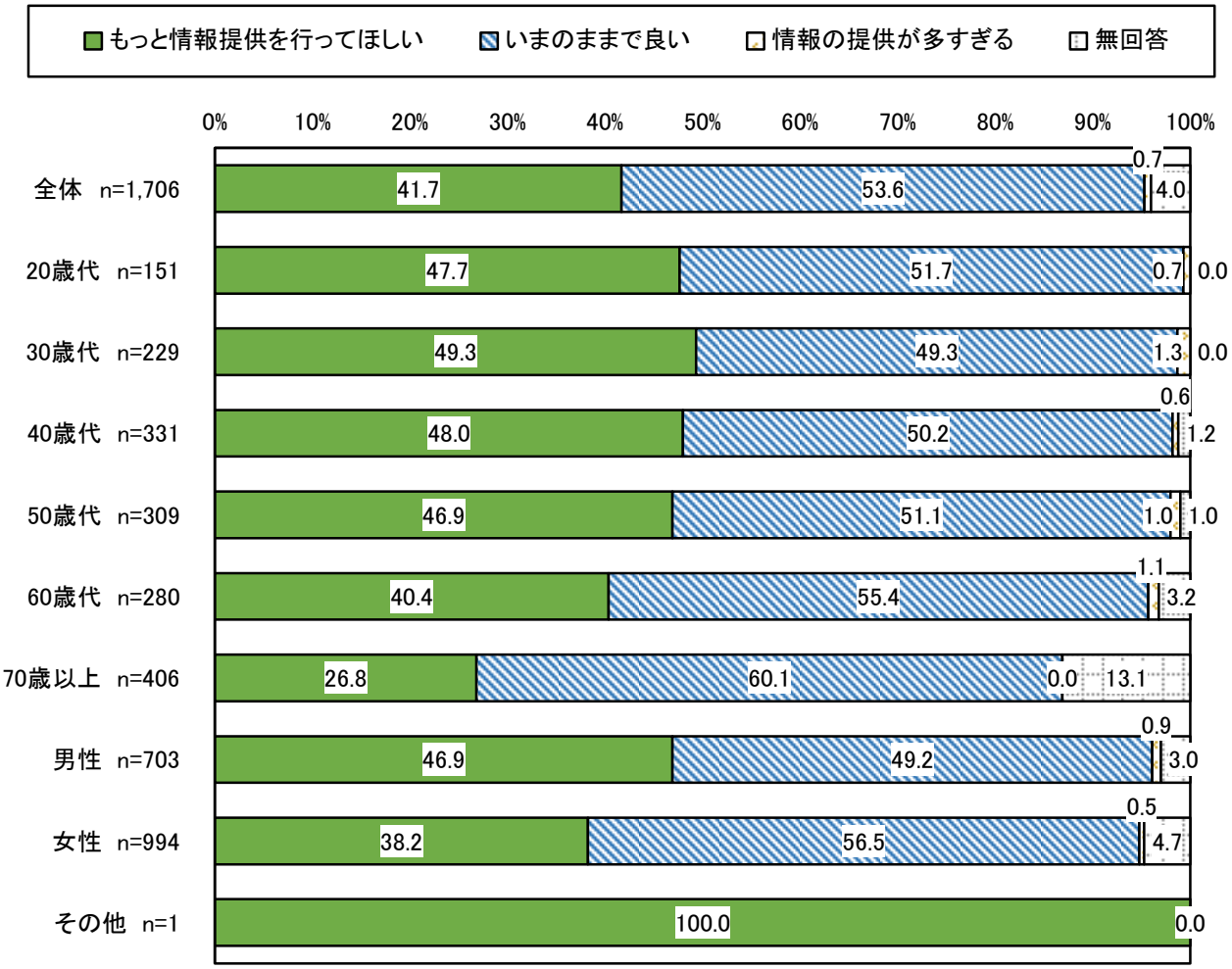
（2）スポーツ･運動に関する広報や情報提供について

問 36　安城市が行っているスポーツ･運動に関する広報や情報提供は、十分だと思いますか。（○は1つ）

安城市が行っているスポーツ･運動に関する広報や情報提供について、「もっと情報提供を行ってほしい」が 41.7%、「いまのままで良い」が 53.6%、「情報の提供が多すぎる」が 0.7%となっています。

年齢別にみると、20 歳代から 40 歳代の比較的若い年代で、「もっと情報提供を行ってほしい」が多く回答されています。

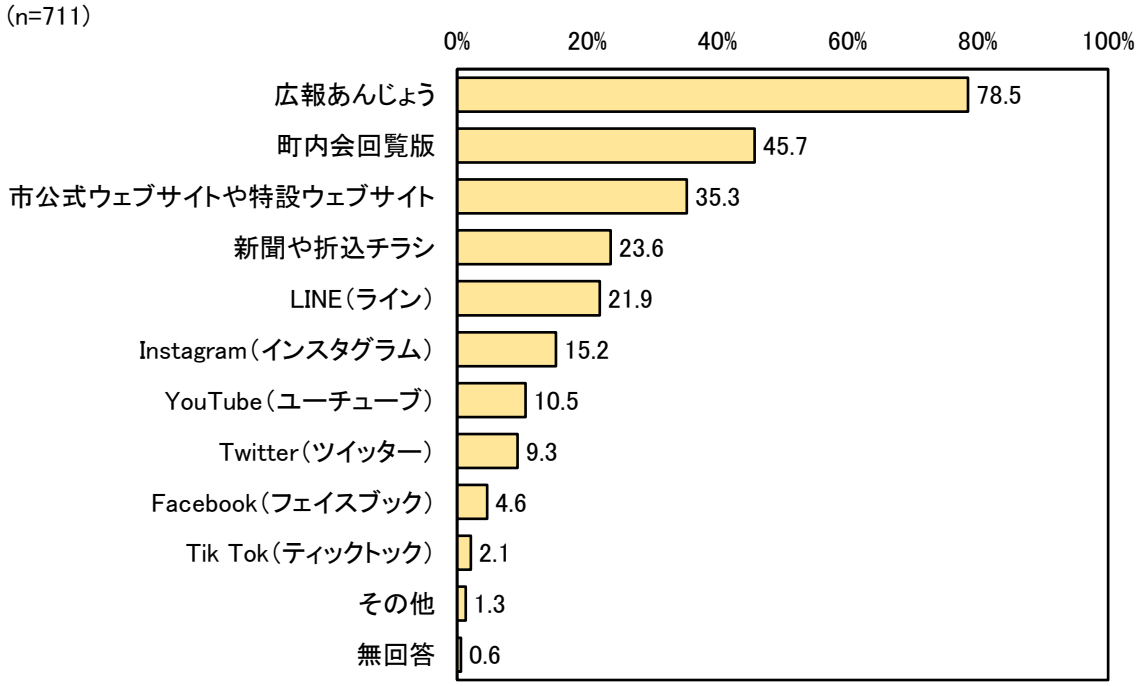
性別にみると、男性の方が女性よりも「もっと情報提供を行ってほしい」が多くなっています。



（3）スポーツ・運動に関する情報発信ツール

問 37　問 36 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
スポーツ・運動に関する情報発信方法としてどういったツールを望みますか。
（○は3つまで）

安城市が行っているスポーツ・運動に関する広報や情報提供について、「もっと情報提供を行ってほしい」と回答した人に、情報発信方法として望ましいツールを尋ねると、「広報あんじょう」が 78.5％で最も多く、次いで「町内会回覧版」が 45.7％、「市公式ウェブサイトや特設ウェブサイト」が 35.3％、「新聞や折込チラシ」が 23.6％、「LINE（ライン）」が 21.9％となっています。



【その他の回答】
駅など公共の場での掲示、学校や病院等での簡単な催し、希望者へのＤＭ（ダイレクトメッセージ）、口コミや井戸端会議、同好者の機関紙、ポスト等に投函されるチラシ

【年齢別、性別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「広報あんじょう」が最も多くなっており、年齢が上がるにつれて回答が多くなっています。また、20 歳代では、「Instagram（インスタグラム)」、「Twitter（ツイッター)」といったＳＮＳ関係の回答が、他の年代に比べて多くなっています。

性別にみると、男女ともに「広報あんじょう」が最も多くなっています。

（%）	広報あんじょう	市公式ウェブサイトや特設ウェブサイト	新聞や折込チラシ	町内会回覧版	Facebook（フェイスブック）	Instagram（インスタグラム）	Twitter（ツイッター）	LINE（ライン）	TikTok（ティックトック）	YouTube（ユーチューブ）	その他	無回答
全体 n=711	**78.5**	35.3	23.6	45.7	4.6	15.2	9.3	21.9	2.1	10.5	1.3	0.6
20歳代 n=72	**52.8**	19.4	16.7	19.4	6.9	48.6	37.5	29.2	5.6	20.8	－	－
30歳代 n=113	**68.1**	31.9	16.8	37.2	4.4	30.1	9.7	26.5	1.8	19.5	2.7	－
40歳代 n=159	**77.4**	38.4	20.1	34.0	6.9	13.8	10.1	32.7	2.5	13.8	1.3	－
50歳代 n=145	**80.0**	45.5	25.5	49.0	5.5	9.7	6.9	20.7	2.1	6.9	0.7	1.4
60歳代 n=113	**88.5**	44.2	31.0	58.4	2.7	0.9	1.8	14.2	1.8	1.8	－	－
70歳以上 n=109	**95.4**	22.0	30.3	71.6	0.9	1.8	－	6.4	－	3.7	2.8	1.8
男性 n=330	**74.5**	38.2	22.1	44.8	6.1	12.4	11.5	21.8	3.3	14.5	1.5	0.3
女性 n=380	**81.8**	32.9	24.7	46.6	3.4	17.6	7.4	21.8	1.1	7.1	1.1	0.8
その他 n=1	**100.0**	－	**100.0**	－	－	－	－	**100.0**	－	－	－	－

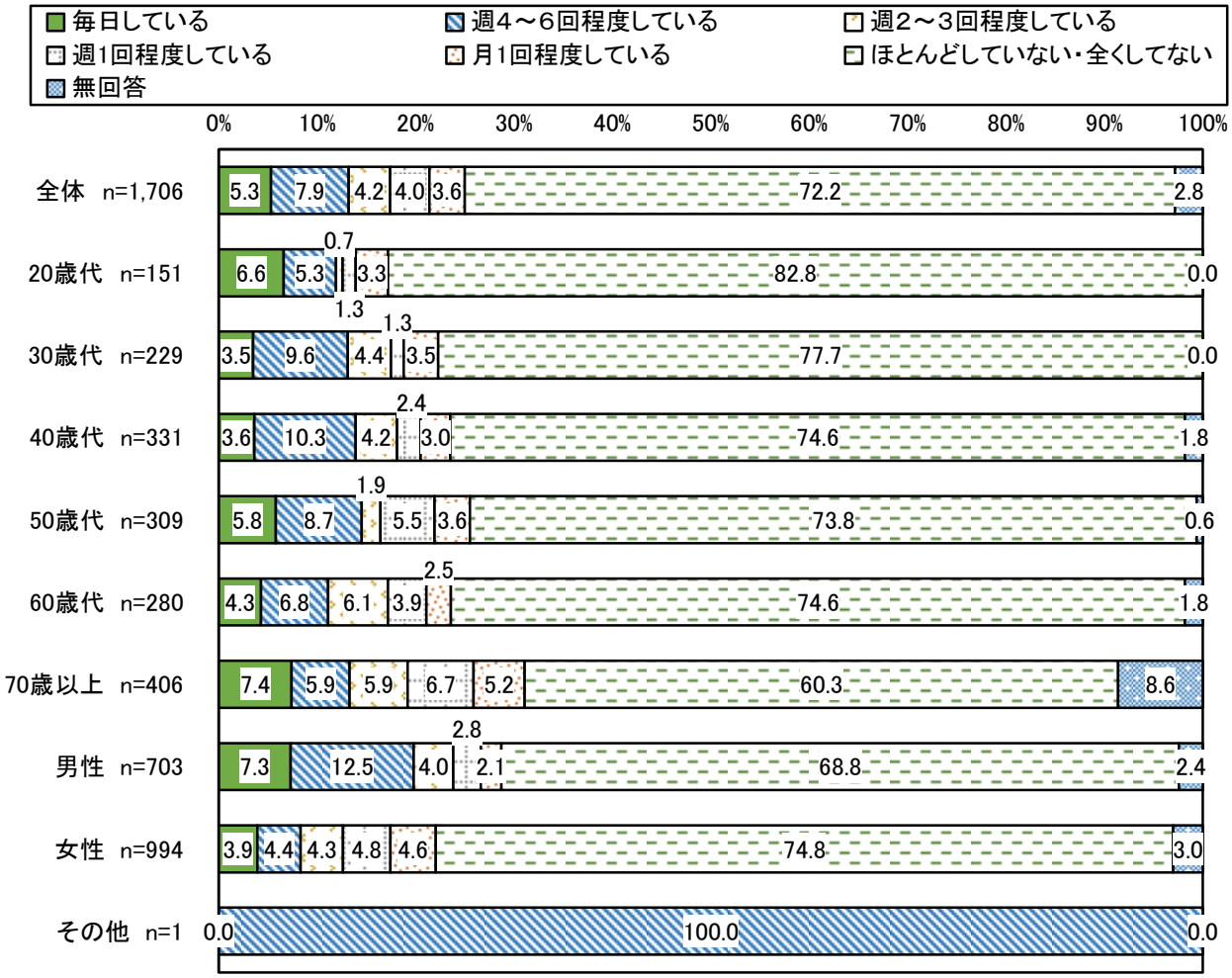
（4）ラジオ体操の頻度

問 38 「第2次スポーツ振興計画」における重点施策の一つに、「ラジオ体操の普及啓発」を掲げています。ラジオ体操をする頻度はどの程度ですか。（○は1つ）

ラジオ体操の頻度について、「毎日している」が 5.3%、「週４～６回程度している」が 7.9%、「週２～３回程度している」が 4.2%、「週１回程度している」が 4.0%、「月１回程度している」が 3.6%、「ほとんどしていない・全くしてない」が 72.2%となっていとなっており、“週に１回以上”ラジオ体操をしているのは 21.4%となっています。

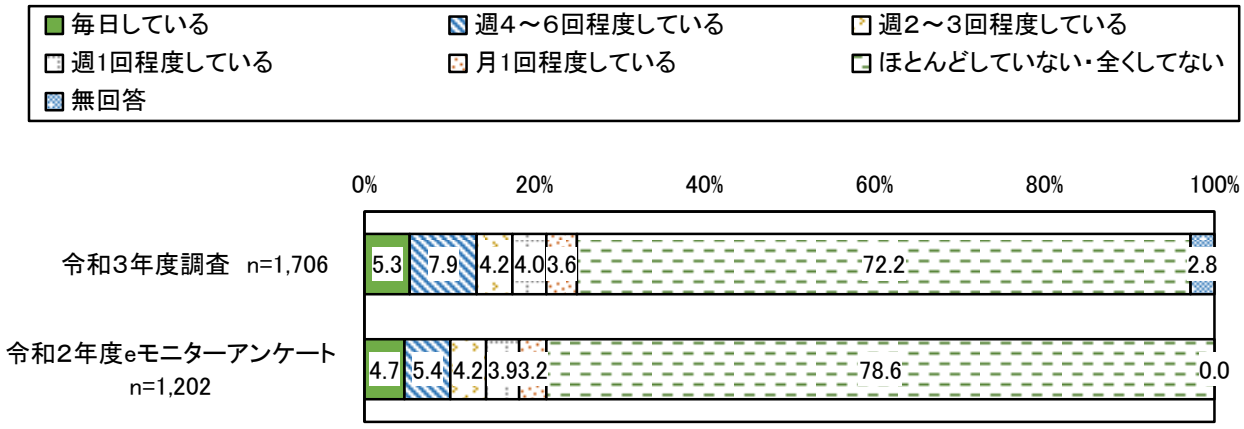
年齢別にみると、70 歳以上で“週１回以上”ラジオ体操をしているとの回答が 25.9%と他の年代に比べて多くなっている一方、20 歳代は 13.9%と他の年代に比べて少なくなっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも“週１回以上”ラジオ体操をしているとの回答が多くなっています。



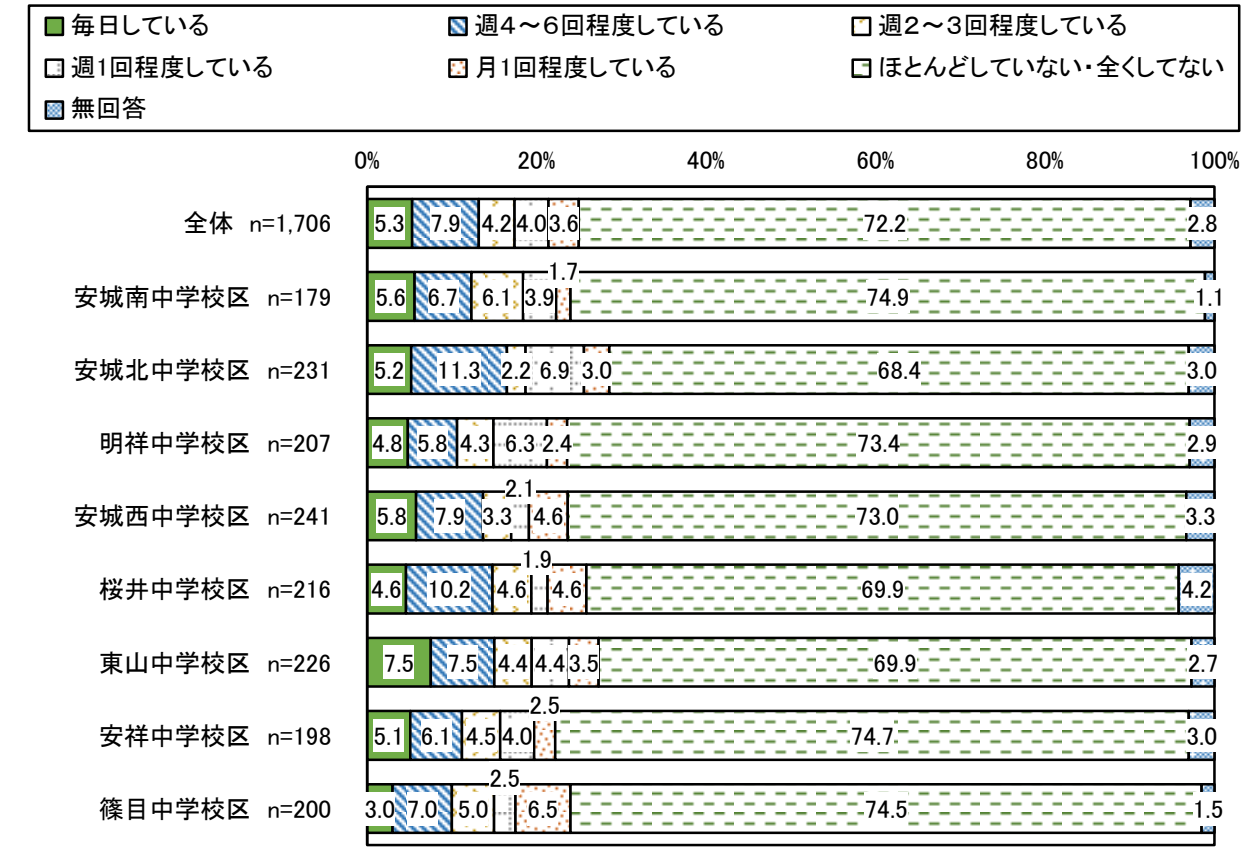
【経年比較】

令和２年度に実施した安城市ｅモニターアンケート調査結果と比較すると、“週１回以上”ラジオ体操をするとの回答について、今回調査では 21.4%、令和２年度調査では 18.2%と、今回調査では令和２年度調査に比べてやや増加しています。



【中学校区別】

中学校区別に見ると、「安城北中学校区」で“週１回以上”ラジオ体操をしているとの回答が 25.6%と他の年代に比べて多くなっている一方、「篠目中学校区」は 17.5%と他の中学校区に比べて少なくなっています。



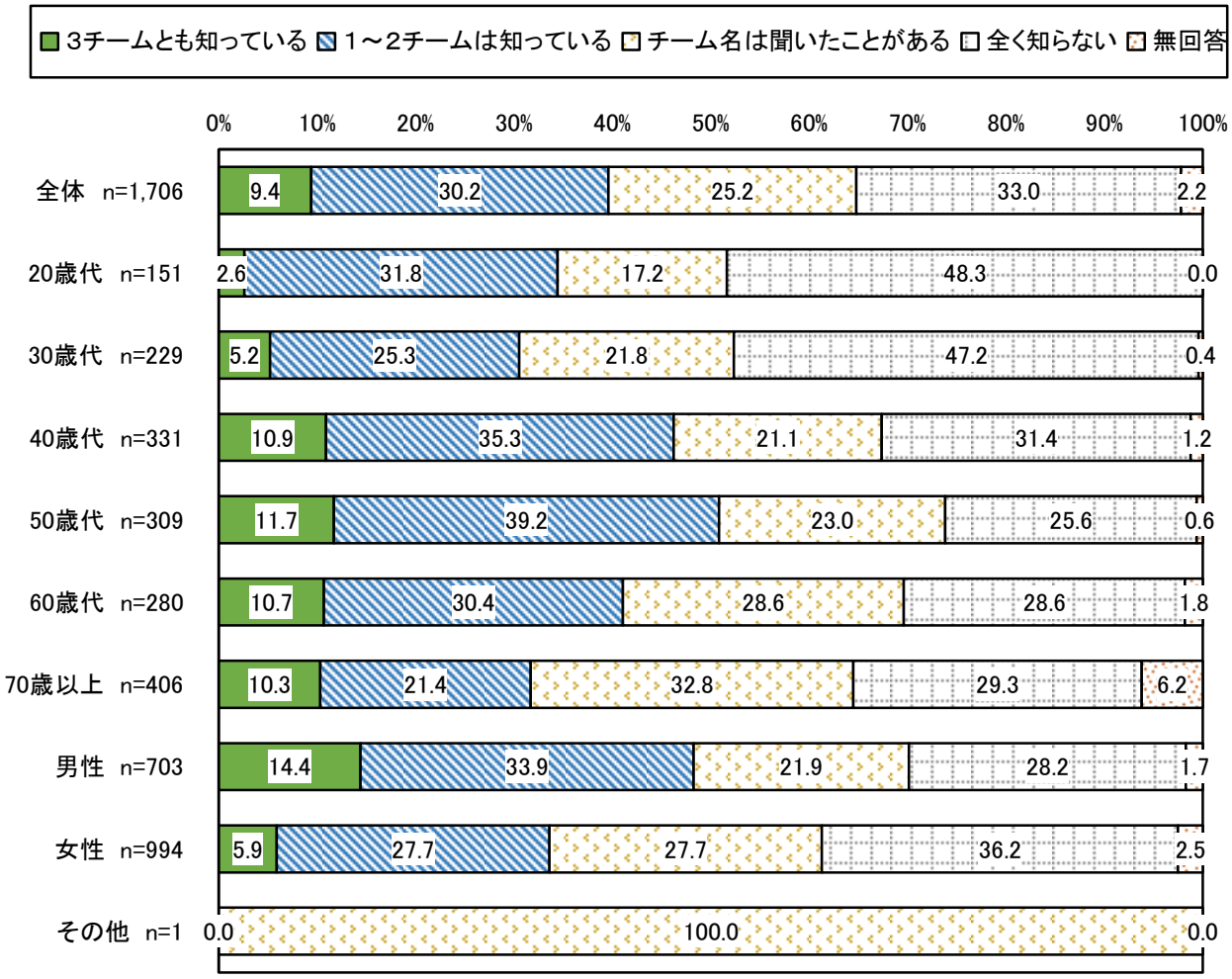
（5）企業チームの認知度

問 39　本市では、市内に拠点を置く3つの企業チーム「デンソーブライトペガサス（女子ソフトボール）」「アイシンウィングス（女子バスケットボール）」「GTRニッセイ（軟式野球）」をホームチームと位置づけ、市民でチームを応援して本市を盛り上げる事業として、『ホームチームサポーター事業』を平成28年度より展開しています。その3チームを知っていますか。（○は1つ）

市内に拠点を置く３つの企業チームの認知度について、「３チームとも知っている」が 9.4%、「１～２チームは知っている」が 30.2%、「チーム名は聞いたことがある」が 25.2%、「全く知らない」が 33.0%となっています。

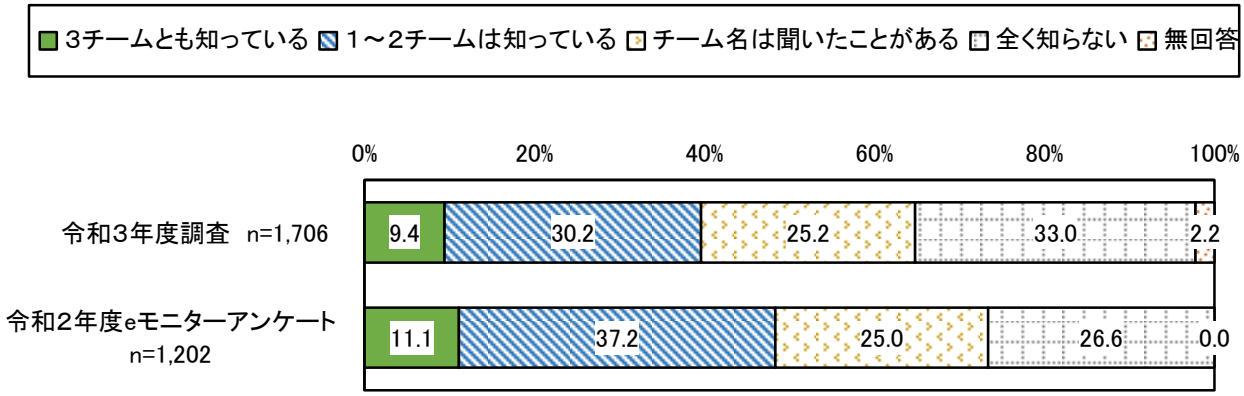
年齢別にみると、「３チームとも知っている」と「１～２チームは知っている」を合わせた“知っている”の回答について、50 歳代が 50.9%と他の年代に比べて最も多くなっている一方、20 歳代及び 30 歳代の「全く知らない」は５割弱と他の年代に比べて多くなっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも“知っている”が多くなっています。



【経年比較】

令和２年度に実施した安城市ｅモニターアンケート調査結果と比較すると、企業チームを“知っている”との回答について、今回調査では 39.6%、令和２年度調査では 48.3%と、今回調査では令和２年度調査に比べてやや減少しています。

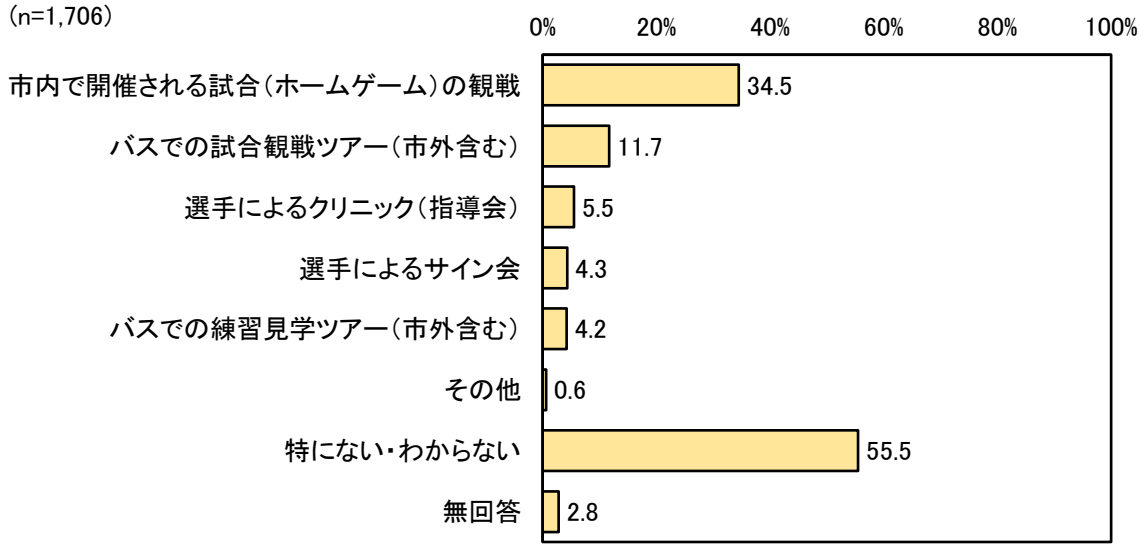


（6）ホームチームサポーター事業

問 40　ホームチームサポーター事業の企画の中で参加してみたいものはありますか。（○は**3つまで**）

参加してみたいホームチームサポーター事業の企画について、「市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦」が 34.5%で最も多く、次いで「バスでの試合観戦ツアー（市外含む）」が 11.7%、「選手によるクリニック（指導会）」が 5.5%、「選手によるサイン会」が 4.3%、「バスでの練習見学ツアー（市外含む）」が 4.2%となっています。

一方、「特にない・わからない」は 55.5%となっています。



【その他の回答】

子どもへの指導、選手によるトークショー

【年齢別、性別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦」が多くなっています。

性別にみると、男女ともに「市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦」が多くなっています。

一方、年齢別、性別ともに「特にない・わからない」５割程度以上となっています。

（%）	バスでの試合観戦ツアー（市外含む）	バスでの練習見学ツアー（市外含む）	市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦	選手によるクリニック（指導会）	選手によるサイン会	その他	特にない・わからない	無回答
全体　n=1,706	11.7	4.2	**34.5**	5.5	4.3	0.6	55.5	2.8
20歳代　n=151	11.3	3.3	**29.1**	7.3	5.3	－	58.9	－
30歳代　n=229	10.5	3.9	**35.8**	10.0	5.7	－	54.6	0.4
40歳代　n=331	12.1	4.8	**42.3**	10.0	6.6	1.2	48.0	1.2
50歳代　n=309	12.3	5.2	**42.4**	5.8	6.1	0.3	50.8	0.6
60歳代　n=280	12.9	3.6	**33.9**	1.1	2.9	1.4	57.9	2.1
70歳以上　n=406	10.8	3.7	**23.9**	1.2	1.0	0.5	62.6	8.6
男性　n=703	13.2	4.1	**38.1**	6.1	5.0	0.9	52.1	2.1
女性　n=994	10.7	4.2	**32.0**	4.9	3.8	0.4	57.9	3.2
その他　n=1	－	－	－	－	－	－	**100.0**	－

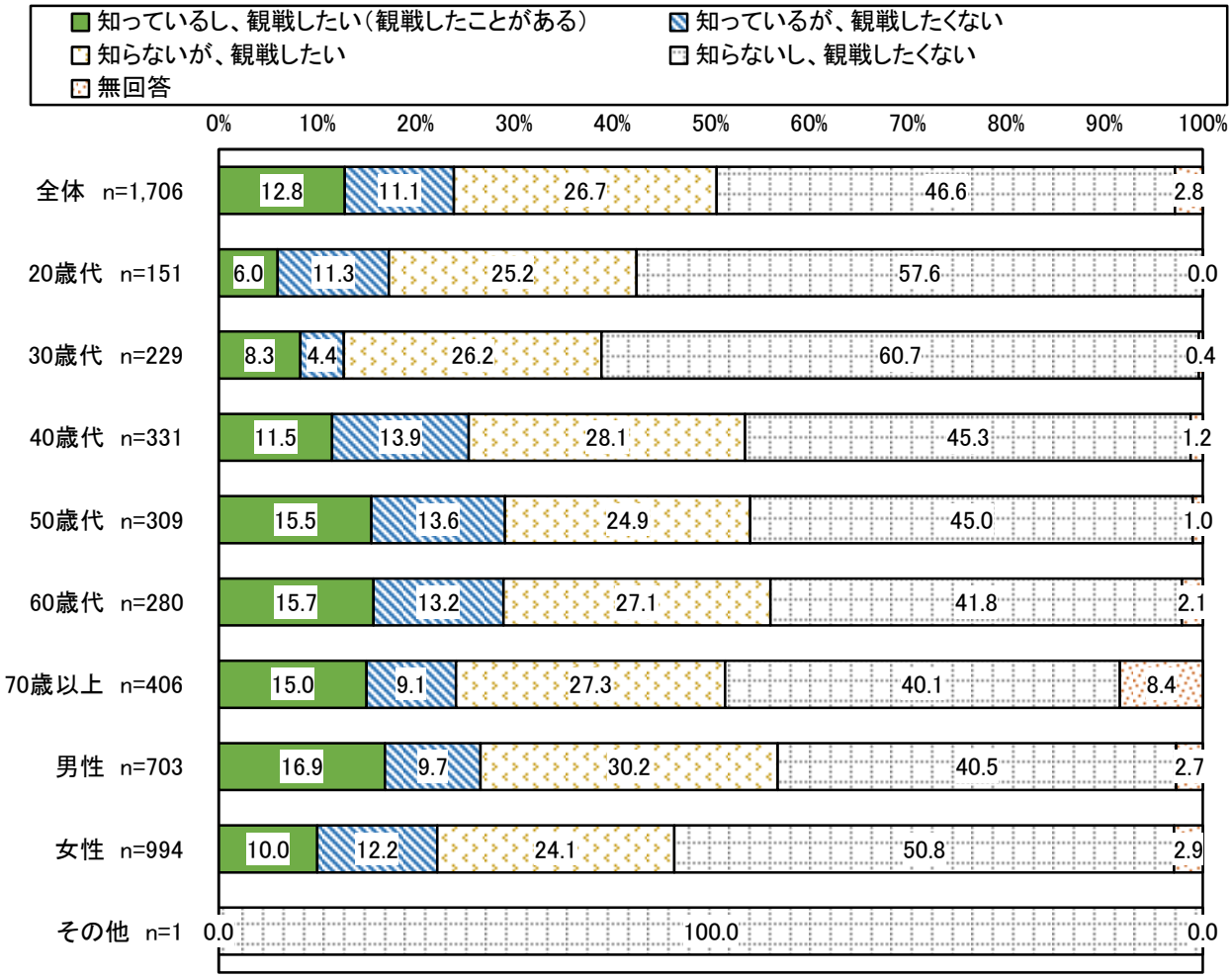
（7）「全日本大学女子ソフトボール選手権（インカレ）」の認知度と観戦意向

問 41　令和元年から安城で開催している「全日本大学女子ソフトボール選手権（インカレ）」を知っていますか。
また、その試合を観戦したいですか。（○は1つ）

「全日本大学女子ソフトボール選手権（インカレ）」の認知度及び観戦意向について、「知っているし、観戦したい（観戦したことがある）」が 12.8%、「知っているが、観戦したくない」が 11.1%、「知らないが、観戦したい」が 26.7%、「知らないし、観戦したくない」が 46.6%となっています。

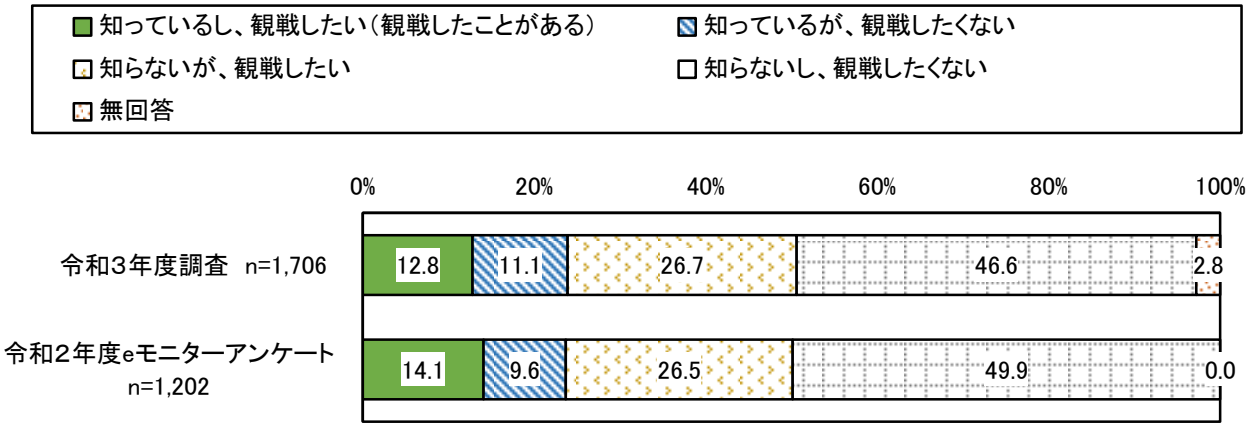
年齢別にみると、30 歳代で「知らないし、観戦したくない」の回答が 60.7%と他の年代に比べて最も多く、次いで 20 歳代が 57.6%となっています。

性別にみると、「知っているし、観戦したい（観戦したことがある）」と「知らないが、観戦したい」を合わせた“観戦したい”の回答について、男性では 47.1%、女性では 34.1%と男性の方が女性よりも 10 ポイント以上多くなっています。



【経年比較】

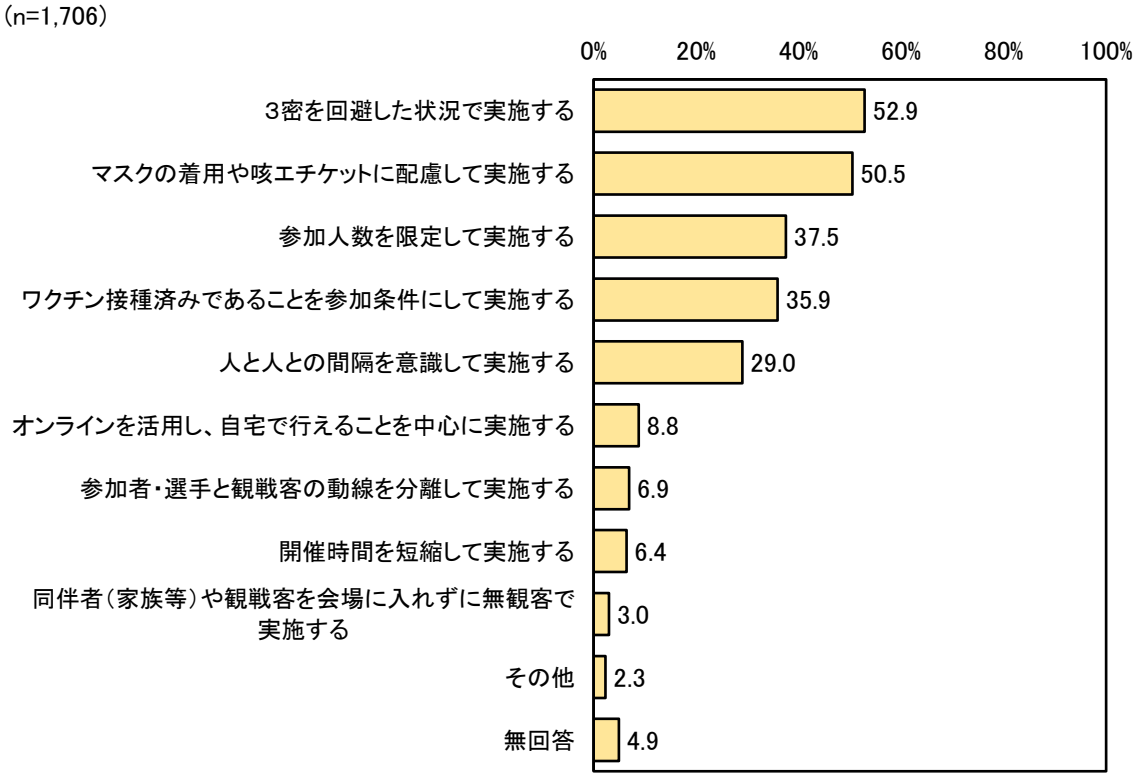
令和２年度に実施した安城市ｅモニターアンケート調査結果と比較すると、“観戦したい”の回答について、今回調査では 39.5%、令和２年度調査では 40.6%と、今回調査と令和２年度調査では大きな差が見られません。



（8）コロナ禍におけるスポーツイベントや教室等の実施方法

問 42　コロナ禍におけるスポーツイベントや教室等の実施方法としてどのような方法を望みますか。
（○は**3つまで**）

コロナ禍におけるスポーツイベントや教室等の実施方法として望ましい方法について、「３密を回避した状況で実施する」が 52.9%で最も多く、次いで「マスクの着用や咳エチケットに配慮して実施する」が 50.5%、「参加人数を限定して実施する」が 37.5%、「ワクチン接種済みであることを参加条件にして実施する」が 35.9%、「人と人との間隔を意識して実施する」が 29.0%となっています。



【その他の回答】

安城市のコロナ情報を発信して実施する、各自で考える、簡易検査で陰性であることを条件にする、コロナ禍では実施しない、コロナ禍に関係なく今まで通り実施する、状況に応じた感染対策を行う、ワクチン接種者限定は人権侵害ではないか

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代から 40 歳代では「３密を回避した状況で実施する」が、50 歳以上では「マスクの着用や咳エチケットに配慮して実施する」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「３密を回避した状況で実施する」が最も多くなっています。

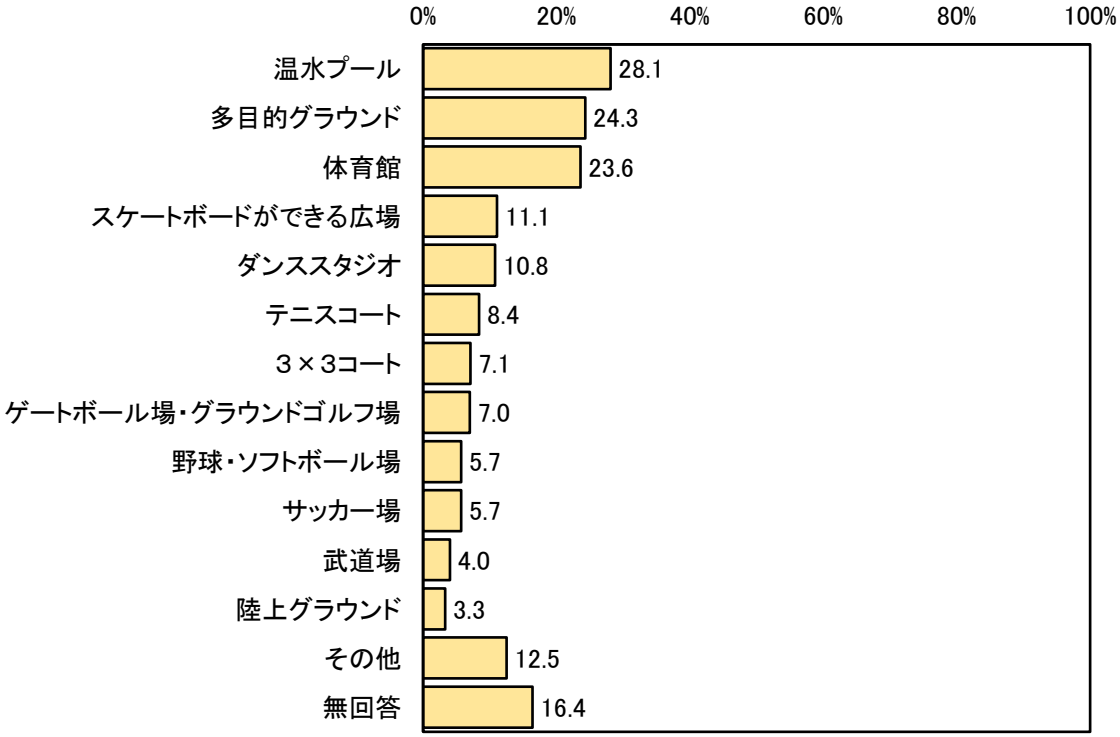
（%）	３密を回避した状況で実施する	マスクの着用や咳エチケットに配慮して実施する	人と人との間隔を意識して実施する	参加人数を限定して実施する	開催時間を短縮して実施する	オンラインを活用し、自宅で行えることを中心に実施する	参加者・選手と観戦客の動線を分離して実施する	同伴者（家族等）や観戦客を会場に入れずに無観客で実施する	ワクチン接種済みであることを参加条件にして実施する	その他	無回答
全体 n=1,706	**52.9**	50.5	29.0	37.5	6.4	8.8	6.9	3.0	35.9	2.3	4.9
20歳代 n=151	**59.6**	45.0	31.1	36.4	4.0	13.2	6.6	3.3	28.5	1.3	1.3
30歳代 n=229	**62.4**	48.0	31.4	48.0	4.8	10.9	4.4	3.1	29.3	0.9	1.7
40歳代 n=331	**52.6**	51.7	26.6	39.3	5.7	12.4	3.9	3.3	35.0	3.6	2.4
50歳代 n=309	51.8	**53.7**	29.1	39.5	7.1	8.7	9.1	3.6	35.6	2.3	1.9
60歳代 n=280	49.6	**52.9**	28.9	38.2	6.4	9.6	11.8	1.8	40.4	2.1	2.1
70歳以上 n=406	48.3	**48.8**	28.8	28.3	8.1	2.5	5.9	3.0	40.1	2.5	14.0
男性 n=703	**52.5**	47.8	28.9	31.3	5.5	8.4	7.8	2.6	40.5	2.8	4.6
女性 n=994	**53.2**	52.1	29.2	42.0	6.9	9.1	6.2	3.3	32.3	1.9	5.1
その他 n=1	**100.0**	**100.0**	－	－	－	－	－	－	**100.0**	－	－

（9）市内に新設、増設してほしいスポーツ施設

問 43　今後、安城市内で新設または増設してほしいスポーツ施設は何ですか。
以下の中から選んでください。（○は**3つまで**）

今後、安城市内で新設または増設してほしいスポーツ施設について、「温水プール」が 28.1％で最も多く、次いで「多目的グラウンド」が 24.3％、「体育館」が 23.6％、「スケートボードができる広場」が 11.1％、「ダンススタジオ」が 10.8％となっています。

（n=1,706）



【その他の回答】

ｅスポーツ施設、アイススケートリンク、ウォーキングコース、大きな公園、クライミング・ボルダリング施設、弓道場・アーチェリー場、ゴルフ場、サイクリングロード、サーフィン用のウェーブプール、スポーツジム・トレーニングジム・フィットネスジム、スケートボード練習施設、スノーボード・スキー練習場、卓球場、多目的施設、ドッグラン、バスケットゴールの増設、ハンドボールコート、ボクシングリング、ランニングコース、ロードレース用の道路整備、50ｍプール

【年齢別、性別】

年齢別にみると、20 歳代から 40 歳代では「温水プール」が、50 歳以上では「多目的グラウンド」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「多目的グラウンド」が、女性では「温水プールが、それぞれ最も多くなっています。」

（%）	体育館	陸上グラウンド	サッカー場	野球・ソフトボール場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	ダンススタジオ	スケートボードができる広場	多目的グラウンド	3×3コート	その他	無回答
全体 n=1,706	23.6	3.3	5.7	5.7	**28.1**	8.4	4.0	7.0	10.8	11.1	24.3	7.1	12.5	16.4
20歳代 n=151	29.8	4.0	9.3	4.6	**34.4**	12.6	4.0	4.0	14.6	13.9	25.2	7.3	11.9	7.3
30歳代 n=229	38.9	5.7	8.7	6.1	**44.1**	10.0	4.8	1.7	17.5	14.8	21.0	9.2	10.9	4.8
40歳代 n=331	24.8	2.4	6.0	6.9	**29.6**	12.7	3.0	2.4	12.4	16.9	20.2	12.4	15.7	11.8
50歳代 n=309	23.3	4.2	5.5	3.9	27.5	11.7	3.6	6.1	12.6	12.0	**28.5**	8.4	14.2	12.0
60歳代 n=280	19.3	1.8	3.6	6.1	23.9	3.6	6.4	8.6	7.9	7.9	**26.8**	4.6	13.2	16.8
70歳以上 n=406	14.8	2.7	3.9	6.2	18.7	3.4	3.0	14.3	5.2	4.9	**24.1**	2.2	9.4	33.3
男性 n=703	23.2	4.1	8.0	9.4	26.5	9.0	5.4	7.5	5.3	9.7	**26.7**	7.3	15.8	13.5
女性 n=994	23.6	2.7	4.1	3.2	**29.3**	8.1	2.9	6.6	14.7	12.3	22.6	6.9	10.3	18.3
その他 n=1	**100.0**	－	－	－	－	－	**100.0**	－	－	－	－	－	－	－

【中学校区別】

中学校区別にみると、多くの中学校区で「温水プール」が最も多くなっており、特に「安城西中学校区」が 32.0%と他の中学校区に比べて最も多くなっています。

（%）	体育館	陸上グラウンド	サッカー場	野球・ソフトボール場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	ダンススタジオ	スケートボードができる広場	多目的グラウンド	3×3コート	その他	無回答
全体 n=1,706	23.6	3.3	5.7	5.7	**28.1**	8.4	4.0	7.0	10.8	11.1	24.3	7.1	12.5	16.4
安城南中学校区 n=179	26.3	4.5	5.6	4.5	**31.3**	9.5	3.9	8.9	8.9	10.1	26.8	6.1	15.1	14.5
安城北中学校区 n=231	21.2	2.6	4.8	3.5	**25.5**	9.1	4.8	8.2	12.1	13.9	17.3	8.7	13.9	17.7
明祥中学校区 n=207	18.8	1.9	5.8	9.2	21.3	9.7	3.9	5.3	11.1	12.1	**22.2**	5.8	12.6	21.7
安城西中学校区 n=241	21.2	2.1	6.6	6.2	**32.0**	6.2	5.0	7.1	12.0	7.9	22.8	7.9	11.6	17.0
桜井中学校区 n=216	25.9	5.6	6.9	6.9	**30.6**	7.9	3.2	5.6	9.7	8.8	26.4	6.0	16.2	13.0
東山中学校区 n=226	24.3	3.1	5.8	4.9	**29.6**	12.4	2.7	7.5	8.0	17.3	27.4	8.4	11.9	12.8
安祥中学校区 n=198	25.8	3.0	3.0	3.5	**27.8**	4.5	3.5	8.6	13.1	11.1	27.3	6.6	9.1	17.2
篠目中学校区 n=200	**26.5**	4.0	7.0	7.5	**26.5**	8.0	4.5	4.0	12.0	7.5	24.5	7.0	10.5	16.5

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、スポーツ・運動の頻度にかかわらず、「温水プール」、「多目的グラウンド」の回答が多くなっています。特に、スポーツ・運動はしない人の「温水プール」の回答が 30.4％と、月に１日以上スポーツをする人の回答に比べて多くなっています。

（%）	体育館	陸上グラウンド	サッカー場	野球・ソフトボール場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	ダンススタジオ	スケートボードができる広場	多目的グラウンド	3×3コート	その他	無回答
全体 n=1,706	23.6	3.3	5.7	5.7	**28.1**	8.4	4.0	7.0	10.8	11.1	24.3	7.1	12.5	16.4
週に5日以上 n=144	16.7	4.2	6.3	3.5	23.6	4.2	4.9	11.8	9.0	11.1	**25.7**	4.2	11.1	23.6
週に3～4日 n=198	22.7	3.5	3.5	5.6	**27.8**	7.1	2.5	13.6	8.6	13.6	27.3	6.1	13.6	14.1
週に1～2日 n=382	**26.4**	4.2	6.8	5.8	25.9	11.0	5.0	6.3	12.8	8.9	22.8	7.1	14.9	12.6
月に1～2日程度 n=212	26.9	5.7	9.9	10.8	**27.8**	9.9	7.1	3.8	9.9	10.4	22.2	8.5	12.7	15.6
スポーツ･運動はしない n=754	23.2	1.9	4.4	4.8	**30.4**	7.8	2.9	5.4	11.1	12.1	24.8	7.6	11.0	17.5

10　施設利用について

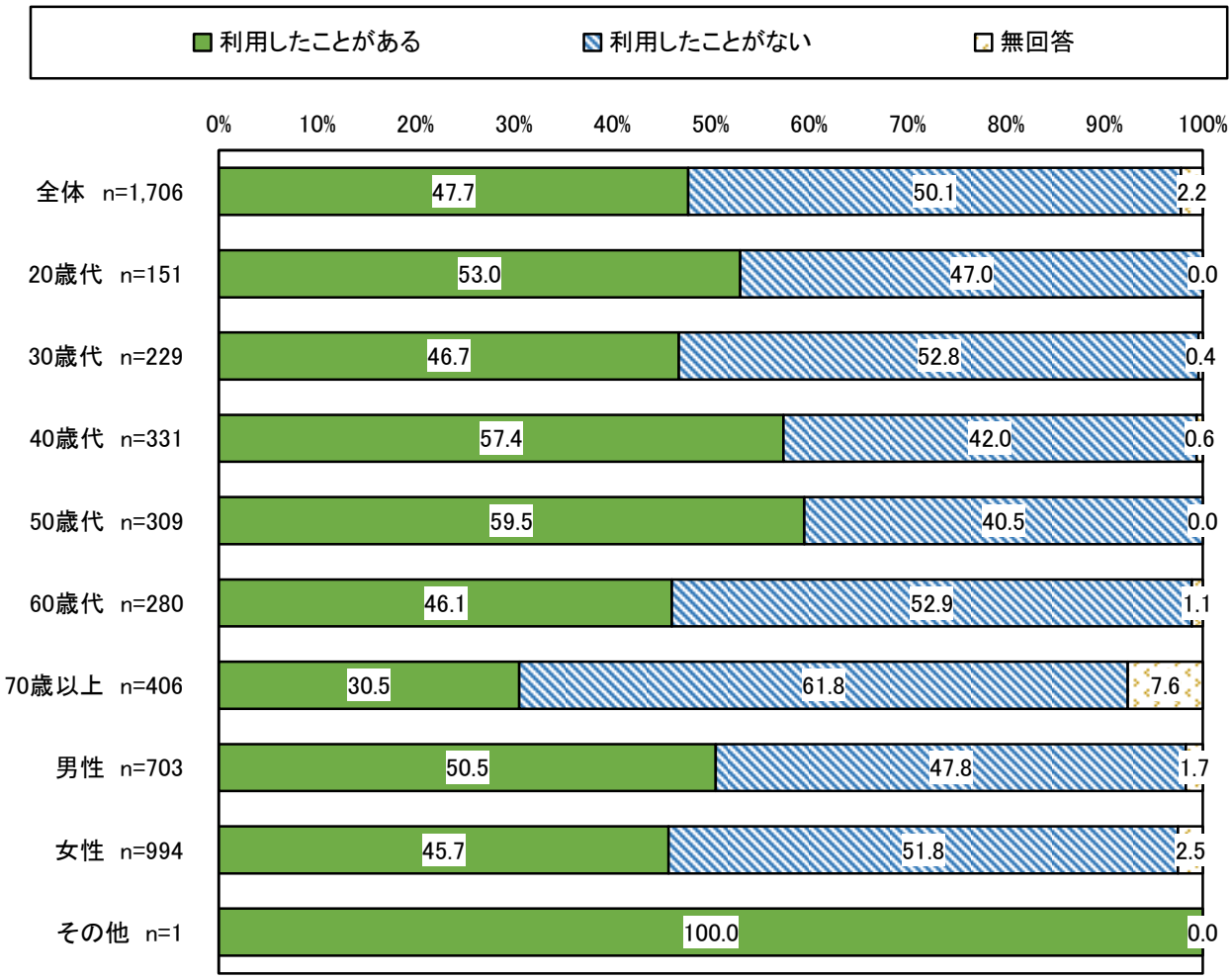
（1）スポーツ施設の利用

問 44　あなたは、総合運動公園内のスポーツ施設を利用したことがありますか。（○は1つ）

総合運動公園内のスポーツ施設の利用について、「利用したことがある」が 47.7%、「利用したことがない」が 50.1%となっています。

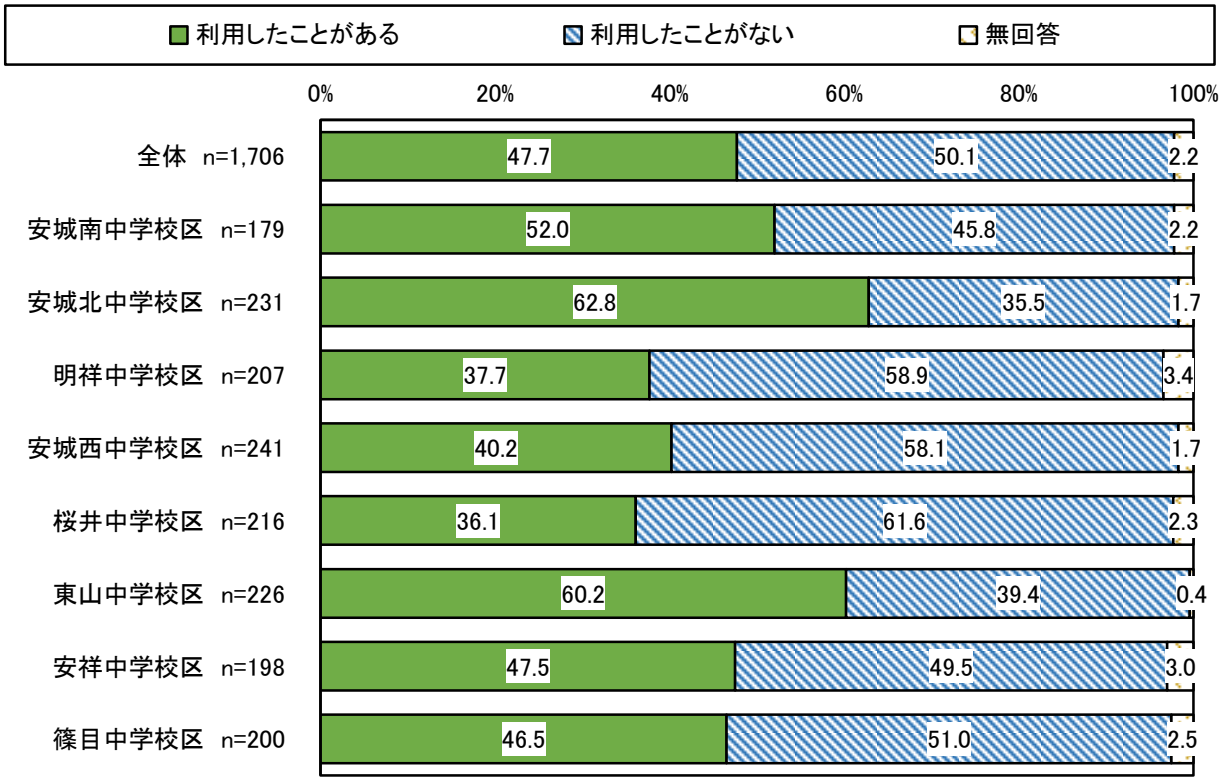
年齢別にみると、50 歳代で「利用したことがある」の回答が 59.5%と他の年代に比べて最も多く、次いで 40 歳代が 57.4%、20 歳代が 53.0%となっています。

性別にみると、男性の方が女性よりも「利用したことがある」の回答が多くなっています。



【中学校区別】

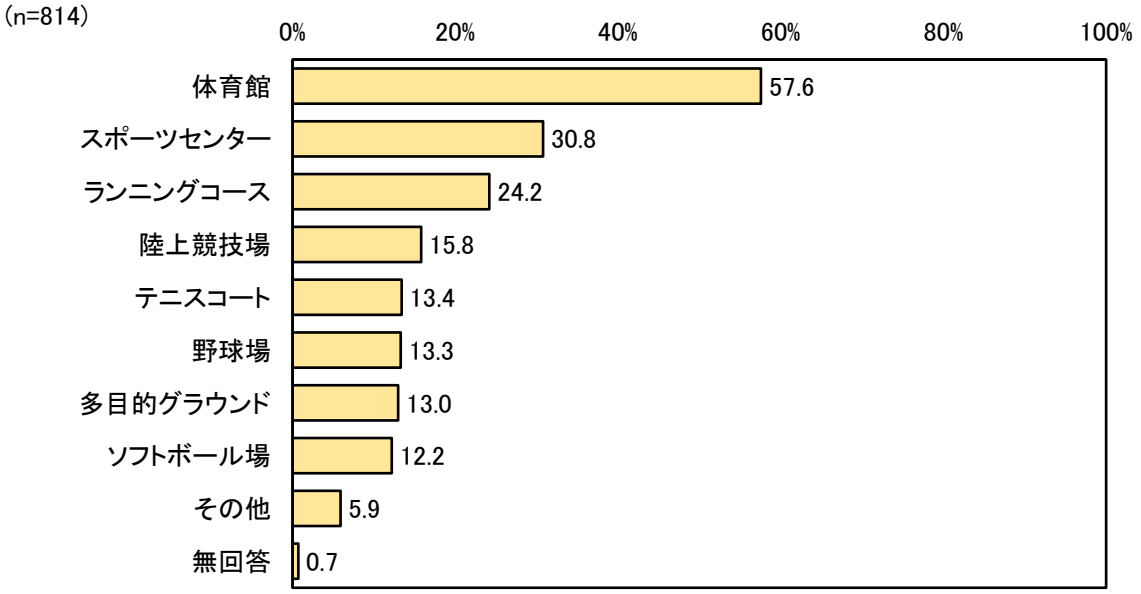
中学校区別にみると、「安城北中学校区」と「東山中学校区」では、「利用したことがある」がともに６割以上と、他の中学校区に比べて多くなっています。一方、「明祥中学校区」と「桜井中学校区」では、「利用したことがある」がともに４割未満と他の中学校区に比べて少なくなっています。



（2）総合運動公園内のスポーツ施設の利用

問 45　問 44 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、総合運動公園内のスポーツ施設で利用したことがある施設はどれですか。
（○は**3つまで**）

総合運動公園内のスポーツ施設を「利用したことがある」と回答した人に、利用したことがある施設を尋ねると、「体育館」が 57.6％で最も多く、次いで「スポーツセンター」が 30.8％、「ランニングコース」が 24.2％、「陸上競技場」が 15.8％、「テニスコート」が 13.4％となっています。



【その他の回答】
剣道場、弓道場、グラウンドゴルフ場、ジム・トレーニングルーム、プール・温水プール、卓球場、武道場

【年齢別、性別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「体育館」が最も多くなっています。また、40 歳代から 60 歳代で「スポーツセンター」が３割以上と他の年代に比べて多くなっています。

性別にみると、男女ともに「体育館」が最も多くなっています。また、「スポーツセンター」、「テニスコート」は、女性の方が男性よりも回答が多くなっています。

（%）	体育館	野球場	陸上競技場	ソフトボール場	スポーツセンター	テニスコート	多目的グラウンド	ランニングコース	その他	無回答
全体 n=814	**57.6**	13.3	15.8	12.2	30.8	13.4	13.0	24.2	5.9	0.7
20歳代 n=80	**60.0**	12.5	21.3	12.5	26.3	12.5	15.0	21.3	6.3	1.3
30歳代 n=107	**56.1**	16.8	19.6	10.3	29.9	13.1	11.2	24.3	1.9	0.9
40歳代 n=190	**53.2**	13.7	16.8	10.0	34.2	13.7	17.4	27.9	7.9	－
50歳代 n=184	**62.0**	12.5	17.4	13.6	34.8	16.8	10.3	27.7	6.0	0.5
60歳代 n−129	**60.5**	9.3	14.0	13.2	31.0	14.0	7.8	21.7	6.2	1.6
70歳以上 n=124	**54.8**	15.3	7.3	13.7	23.4	8.1	16.1	17.7	5.6	0.8
男性 n=355	**49.6**	22.0	19.4	17.5	26.8	10.1	15.8	26.2	7.3	0.8
女性 n=454	**63.7**	6.4	13.2	8.1	33.9	15.9	10.8	22.7	4.8	0.7
その他 n=1	**100.0**	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【中学校区別】

中学校区別にみると、いずれの中学校区でも「体育館」が最も多くなっており、特に「安城南中学校区」、「安城西中学校区」、「篠目中学校区」で６割以上となっています。また、「東山中学校区」では「スポーツセンター」が 43.4%と他の中学校区に比べて最も多くなっています。

（%）	体育館	野球場	陸上競技場	ソフトボール場	スポーツセンター	テニスコート	多目的グラウンド	ランニングコース	その他	無回答
全体 n=814	**57.6**	13.3	15.8	12.2	30.8	13.4	13.0	24.2	5.9	0.7
安城南中学校区 n=93	**63.4**	12.9	11.8	14.0	31.2	14.0	14.0	22.6	6.5	－
安城北中学校区 n=145	**57.2**	6.2	10.3	6.9	37.2	18.6	6.2	35.2	9.0	1.4
明祥中学校区 n=78	**42.3**	20.5	24.4	12.8	17.9	11.5	21.8	17.9	2.6	1.3
安城西中学校区 n=97	**60.8**	22.7	19.6	13.4	22.7	9.3	16.5	19.6	2.1	1.0
桜井中学校区 n=78	**51.3**	14.1	24.4	15.4	24.4	9.0	20.5	17.9	5.1	1.3
東山中学校区 n=136	**58.8**	9.6	13.2	9.6	43.4	14.7	12.5	26.5	5.9	－
安祥中学校区 n=94	**58.5**	14.9	10.6	18.1	22.3	10.6	13.8	21.3	9.6	－
篠目中学校区 n=93	**64.5**	11.8	19.4	11.8	35.5	15.1	5.4	23.7	4.3	1.1

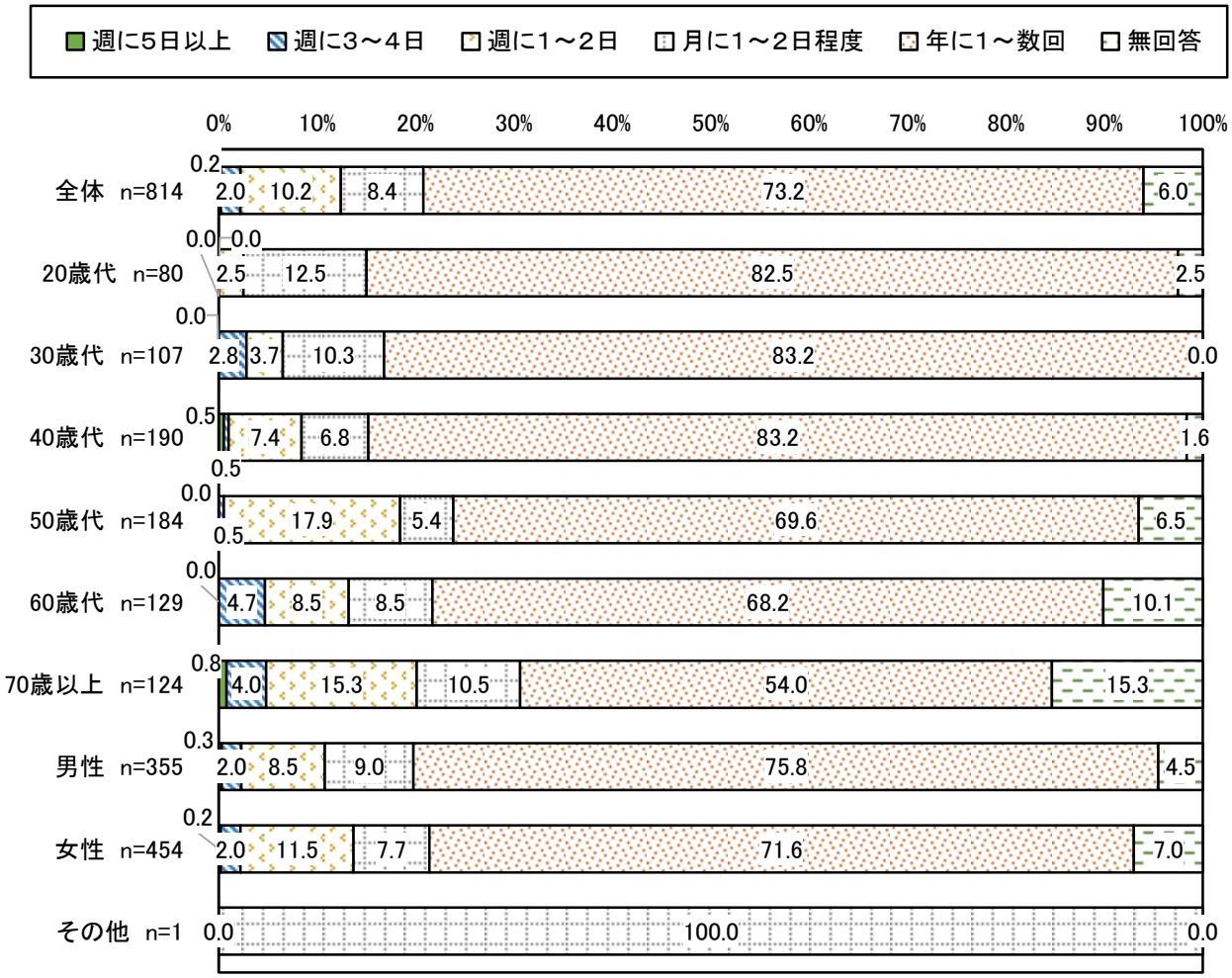
（3）スポーツ施設の利用頻度

問 46　問 44 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、どのくらいの頻度で施設を利用していますか。（○は1つ）

総合運動公園内のスポーツ施設を「利用したことがある」と回答した人に、施設の利用頻度を尋ねると、「週に５日以上」が 0.2%、「週に３～４日」が 2.0%、「週に１～２日」が 10.2%、「月に１～２日程度」が 8.4%、「年に１～数回」が 73.2%となっており“週に１日以上”スポーツ施設を利用しているのは 12.4%となっています。

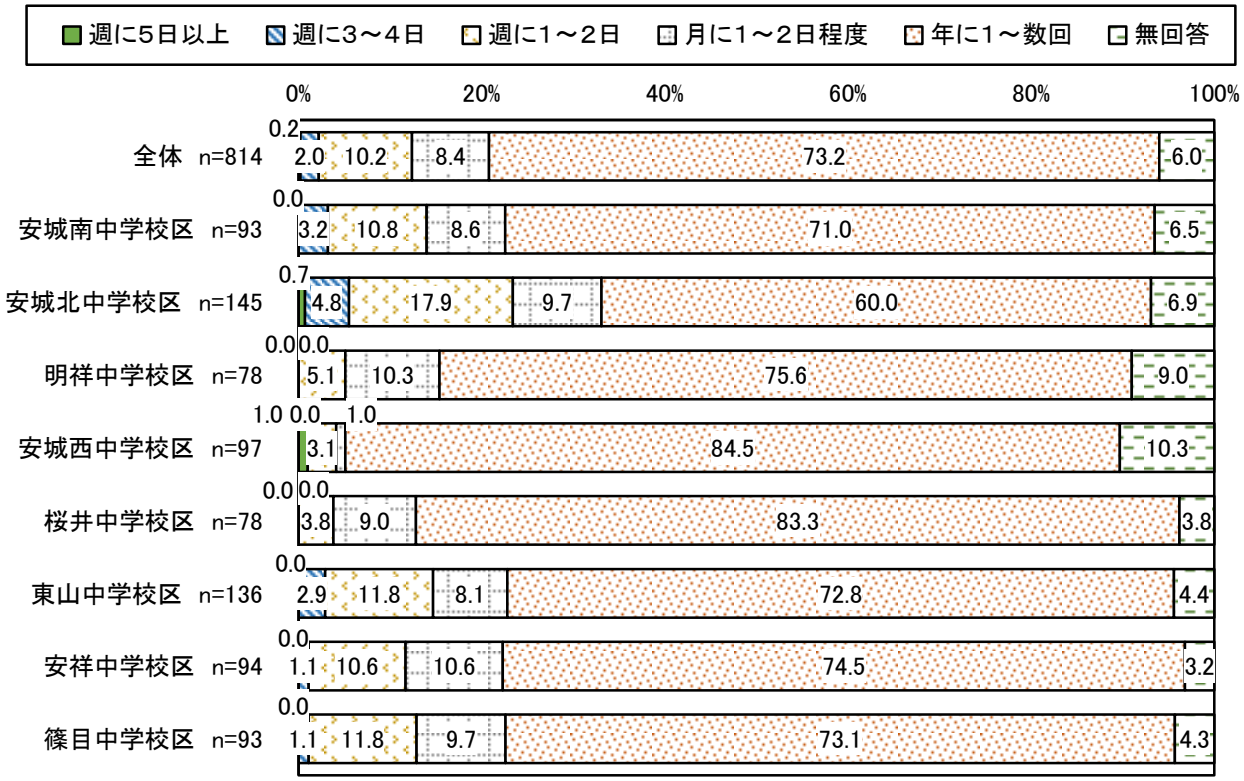
年齢別にみると、70 歳代以上で“週に１日以上”施設を利用しているとの回答が 20.1%と他の年代に比べて最も多くなっています。

性別にみると、女性の方が男性よりも“週に１日以上”施設を利用しているとの回答が多くなっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、「安城北中学校区」で“週に１日以上”施設を利用しているとの回答が 18.4%と他の年代に比べて最も多くなっています。一方、「安城西中学校区」と「桜井中学校区」で「月に１～２日程度」施設を利用しているとの回答が８割以上となっています。



（4）スポーツ施設の満足度

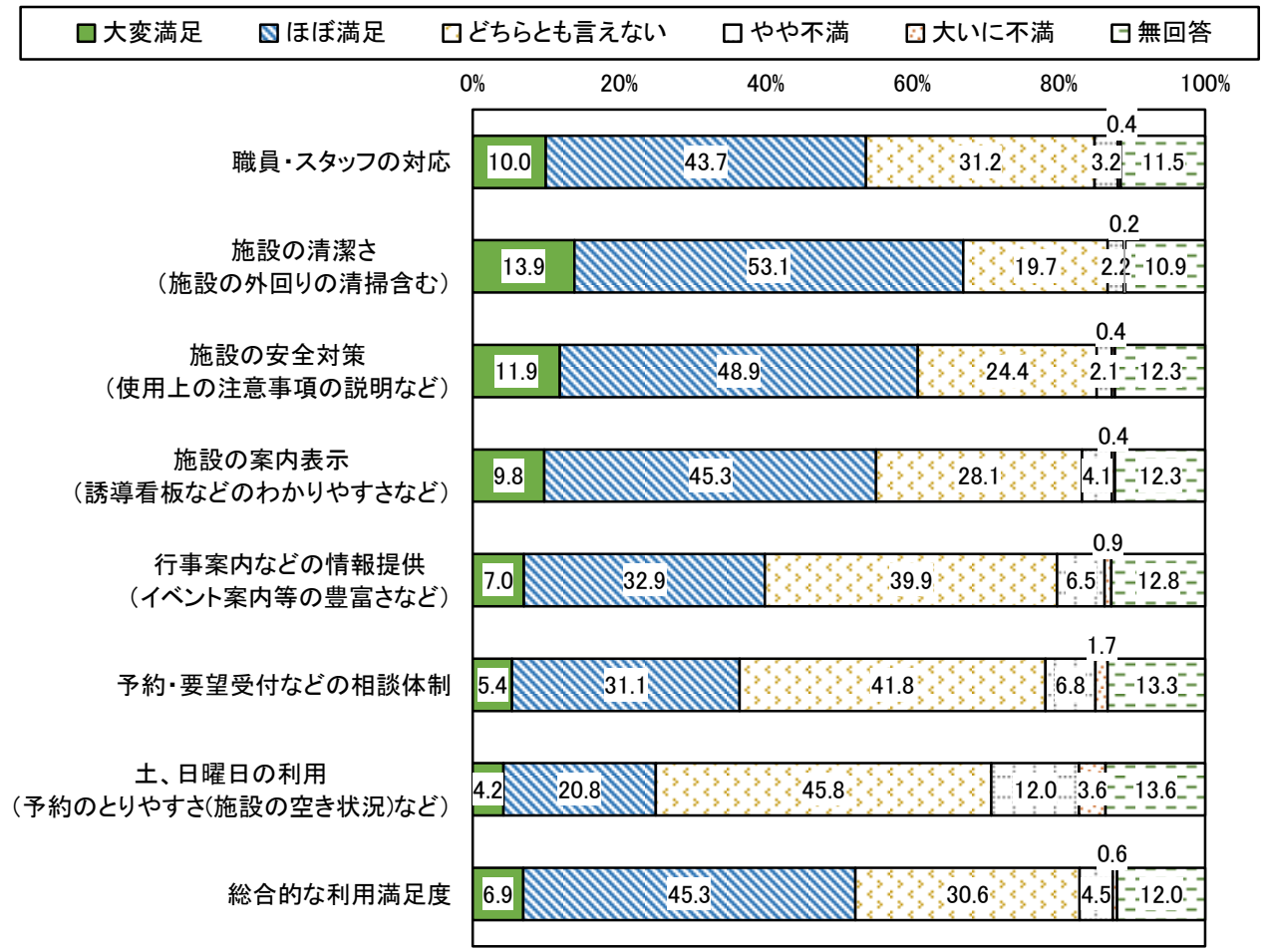
問 47　問 44 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
利用した結果の満足度を教えてください。該当する番号に○印をつけてください。
（それぞれ○は1つ）

総合運動公園内のスポーツ施設を「利用したことがある」と回答した人に、利用した結果の満足度を尋ねると、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた“満足”の回答が最も多いのは、「施設の清潔さ（施設の外回りの清掃含む）」（67.0%）となっています。

一方、「やや不満」と「大いに不満」を合わせた“不満”の回答が最も多いのは、「土、日曜日の利用（予約のとりやすさ(施設の空き状況)など）」（15.6%）となっています。

総合的な利用満足度について、“満足”が 52.2%、「どちらとも言えない」が 30.6%、“不満”が 5.1%となっています。

(n=814)



11　オリンピック・パラリンピックについて

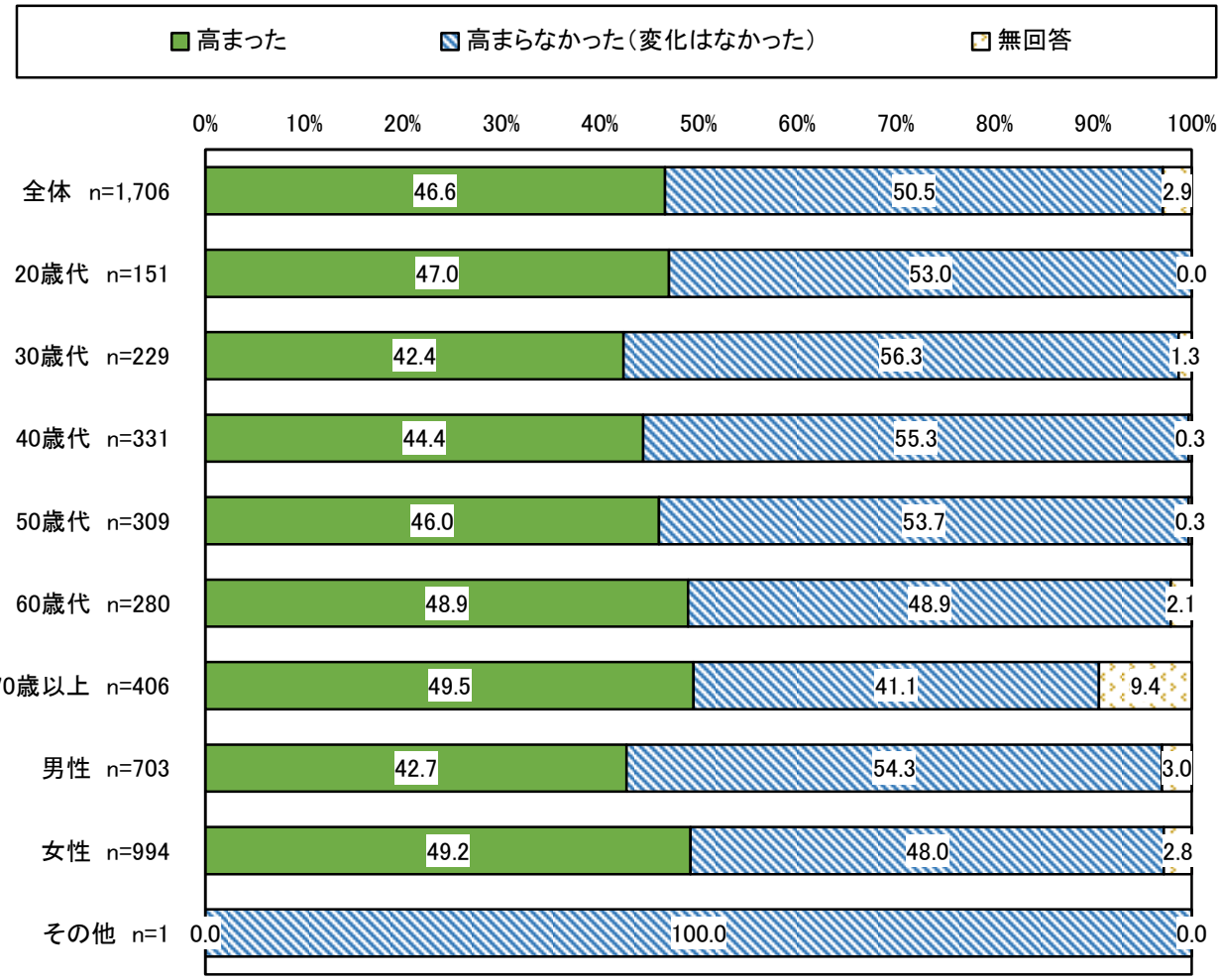
（1）東京オリンピック・パラリンピック開催を通じたスポーツに対する関心の高まりについて

問 48　東京オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツに対する関心が高まりましたか。（○は1つ）

東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツに対する関心の高まりについて、「高まった」が 46.6%、「高まらなかった（変化はなかった）」が 50.5%となっています。

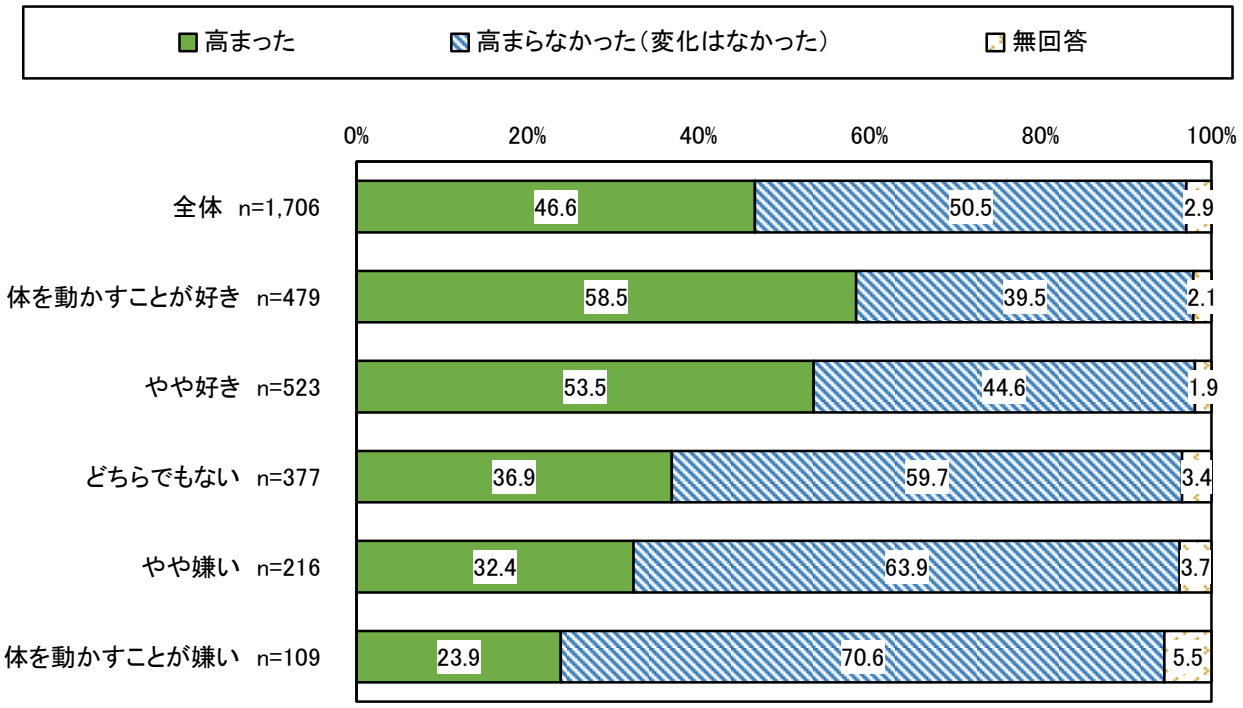
年齢別にみると、いずれの年代でも「高まった」が４割以上となっています。

性別にみると、女性の方が男性よりも「高まった」の回答が多くなっています。



【スポーツ･運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別に見ると、体を動かすことが好きな人ほど、スポーツに対する関心が「高まった」との回答が多くなっています。



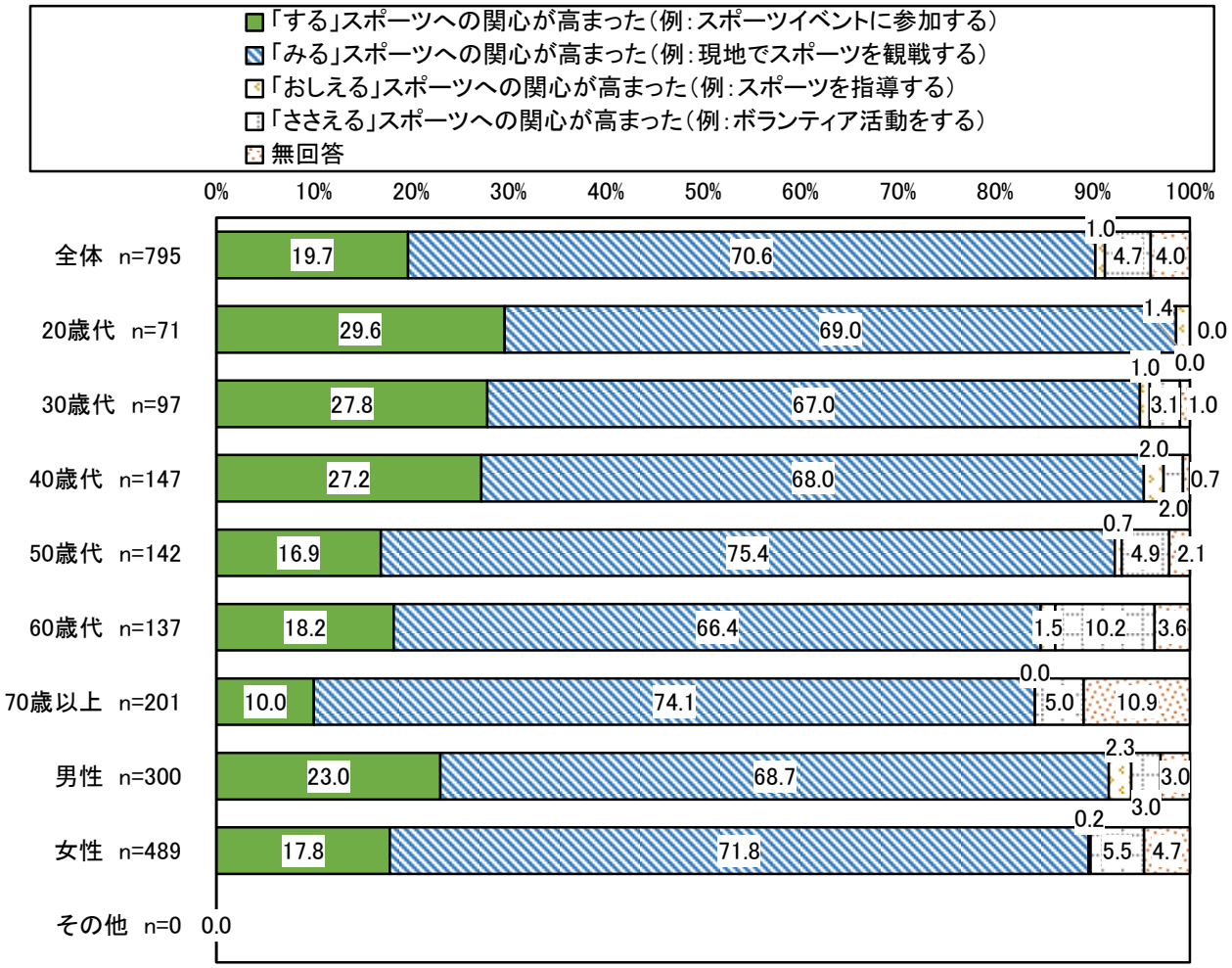
（2）関心の高まったスポーツ

問 49　問 48 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
本市では、スポーツ振興計画に基づき「する」「みる」「おしえる」「ささえる」スポーツの振興にそれぞれ取り組んでいます。東京オリンピック・パラリンピックが開催されてから、あなた自身の変化に最もあてはまるものは何ですか。（○は1つ）

東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じてスポーツに対する関心が「高まった」と回答した人に、変化に最もあてはまるものを尋ねると、「「する」スポーツへの関心が高まった」が 19.7%、「「みる」スポーツへの関心が高まった」が 70.6%、「「おしえる」スポーツへの関心が高まった」が 1.0%、「「ささえる」スポーツへの関心が高まった」が 4.7%なっています。

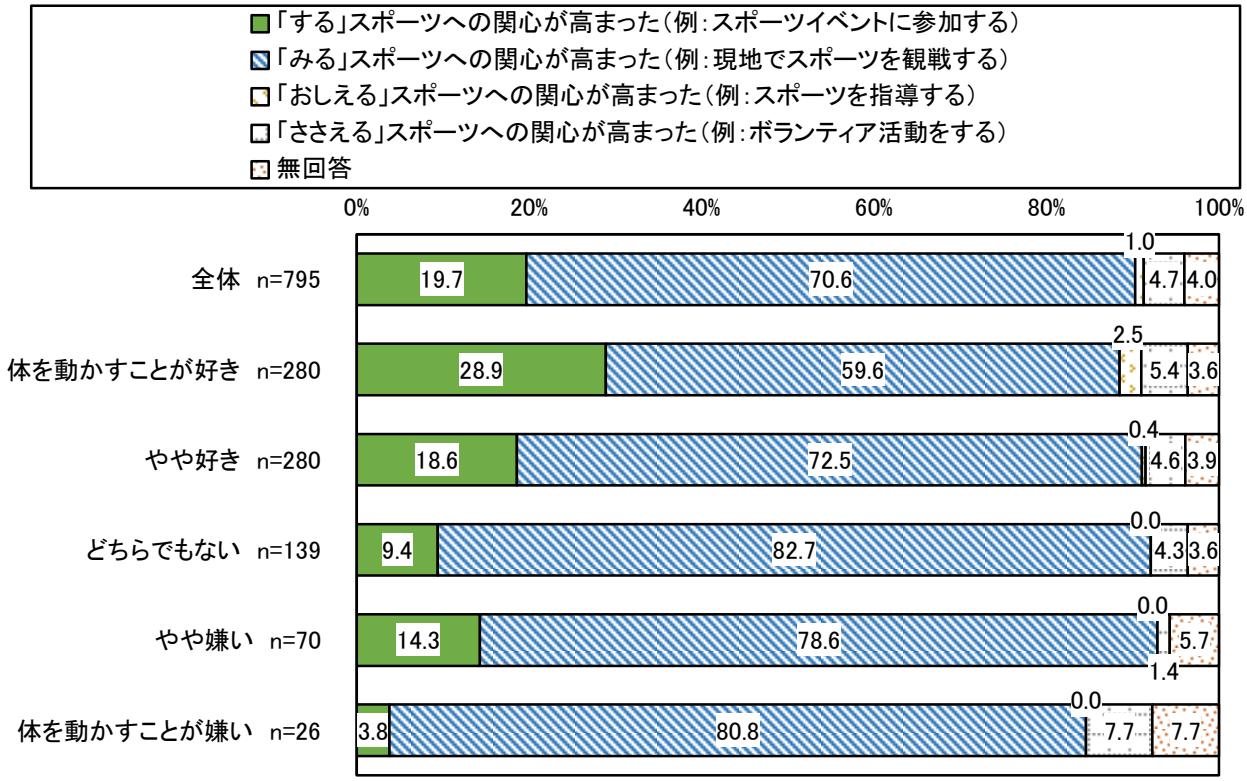
年齢別にみると、いずれの年代でも「「みる」スポーツへの関心が高まった」が最も多くなっています。また、20 歳代から 40 歳代では「「する」スポーツへの関心が高まった」が３割程度となっています。

性別にみると、男女ともに「「みる」スポーツへの関心が高まった」が最も多くなっています。



【スポーツ・運動の好嫌度別】

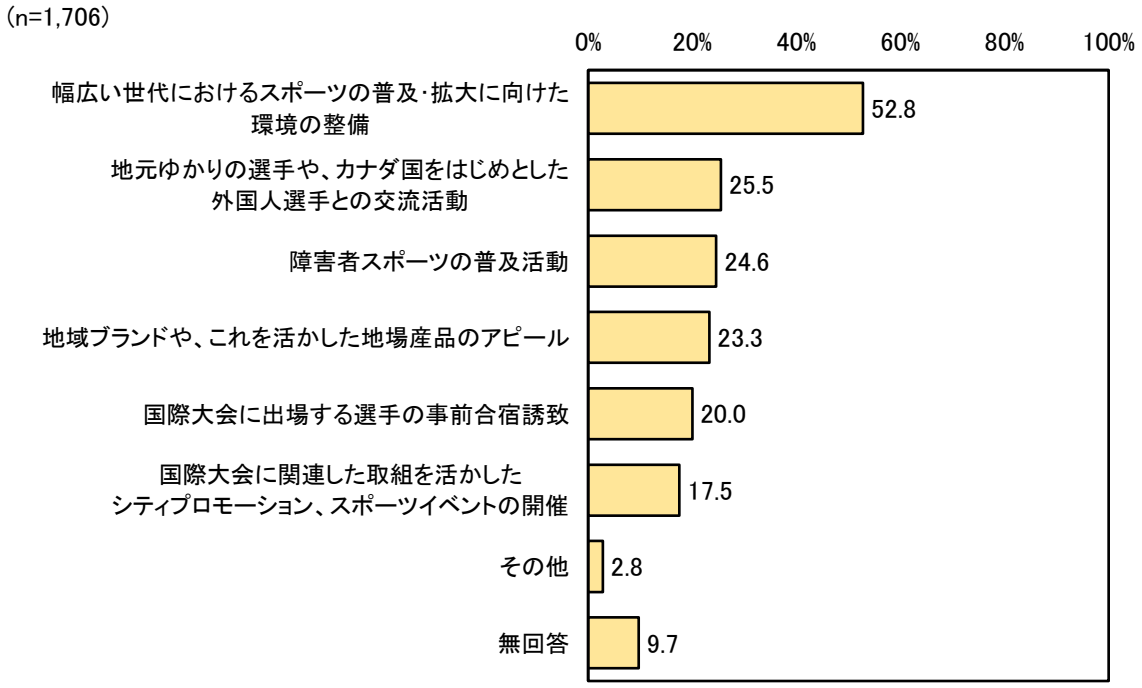
スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが「やや嫌い」と回答した人について、「「する」スポーツへの関心が高まった」が 14.3%となっています。また、体を動かすことが「嫌い」と回答した人について、「「ささえる」スポーツへの関心が高まった」が 7.7%となっています。



（3）今後取り組んでいくことが望ましい事

問 50　東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことを踏まえ、本市が今後取り組んでいくことが望ましい事は何だと思いますか。（○は**3つまで**）

東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことを踏まえ、市が今後取り組んでいくことが望ましい事について、「幅広い世代におけるスポーツの普及・拡大に向けた環境の整備」が52.8％で最も多く、次いで「地元ゆかりの選手や、カナダ国をはじめとした外国人選手との交流活動」が25.5％、「障害者スポーツの普及活動」が24.6％、「地域ブランドや、これを活かした地場産品のアピール」が23.3％、「国際大会に出場する選手の事前合宿誘致」が20.0％となっています。



【その他の回答】

運動会の実施、基礎体力をつけさせる、子どもが熱中して多様な競技にチャレンジできる環境づくり、サッカークラブチームを作る、ジュニアの育成、小中学校の体育の先生を専任の先生にする、情報交流・掲示板・伝言板のような気楽な書き込み可能サイト、スポーツ大会の開催、世界的にも特化したイベントの開催、プロフェッショナルを呼ぶなどして将来国際大会に出場出来る人材を育てる、本市からオリンピックに出場できる選手の育成、マイナースポーツを体験・挑戦できる環境づくり、三河安城駅から徒歩圏内のスタジアムとホームチームを作る、幼児・小学生から参加できるスポーツ体験イベントの実施

【年齢別、性別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「幅広い世代におけるスポーツの普及･拡大に向けた環境の整備」が最も多くなっています。また、20 歳代及び 30 歳代では、「地元ゆかりの選手や、カナダ国をはじめとした外国人選手との交流活動」が３割程度となっています。

性別にみると、男女ともに「幅広い世代におけるスポーツの普及･拡大に向けた環境の整備」が最も多くなっています。

（%）	国際大会に出場する選手の事前合宿誘致	地元ゆかりの選手や、カナダ国をはじめとした外国人選手との交流活動	障害者スポーツの普及活動	国際大会に関連した取組を活かしたシティプロモーション、スポーツイベントの開催	地域ブランドや、これを活かした地場産品のアピール	幅広い世代におけるスポーツの普及・拡大に向けた環境の整備	その他	無回答
全体　n=1,706	20.0	25.5	24.6	17.5	23.3	**52.8**	2.8	9.7
20歳代　n=151	17.9	31.1	24.5	17.2	27.8	**53.0**	2.0	2.6
30歳代　n=229	24.9	31.0	17.5	18.3	33.2	**46.7**	3.5	6.1
40歳代　n=331	18.4	27.5	22.7	19.3	23.0	**53.8**	3.9	6.0
50歳代　n=309	19.7	23.6	24.9	21.0	23.6	**54.7**	2.3	5.5
60歳代　n=280	18.9	26.8	28.9	15.7	20.4	**58.6**	2.9	5.0
70歳以上　n=406	20.4	19.2	27.1	14.0	18.2	**49.8**	2.0	23.6
男性　n=703	24.0	25.0	19.9	20.2	23.5	**52.1**	3.8	8.1
女性　n=994	17.4	25.8	27.6	15.7	23.2	**53.3**	1.9	10.9
その他　n=1	－	－	**100.0**	－	－	**100.0**	－	－

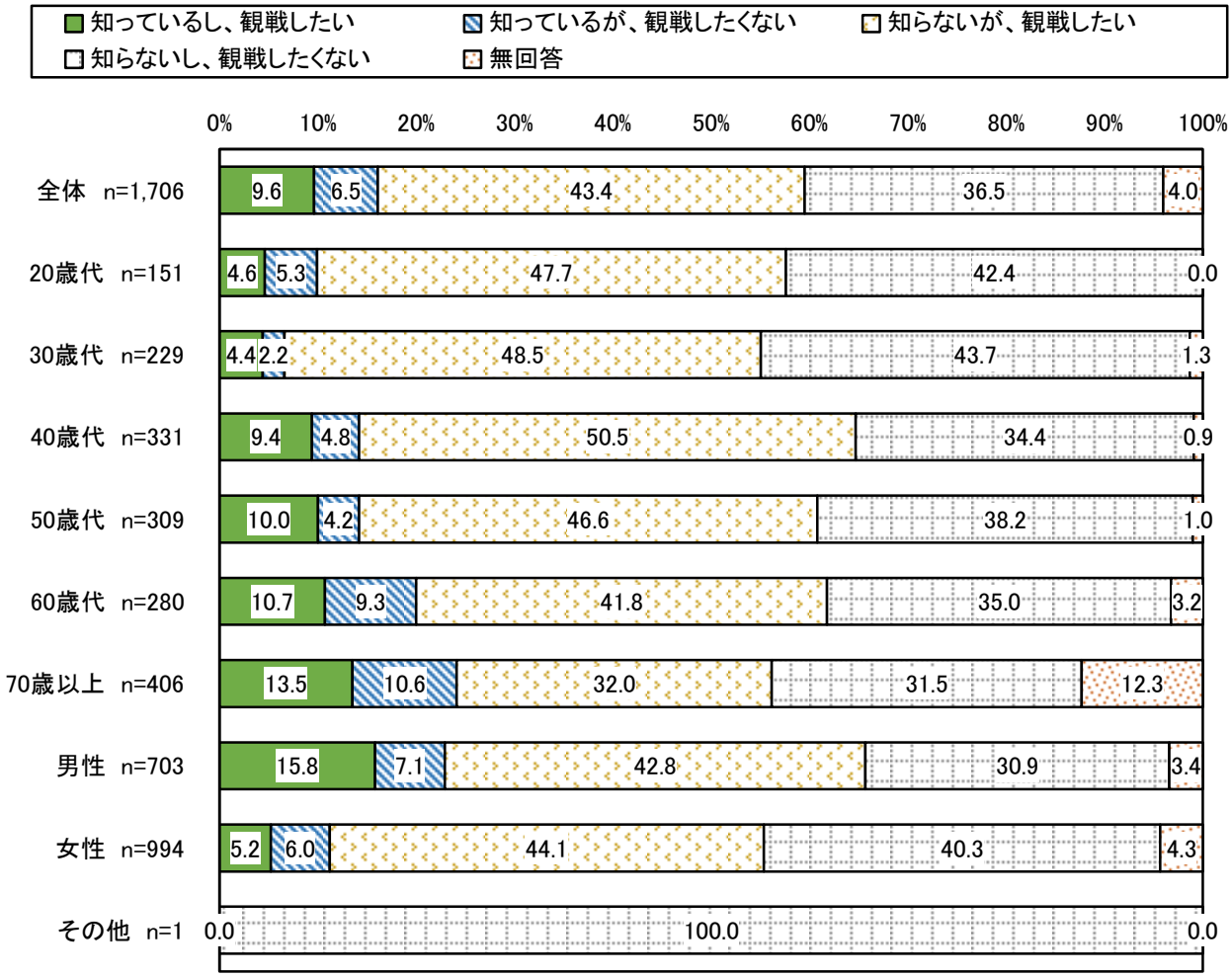
（4）2026 年アジア競技大会の認知度と観戦意向

問 51　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されることについて、あなたは知っていますか。また、観戦したいと思いますか。（○は1つ）

2026 年アジア競技大会の認知度と観戦意向について、「知っているし、観戦したい」が 9.6%、「知っているが、観戦したくない」が 6.5%、「知らないが、観戦したい」が 43.4%、「知らないし、観戦したくない」が 36.5%となっています。

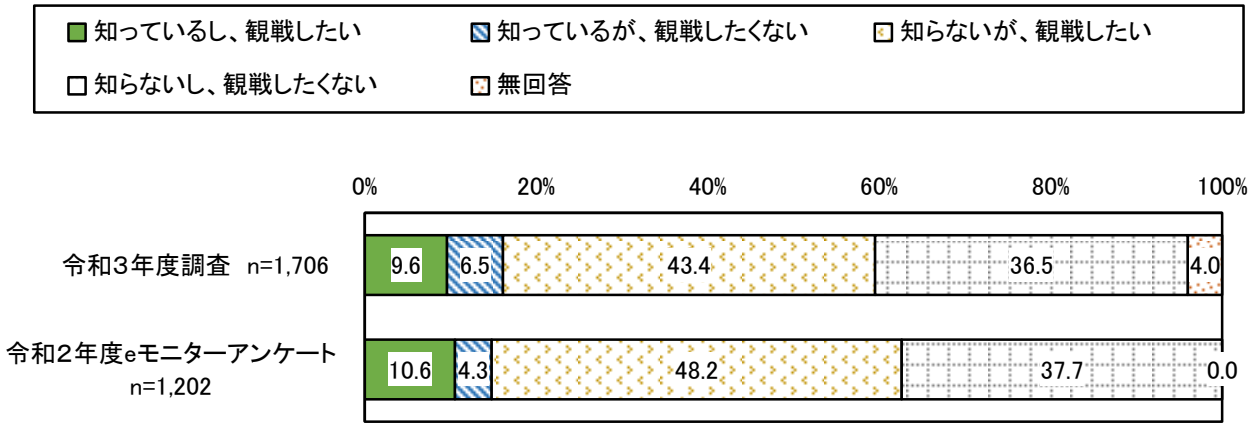
年齢別にみると、「知っているし、観戦したい」と「知らないが、観戦したい」を合わせた“観戦したい”について、40 歳代が 59.9%と他の年代に比べて最も多くなっています。

性別にみると、“観戦したい”について、男性が 58.6%、女性が 49.3%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



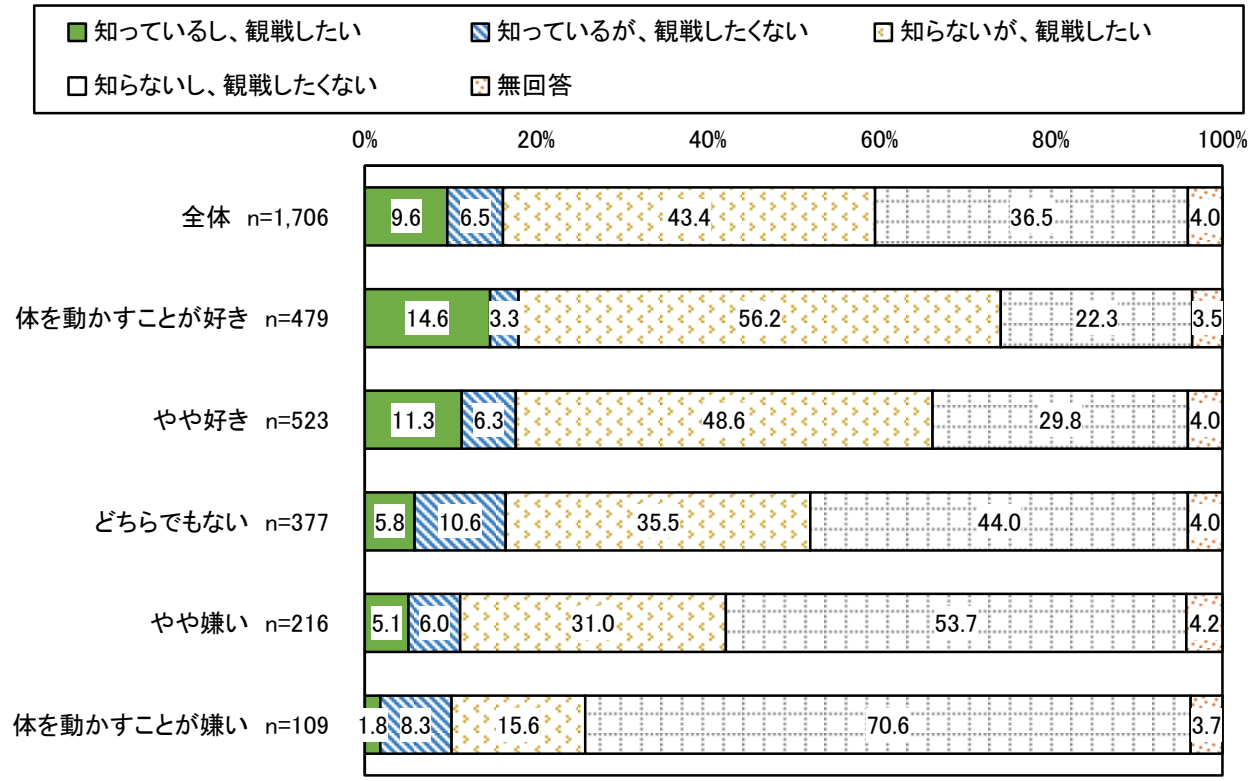
【経年比較】

令和２年度に実施した安城市ｅモニターアンケート調査結果と比較すると、“観戦したい”の回答について、今回調査では 53.0%、令和２年度調査では 58.8%と、今回調査では令和２年度調査に比べてやや減少しています。



【スポーツ・運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別に見ると、体を動かすことが好きな人ほど、“観戦したい”の回答が多くなっています。

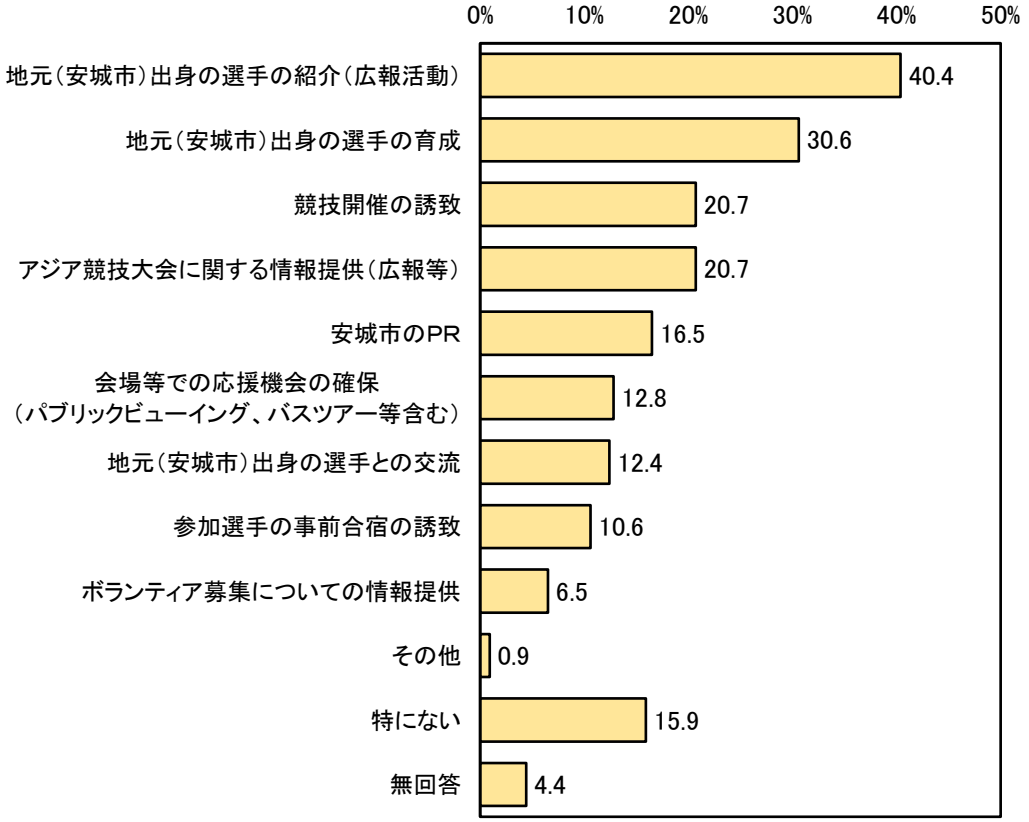


（5）2026 年アジア競技大会開催にあたり本市で取り組んでほしいこと

問 52　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことは何ですか。（○は3つまで）

2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことについて、「地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）」が 40.4％で最も多く、次いで「地元（安城市）出身の選手の育成」が 30.6％、「競技開催の誘致」が 20.7％、「アジア競技大会に関する情報提供（広報等）」が 20.7％、「安城市のＰＲ」が 16.5％となっています。

（n=1,706）



【その他の回答】

テレビで放送する、競技会場の整備、第２運動公園の整備、公共交通アクセスのよい会場整備、交通・輸送の充実、子供にスポーツを知ってもらう・体験してもらう、選手が必ず訪れたい場所になる取組、大会運営時の徹底的な衛生活動・時差によるハンディをなくすための深夜競技開催、幼児・小学生が参加しやすいイベントやツアーの開催

【年齢別、性別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）」が最も多くなっています。また、20 歳代及び 30 歳代では、「安城市の PR」が２割程度となっています。

性別にみると、男女ともに「地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）」が最も多くなっています。また、女性では「地元（安城市）出身の選手の育成」が３割程度となっています。

（%）	地元（安城市）出身の選手との交流	地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）	参加選手の事前合宿の誘致	競技開催の誘致	地元（安城市）出身の選手の育成	アジア競技大会に関する情報提供（広報等）	ボランティア募集についての情報提供	会場等での応援機会の確保（パブリックビューイング、バスツアー等含む）	安城市のＰＲ	その他	特にない	無回答
全体 n=1,706	12.4	**40.4**	10.6	20.7	30.6	20.7	6.5	12.8	16.5	0.9	15.9	4.4
20歳代 n=151	15.9	**36.4**	10.6	13.2	28.5	18.5	10.6	15.2	20.5	－	16.6	1.3
30歳代 n=229	20.1	**39.3**	14.8	13.5	29.7	15.3	10.9	15.7	21.4	0.9	14.8	1.7
40歳代 n=331	11.5	**42.9**	11.2	21.1	33.5	16.3	7.6	14.2	12.1	1.2	16.0	0.9
50歳代 n=309	12.0	**39.8**	9.4	23.6	28.2	23.6	7.8	14.2	15.9	1.6	13.9	2.3
60歳代 n=280	9.3	**41.4**	10.4	25.0	33.2	26.8	2.5	12.5	12.5	1.1	16.4	2.1
70歳以上 n=406	9.9	**40.4**	8.6	21.9	29.6	21.7	3.4	8.4	19.0	0.5	17.5	13.1
男性 n=703	12.2	**37.8**	13.2	27.3	27.5	17.9	6.0	12.1	18.6	1.3	16.6	3.4
女性 n=994	12.5	**42.3**	8.8	16.2	32.8	22.6	6.9	13.5	15.0	0.6	15.4	5.1
その他 n=1	－	－	－	－	－	**100.0**	－	－	**100.0**	－	－	－

第３章　中学、高校生のスポーツに関する意識調査

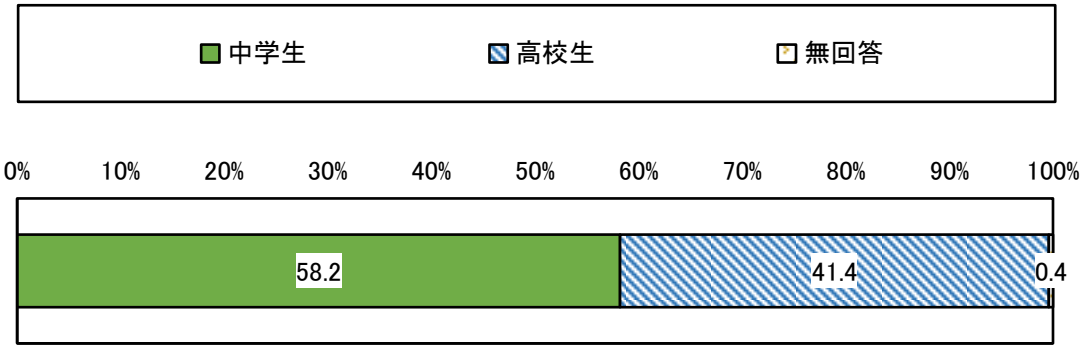
1　あなた自身についてお聞きします

（1）中学生、高校生

問1　あなたは中学生ですか、高校生ですか。（○は1つ）

回答者について、「中学生」が 58.2%、「高校生」が 41.4%となっています。

（n=483）

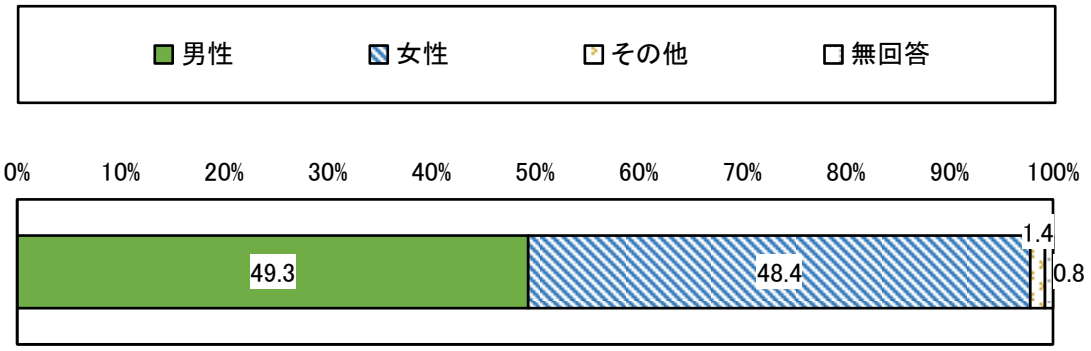


（2）性別

問2　あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

回答者の性別について、「男性」が 49.3%、「女性」が 48.4%、「その他」が 1.4%となっています。

（n=483）

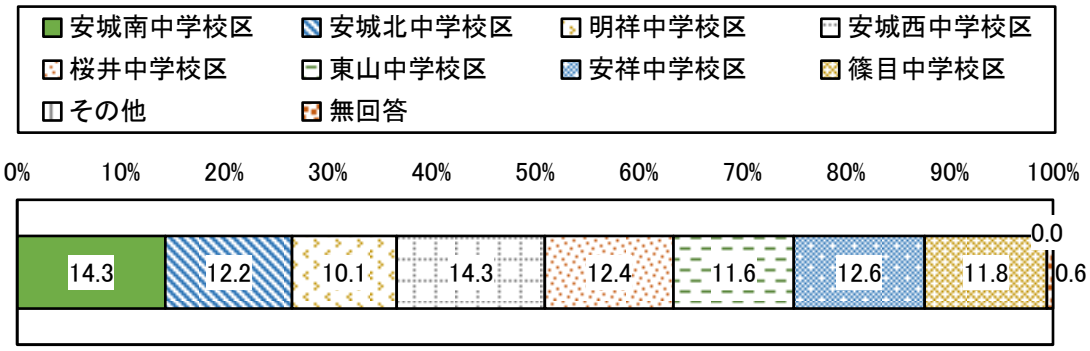


（3）居住中学校区

問3　あなたが住んでいる中学校区を教えてください。（○は1つ）

回答者が居住している中学校区について、「安城南中学校区」が 14.3%、「安城北中学校区」が 12.2%、「明祥中学校区」が 10.1%、「安城西中学校区」が 14.3%、「桜井中学校区」が 12.4%、「東山中学校区」が 11.6%、「安祥中学校区」が 12.6%、「篠目中学校区」が 11.8%となっています。

（n=483）



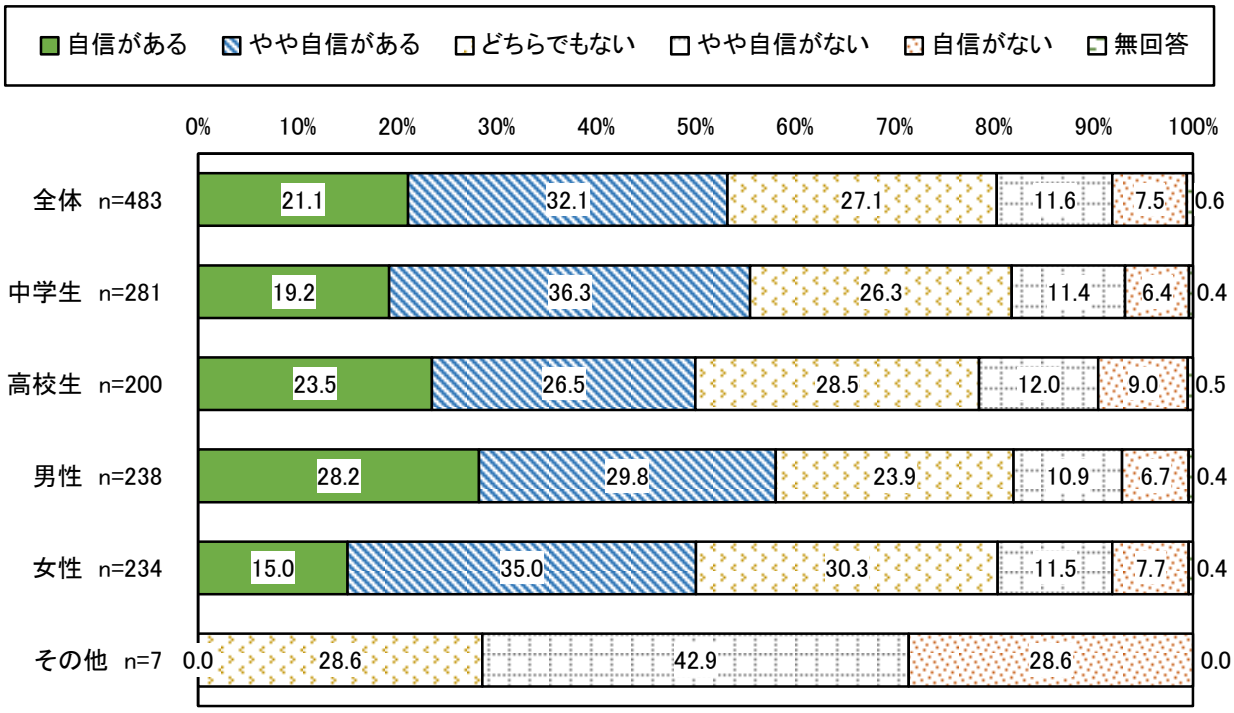
（4）健康への自信

問4　あなたは、自分の健康に自信を持っていますか。（○は1つ）

健康への自信について、「自信がある」と「やや自信がある」を合わせた“自信がある”が 53.2%、「どちらでもない」が 27.1%、「やや自信がない」と「自信がない」を合わせた“自信がない”が 19.1%となっています。

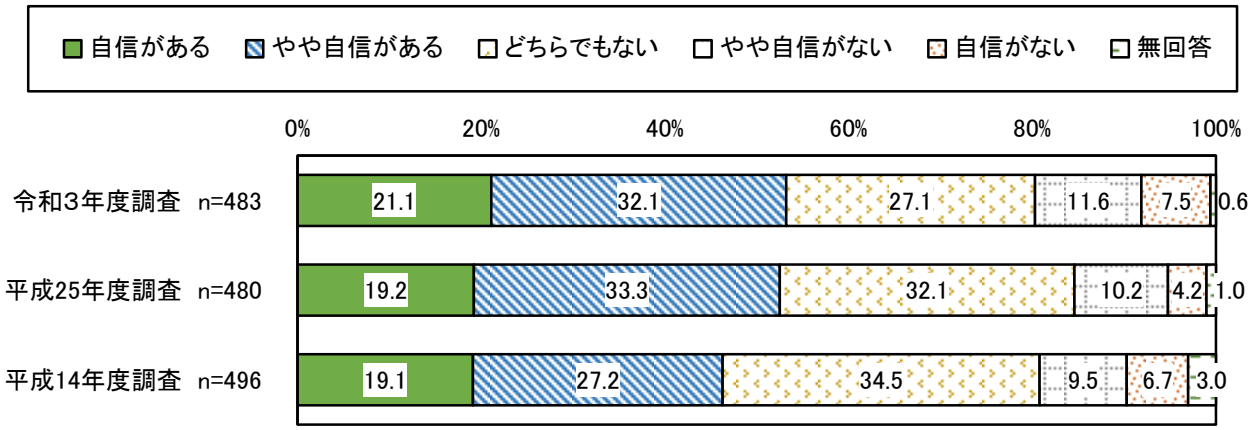
中高生別にみると、“自信がある”について、中学生が 55.5%、高校生が 50.0%となっています。

性別にみると、“自信がある”について、男性が 58.0%、女性が 50.0%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



【経年比較】

健康への自信について過去の調査結果と比較すると、“自信がある”の回答について、今回の調査が 53.2%、平成 25 年度調査では 52.5%、平成 14 年度調査では 46.3%と、今回の調査が最も“自信がある”の回答が最も多くなっています。



2　スポーツ･運動は好きですか

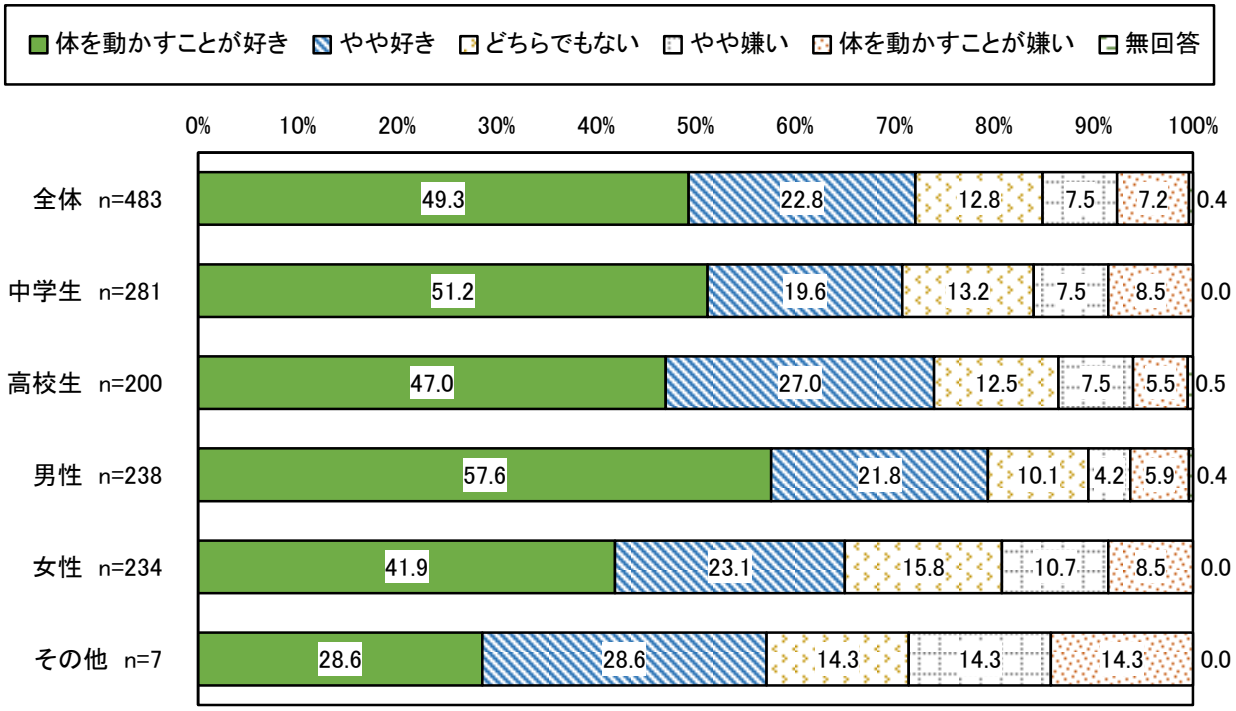
（1）スポーツ･運動の好嫌度

問5　あなたは、スポーツ･運動で体を動かすことは好きですか。（○は1つ）

スポーツ・運動の好嫌度について、「好き」と「やや好き」を合わせた“体を動かすことが好き”が 72.1%、「どちらでもない」が 12.8%、「やや嫌い」と「嫌い」を合わせた“体を動かすことが嫌い”が 14.7%となっています。

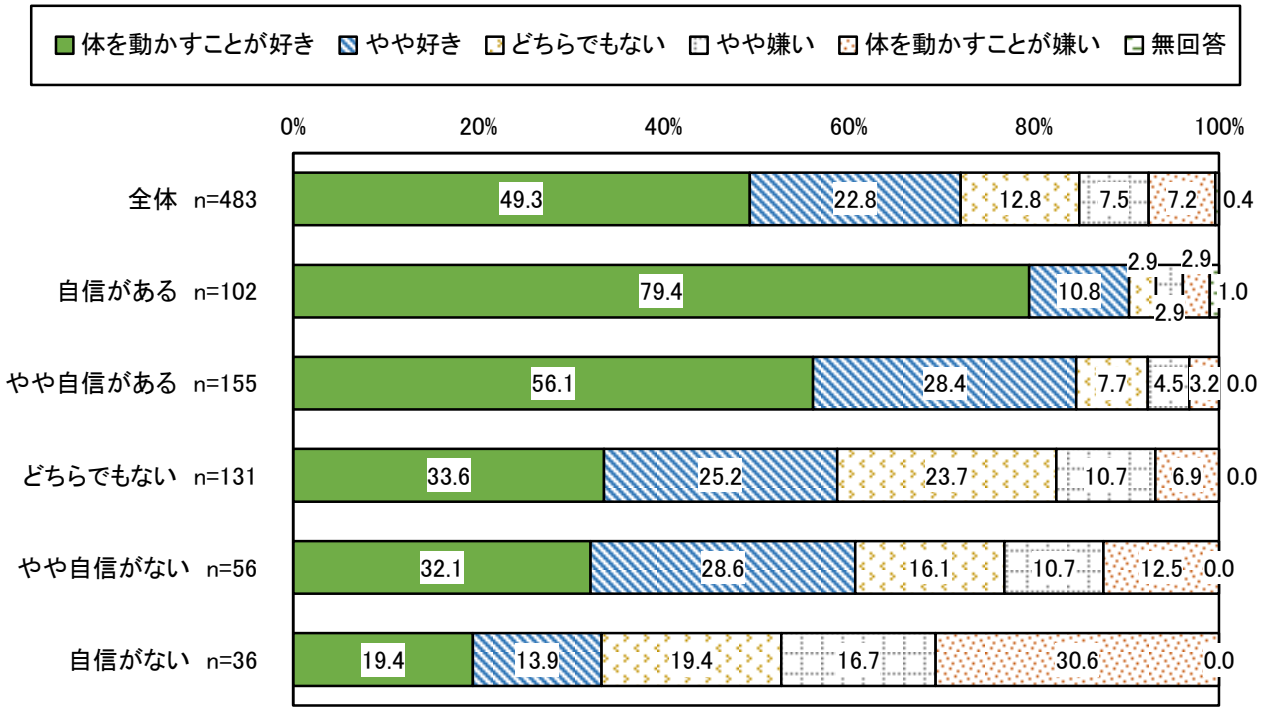
中高生別にみると、“体を動かすことが好き”について、中学生が 70.8%、高校生が 74.0%となっています。

性別にみると、“体を動かすことが好き”について、男性が 79.4%、女性が 65.0%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



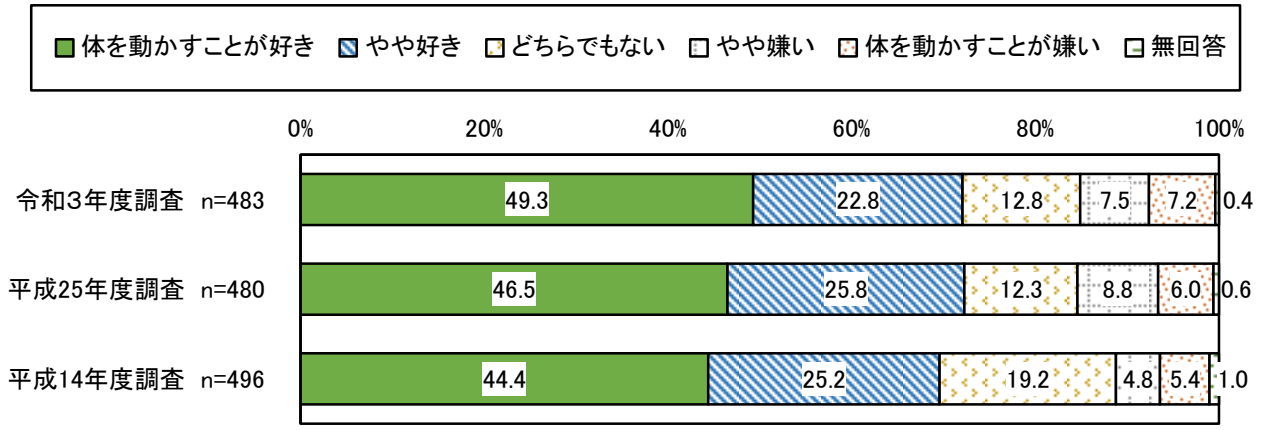
【健康への自信度別】

健康への自信度別にみると、健康に自信がある人ほど、スポーツ・運動で体を動かすことが好きと回答している人が多く、「自信がある」と回答した人の 90.2%が“体を動かすことが好き”と回答しています。



【経年比較】

スポーツ・運動の好嫌度について過去の調査結果と比較すると、“体を動かすことが好き”について、今回の調査が 72.1%、平成 25 年度調査では 72.3%、平成 14 年度調査では 69.6%と、今回調査は平成 25 年度調査の回答と大きな差が見られません。



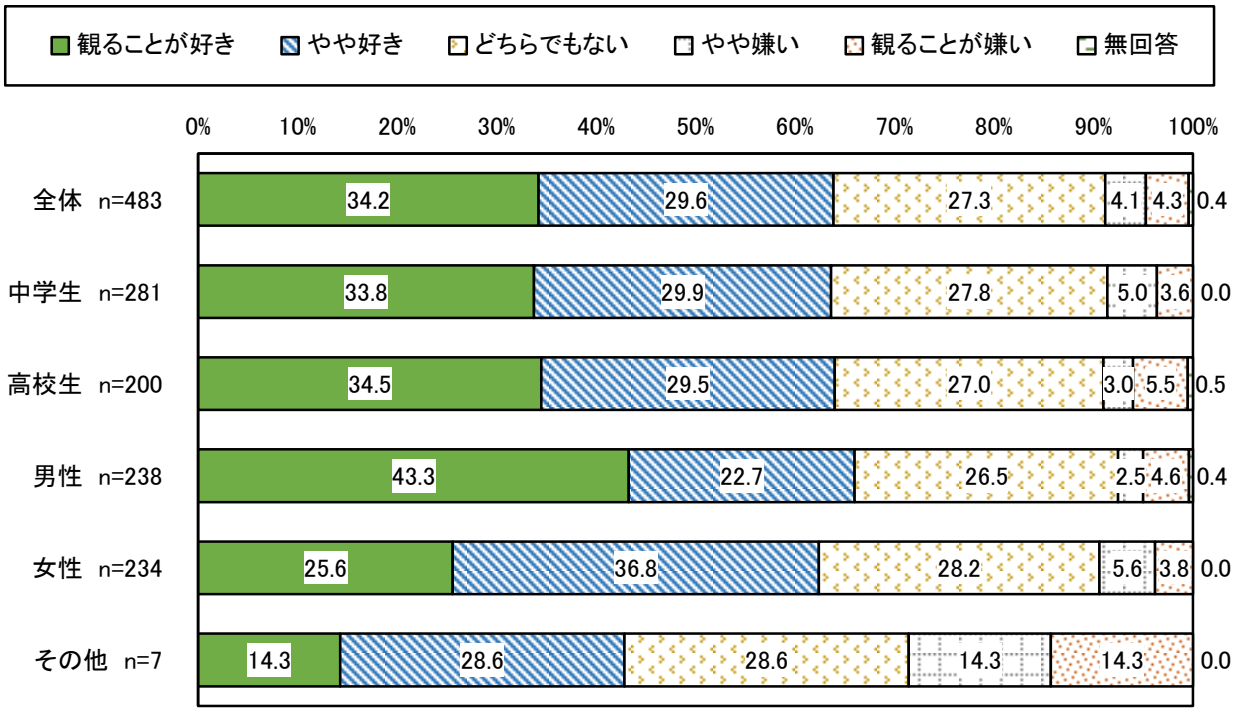
（2）スポーツ観戦の好嫌度

問6　あなたは、テレビや競技場でスポーツを観ることは好きですか。（○は1つ）

スポーツ観戦の好嫌度について、「好き」と「やや好き」を合わせた“観ることが好き”が 63.8%、「どちらでもない」が 27.3%、「やや嫌い」と「嫌い」を合わせた“観ることが嫌い”が 8.4%となっています。

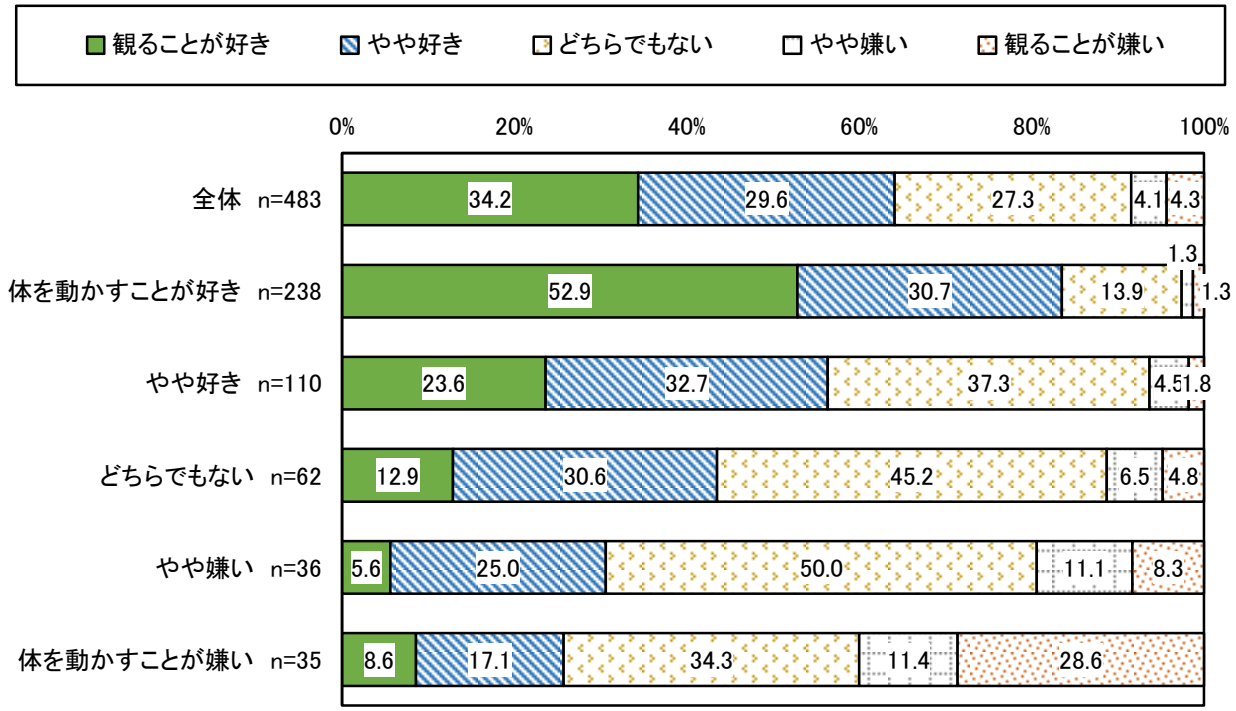
中高生別に見ると、“観ることが好き”について、中学生が 63.7%、高校生が 64.0%となっています。

性別にみると、“観ることが好き”について、男性が 66.0%、女性が 62.4%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



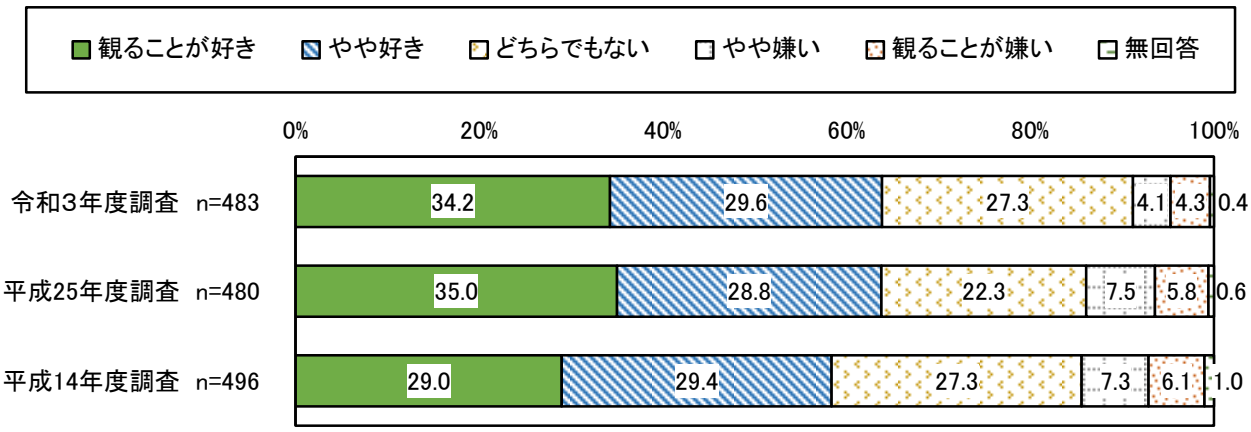
【スポーツ･運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが好きな人ほど、スポーツを観ることが好きと回答している人が多く、「体を動かすことが好き」と回答した人の 83.6%が“観ることが好き”と回答しています。



【経年比較】

スポーツ観戦の好嫌度について過去の調査結果と比較すると、“観ることが好き”の回答について、今回の調査が 63.8%、平成 25 年度調査では 63.8%、平成 14 年度調査では 58.4%と、今回調査は平成 25 年度調査の回答と大きな差が見られません。



3　学校の部活動について

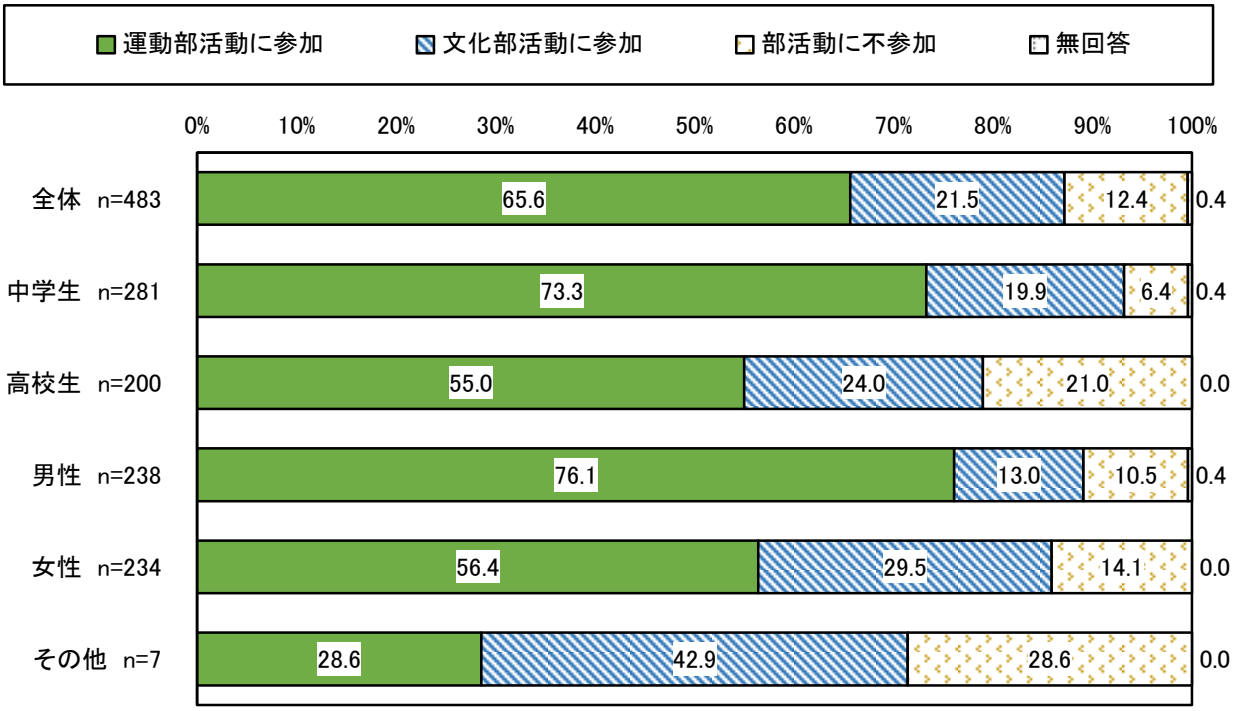
（1）部活動への参加、所属

問7　あなたは、学校の部活動に参加していますか。部活動に参加している人は、所属している部活動の名前も記入してください。（○は1つ）

部活動への参加について、「運動部活動に参加」が 65.6%、「文化部活動に参加」が 21.5%、「部活動に不参加」が 12.4%となっています。

中高生別に見ると、中学生、高校生ともに「運動部活動に参加」が多くなっており、特に中学生では７割以上が「運動部活動に参加」と回答しています。

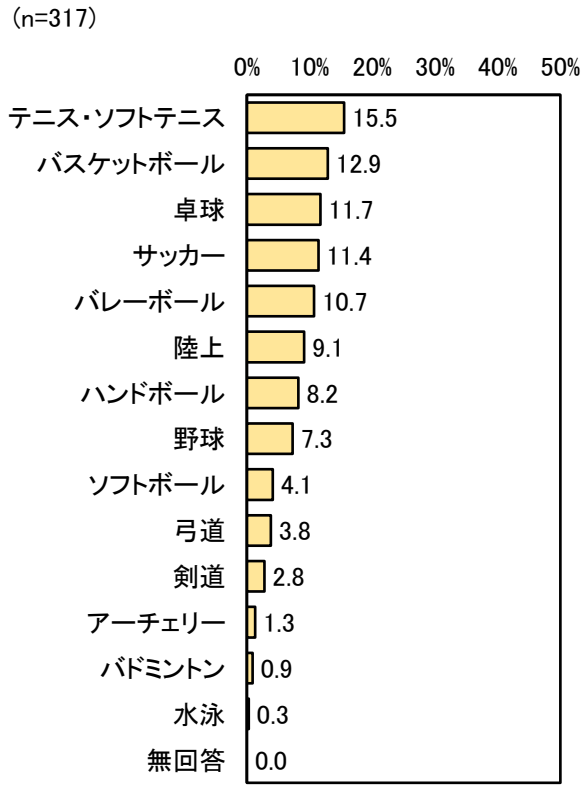
男女別にみると、男女ともに「運動部活動に参加」が多くなっており、特に男性では７割以上が「運動部活動に参加」と回答しています。



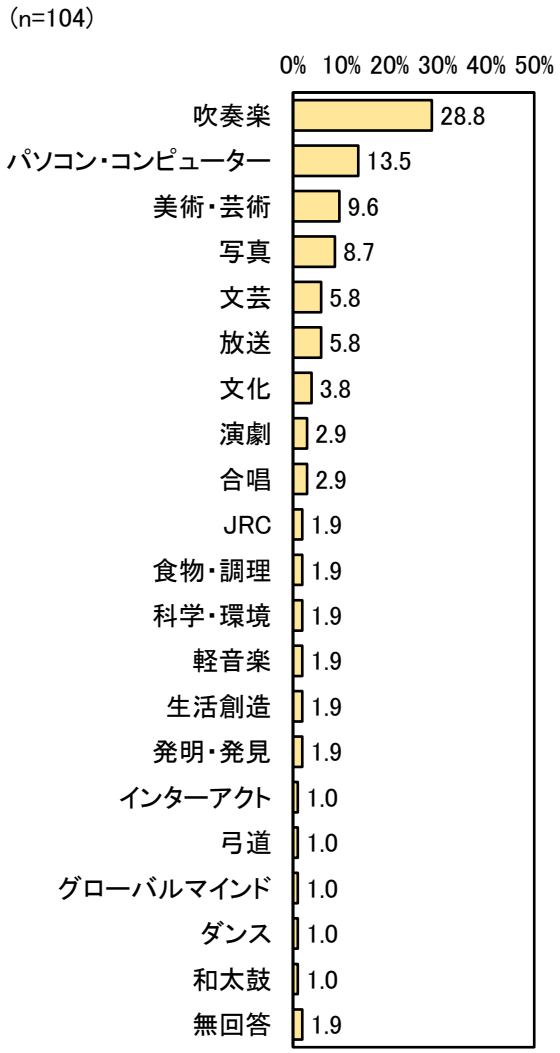
【所属している部活動】

“部活動に参加している”と回答した人に、所属している部活動について尋ねると、運動部では「テニス・ソフトテニス」が、文化部では「吹奏楽」が、それぞれ最も多くなっています。

・運動部



・文化部

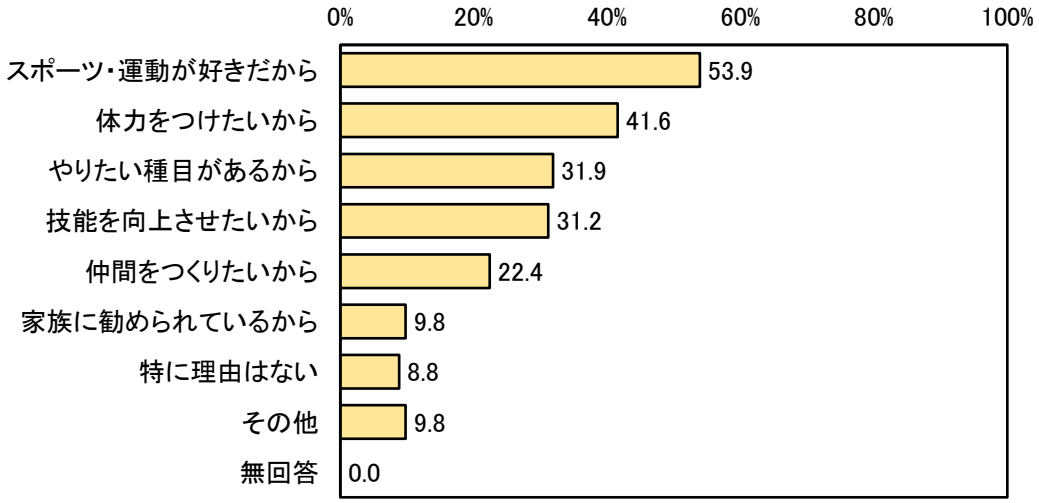


（2）運動部活動への参加理由

問8　問7で、「1」を選んだ人にお聞きします。
運動部活動に参加している理由は何ですか。（○は3つまで）

「運動部活動に参加」していると回答した人に、参加理由を尋ねると、「スポーツ・運動が好きだから」が 53.9%で最も多く、次いで「体力をつけたいから」が 41.6%、「やりたい種目があるから」が 31.9%、「技能を向上させたいから」が 31.2%、「仲間をつくりたいから」が 22.4%となっています。

（n=317）



【その他の回答】

面白そうだったから、小学生の時にやっていたから、先輩から誘われたから、先輩にあこがれたから、達成感を味わいたいから、楽しそうだったから、友達に勧められたから、人間的に成長したいから、人の役に立ちたいから、部活で運動しないと自分で運動せず運動不足になるため、痩せたいから、礼儀を学ぶため

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生、高校生ともに「スポーツ・運動が好きだから」が最も多くなっています。また、中学生について、「体力をつけたいから」の回答が高校生に比べて約 20 ポイント多くなっています。

性別にみると、男女ともに「スポーツ・運動が好きだから」が最も多くなっています。また、女性について、「仲間をつくりたいから」の回答が男性に比べて 10 ポイント以上多くなっています。

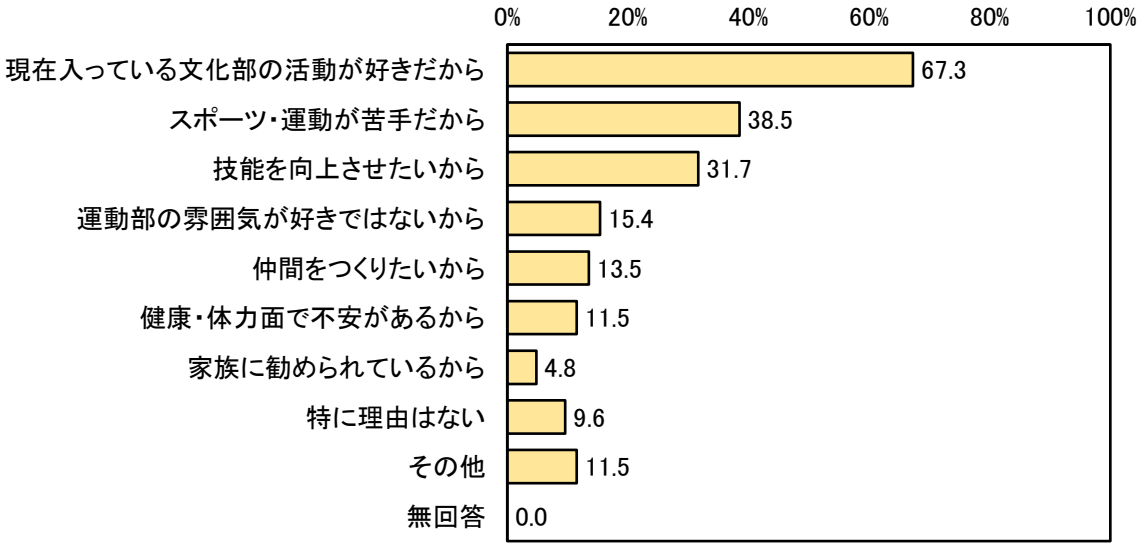
（%）	やりたい種目があるから	スポーツ・運動が好きだから	技能を向上させたいから	体力をつけたいから	仲間をつくりたいから	家族に勧められているから	特に理由はない	その他	無回答
全体 n=317	31.9	**53.9**	31.2	41.6	22.4	9.8	8.8	9.8	－
中学生 n=206	32.5	**57.3**	32.5	48.5	22.8	10.2	8.3	10.7	－
高校生 n=110	30.0	**48.2**	29.1	28.2	20.9	9.1	10.0	8.2	－
男性 n=181	37.0	**58.6**	37.0	44.2	17.1	7.2	8.3	6.1	－
女性 n=132	25.0	**47.7**	24.2	37.9	28.8	12.9	9.8	15.2	－
その他 n=2	－	**50.0**	－	**50.0**	**50.0**	**50.0**	－	－	－

（3）文化部活動への参加理由

問9　問7で、「2」を選んだ人にお聞きします。
文化部活動に参加している理由は何ですか。（○は3つまで）

「文化部活動に参加」していると回答した人に、参加理由を尋ねると、「現在入っている文化部の活動が好きだから」が 67.3％で最も多く、次いで「スポーツ・運動が苦手だから」が 38.5％、「技能を向上させたいから」が 31.7％、「運動部の雰囲気が好きではないから」が 15.4％、「仲間をつくりたいから」が 13.5％となっています。

（n=104）



【その他の回答】

音楽が好きだから、格好良かったから、コンクールに出たいから、先輩から頼まれたから、中学生の時から継続してやっている、友人に誘われたから

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生、高校生ともに「現在入っている文化部の活動が好きだから」が最も多くなっています。また、中学生について、「スポーツ・運動が苦手だから」の回答が 55.4%と多くなっています。

性別にみると、男女ともに「現在入っている文化部の活動が好きだから」が最も多くなっています。

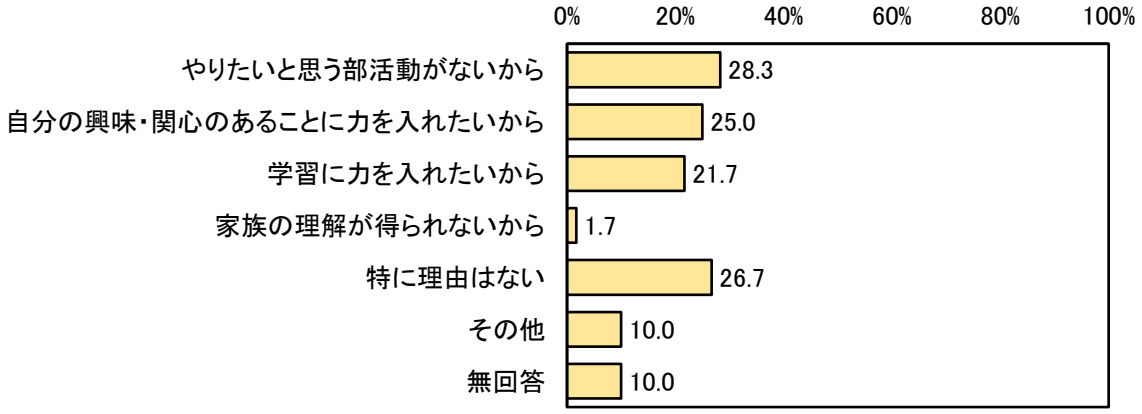
（%）	現在入っている文化部の活動が好きだから	技能を向上させたいから	仲間をつくりたいから	家族に勧められているから	スポーツ・運動が苦手だから	健康・体力面で不安があるから	運動部の雰囲気が好きではないから	特に理由はない	その他	無回答
全体 n=104	**67.3**	31.7	13.5	4.8	38.5	11.5	15.4	9.6	11.5	－
中学生 n=56	**73.2**	30.4	10.7	5.4	55.4	17.9	21.4	－	14.3	－
高校生 n=48	**60.4**	33.3	16.7	4.2	18.8	4.2	8.3	20.8	8.3	－
男性 n=31	**61.3**	35.5	9.7	3.2	38.7	9.7	12.9	16.1	6.5	－
女性 n=69	**72.5**	31.9	15.9	5.8	40.6	13.0	17.4	7.2	10.1	－
その他 n=3	**33.3**	－	－	－	－	－	－	－	66.7	－

（4）部活動に参加していない理由

問 10　問7で、「3」を選んだ人にお聞きします。
部活動に参加されない理由は何ですか。（○は3つまで）

「部活動に不参加」と回答した人に、その理由を尋ねると、「やりたいと思う部活動がないから」が 28.3％で最も多く、次いで「自分の興味・関心のあることに力を入れたいから」が 25.0％、「学習に力を入れたいから」が 21.7％、「家族の理解が得られないから」が 1.7％となっています。

（n=60）



【その他の回答】
けがをしてできなくなってしまったから、週末に自由な時間を使いたいから、人間関係が悪かったから

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「自分の興味・関心のあることに力を入れたいから」が、高校生では「やりたいと思う部活動がないから」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「自分の興味・関心のあることに力を入れたいから」と「やりたいと思う部活動がないから」が、女性では「やりたいと思う部活動がないから」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自分の興味・関心のあることに力を入れたいから	学習に力を入れたいから	やりたいと思う部活動がないから	家族の理解が得られないから	特に理由はない	その他	無回答
全体　n=60	25.0	21.7	**28.3**	1.7	26.7	10.0	10.0
中学生　n=18	**33.3**	27.8	22.2	5.6	33.3	11.1	－
高校生　n=42	21.4	19.0	**31.0**	－	23.8	9.5	14.3
男性　n=25	**32.0**	28.0	**32.0**	4.0	20.0	8.0	8.0
女性　n=33	21.2	18.2	**24.2**	－	33.3	12.1	9.1
その他　n=2	－	－	**50.0**	－	－	－	50.0

4　スポーツの実施状況について

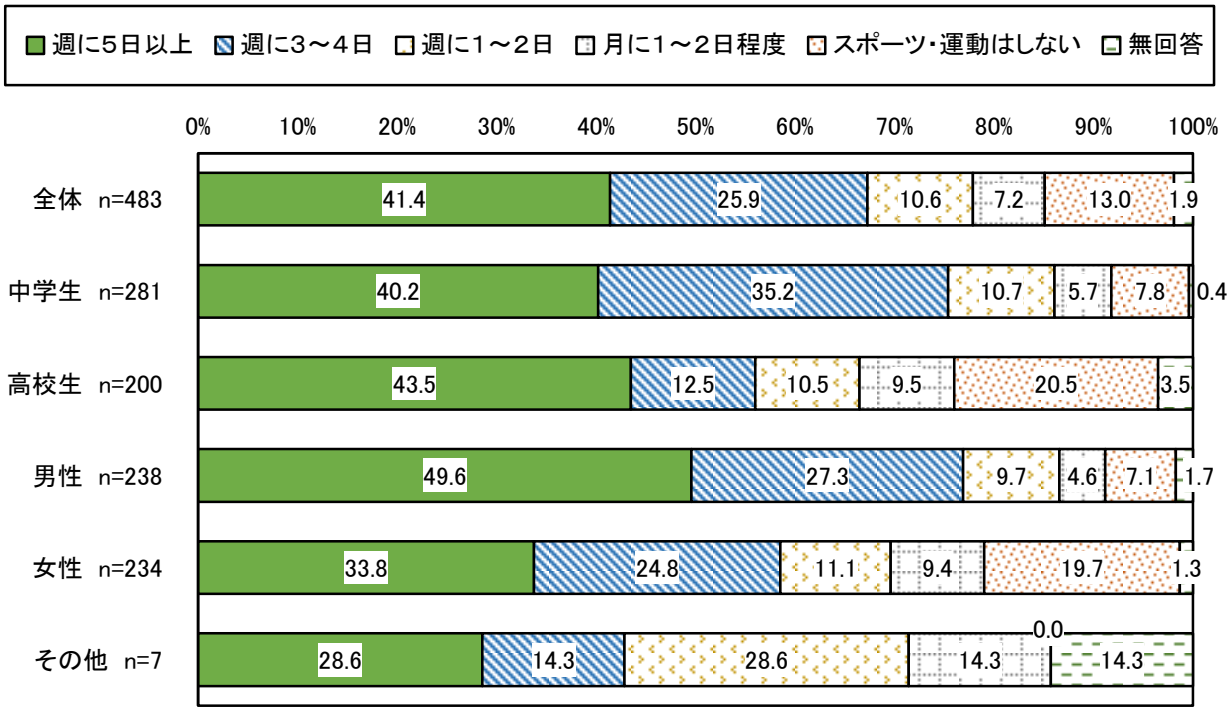
（1）学校の授業以外でのスポーツ･運動の頻度

問 11　あなたは、学校の体育の授業以外に、何日くらいスポーツ･運動を行っていますか。（学校の部活動も日数に含めて回答してください。）（○は1つ）

学校の授業以外でのスポーツ・運動の頻度について、「週に５日以上」が 41.4%、「週に３～４日」が 25.9%、「週に１～２日」が 10.6%、「月に１～２日程度」が 7.2%、「スポーツ・運動はしない」が 13.0%となっており、“週に１日以上” スポーツ・運動をしているのは 77.9%となっています。

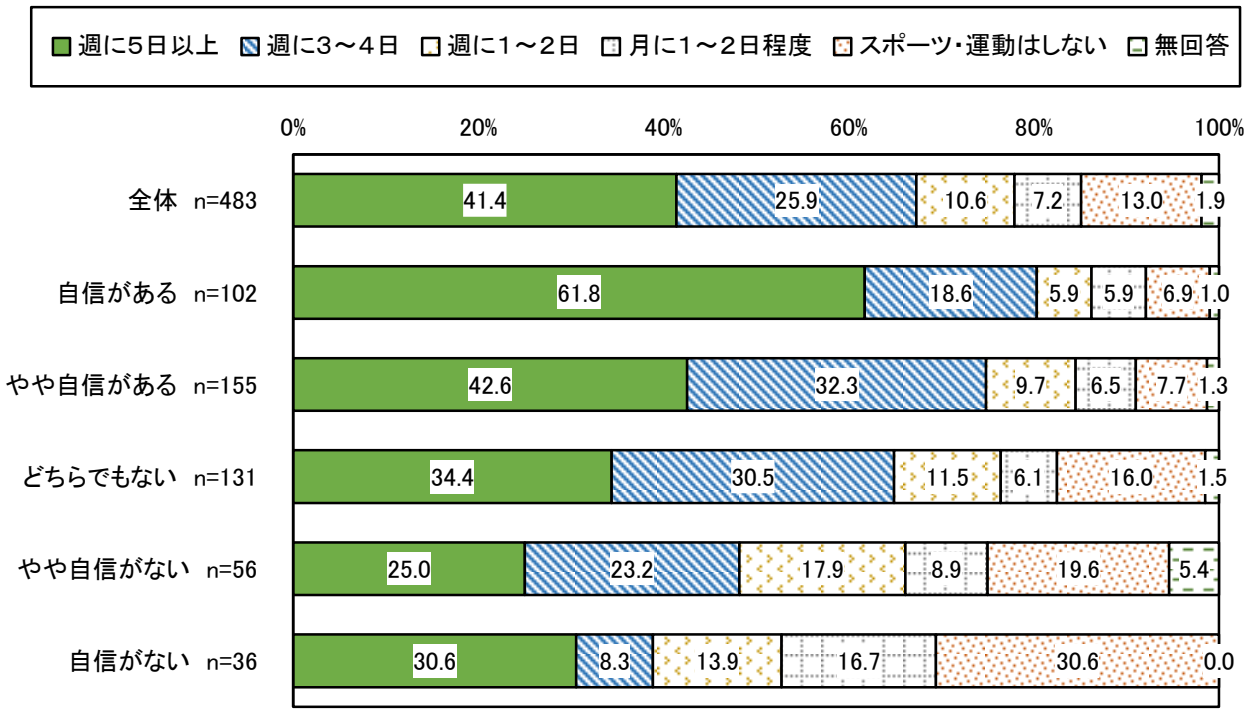
中高生別にみると、“週に１日以上”スポーツ･運動をしているとの回答について、中学生が 86.1%、高校生が 66.5%となっています。

性別にみると、“週に１日以上” スポーツ・運動をしているとの回答について、男性が 86.6%、女性が 69.7%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



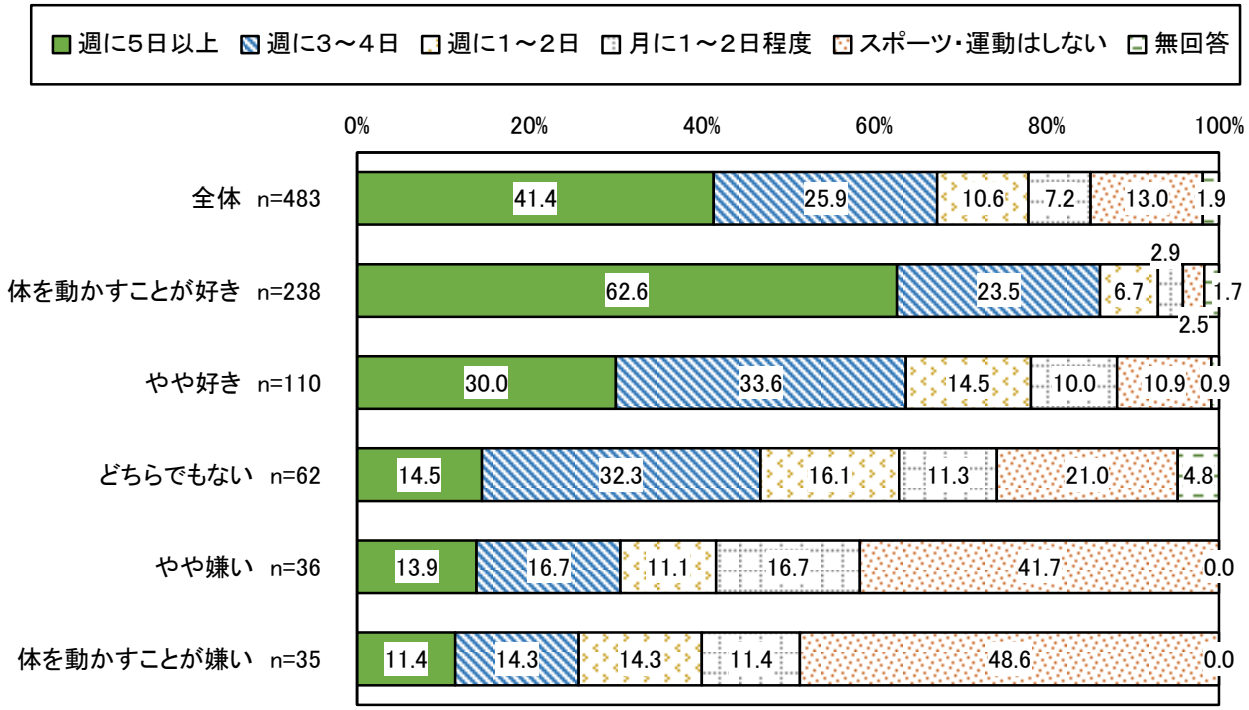
【健康への自信度別】

健康への自信度別にみると、健康に自信がある人ほど、“週に１日以上”スポーツ・運動をしているとの回答が多くなっています。



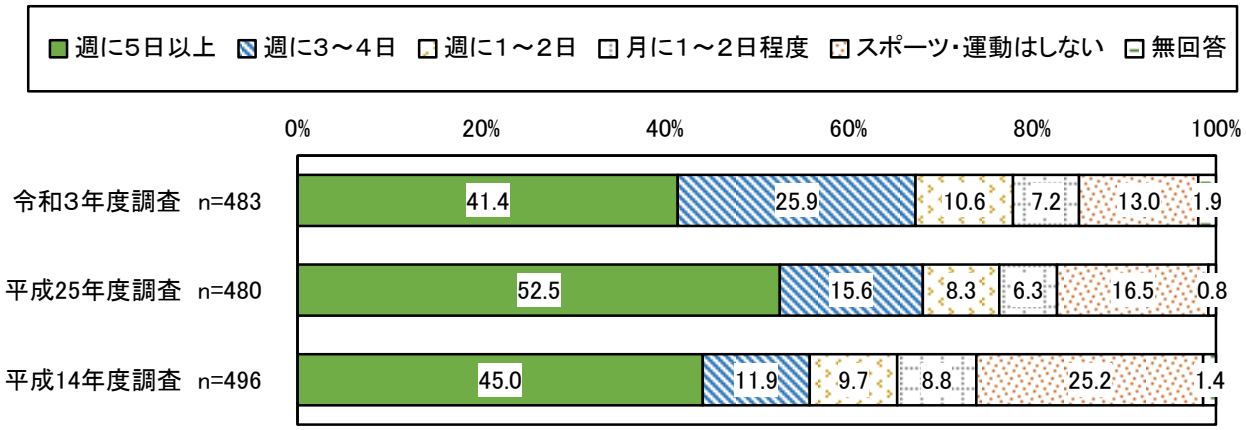
【スポーツ・運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが好きな人ほど、“週に１日以上”スポーツ・運動をしているとの回答が多くなっています。



【経年比較】

学校の授業以外でのスポーツ・運動の頻度について過去の調査結果と比較すると、“週に１日以上”スポーツ・運動をしているとの回答について、今回の調査が 77.9%、平成 25 年度調査では 76.4%、平成 14 年度調査では 66.6%と、今回調査は平成 25 年度調査の回答と大きな差が見られません。

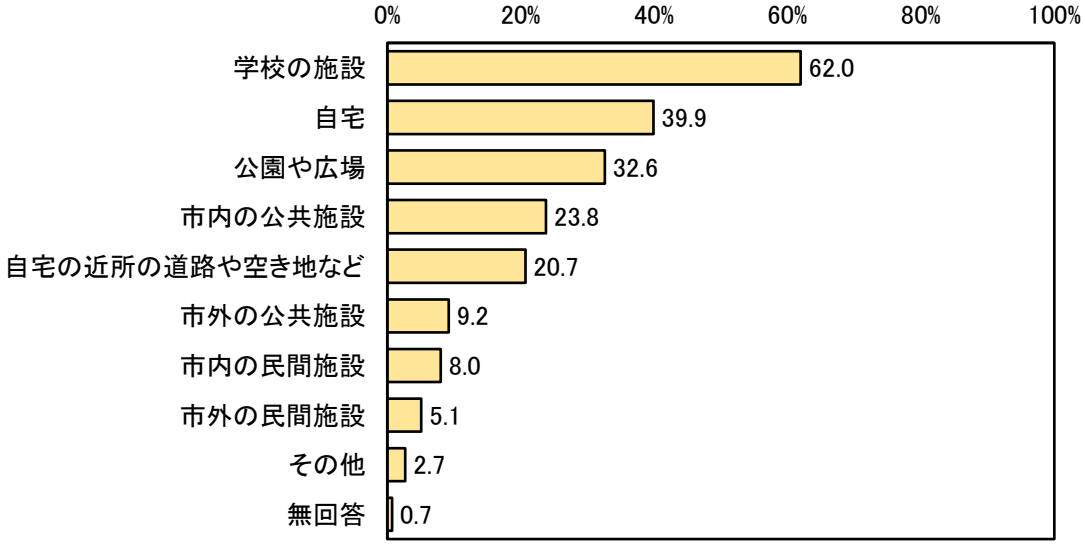


（2）スポーツ・運動をする場所

問 12　問 11 で、「1～4」を選んだ人にお聞きします。
あなたは普段どんなところでスポーツ・運動をしていますか。（○はいくつでも）

月に１日以上スポーツ・運動をする人に、普段スポーツ・運動をする場所について尋ねると、「学校の施設」が 62.0％で最も多く、次いで「自宅」が 39.9％、「公園や広場」が 32.6％、「市内の公共施設」が 23.8％、「自宅の近所の道路や空き地など」が 20.7％となっています。

（n=411）



【その他の回答】

球技場、グラウンド、県外の公共施設、グリーンロード、サイクリングロード、ダンススタジオ、友人宅、リハビリ施設

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生、高校生ともに「学校の施設」が最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「学校の施設」が最も多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	その他	無回答
全体 n=411	39.9	20.7	32.6	**62.0**	23.8	8.0	9.2	5.1	2.7	0.7
中学生 n=258	43.8	23.3	39.1	**61.2**	27.5	10.5	11.2	7.4	3.5	0.8
高校生 n=152	32.9	15.8	21.7	**63.8**	17.8	3.9	5.9	1.3	1.3	0.7
男性 n=217	40.6	22.1	38.7	**66.8**	24.4	11.1	9.7	7.4	2.3	－
女性 n=185	38.9	18.9	25.4	**57.3**	23.2	4.9	8.1	2.2	2.7	1.6
その他 n=6	33.3	16.7	**50.0**	**50.0**	16.7	－	16.7	－	－	－

【中学校区別】

中学校区別にみると、「安城南中学校区」、「安城北中学校区」、「安祥中学校区」、「明祥中学校区」、「桜井中学校区」、「東山中学校区」、「篠目中学校区」では「学校の施設」が、「安城西中学校区」では「自宅」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	その他	無回答
全体 n=411	39.9	20.7	32.6	**62.0**	23.8	8.0	9.2	5.1	2.7	0.7
安城南中学校区 n=59	37.3	13.6	28.8	**67.8**	23.7	6.8	8.5	5.1	5.1	1.7
安城北中学校区 n=49	32.7	14.3	28.6	**65.3**	32.7	6.1	12.2	4.1	4.1	－
明祥中学校区 n=41	56.1	19.5	24.4	**65.9**	12.2	7.3	7.3	7.3	－	－
安城西中学校区 n=54	**61.1**	25.9	42.6	59.3	25.9	7.4	9.3	1.9	－	1.9
桜井中学校区 n=56	28.6	32.1	26.8	**58.9**	32.1	12.5	7.1	5.4	3.6	－
東山中学校区 n=50	36.0	26.0	44.0	**62.0**	28.0	6.0	12.0	10.0	6.0	－
安祥中学校区 n=54	40.7	18.5	35.2	**59.3**	22.2	11.1	13.0	1.9	－	－
篠目中学校区 n=47	29.8	14.9	29.8	**57.4**	10.6	6.4	4.3	6.4	2.1	2.1
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、“週に３日以上”スポーツ・運動をする人では「学校の施設」が、“週に２日以下”スポーツ・運動をする人では「自宅」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	その他	無回答
全体 n=411	39.9	20.7	32.6	**62.0**	23.8	8.0	9.2	5.1	2.7	0.7
週に5日以上 n=200	36.0	20.5	34.0	**78.5**	32.5	10.5	15.0	7.0	2.5	0.5
週に3～4日 n=125	35.2	20.8	29.6	**69.6**	20.8	8.8	4.8	4.8	2.4	0.8
週に1～2日 n=51	**52.9**	19.6	29.4	11.8	5.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
月に1～2日程度 n=35	**60.0**	22.9	40.0	14.3	11.4	－	2.9	－	5.7	－

【経年比較】

スポーツ・運動をする場所について過去の調査結果と比較すると、今回調査、平成 25 年度調査、平成 14 年度調査いずれも「学校の施設」が最も多くなっています。

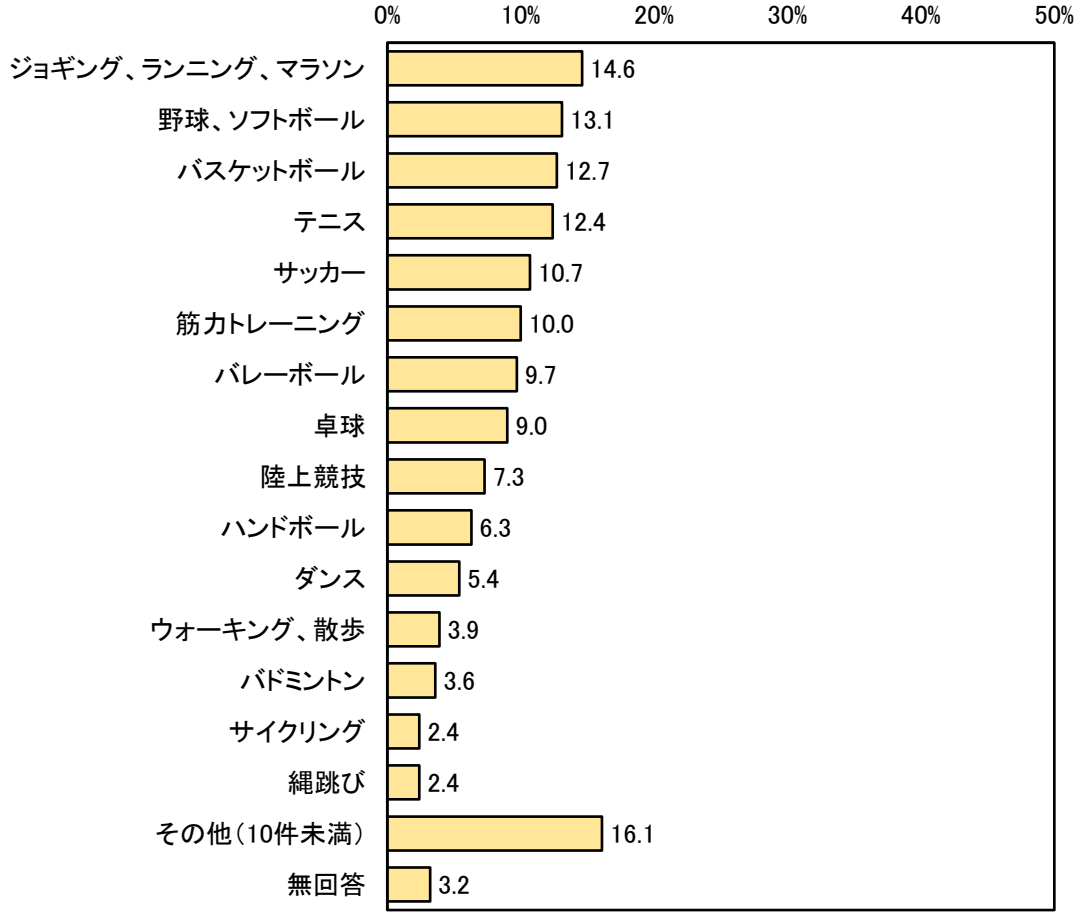
（%）	自宅	自宅の近所の道路や空き地など	公園や広場	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	その他	無回答
令和3年度調査 n=411	39.9	20.7	32.6	**62.0**	23.8	8.0	9.2	5.1	2.7	0.7
平成25年度調査 n=397	30.2	20.7	32.0	**50.6**	26.4	8.3	5.8	1.8	5.8	1.5
平成14年度調査 n=374	24.3	20.3	19.3	**61.0**	26.7	3.5	2.9	2.1	5.3	2.1

（3）現在行っているスポーツ・運動

問 13　問 11 で、「1～4」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、体育の授業以外で、現在行っているスポーツ・運動は何ですか。以下の空欄に**3つまで**記入してください。

月に１日以上スポーツ・運動をする人に、現在行っているスポーツ・運動について尋ねると、「ジョギング、ランニング、マラソン」が 14.6%で最も多く、次いで「野球、ソフトボール」が 13.1%、「バスケットボール」が 12.7%、「テニス」が 12.4%、「サッカー」が 10.7%となっています。

（n=411）



【その他の回答】
剣道、弓道、水泳、空手、フットサル、アーチェリー、バレエ、鬼ごっこ、クライミング、ゲームのフィットネス、スケートボード、体操、ボウリング、合気道、カバディ、キャッチボール、ジャンプ、趣味、少林寺拳法、シンクロ、スキー、ストレッチ、体力づくり、ドッジボール、トランポリン、ビーチバレーボール、ビリヤード、ボクシング、マーチング、ミュージカル、ロードレース

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「バスケットボール」が、高校生では「ジョギング、ランニング、マラソン」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「サッカー」が、女性では「ジョギング、ランニング、マラソン」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	ジョギング、ランニング、マラソン	野球、ソフトボール	バスケットボール	テニス	サッカー	筋力トレーニング	バレーボール	卓球	陸上競技
全体 n=411	**14.6**	13.1	12.7	12.4	10.7	10.0	9.7	9.0	7.3
中学生 n=258	11.6	13.2	**15.9**	13.6	11.2	8.5	10.9	10.9	9.3
高校生 n=152	**19.1**	12.5	7.2	10.5	9.9	11.8	7.9	5.9	3.9
男性 n=217	12.0	18.9	14.3	13.8	**19.4**	9.2	10.6	8.8	8.8
女性 n=185	**17.3**	7.0	11.4	11.4	1.1	10.8	8.1	9.2	5.9
その他 n=6	16.7	－	－	－	－	－	**33.3**	－	－

（%）	ハンドボール	ダンス	ウォーキング、散歩	バドミントン	サイクリング	縄跳び	その他（10件未満）	無回答
全体 n=411	6.3	5.4	3.9	3.6	2.4	2.4	16.1	3.2
中学生 n=258	5.0	5.0	3.9	2.7	1.6	2.3	16.3	3.1
高校生 n=152	8.6	5.9	3.9	5.3	3.9	2.6	15.8	3.3
男性 n=217	6.0	2.3	0.9	3.7	1.4	1.4	13.8	3.7
女性 n=185	7.0	8.1	7.0	3.8	3.2	3.8	18.9	2.2
その他 n=6	－	**33.3**	16.7	－	16.7	－	－	16.7

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、「週に５日以上」スポーツ・運動をする人では「野球、ソフトボール」が、「週に３～４日」スポーツ・運動をする人では「バスケットボール」が、“週に２日以下”スポーツ・運動をする人では、「ジョギング、ランニング、マラソン」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	ジョギング、ランニング、マラソン	野球、ソフトボール	バスケットボール	テニス	サッカー	筋力トレーニング	バレーボール	卓球	陸上競技
全体 n=411	**14.6**	13.1	12.7	12.4	10.7	10.0	9.7	9.0	7.3
週に5日以上 n=200	13.5	**21.0**	14.5	14.5	15.0	6.0	10.5	9.5	7.0
週に3～4日 n=125	9.6	6.4	**16.0**	13.6	6.4	8.8	12.0	12.8	12.0
週に1～2日 n=51	**23.5**	2.0	3.9	5.9	5.9	21.6	3.9	－	2.0
月に1～2日程度 n=35	**25.7**	8.6	2.9	5.7	8.6	20.0	5.7	5.7	－

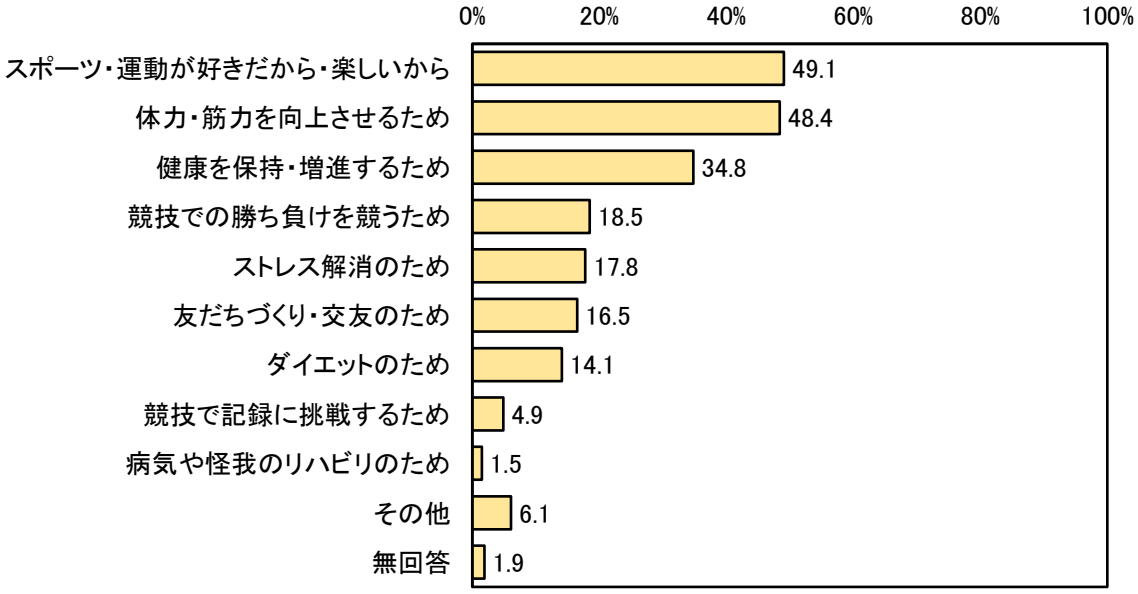
（%）	ハンドボール	ダンス	ウォーキング、散歩	バドミントン	サイクリング	縄跳び	その他（10件未満）	無回答
全体 n=411	6.3	5.4	3.9	3.6	2.4	2.4	16.1	3.2
週に5日以上 n=200	8.0	4.5	－	4.0	2.0	0.5	13.5	3.0
週に3～4日 n=125	6.4	3.2	3.2	0.8	－	0.8	20.8	1.6
週に1～2日 n=51	2.0	9.8	15.7	5.9	7.8	11.8	9.8	9.8
月に1～2日程度 n=35	2.9	11.4	11.4	8.6	5.7	5.7	22.9	－

（4）スポーツ・運動を行う理由

問 14　問 11 で、「1～4」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、今、スポーツ・運動を行っているのはどのような理由からですか。（○は3つまで）

月に１日以上スポーツ・運動をする人に、スポーツ・運動をする理由を尋ねると、「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」が 49.1％で最も多く、次いで「体力・筋力を向上させるため」が 48.4％、「健康を保持・増進するため」が 34.8％、「競技での勝ち負けを競うため」が 18.5％、「ストレス解消のため」が 17.8％となっています。

（n=411）



【その他の回答】
運動不足にならないようにするため、兄弟姉妹と一緒に遊ぶため、散歩などのついでに行っている、将来やりたい職業に役立つから、苦手な運動を克服するため、部活のため、目標のため

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「体力・筋力を向上させるため」が、高校生では「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「体力・筋力を向上させるため」が、女性では「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	健康を保持・増進するため	ダイエットのため	友だちづくり・交友のため	スポーツ・運動が好きだから・楽しいから	ストレス解消のため	体力・筋力を向上させるため	病気や怪我のリハビリのため	競技で記録に挑戦するため	競技での勝ち負けを競うため	その他	無回答
全体 n=411	34.8	14.1	16.5	**49.1**	17.8	48.4	1.5	4.9	18.5	6.1	1.9
中学生 n=258	37.2	12.0	16.3	51.6	14.7	**51.9**	0.8	5.4	21.7	8.1	1.6
高校生 n=152	30.3	17.8	17.1	**44.7**	23.0	42.1	2.6	3.9	13.2	2.6	2.6
男性 n=217	36.4	6.0	14.3	55.8	18.4	**59.4**	0.5	5.1	22.1	3.2	1.4
女性 n=185	33.5	23.8	18.9	**41.6**	17.3	36.8	2.7	4.3	14.6	9.2	2.2
その他 n=6	16.7	16.7	16.7	**50.0**	16.7	16.7	－	－	－	16.7	16.7

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度にみると、「週に５日以上」スポーツ・運動をする人では「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」が、“週に１～４日”スポーツ・運動をする人では「体力・筋力を向上させるため」が、「月に１～２日程度」スポーツ・運動をする人では「健康を保持・増進するため」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	健康を保持・増進するため	ダイエットのため	友だちづくり・交友のため	スポーツ・運動が好きだから・楽しいから	ストレス解消のため	体力・筋力を向上させるため	病気や怪我のリハビリのため	競技で記録に挑戦するため	競技での勝ち負けを競うため	その他	無回答
全体 n=411	34.8	14.1	16.5	**49.1**	17.8	48.4	1.5	4.9	18.5	6.1	1.9
週に5日以上 n=200	32.5	9.0	17.5	**67.0**	15.5	53.5	1.0	7.5	29.5	2.5	2.0
週に3～4日 n=125	41.6	10.4	20.8	41.6	20.0	**52.0**	1.6	4.0	11.2	7.2	1.6
週に1～2日 n=51	23.5	29.4	5.9	19.6	17.6	**43.1**	2.0	－	5.9	9.8	3.9
月に1～2日程度 n=35	**40.0**	34.3	11.4	17.1	22.9	14.3	2.9	－	－	17.1	－

【経年比較】

スポーツ・運動をする理由について過去の調査結果と比較すると、今回調査、平成 25 年度調査、平成 14 年度調査いずれも「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」が最も多くなっています。

（%）	健康を保持・増進するため	ダイエットのため	友だちづくり・交友のため	スポーツ・運動が好きだから・楽しいから	ストレス解消のため	体力・筋力を向上させるため	病気や怪我のリハビリのため	競技で記録に挑戦するため	競技での勝ち負けを競うため	その他	無回答
令和3年度調査 n=411	34.8	14.1	16.5	**49.1**	17.8	48.4	1.5	4.9	18.5	6.1	1.9
平成25年度調査 n=397	29.0	11.6	17.3	**56.2**	20.7	49.1	0.3	6.5	20.7	7.8	2.8
平成14年度調査 n=496	21.2	12.1	12.3	**44.8**	17.1	35.5	0.8	5.2	17.1	7.7	20.6

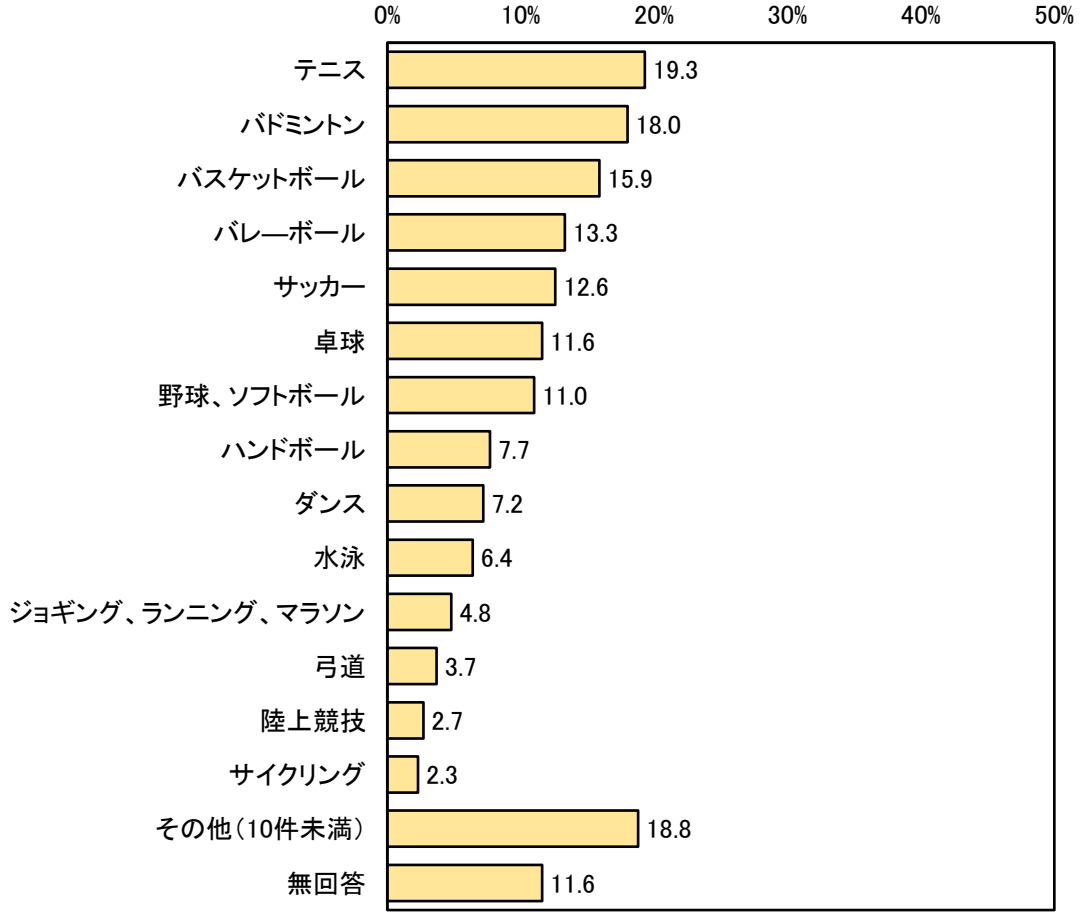
5　将来のスポーツ活動について

（1）やってみたい、続けていきたいスポーツ・運動

問 15　あなたがこれからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動を**3つまで**答えてください。

これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動について、「テニス」が 19.3％で最も多く、次いで「バドミントン」が 18.0％、「バスケットボール」が 15.9％、「バレ―ボール」が 13.3％、「サッカー」が 12.6％となっています。

（n=483）



【その他の回答】

筋力トレーニング、剣道、スケートボード、空手、クライミング、スノーボード、ボルダリング、ウォーキング、散歩、スケート、縄跳び、バレエ、アーチェリー、合気道、ボクシング、アルティメット、カバディ、柔道、少林寺拳法、スキー、体操、テコンドー、ドッジボール、トライアスロン、パルクール、ｅスポーツ、アイススケート、鬼ごっこ、クィディッチ、ゲームのフィットネス、ゴルフ、サーフィン、システマ、射撃、ストレッチ、セパタクロー、総合格闘技、登山、ドロケイ、ビーチバレーボール、フェンシング、フットベースボール、フリスビー、ボウリング、ミュージカル、ラグビー、ロードレース、ローラースケート

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「テニス」が、高校生では「バドミントン」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「サッカー」が、女性では「バドミントン」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	テニス	バドミントン	バスケットボール	バレーボール	サッカー	卓球	野球、ソフトボール	ハンドボール
全体 n=483	**19.3**	18.0	15.9	13.3	12.6	11.6	11.0	7.7
中学生 n=281	**21.7**	18.5	16.0	11.4	12.8	12.5	11.7	9.6
高校生 n=200	15.5	**17.5**	15.5	16.0	12.5	10.0	10.0	5.0
男性 n=238	19.3	11.3	16.8	11.3	**20.2**	12.6	16.0	8.4
女性 n=234	19.7	**24.4**	15.8	15.4	5.1	10.7	6.4	7.3
その他 n=7	14.3	**28.6**	－	14.3	14.3	－	－	－

（%）	ダンス	水泳	ジョギング、ランニング、マラソン	弓道	陸上競技	サイクリング	その他（10件未満）	無回答
全体 n=483	7.2	6.4	4.8	3.7	2.7	2.3	18.8	11.6
中学生 n=281	6.4	8.2	5.7	3.9	3.6	1.8	16.4	11.4
高校生 n=200	8.5	4.0	3.5	3.5	1.5	3.0	22.5	11.5
男性 n=238	2.5	4.2	4.6	2.1	2.9	3.4	16.4	11.3
女性 n=234	11.5	8.1	5.1	5.6	2.6	1.3	20.1	11.1
その他 n=7	**28.6**	14.3	－	－	－	－	57.1	28.6

【スポーツ･運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、“週に３日以上”スポーツ・運動をする人では「テニス」が、「週に１～２日程度」スポーツ・運動をする人では「バドミントン」が、「月に１～２日程度」スポーツ・運動をする人では「テニス」、「バレーボール」、「ダンス」が、「スポーツ・運動はしない」人では「バドミントン」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	テニス	バドミントン	バスケットボール	バレーボール	サッカー	卓球	野球、ソフトボール	ハンドボール
全体 n=483	**19.3**	18.0	15.9	13.3	12.6	11.6	11.0	7.7
週に5日以上 n=200	**19.5**	17.0	18.5	15.5	18.0	8.5	19.0	9.0
週に3～4日 n=125	**23.2**	13.6	15.2	12.8	10.4	16.8	5.6	11.2
週に1～2日 n=51	15.7	**23.5**	13.7	11.8	13.7	7.8	2.0	3.9
月に1～2日程度 n=35	**17.1**	14.3	11.4	**17.1**	5.7	8.6	11.4	2.9
スポーツ･運動はしない n=63	15.9	**28.6**	15.9	7.9	3.2	12.7	4.8	1.6

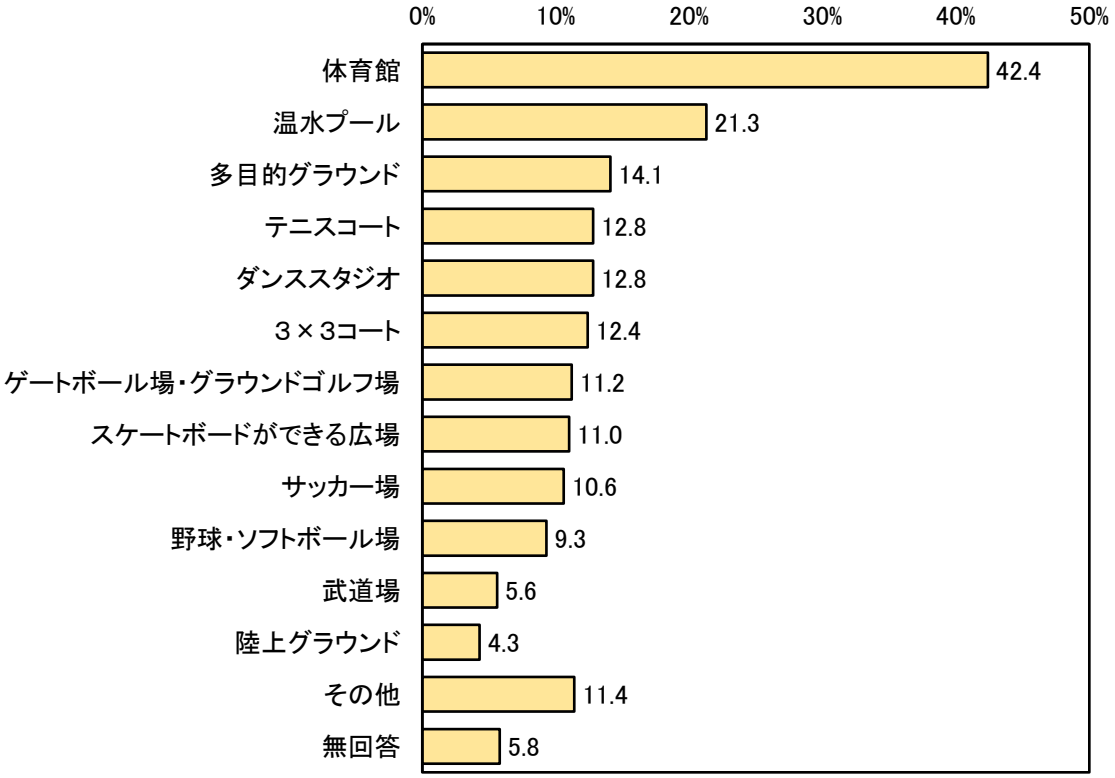
（%）	ダンス	水泳	ジョギング、ランニング、マラソン	弓道	陸上競技	サイクリング	その他（10件未満）	無回答
全体 n=483	7.2	6.4	4.8	3.7	2.7	2.3	18.8	11.6
週に5日以上 n=200	5.0	6.5	4.5	5.0	3.5	3.0	16.0	6.5
週に3～4日 n=125	6.4	4.0	4.8	4.0	4.0	0.8	24.0	9.6
週に1～2日 n=51	9.8	11.8	5.9	－	2.0	5.9	17.6	17.6
月に1～2日程度 n=35	**17.1**	5.7	2.9	2.9	－	2.9	22.9	14.3
スポーツ･運動はしない n=63	9.5	7.9	6.3	3.2	－	－	19.0	17.5

（2）市内に新設、増設してほしいスポーツ施設

問 16　今後、安城市内で新設または増設してほしいスポーツ施設は何ですか。
以下の中から選んでください。（○は3つまで）

安城市内で新設または増設してほしいスポーツ施設について、「体育館」が 42.4％で最も多く、次いで「温水プール」が 21.3％、「多目的グラウンド」が 14.1％、「テニスコート」と「ダンススタジオ」がともに 12.8％となっています。

（n=483）



【その他の回答】

アーチェリー場、アスレチック、弓道場、クィディッチコート、人工芝のグラウンド、スケートリンク、スポーツジム、卓球場、バスケットコート、ハンドボールコート、プール、ボクシングリング

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生、高校生ともに「体育館」が最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「体育館」が最も多くなっています。

（%）	体育館	陸上グラウンド	サッカー場	野球・ソフトボール場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	ダンススタジオ	スケートボードができる広場	多目的グラウンド	3×3コート	その他	無回答
全体 n=483	**42.4**	4.3	10.6	9.3	21.3	12.8	5.6	11.2	12.8	11.0	14.1	12.4	11.4	5.8
中学生 n=281	**40.9**	3.9	11.0	12.1	24.9	15.7	4.6	11.0	10.0	11.4	13.2	13.5	12.1	5.0
高校生 n=200	**44.5**	5.0	10.0	5.0	16.5	9.0	7.0	11.5	17.0	10.5	15.0	11.0	10.5	6.5
男性 n=238	**44.1**	3.8	18.9	14.3	15.1	15.5	4.6	2.5	14.3	14.7	14.3	16.4	13.4	4.2
女性 n=234	**41.0**	4.7	2.6	4.7	27.4	10.7	6.8	19.7	11.5	7.7	13.7	9.0	8.5	6.8
その他 n=7	**42.9**	14.3	－	－	28.6	－	－	28.6	14.3	－	14.3	－	14.3	14.3

【中学校区別】

中学校区別にみると、いずれの中学校区でも「体育館」が最も多くなっています。

（%）	体育館	陸上グラウンド	サッカー場	野球・ソフトボール場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	ダンススタジオ	スケートボードができる広場	多目的グラウンド	3×3コート	その他	無回答
全体 n=483	**42.4**	4.3	10.6	9.3	21.3	12.8	5.6	11.2	12.8	11.0	14.1	12.4	11.4	5.8
安城南中学校区 n=69	**47.8**	2.9	4.3	7.2	15.9	8.7	4.3	5.8	20.3	13.0	11.6	14.5	15.9	4.3
安城北中学校区 n=59	**33.9**	6.8	13.6	6.8	23.7	10.2	6.8	16.9	6.8	10.2	13.6	11.9	18.6	5.1
明祥中学校区 n=49	**42.9**	4.1	6.1	8.2	8.2	18.4	6.1	10.2	14.3	6.1	8.2	14.3	6.1	10.2
安城西中学校区 n=69	**46.4**	2.9	11.6	11.6	26.1	11.6	5.8	11.6	13.0	8.7	15.9	13.0	10.1	7.2
桜井中学校区 n=60	**36.7**	5.0	10.0	3.3	31.7	8.3	1.7	11.7	15.0	13.3	6.7	15.0	6.7	8.3
東山中学校区 n=56	**51.8**	7.1	16.1	17.9	16.1	16.1	5.4	19.6	14.3	16.1	26.8	12.5	8.9	－
安祥中学校区 n=61	**41.0**	6.6	8.2	9.8	31.1	14.8	11.5	9.8	9.8	9.8	14.8	9.8	6.6	4.9
篠目中学校区 n=57	**40.4**	－	15.8	10.5	14.0	17.5	3.5	5.3	8.8	10.5	14.0	7.0	17.5	5.3
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【スポーツ・運動をする頻度別】

スポーツ・運動をする頻度別にみると、“月に１日以上”スポーツ・運動をする人では「体育館」が、「スポーツ・運動はしない」人では温水プールが、それぞれ最も多くなっています。

（%）	体育館	陸上グラウンド	サッカー場	野球・ソフトボール場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	ダンススタジオ	スケートボードができる広場	多目的グラウンド	３×３コート	その他	無回答
全体 n=483	**42.4**	4.3	10.6	9.3	21.3	12.8	5.6	11.2	12.8	11.0	14.1	12.4	11.4	5.8
週に5日以上 n=200	**44.5**	3.5	16.5	14.5	20.0	16.5	8.0	9.5	15.0	10.0	14.5	15.5	13.0	2.0
週に3～4日 n=125	**48.0**	5.6	7.2	8.0	18.4	11.2	3.2	12.0	8.8	12.0	10.4	13.6	13.6	4.0
週に1～2日 n=51	**49.0**	3.9	7.8	5.9	25.5	13.7	2.0	11.8	13.7	11.8	17.6	7.8	7.8	2.0
月に1～2日程度 n=35	**37.1**	5.7	5.7	5.7	22.9	5.7	5.7	20.0	14.3	14.3	25.7	2.9	8.6	2.9
スポーツ・運動はしない n=63	25.4	4.8	4.8	1.6	**30.2**	7.9	6.3	11.1	14.3	9.5	11.1	11.1	6.3	17.5

【経年比較】

スポーツ・運動をする理由について過去の調査結果と比較すると、今回調査、平成 25 年度調査、平成 14 年度調査いずれも「体育館」が最も多くなっています。

（%）	体育館	陸上グラウンド	サッカー場	野球・ソフトボール場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	ダンススタジオ	スケートボードができる広場	多目的グラウンド	３×３コート	その他	無回答
令和3年度調査 n=483	**42.4**	4.3	10.6	9.3	21.3	12.8	5.6	11.2	12.8	11.0	14.1	12.4	11.4	5.8
平成25年度調査 n=480	**34.0**	4.8	10.0	9.6	28.8	13.8	6.0	－	7.9	5.2	18.8	－	14.2	7.9
平成14年度調査 n=496	**32.7**	3.2	10.5	7.7	26.0	22.0	4.4	－	－	－	25.8	－	9.7	12.7

※令和3年度調査では、「サイクリングロード」は選択肢にない。

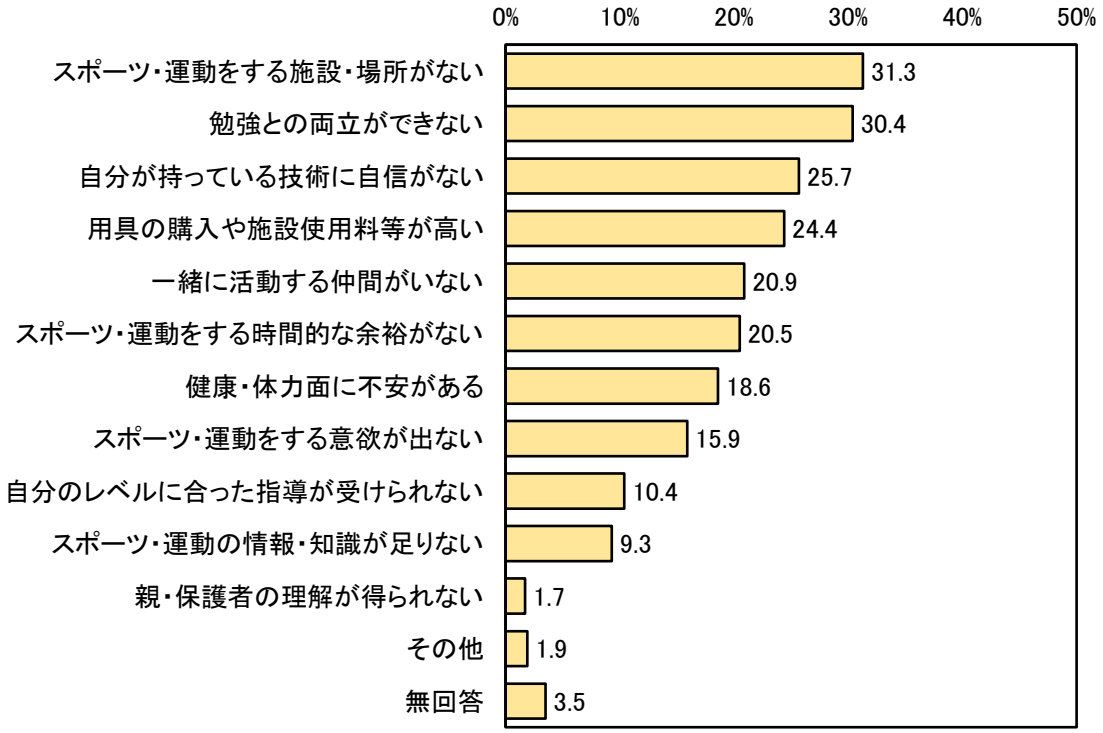
※平成 14 年度調査、平成 25 年度調査では、「ゲートボール場・グラウンドゴルフ場」、「３×３コート」は選択肢にない。

（3）スポーツ・運動を行おうとする時の問題

問 17　あなたが、将来、スポーツ・運動を行おうとする時に問題になると考えられることは何ですか。
（○は**3つまで**）

将来、スポーツ・運動を行おうとする時に問題になると考えられることについて、「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が 31.3％で最も多く、次いで「勉強との両立ができない」が 30.4％、「自分が持っている技術に自信がない」が 25.7％、「用具の購入や施設使用料等が高い」が 24.4％、「一緒に活動する仲間がいない」が 20.9％となっています。

（n=483）



【その他の回答】
けがの問題、施設を借りるまでの手順が長い、やる気の問題

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「勉強との両立ができない」が、高校生では「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が、女性では「自分が持っている技術に自信がない」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	スポーツ・運動をする施設・場所がない	自分のレベルに合った指導が受けられない	一緒に活動する仲間がいない	用具の購入や施設使用料等が高い	スポーツ・運動の情報・知識が足りない	スポーツ・運動をする時間的な余裕がない	健康・体力面に不安がある	スポーツ・運動をする意欲が出ない	自分が持っている技術に自信がない	勉強との両立ができない	親・保護者の理解が得られない	その他	無回答
全体 n=483	**31.3**	10.4	20.9	24.4	9.3	20.5	18.6	15.9	25.7	30.4	1.7	1.9	3.5
中学生 n=281	29.5	10.7	19.2	24.2	11.4	20.3	17.1	17.1	28.8	**40.6**	2.5	2.1	1.1
高校生 n=200	**34.0**	10.0	23.5	25.0	6.0	21.0	21.0	14.5	21.0	16.0	0.5	1.5	6.5
男性 n=238	**36.1**	9.7	21.4	23.9	9.2	18.1	17.6	11.3	18.9	31.9	2.1	1.7	4.2
女性 n=234	25.6	11.1	19.7	25.2	9.8	23.5	19.7	21.4	**32.9**	29.1	0.9	2.1	1.7
その他 n=7	**57.1**	14.3	42.9	28.6	－	14.3	14.3	－	－	28.6	14.3	－	14.3

【中学校区別】

中学校区別にみると、「安城南中学校区」、「安城西中学校区」、「安祥中学校区」では「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が、「安城北中学校区」では「一緒に活動する仲間がいない」が、「明祥中学校区」と「篠目中学校区」では「自分が持っている技術に自信がない」が、「桜井中学校区」と「東山中学校区」では「勉強との両立ができない」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	スポーツ・運動をする施設・場所がない	自分のレベルに合った指導が受けられない	一緒に活動する仲間がいない	用具の購入や施設使用料等が高い	スポーツ・運動の情報・知識が足りない	スポーツ・運動をする時間的な余裕がない	健康・体力面に不安がある	スポーツ・運動をする意欲が出ない	自分が持っている技術に自信がない	勉強との両立ができない	親・保護者の理解が得られない	その他	無回答
全体 n=483	**31.3**	10.4	20.9	24.4	9.3	20.5	18.6	15.9	25.7	30.4	1.7	1.9	3.5
安城南中学校区 n=69	**39.1**	8.7	8.7	29.0	7.2	14.5	21.7	14.5	21.7	20.3	2.9	5.8	5.8
安城北中学校区 n=59	32.2	10.2	**35.6**	18.6	5.1	22.0	18.6	16.9	27.1	25.4	3.4	1.7	－
明祥中学校区 n=49	30.6	10.2	22.4	14.3	14.3	20.4	20.4	26.5	**32.7**	26.5	－	－	－
安城西中学校区 n=69	**34.8**	7.2	31.9	18.8	13.0	18.8	20.3	10.1	17.4	27.5	1.4	－	7.2
桜井中学校区 n=60	20.0	5.0	13.3	35.0	10.0	31.7	21.7	11.7	30.0	**40.0**	3.3	1.7	3.3
東山中学校区 n=56	30.4	12.5	21.4	28.6	8.9	17.9	16.1	8.9	21.4	**39.3**	1.8	1.8	5.4
安祥中学校区 n=61	**37.7**	19.7	14.8	31.1	3.3	27.9	13.1	16.4	21.3	36.1	－	－	1.6
篠目中学校区 n=57	24.6	10.5	21.1	19.3	14.0	12.3	17.5	24.6	**36.8**	29.8	－	3.5	1.8
その他 n=0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【これからやってみたい、続けていきたいスポーツ・運動別】

これからやってみたい、続けていきたいスポーツ・運動別にみると、特に「ハンドボール」について「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が 59.5%と非常に高くなっており、次いで「野球」や「サッカー」などの広い面積を使う種目で多く回答されています。

(%)	スポーツ・運動をする施設・場所がない	自分のレベルに合った指導が受けられない	一緒に活動する仲間がいない	用具の購入や施設使用料等が高い	スポーツ・運動の情報・知識が足りない	スポーツ・運動をする時間的な余裕がない	健康・体力面に不安がある	スポーツ・運動をする意欲が出ない	自分が持っている技術に自信がない	勉強との両立ができない	親・保護者の理解が得られない	その他	無回答
全体 n=483	**31.3**	10.4	20.9	24.4	9.3	20.5	18.6	15.9	25.7	30.4	1.7	1.9	3.5
テニス n=93	**34.4**	8.6	17.2	33.3	15.1	20.4	11.8	7.5	30.1	33.3	－	1.1	1.1
バドミントン n=87	26.4	8.0	21.8	**32.2**	5.7	23.0	23.0	23.0	31.0	25.3	－	1.1	－
バスケットボール n=77	37.7	9.1	27.3	28.6	15.6	19.5	11.7	14.3	27.3	**39.0**	2.6	1.3	1.3
バレーボール n=64	**37.5**	7.8	18.8	21.9	3.1	31.3	12.5	7.8	20.3	32.8	－	4.7	3.1
サッカー n=61	**42.6**	11.5	24.6	23.0	6.6	19.7	13.1	9.8	14.8	31.1	1.6	3.3	－
卓球 n=56	**37.5**	12.5	26.8	30.4	17.9	16.1	21.4	17.9	23.2	33.9	－	－	1.8
野球、ソフトボール n=53	**41.5**	3.8	11.3	35.8	17.0	11.3	17.0	7.5	17.0	35.8	1.9	1.9	1.9
ハンドボール n=37	**48.6**	16.2	29.7	18.9	13.5	13.5	8.1	8.1	27.0	29.7	2.7	－	－
ダンス n=35	17.1	25.7	17.1	11.4	8.6	25.7	25.7	17.1	**40.0**	34.3	2.9	2.9	－
水泳 n=31	12.9	12.9	25.8	16.1	－	22.6	22.6	25.8	29.0	**48.4**	3.2	3.2	－
ジョギング、ランニング、マラソン n=23	17.4	4.3	30.4	8.7	4.3	21.7	17.4	**34.8**	26.1	21.7	－	4.3	4.3
弓道 n=18	33.3	5.6	**38.9**	16.7	11.1	33.3	11.1	33.3	**38.9**	22.2	－	－	5.6
陸上競技 n=13	30.8	－	23.1	**53.8**	15.4	38.5	7.7	7.7	15.4	46.2	－	－	－
サイクリング n=11	**36.4**	9.1	27.3	**36.4**	9.1	**36.4**	**36.4**	－	27.3	18.2	－	9.1	－
その他（10件未満） n=91	**38.5**	12.1	26.4	29.7	9.9	19.8	20.9	13.2	29.7	26.4	3.3	2.2	2.2

【経年比較】

将来、スポーツ・運動を行おうとする時に問題になると考えられることについて過去の調査結果と比較すると、今回調査及び平成 14 年度調査では「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が、、平成 25 年度調査では「勉強との両立ができない」が、それぞれ最も多くなっています。

(%)	スポーツ・運動をする施設・場所がない	自分のレベルに合った指導が受けられない	一緒に活動する仲間がいない	用具の購入や施設使用料等が高い	スポーツ・運動の情報・知識が足りない	スポーツ・運動をする時間的な余裕がない	健康・体力面に不安がある	スポーツ・運動をする意欲が出ない	自分が持っている技術に自信がない	勉強との両立ができない	親・保護者の理解が得られない	その他	無回答
令和3年度調査 n=483	**31.3**	10.4	20.9	24.4	9.3	20.5	18.6	15.9	25.7	30.4	1.7	1.9	3.5
平成25年度調査 n=480	26.0	8.3	10.6	20.2	11.5	21.7	15.0	14.6	25.8	**32.5**	1.3	3.5	10.3
平成14年度調査 n=496	**30.4**	11.7	13.1	24.6	16.3	27.8	10.3	16.3	21.4	13.1	1.0	4.2	5.0

６　スポーツ・運動への参加希望について

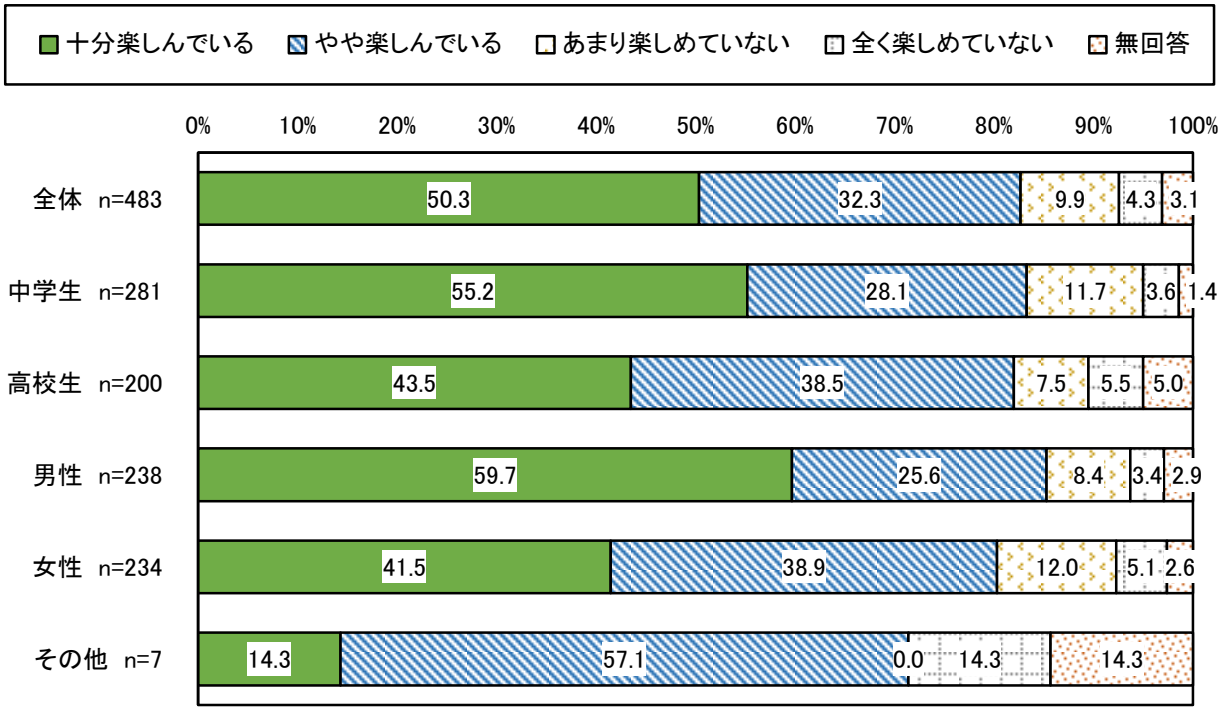
（1）スポーツ・運動を楽しめているか

問 18　現在、あなたが希望するスポーツ・運動は十分に楽しめていますか。（○は1つ）

希望するスポーツ・運動を十分楽しめているかについて、「十分楽しんでいる」と「やや楽しんでいる」を合わせた“楽しんでいる”が 82.6%、「あまり楽しめていない」と「全く楽しめていない」を合わせた“楽しめていない”が 14.2%となっています。

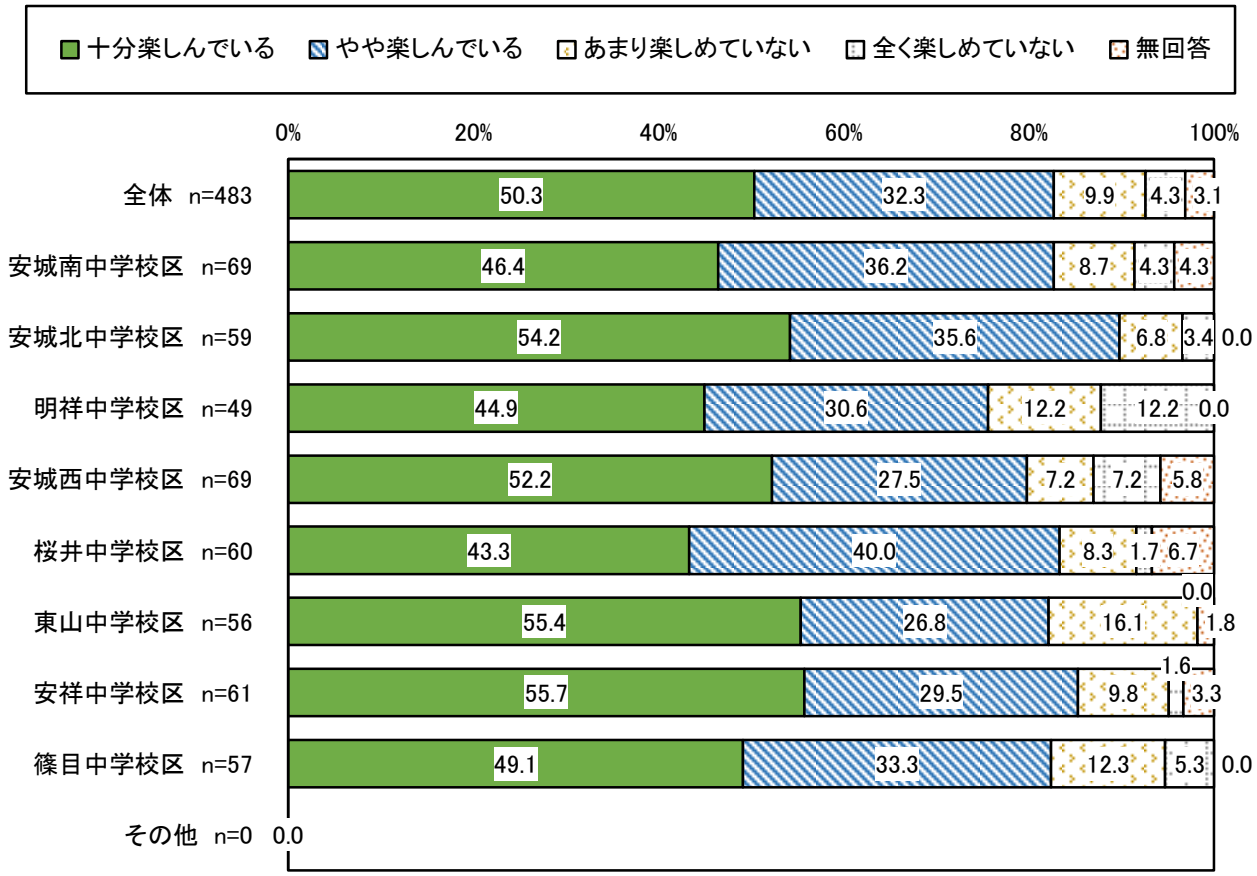
中高生別にみると、“楽しんでいる”について、中学生が 83.3%、高校生が 82.0%と、いずれも８割以上となっています。

性別にみると、“楽しんでいる”について、男性が 85.3%、女性が 80.4%と、男女ともに８割以上となっています。



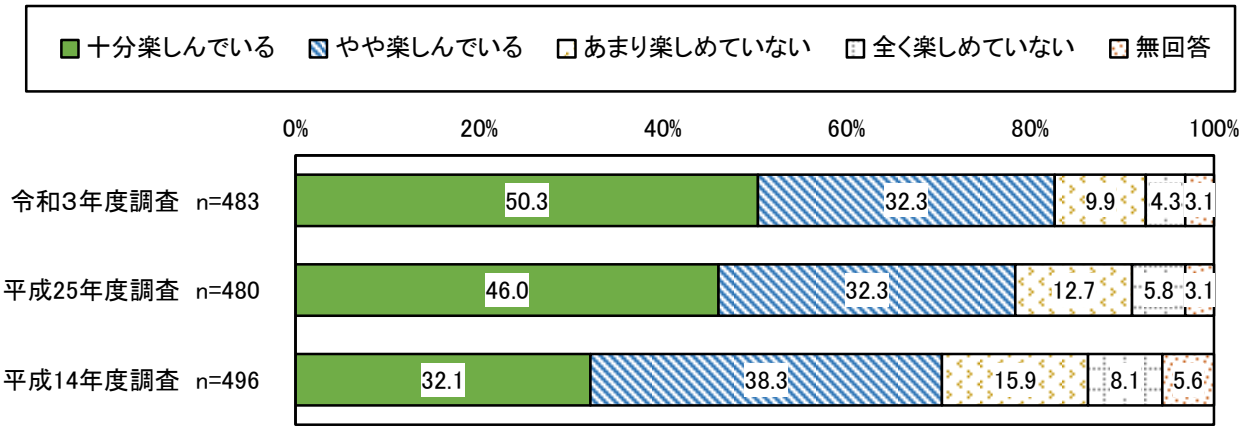
【中学校区別】

中学校区別にみると、“楽しんでいる”の回答が最も多いのは「安城北中学校区」となっています。



【経年比較】

希望するスポーツ・運動を十分楽しめているかについて希望するスポーツ・運動を十分楽しめているかについて過去の調査結果と比較すると、“楽しんでいる”について、今回の調査が 82.6%、平成 25 年度調査では 78.3%、平成 14 年度調査では 70.4%と、今回調査が最も多くなっています。



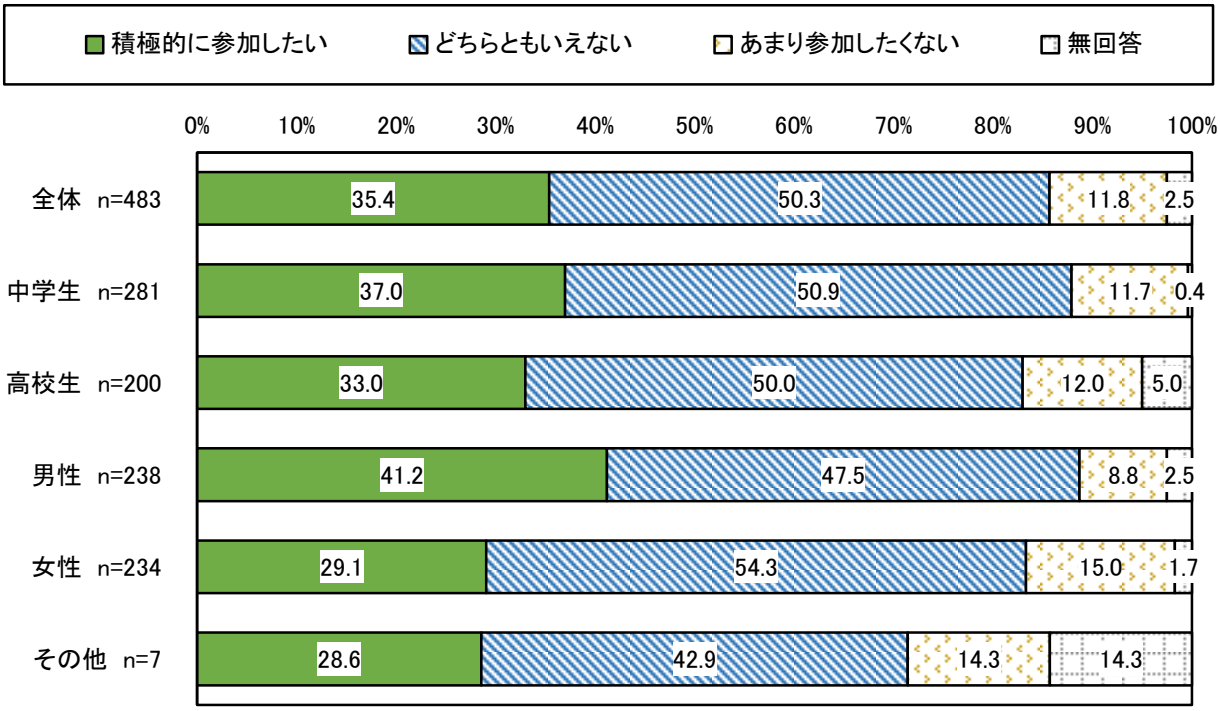
（2）学校以外でのスポーツ・運動の参加

問 19　もし、学校以外で気軽にスポーツ・運動ができれば、参加したいと思いますか。（○は1つ）

学校以外でのスポーツ・運動の参加について、「積極的に参加したい」が 35.4%、「どちらともいえない」が 50.3%、「あまり参加したくない」が 11.8%となっています。

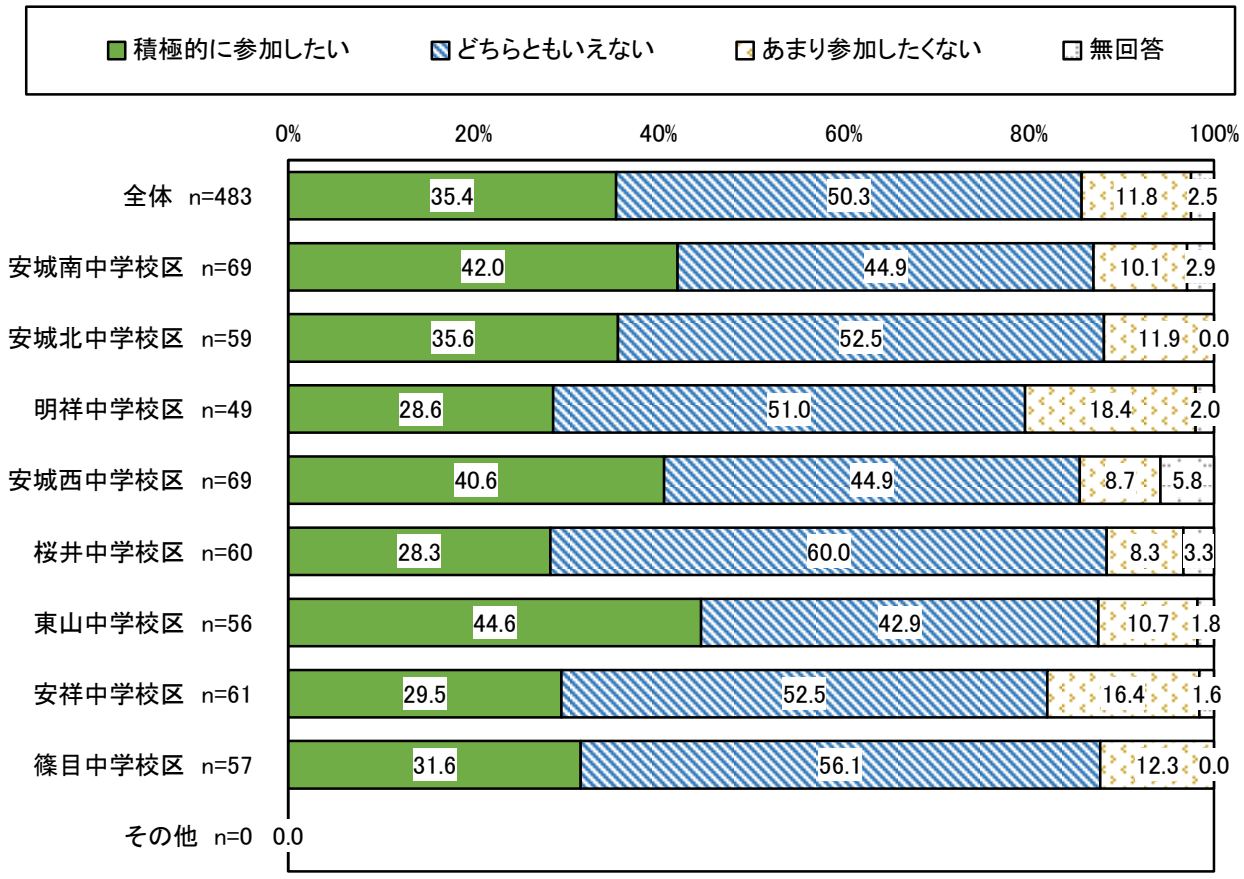
中高生別にみると、「積極的に参加したい」について、中学生が 37.0%、高校生が 33.0%となっています。

性別にみると、「積極的に参加したい」について、男性が 41.2%、女性が 29.1%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



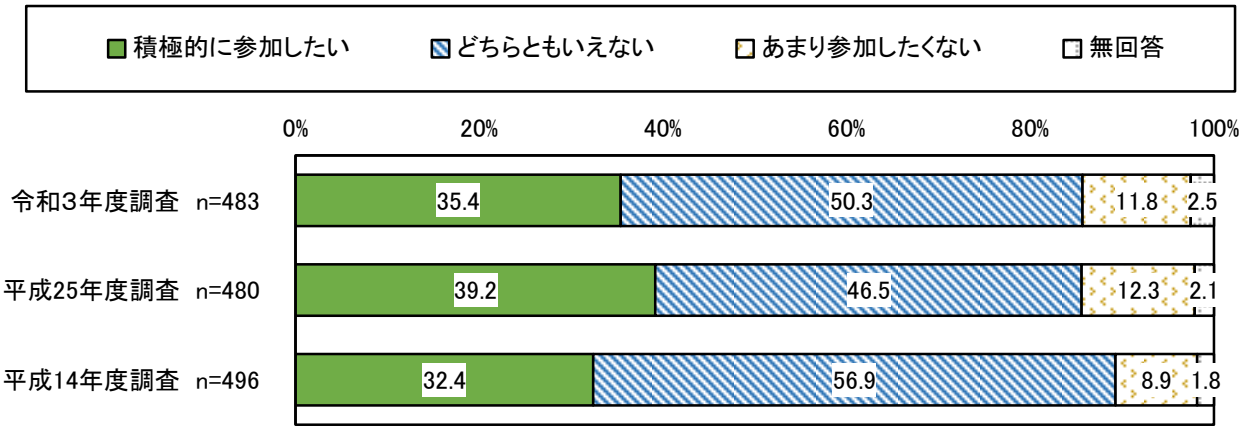
【中学校区別】

中学校区別にみると、、「積極的に参加したい」の回答が最も多いのは「東山中学校区」となっています。



【経年比較】

学校以外でのスポーツ・運動の参加について過去の調査結果と比較すると、「積極的に参加したい」の回答について、今回の調査が 35.4%、平成 25 年度調査では 39.2%、平成 14 年度調査では 32.4%と、今回調査では平成 25 年度調査に比べてやや減少しています。



7　スポーツ観戦について

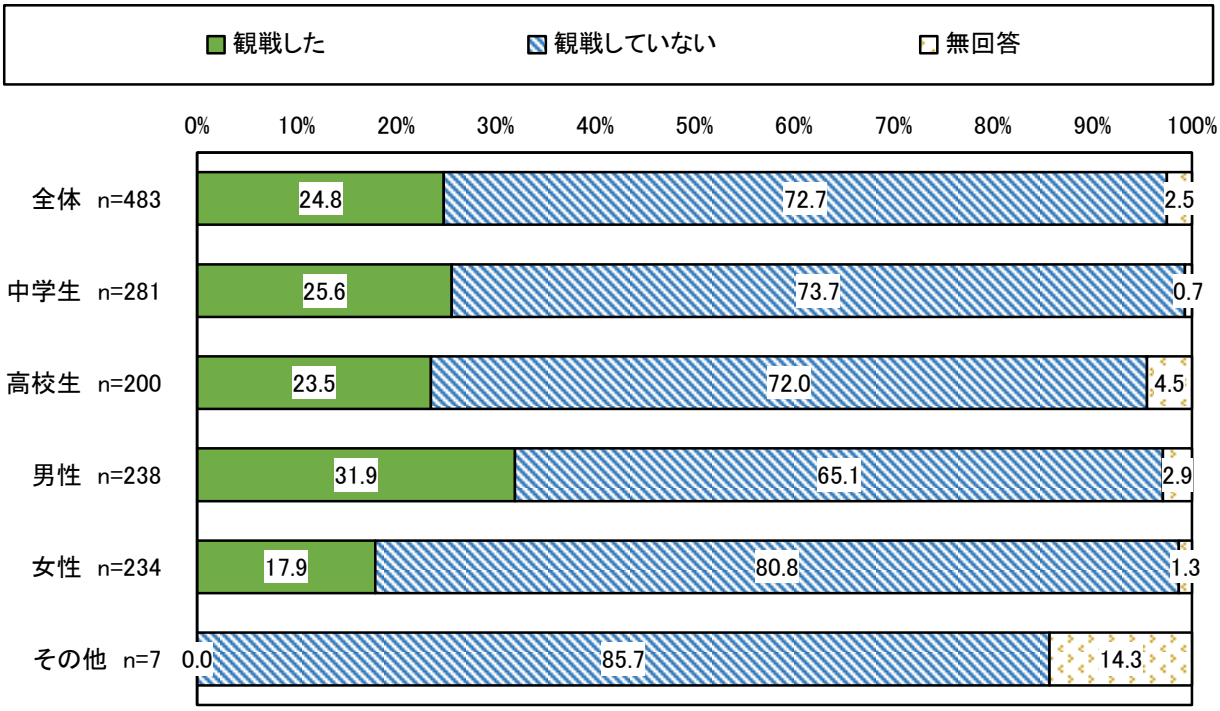
（1）スポーツ観戦の状況

問 20　あなたは、この１年間に直接スポーツ（プロ、アマ問わず）を観戦しましたか。
※学校の体育の授業、部活動、テレビ観戦は含みません。（○は1つ）

スポーツ観戦の状況について、「観戦した」が 24.8%、「観戦していない」が 72.7%となっています。

中高生別にみると、「観戦した」について、中学生が 25.6%、高校生が 23.5%となっています。

性別にみると、「観戦した」について、男性が 31.9%、女性が 17.9%と、男性の方が女性よりも多くなっています。

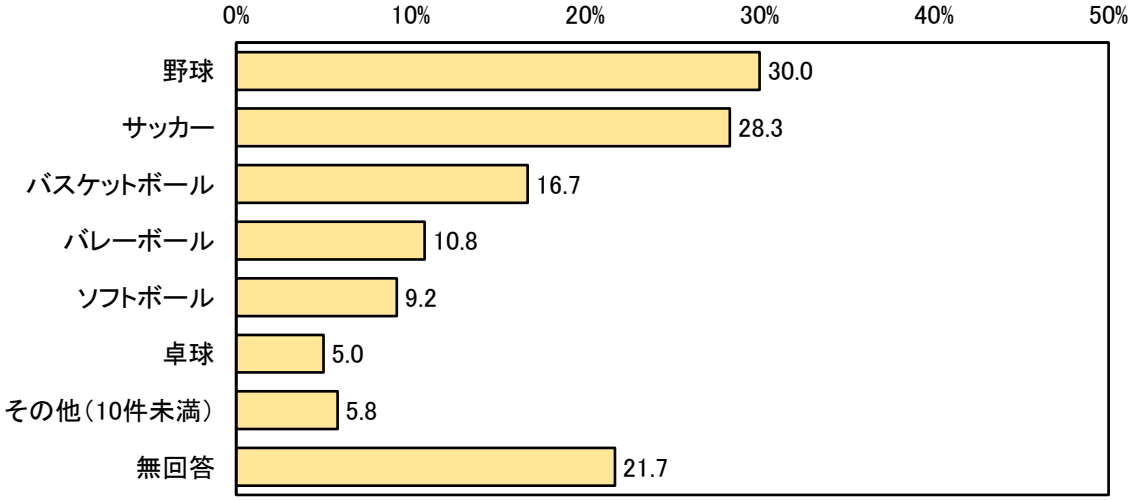


（2）観戦したスポーツ

問 21　問 20 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、観戦したスポーツは何ですか。以下の空欄に**3つまで**記入してください。

観戦したスポーツについて、「野球」が 30.0％で最も多く、次いで「サッカー」が 28.3％、「バスケットボール」が 16.7％、「バレーボール」が 10.8％、「ソフトボール」が 9.2％となっています。

(n=120)



【その他の回答】

テニス、水泳、スケートボード、ハンドボール、フットベースボール、剣道、柔道、体操、陸上、アルティメット、空手、キックボクシング、サーフィン、相撲、ダンス、バドミントン、フィギュアスケート、プロレス、ボルダリング

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「サッカー」が、高校生では「野球」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「野球」が、女性では「バスケットボール」が、それぞれ最も多くなっています。

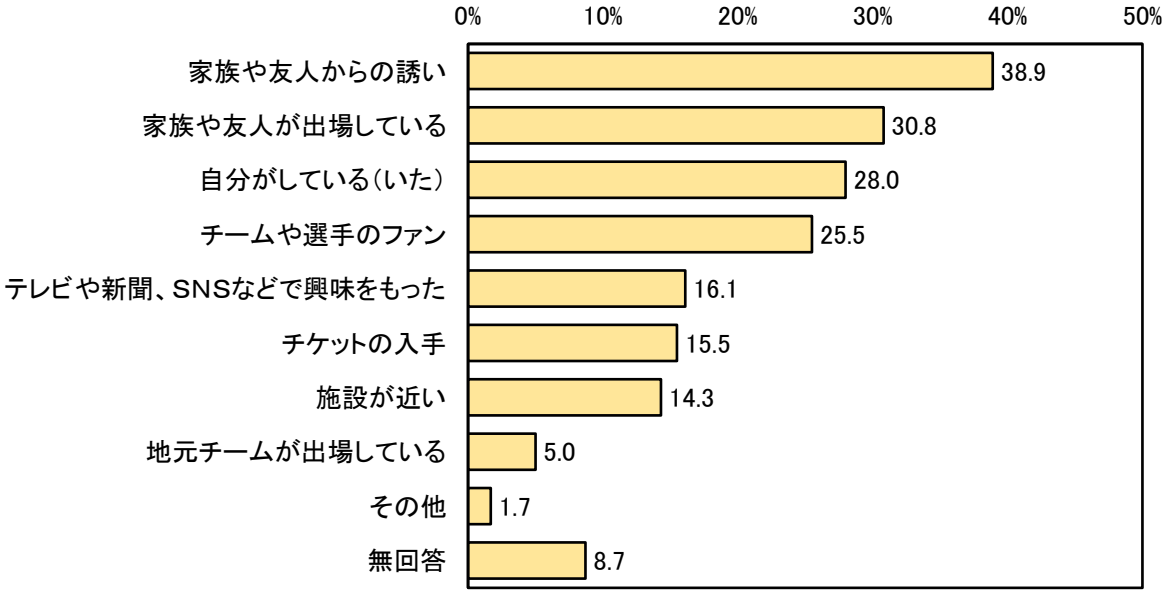
（%）	野球	サッカー	バスケットボール	バレーボール	ソフトボール	卓球	その他（10件未満）	無回答
全体　n=120	**30.0**	28.3	16.7	10.8	9.2	5.0	5.8	21.7
中学生　n=72	25.0	**29.2**	12.5	4.2	6.9	5.6	5.6	25.0
高校生　n=47	**38.3**	27.7	23.4	21.3	12.8	4.3	6.4	14.9
男性　n=76	**39.5**	32.9	10.5	10.5	7.9	3.9	5.3	14.5
女性　n=42	11.9	21.4	**28.6**	11.9	11.9	7.1	7.1	33.3
その他　n=0	－	－	－	－	－	－	－	－

（3）スポーツ観戦を始めたきっかけ

問 22　あなたは、どのようなきっかけでスポーツ観戦を始めましたか。問 20 で、「2」を選んだ人は、どのようなきっかけがあれば、スポーツ観戦をしたいと思いますか。（○は**3つまで**）

スポーツ観戦を始めたきっかけについて、「家族や友人からの誘い」が 38.9％で最も多く、次いで「家族や友人が出場している」が 30.8％、「自分がしている（いた）」が 28.0％、「チームや選手のファン」が 25.5％、「テレビや新聞、ＳＮＳなどで興味をもった」が 16.1％となっています。

（n=483）



【その他の回答】

コロナが収束したら、好きだから、テレビでたまたまやっていたから、勉強になるから

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生、高校生ともに「家族や友人からの誘い」が最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「家族や友人からの誘い」が最も多くなっています。

（%）	自分がしている（いた）	家族や友人が出場している	家族や友人からの誘い	チームや選手のファン	施設が近い	チケットの入手	テレビや新聞、ＳＮＳなどで興味をもった	地元チームが出場している	その他	無回答
全体　n=483	28.0	30.8	**38.9**	25.5	14.3	15.5	16.1	5.0	1.7	8.7
中学生　n=281	29.5	31.7	**40.2**	26.7	18.1	18.9	15.7	7.1	1.8	7.1
高校生　n=200	26.0	29.5	**37.0**	23.5	9.0	11.0	17.0	2.0	1.5	10.5
男性　n=238	30.3	22.7	**35.3**	24.8	15.1	17.6	13.9	6.3	2.5	9.2
女性　n=234	25.6	39.3	**43.6**	26.9	12.8	14.1	18.8	3.8	0.9	6.8
その他　n=7	**28.6**	**28.6**	**28.6**	－	**28.6**	－	－	－	－	42.9

8　スポーツボランティアについて

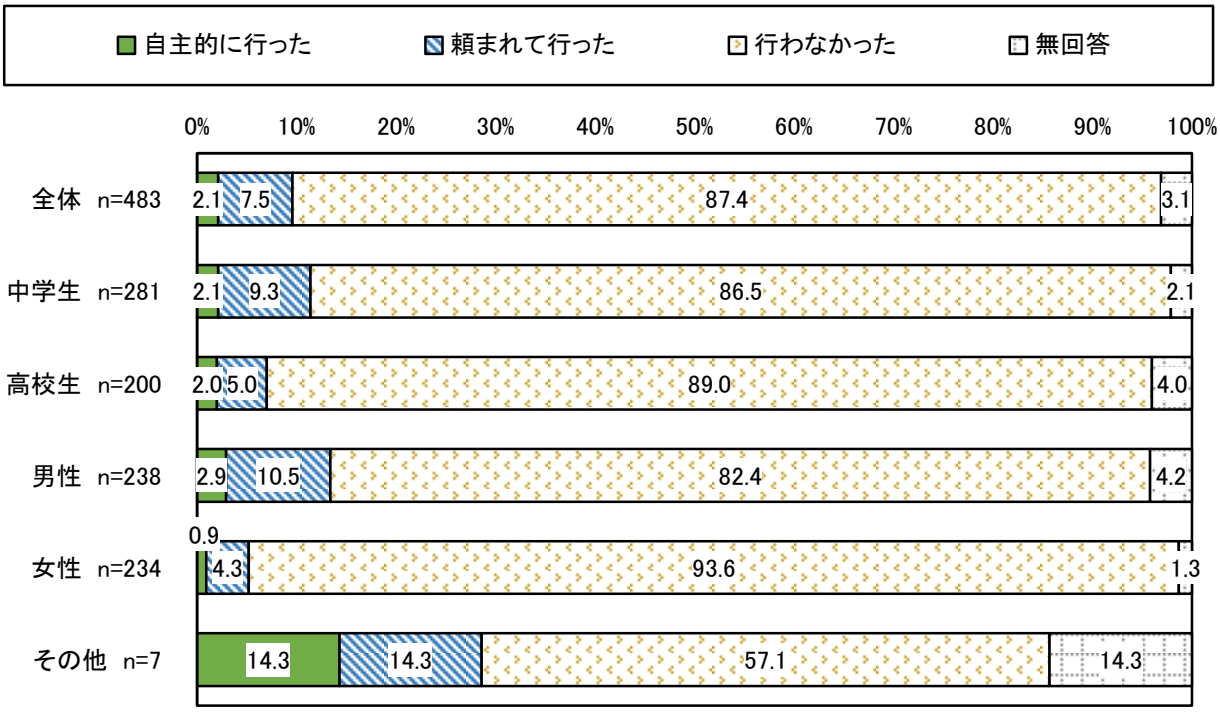
（1）スポーツボランティアの参加

問 23　あなたは、この一年間にスポーツボランティアをしたことがありますか。（○は1つ）

スポーツボランティアの参加について、「自主的に行った」と「頼まれて行った」を合わせた“行った”が 9.6%、「行わなかった」が 87.4%となっています。

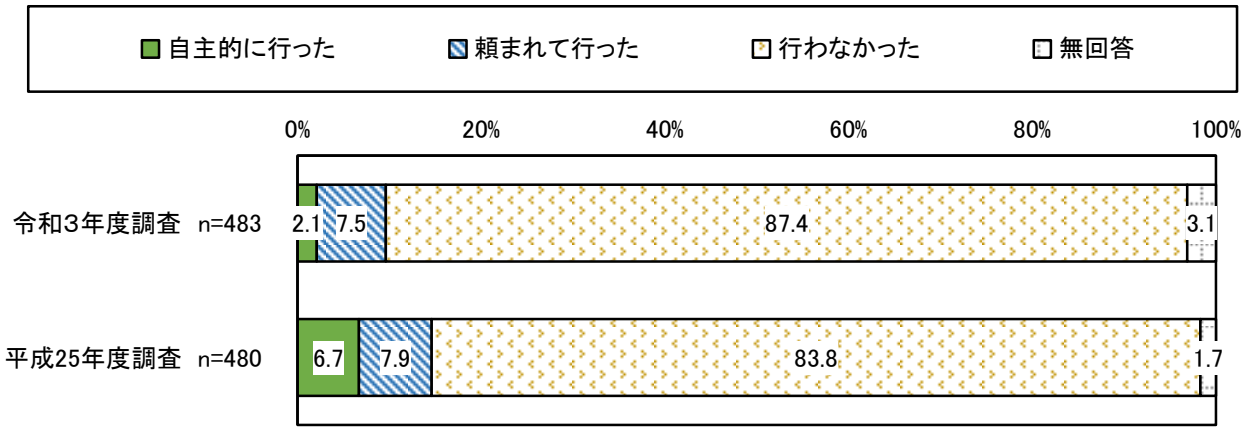
中高生別にみると、“行った”について、中学生が 11.4%、高校生が 7.0%となっています。

性別にみると、“行った”について、男性が 13.4%、女性が 5.2%と、男性の方が女性よりも多くなっています。



【経年比較】

スポーツボランティアの実施について過去の調査結果と比較すると、“行った”について、今回の調査が 9.6%、平成 25 年度調査では 14.6%と、今回調査では平成 25 年度調査に比べて 5 ポイント減少しています。

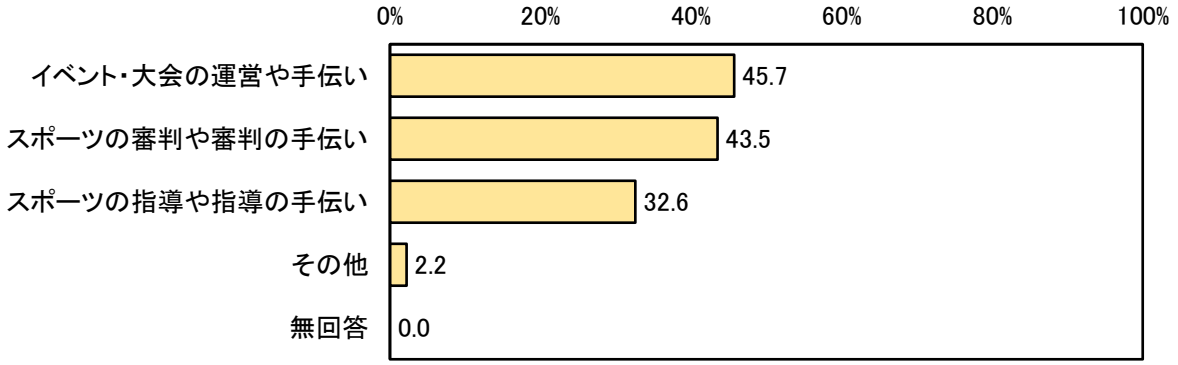


（2）参加経験のあるスポーツボランティア

問 24　問 23 で、「1」または「2」を選んだ人にお聞きします。
あなたがしたことがあるスポーツボランティアは何ですか。（○はいくつでも）

スポーツボランティアを“行った”と回答した人に、参加経験のあるスポーツボランティアについて尋ねると、「イベント・大会の運営や手伝い」が 45.7％で最も多く、次いで「スポーツの審判や審判の手伝い」が 43.5％、「スポーツの指導や指導の手伝い」が 32.6％となっています。

（n=46）



【その他の回答】
試合相手になる

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「スポーツの審判や審判の手伝い」が、高校生では「イベント・大会の運営や手伝い」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「スポーツの審判や審判の手伝い」が、女性では「イベント・大会の運営や手伝い」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	イベント・大会の運営や手伝い	スポーツの指導や指導の手伝い	スポーツの審判や審判の手伝い	その他	無回答
全体　n=46	**45.7**	32.6	43.5	2.2	－
中学生　n=32	40.6	25.0	**59.4**	3.1	－
高校生　n=14	**57.1**	50.0	7.1	－	－
男性　n=32	40.6	31.3	**46.9**	－	－
女性　n=12	**58.3**	25.0	33.3	8.3	－
その他　n=2	50.0	**100.0**	50.0	－	－

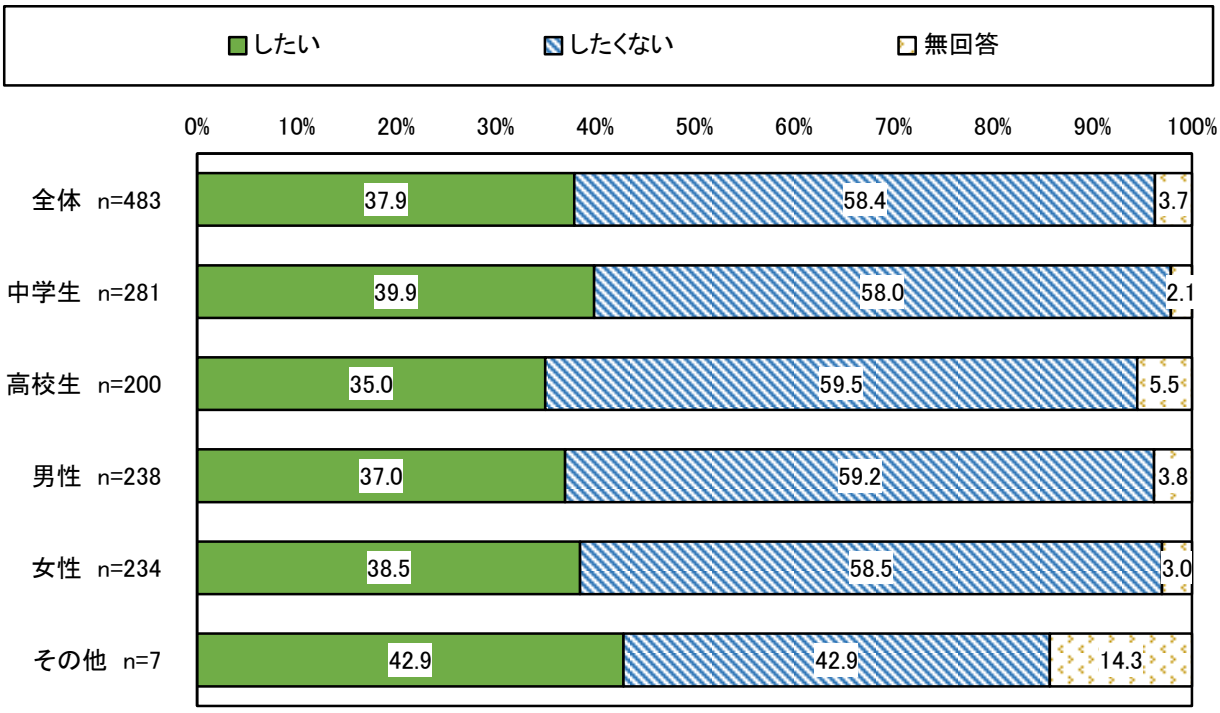
（3）スポーツボランティアの参加意向

問 25　すべての方にお聞きします。
あなたは、今後（も）スポーツボランティアをしたいと思いますか。（○は1つ）

今後のスポーツボランティアの参加意向について、「したい」が 37.9%、「したくない」が 58.4%となっています。

中高生別にみると、スポーツボランティアを「したい」について、中学生が 39.9%、高校生が 35.0%となっています。

性別にみると、スポーツボランティアを「したい」について、男性が 37.0%、女性が 38.5%と、男女で大きな差が見られません。

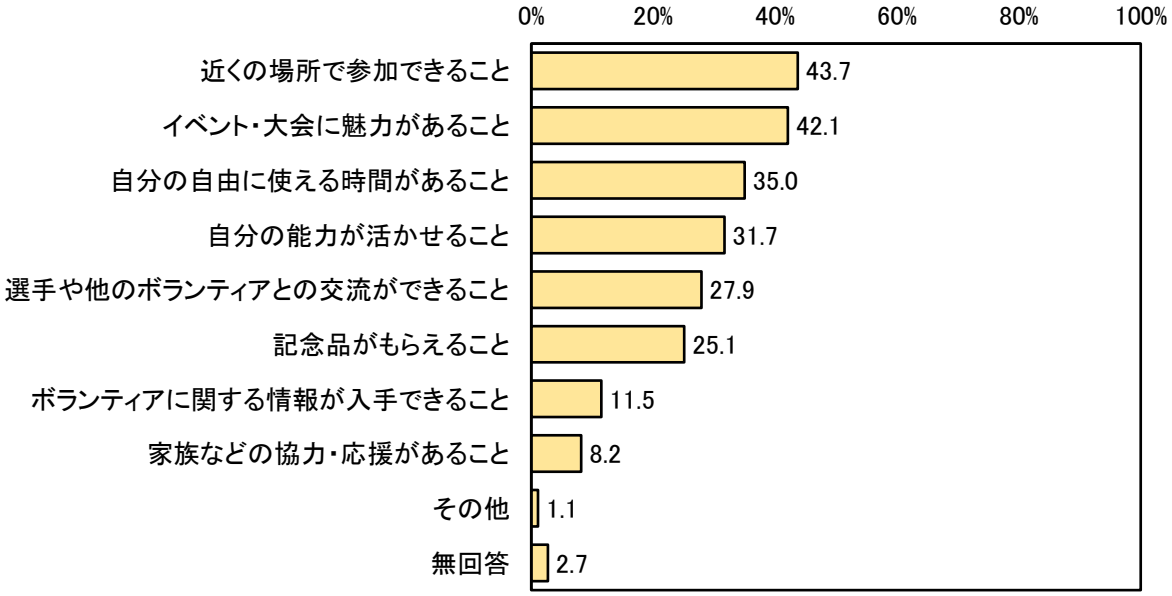


（4）スポーツボランティアをするために必要な事

問 26　問 25 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、スポーツボランティアをするためには、どのようなことが必要だと思いますか。
（○は3つまで）

今後、スポーツボランティアを「したい」と回答した人に、スポーツボランティアをするために必要なことを尋ねると、「近くの場所で参加できること」が 43.7%で最も多く、次いで「イベント・大会に魅力があること」が 42.1%、「自分の自由に使える時間があること」が 35.0%、「自分の能力が活かせること」が 31.7%、「選手や他のボランティアとの交流ができること」が 27.9%となっています。

(n=183)



【その他の回答】
お金を渡すこと、参加しやすい様な環境づくり

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生では「イベント・大会に魅力があること」が、高校生では「近くの場所で参加できること」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「自分の自由に使える時間があること」が、女性では「近くの場所で参加できること」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	自分の自由に使える時間があること	近くの場所で参加できること	家族などの協力・応援があること	自分の能力が活かせること	イベント・大会に魅力があること	記念品がもらえること	選手や他のボランティアとの交流ができること	ボランティアに関する情報が入手できること	その他	無回答
全体 n=183	35.0	**43.7**	8.2	31.7	42.1	25.1	27.9	11.5	1.1	2.7
中学生 n=112	34.8	40.2	6.3	37.5	**47.3**	24.1	32.1	12.5	1.8	3.6
高校生 n=70	35.7	**48.6**	10.0	22.9	34.3	27.1	21.4	8.6	－	1.4
男性 n=88	**44.3**	40.9	9.1	29.5	42.0	30.7	27.3	8.0	2.3	2.3
女性 n=90	26.7	**45.6**	7.8	33.3	43.3	20.0	30.0	14.4	－	3.3
その他 n=3	**33.3**	**33.3**	－	**33.3**	**33.3**	**33.3**	－	－	－	－

9　総合型地域スポーツクラブについて

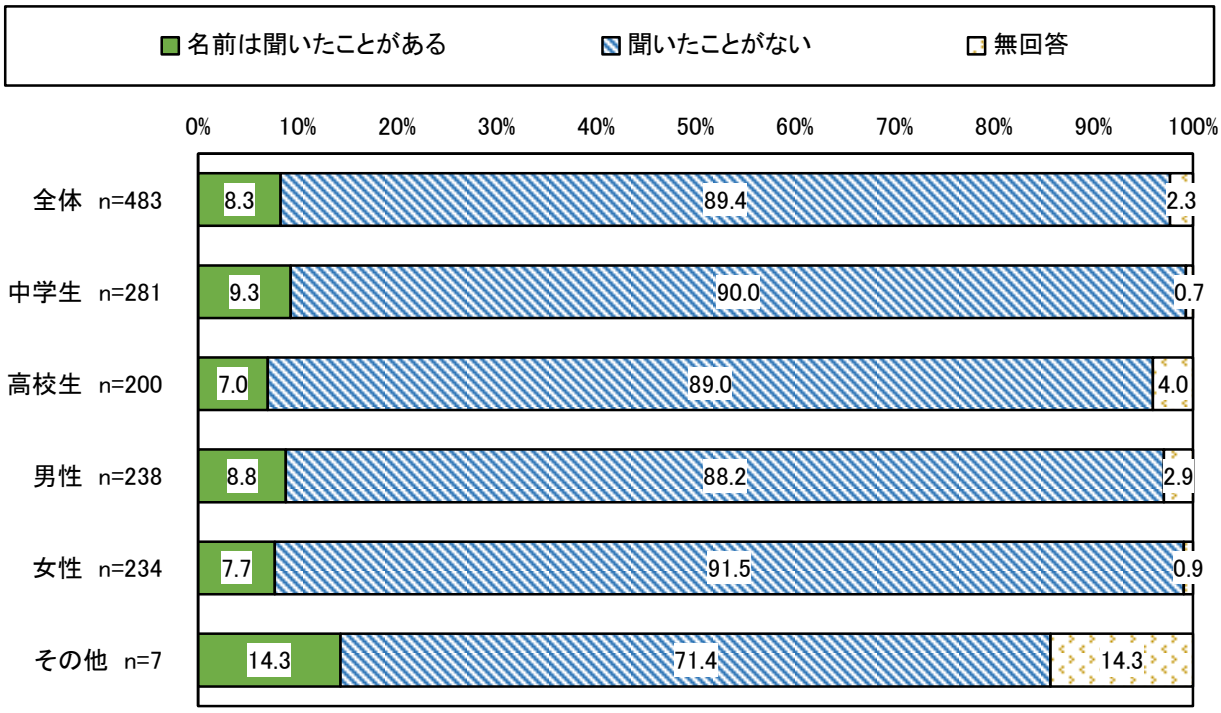
(1)「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

問 27　あなたは、「総合型地域スポーツクラブ（※）」の名前を聞いたことがありますか。（○は1つ）

「総合型地域スポーツクラブ」の認知度について、「名前は聞いたことがある」が 8.3%で最も多く、次いで「聞いたことがない」が 89.4%となっています。

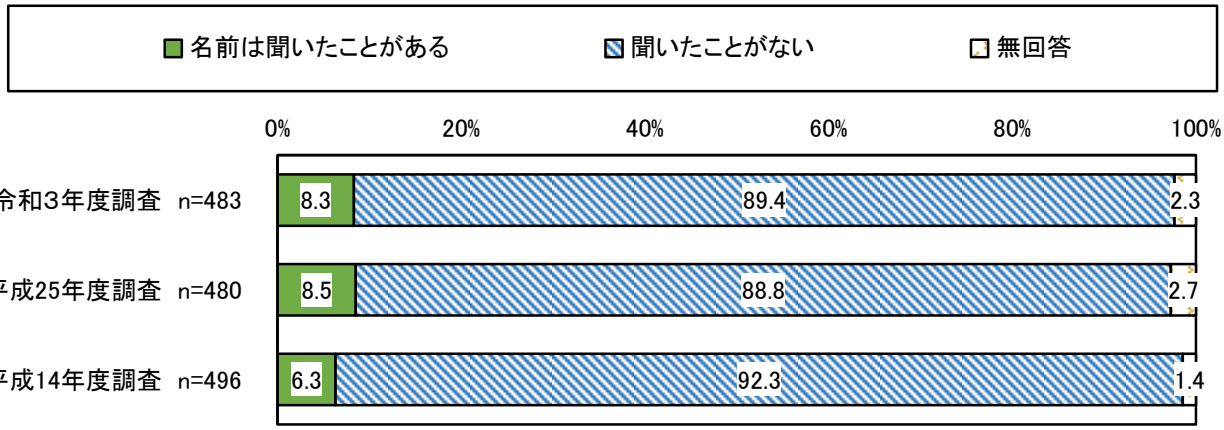
中高生別にみると、「名前は聞いたことがある」について、中学生が 9.3%、高校生が 7.0%となっています。

性別にみると、「名前は聞いたことがある」について、男性が 8.8%、女性が 7.7%と、男女で大きな差が見られません。



【経年比較】

「総合型地域スポーツクラブ」の認知度について過去の調査結果と比較すると、「名前は聞いたことがある」の回答について、今回の調査が 8.3%、平成 25 年度調査では 8.5%、平成 14 年度調査では 6.3%と、今回調査と平成 25 年度調査では大きな差が見られません。



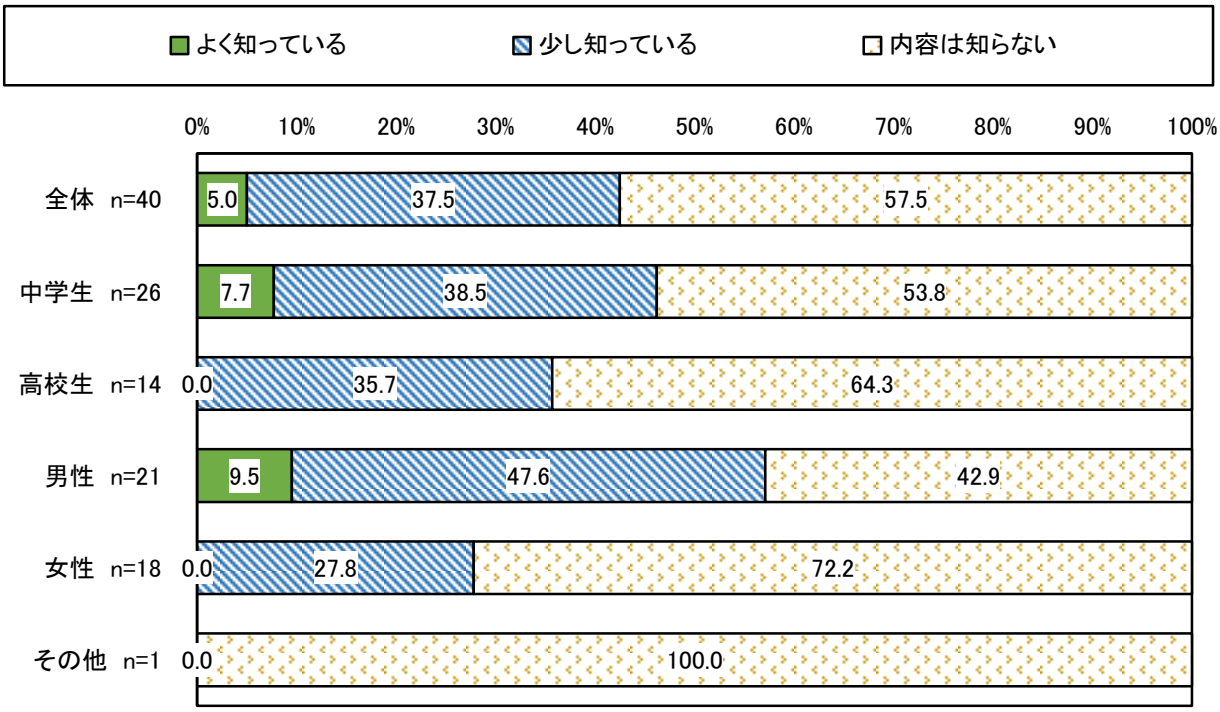
（2）「総合型地域スポーツクラブ」について

問 28　問 27 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」がどのようなものか知っていますか。（○は1つ）

「総合型地域スポーツクラブ」の「名前は聞いたことがある」と回答した人に、どのようなものか知っているか尋ねると、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”が 42.5%、「内容は知らない」が 57.5%となっています。

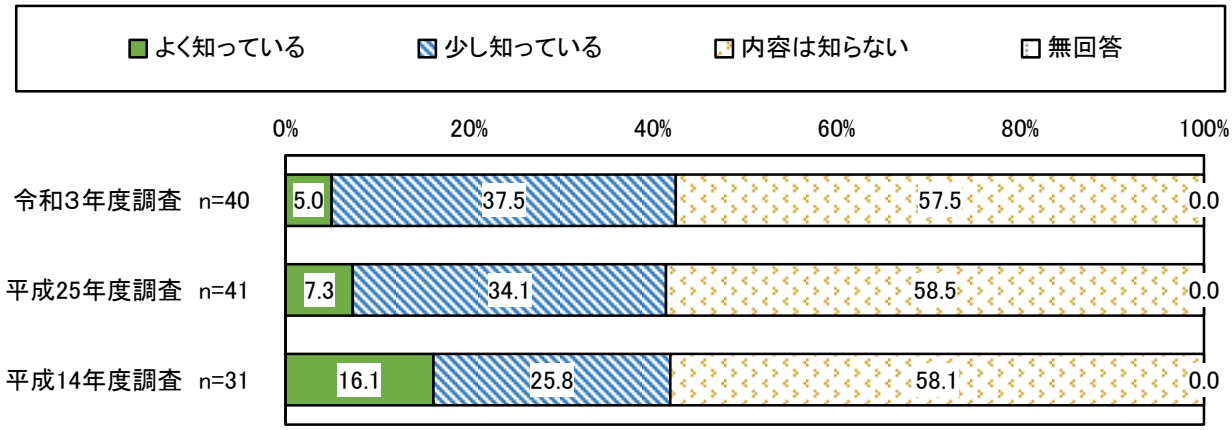
中高生別にみると、“知っている”について、中学生が 46.2%、高校生が 35.7%となっており、特に高校生では「よく知っている」が 0.0%となっています。

性別にみると、“知っている”について、男性が 57.1%、女性が 27.8%となっており、特に女性では「よく知っている」が 0.0%となっています。



【経年比較】

「総合型地域スポーツクラブ」がどのようなものか知っているかについて過去の調査結果と比較すると、“知っている”について、今回の調査が 42.5%、平成 25 年度調査では 41.4%、平成 14 年度調査では 41.9%と、今回調査、平成 25 年度調査、平成 14 年度調査の間では大きな差が見られません。



10　オリンピック・パラリンピックについて

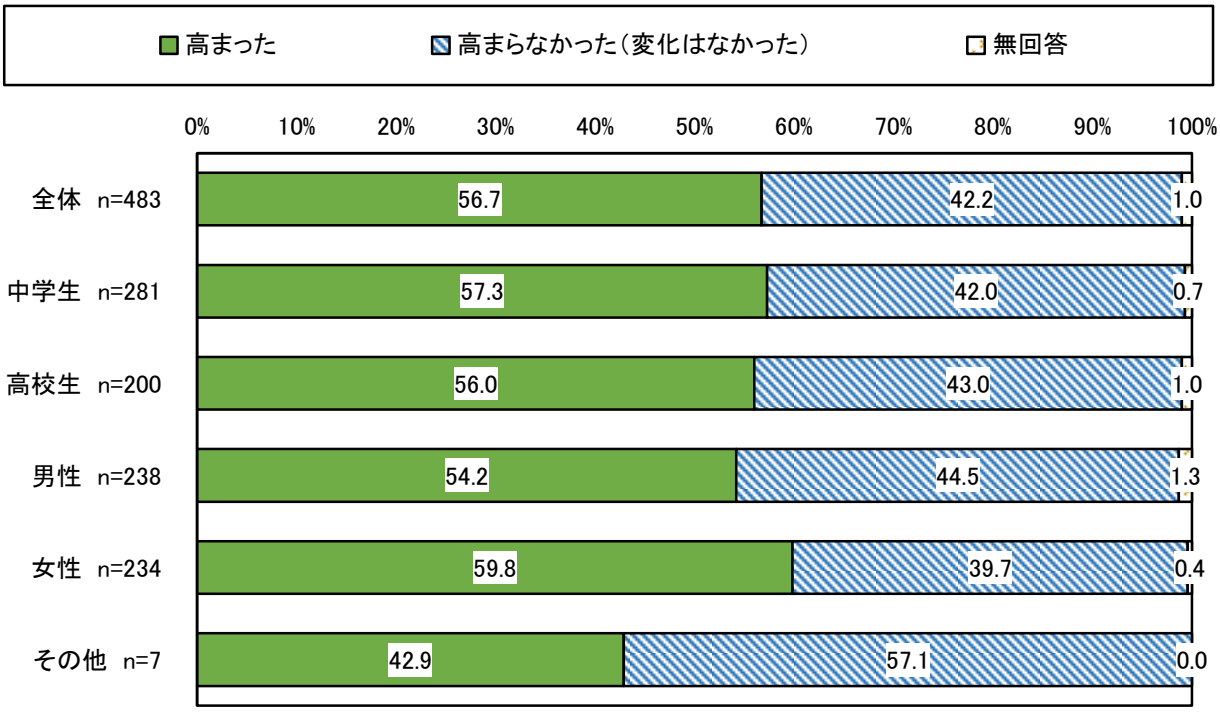
（1）東京オリンピック・パラリンピック開催を通じたスポーツに対する関心の高まりについて

問 29　東京オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツに対する関心が高まりましたか。（○は1つ）

東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツに対する関心の高まりについて、「高まった」が 56.7%、「高まらなかった（変化はなかった）」が 42.2%となっています。

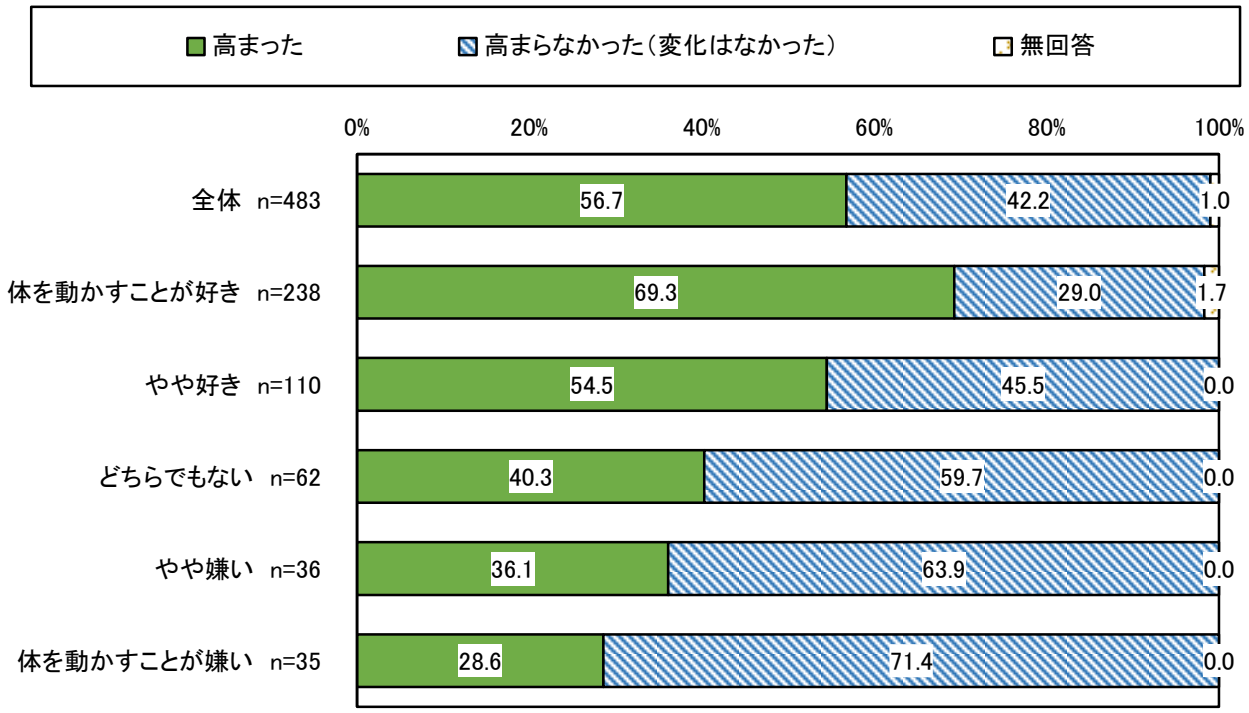
中高生別にみると、「高まった」について、中学生が 57.3%、高校生が 56.0%となっています。

性別にみると、「高まった」について、男性が 54.2%、女性が 59.8%と、女性の方が男性よりも多くなっています。



【スポーツ･運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが好きな人ほど、スポーツに対する関心が高まったと回答しています。



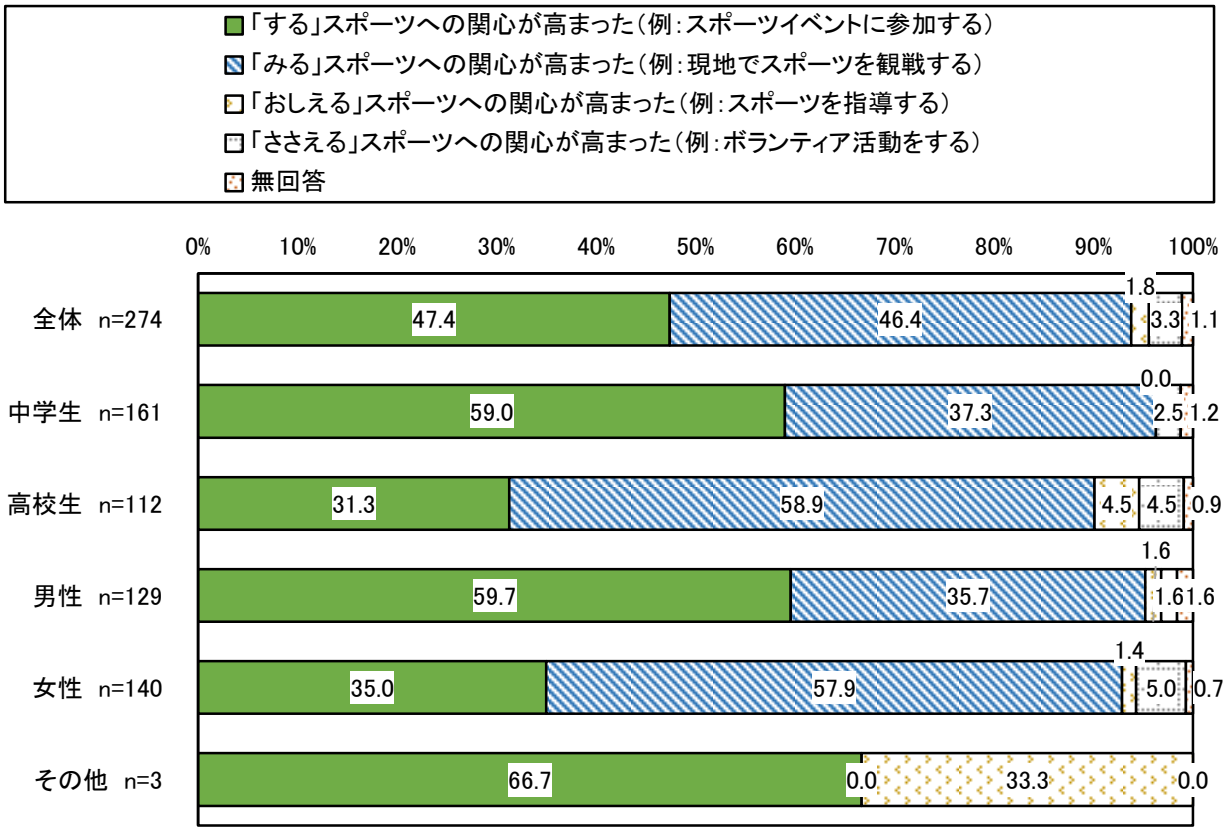
（2）関心の高まったスポーツ

問 30　問 29 で、「1」を選んだ人にお聞きします。
本市では、スポーツ振興計画に基づき「する」「みる」「おしえる」「ささえる」スポーツの振興にそれぞれ取り組んでいます。東京オリンピック・パラリンピックが開催されてから、あなた自身の変化に最もあてはまるものは何ですか。（○は1つ）

東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じてスポーツに対する関心が「高まった」と回答した人に、変化に最もあてはまるものを尋ねると、「「する」スポーツへの関心が高まった」が 47.4%、「「みる」スポーツへの関心が高まった」が 46.4%、「「おしえる」スポーツへの関心が高まった」が 1.8%、「「ささえる」スポーツへの関心が高まった」が 3.3%なっています。

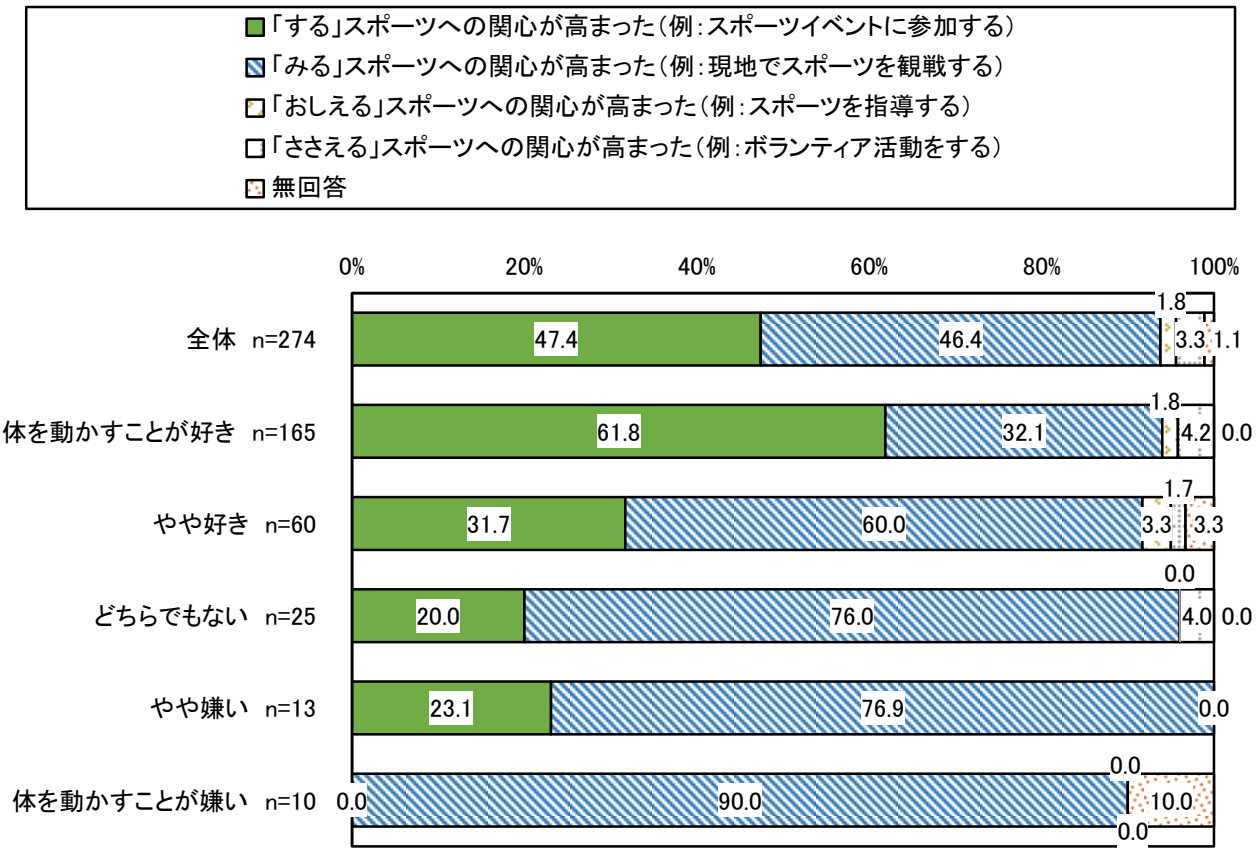
中高生別にみると、中学生では「「する」スポーツへの関心が高まった」が、高校生では「「みる」スポーツへの関心が高まった」が、それぞれ最も多くなっています。

性別にみると、男性では「「する」スポーツへの関心が高まった」が、女性では「「みる」スポーツへの関心が高まった」が、それぞれ最も多くなっています。



【スポーツ・運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが「好き」な人は「「する」スポーツへの関心が高まった」が最も多くなっています。



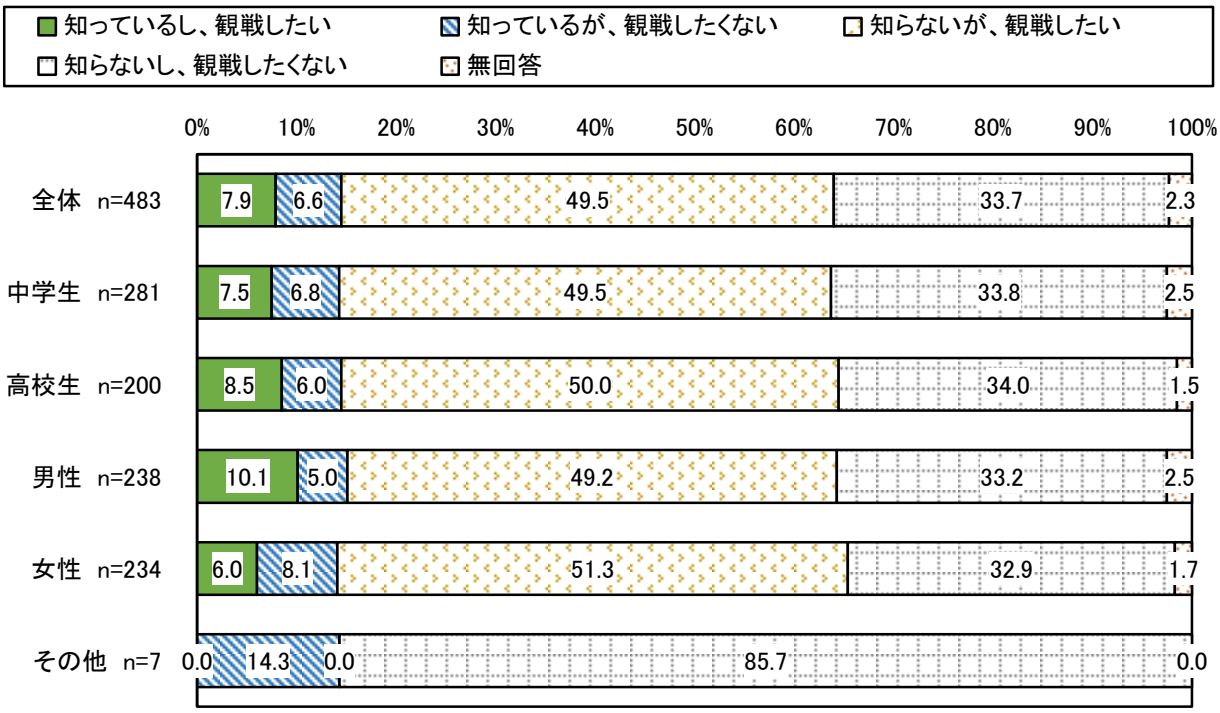
（3）2026 年アジア競技大会の認知度と観戦意向

問 31　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されることについて、あなたは知っていますか。また、観戦したいと思いますか。（○は1つ）

2026 年アジア競技大会の認知度と観戦意向について、「知っているし、観戦したい」が 7.9%、「知っているが、観戦したくない」が 6.6%、「知らないが、観戦したい」が 49.5%、「知らないし、観戦したくない」が 33.7%となっています。

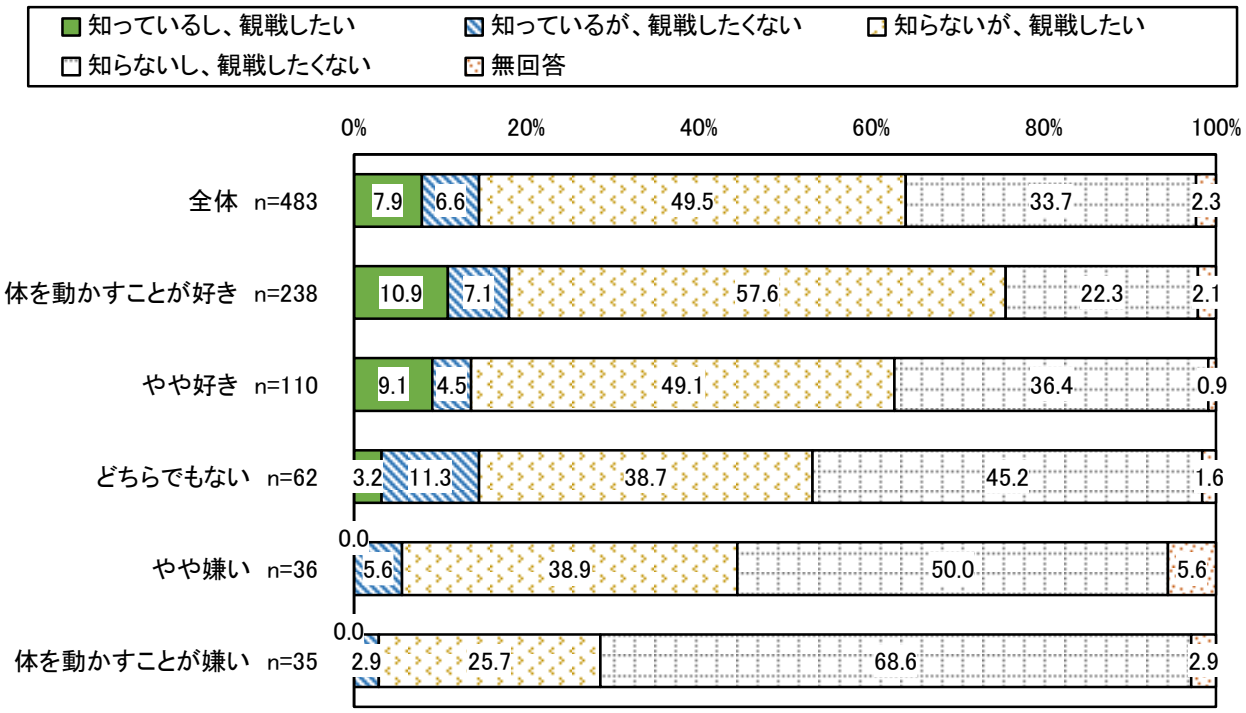
中高生別にみると、「知っているし、観戦したい」と「知らないが、観戦したい」を合わせた“観戦したい”について、中学生が 57.0%、高校生が 58.5%となっています。

性別にみると、“観戦したい”について、男性が 59.3%、女性が 57.3%と、男女で大きな差が見られません。



【スポーツ･運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、“観戦したい”について、体を動かすことが好きな人ほど、“観戦したい”が多くなっています。

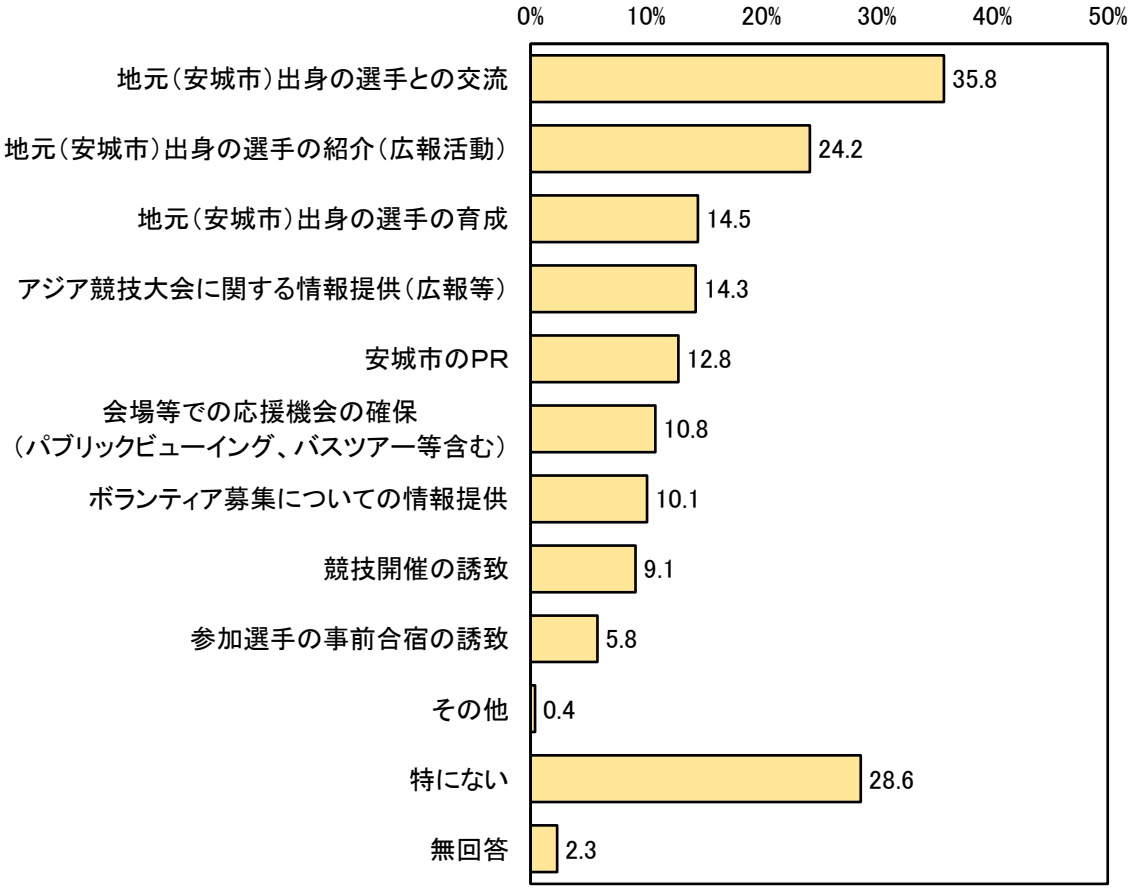


（4）2026 年アジア競技大会開催にあたり本市で取り組んでほしいこと

問 32　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことは何ですか。（○は3つまで）

2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことについて、「地元（安城市）出身の選手との交流」が 35.8％で最も多く、次いで「地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）」が 24.2％、「地元（安城市）出身の選手の育成」が 14.5％、「アジア競技大会に関する情報提供（広報等）」が 14.3％、「安城市のＰＲ」が 12.8％となっています。

(n=483)



【その他の回答】

アルバイトできること、部活に出る人が教えること

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生、高校生ともに「地元（安城市）出身の選手との交流」が最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「地元（安城市）出身の選手との交流」が最も多くなっています。

（%）	地元（安城市）出身の選手との交流	地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）	参加選手の事前合宿の誘致	競技開催の誘致	地元（安城市）出身の選手の育成	アジア競技大会に関する情報提供（広報等）	ボランティア募集についての情報提供	会場等での応援機会の確保（パブリックビューイング、バスツアー等含む）	安城市のＰＲ	その他	特にない	無回答
全体 n=483	**35.8**	24.2	5.8	9.1	14.5	14.3	10.1	10.8	12.8	0.4	28.6	2.3
中学生 n=281	**39.5**	24.6	5.0	7.8	13.5	13.9	6.4	9.3	10.0	0.4	29.9	2.5
高校生 n=200	**30.5**	24.0	7.0	11.0	15.5	15.0	15.0	13.0	17.0	0.5	27.0	1.5
男性 n=238	**36.1**	19.3	8.0	11.3	17.6	14.7	8.0	9.7	12.6	0.4	31.1	2.1
女性 n=234	**36.3**	29.1	3.8	6.8	11.5	13.7	12.0	12.4	13.7	0.4	26.1	1.7
その他 n=7	14.3	14.3	－	14.3	14.3	**28.6**	**28.6**	－	－	－	28.6	14.3

【スポーツ･運動の好嫌度別】

スポーツ・運動の好嫌度別にみると、“体を動かすことが好き”と“体を動かすことが嫌い”では「地元（安城市）出身の選手との交流」が、「どちらでもない」では「地元（安城市）出身の選手との交流」が、それぞれ最も多くなっています。

（%）	地元（安城市）出身の選手との交流	地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）	参加選手の事前合宿の誘致	競技開催の誘致	地元（安城市）出身の選手の育成	アジア競技大会に関する情報提供（広報等）	ボランティア募集についての情報提供	会場等での応援機会の確保（パブリックビューイング、バスツアー等含む）	安城市のＰＲ	その他	特にない	無回答
全体 n=483	**35.8**	24.2	5.8	9.1	14.5	14.3	10.1	10.8	12.8	0.4	28.6	2.3
体を動かすことが好き n=238	**41.6**	25.6	7.6	12.2	15.1	14.3	9.2	11.8	9.2	0.8	23.5	2.5
やや好き n=110	**37.3**	27.3	3.6	7.3	15.5	18.2	15.5	9.1	15.5	－	29.1	0.9
どちらでもない n=62	19.4	**21.0**	6.5	6.5	12.9	9.7	8.1	16.1	14.5	－	33.9	－
やや嫌い n=36	**38.9**	27.8	2.8	8.3	11.1	13.9	8.3	8.3	25.0	－	25.0	2.8
体を動かすことが嫌い n=35	**17.1**	8.6	2.9	－	11.4	8.6	5.7	2.9	14.3	－	57.1	5.7

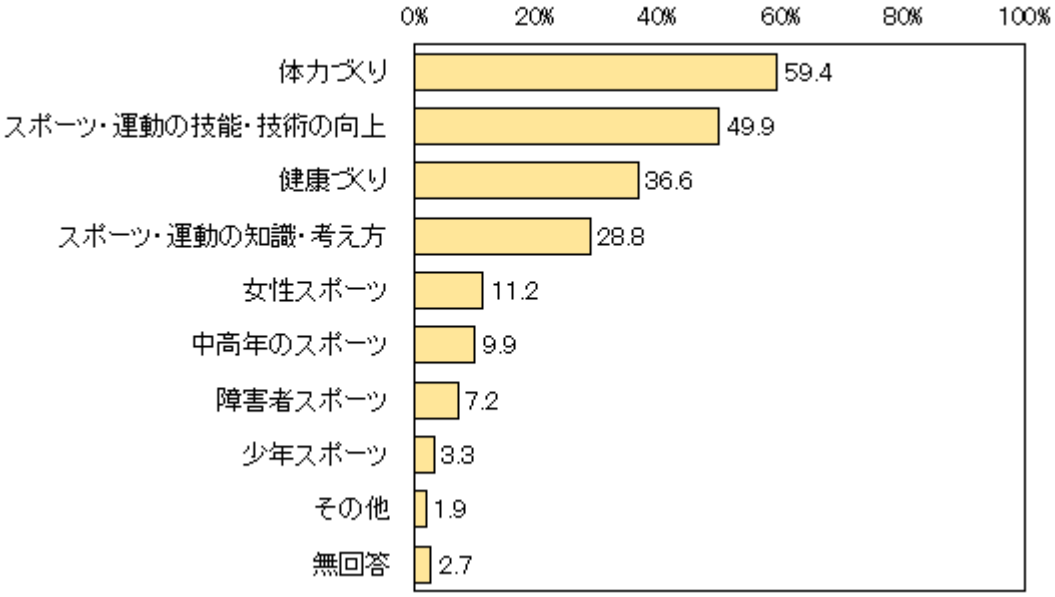
11　その他について

（1）スポーツ･運動の情報･知識で知りたい内容について

問 33 スポーツ･運動の情報･知識では、どんな内容について知りたいと思いますか。（○は3つまで）

スポーツ・運動の情報・知識で知りたい内容について、「体力づくり」が 59.4％で最も多く、次いで「スポーツ・運動の技能・技術の向上」が 49.9％、「健康づくり」が 36.6％、「スポーツ・運動の知識・考え方」が 28.8％、「女性スポーツ」が 11.2％となっています。

(n=483)



【その他の回答】

新しいスポーツ、正しい準備運動の仕方、痩せ方

【中高生別、性別】

中高生別にみると、中学生、高校生ともに「体力づくり」が最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「体力づくり」が最も多くなっています。

（%）	健康づくり	体力づくり	スポーツ・運動の技能・技術の向上	スポーツ・運動の知識・考え方	少年スポーツ	女性スポーツ	中高年のスポーツ	障害者スポーツ	その他	無回答
全体 n=483	36.6	**59.4**	49.9	28.8	3.3	11.2	9.9	7.2	1.9	2.7
中学生 n=281	34.5	**62.6**	53.4	31.7	3.6	8.5	11.7	5.7	2.1	1.8
高校生 n=200	39.5	**55.0**	45.5	24.5	3.0	15.0	7.5	9.5	1.5	3.5
男性 n=238	35.7	**62.6**	56.7	37.4	3.8	0.8	10.5	7.6	2.1	2.5
女性 n=234	38.5	**56.0**	43.6	20.5	2.6	21.8	9.8	6.8	1.7	2.1
その他 n=7	28.6	**85.7**	28.6	－	－	14.3	－	14.3	－	14.3

【経年比較】

スポーツ・運動の情報・知識で知りたい内容について過去の調査結果と比較すると、今回調査、平成 25 年度調査、平成 14 年度調査いずれも「体力づくり」が最も多くなっています。

（%）	健康づくり	体力づくり	スポーツ・運動の技能・技術の向上	スポーツ・運動の知識・考え方	少年スポーツ	女性スポーツ	中高年のスポーツ	障害者スポーツ	その他	無回答
令和3年度調査 n=483	36.6	**59.4**	49.9	28.8	3.3	11.2	9.9	7.2	1.9	2.7
平成25年度調査 n=480	37.3	**61.5**	57.9	27.1	4.0	15.8	10.2	1.0	2.3	4.8
平成14年度調査 n=496	33.9	**53.6**	52.6	20.6	5.4	15.9	10.9	3.2	4.0	9.1

第4章　自由記述

1　一般成人向け調査

（1）スポーツ全般に関すること

①　イベント、講座・講習会、大会の開催等について

・できることなら、オリンピアンや頑張った選手を招いてファンミーティングなど開催していただけるとうれしい。
・日曜日に公民館の広場でラジオ体操をやってもらうとありがたい。
・若い人や高齢者、健康な人や体力に自信のない人、様々な人が参加できる運動機会があるとうれしく思う。
・高齢化社会の現実も踏まえ、もっと気楽にお年寄りが足を運びやすいように、公民館、近くの寺、お宮さんなど交流の場に運動を取り入れた（逆かも）活動も必要かと思う。運動が一部の人のものとならないことを希望する。
・スポーツといえば若い人と思うが、高齢でも元気な方が多くあり、一人でも参加できるような催しがあれば参加できると思う。友達と参加でも一人で行動する方も多いので、何かあればいいと思う。
・地域の人が公園で気楽にラジオ体操ができるといいかなと思うが、近所の公園では騒音問題が出てくる。少人数で公民館でテレビ体操ならできるかもしれない。
・吹き矢が近くの公民館でもう少し回数をやってくださるとありがたい。
・近隣の方と小単位でもよいので一緒に運動したい。
・地域ならラジオで安城市のラジオ体操に取り組み、長く親しまれる体操をつくってみては。
・公民館での習い事等昼間の時間帯が多く、仕事をしていると参加することが難しい。夜の時間帯もあると参加しやすいと思う。
・スポーツドクターによる無料健診等の実施。高齢化に対する運動・ストレッチ等の指導の実施。
・里町小学校区に住む甥っ子が、カナダのバスケ選手との交流をすごく喜んでいた。（小５男子）英語も勉強したいと話していた。
・公民館くらいの距離のところで気楽に定期的なスポーツができるとうれしい。
・スイミングスクールに行ってみたいがなかなか時間や予約が取りづらくやれない。いろんな時間帯、数日前や当日予約でも手軽に参加できるタイプのものがあるとありがたい。
・年齢や身体の能力に合わせた軽いスポーツや運動が楽しめると嬉しいが、そんな専門のインストラクターさん達がいるスポーツクラブなどつくってもらえたらいいと思う。各地域、町内会でもいいので、人との交流プラス健康維持を目的に集まれるといいのではと思う。誰でも楽しめるスポーツ、運動に参加したい。老人（高齢者）はゲートボール（グラウンドゴルフ）をと決めつけないでほしい。
・家で容易にできる運動の普及活動（高齢者対象）。手、足、腰、首とそれぞれの部位に特化した運動があれば、すぐいつでもできると思う。
・我が家の家族に障害者がいることもあり、障害者本人も含め、家族もスポーツの機会が少なくなりがち。障害者も参加できるようなスポーツイベントがあれば参加したい。（障害にも様々なタイプがあるので簡単ではないと思う）
・子供と一緒に手軽に参加できるスポーツ教室とかあると参加しやすい。
・手軽な運動として、ボウリングや卓球、グラウンドゴルフ等が身近であまりお金もかからず気楽にできれば、ぜひ参加したいと思う。時間的にもいろいろあると入りやすいかもしれない。（１～２時間ごとにとか、１日数回、週ごとに数回等）
・今は市外のスポーツクラブに行っているが、いずれ自動車の運転ができなくなると、スポーツをする機会がなくなる。以前、総合グラウンドのイベントで参加したいと思ったが、自宅からは車でしか行けない。慣れない地域への参加は難しく、公民館とか福祉センターでの運動教室が安価に定期的にあるとうれしい。
・子供が生まれてから一度も社会人コースで運動できず太ってしまった。また、地元が北海道で知り合いもなく、日中も運動ができない状態。子連れだと気を使ってしまうし（子連れじゃない方もいるので）、子連れのみのママさんバレーでも活動しているなら参加したいなと思いう。
・スポーツをする人の割合を増やしたいとのことだが、そもそも健康増進に目を向けてもっと身近なところから何らかの整備・企画をしてほしいと思う。JR 等のウォーキングイベント、これを安城市内でスタンプラリー形式で行えば、地域活性にもなるし、個人的にも参加しやすい等思った。
・自分はゴルフを一番好きなスポーツとしている。老若男女を問わず一緒にプレーできる唯一のスポーツではないかと思う。安城市もこのスポーツに支援して、大会などを企画してみてはどうか。
・多数の市民は相対的に運動不足になっていないか。機会さえあれば、もっと運動したい方が多いのではないか。難しいかもしれないが、そんな人のきっかけになるイベント（例えば老人も加わったソフトボール大会とか）を企画するのもよい。若い人だけでなく、老人や小学生も含む、その地区だけでもよい大会などの企画。ただし大会を運営するそれぞれの地区での協力者が必要となってくるので実施するのは大変かもしれない。
・スポーツが苦手な人でも気軽の参加できるイベントがたくさん開かれるとよいと思いう。
・今は車に乗れますが、年齢を重ねると遠出ができない。地域に何かできる公民館講座などがあれば助かる。
・自分たちはなかなかスポーツできないが、子供たちにも体を動かすことは楽しい、勝負することって面白いと思って大きくなってほしいので、子供（小学生以下）のいろいろなスポーツを体験できるイベントがあったらなと思う。
・若いうちでも老いてからでも体を動かすことはよいことだが、機会があれば参加、応援したい。

・３～４年前スポーツセンターでNHKのラジオ体操の方が来て、体操のこと等のイベントがあったのに参加した。いつもテレビ体操を見て体操していたので、体操のお姉さんたちに会えたことも嬉しかった。また、こんな企画をしてほしいと思う。
・普段スポーツをしていない者にとっては、施設へ行ったり団体で人と交流したりするのはハードルが高いことなので、健康維持のための運動や体操を個々で楽しめる機会が増えるといいなと思う。
・高齢者が無理なく参加できる教室（運動）が少ないように思うので、増やしてほしい。
・大人でバスケができるサークルがあったら知りたい。太鼓も気になる。
・幾つになっても適度な運動は必要だが、一人ではなかなかできず、続かない。各町内でとか公園で時間に集まってラジオ体操するのもよいことだと思う。強制的でなく、自由参加がよい方法と思う。無理のないピンポン等は楽しくできそう。思い切ってＲ４年から明祥支所の２階でやっていると聞いたので参加したい。
・コロナ禍で子供会もラジオ体操ができるか分からなかったときに、スポーツ課から自主的なラジオ体操の実施についての御案内をいただいた。当時コロナ禍で何もイベントができない時に御案内をいただいたおかげで数少ない夏のイベントができた。
・各町内会の部屋を利用して卓球などが気楽にできるといいなと思う。
・近くの公園で、土、日曜日の朝、ラジオ体操をやってほしい。
・市内でもっと魅力的な公共施設での講座が増えてお安く充実した内容の講座が受けられるといいなと思う。
・血圧が高くてもできる運動方法を教えてほしい。
・陸上ホッケーをやりたいが（転居してこちらに来たこともあり）仲間がいない。安城市で活動されているチームがいたら教えてほしい。
・元気な老人が参加できるスポーツイベントの開催があったら参加したい。史跡めぐりウォーキングとか目的と行事とかを絡ませた行事とかできたらと思う。
・歩け歩け運動の開催。
・ラジオ体操を地元老人に普及したい。自分のために参加して１日をリズム感で過ごしていただきたい。早起きして１日を楽しく過ごしていただきたい。
・筋トレが好きなので、安城市が開催する筋トレ講座などあれば参加してみたい。
・小・中学校の子供たち、保護者にもっとプロのサッカーやバスケ、ソフトボールの試合を見る機会を多く増やしてほしい。
・スポーツ教室等は、平日の日中が多く、働く世代の人が参加できるよう平日の夜や土日に開催していただけるとありがたい。
・子供たちにいろいろ”プロ”という競技を見せる機会を与えてほしい。
・初心者でもやってみようと思うような、続けていけそうな入り口があったらいいと思う。
・早朝や夕方など、デンパークにウォーキングコースを作り、自然に触れあいながら自由にウォーキングしたい。条件・デンパークの年間パスポートを購入。ウォーキングの講習を受ける（体に不調が出ないよう正しいウォーキングの知識など…）。
・安城市で大きなイベントがあれば応援したいと思う。
・公民館で気軽に参加できるスポーツ教室（卓球、ヨガ、エアロビ等）あれば参加してみたいと思う。
・安城市でスポーツのイベントを増やして、健康増進になると良いと思う。あと、ダイエット作戦など（コロナ太り解消）。
・健康維持・増進のために運動が大切だと分かっていても、普段時間がなくて行えない。シティマラソンのように市のイベントとしてあればやってみようというきっかけになるので、今後も企画してもらえるといい。また、小さな子供と一緒に参加できる内容だとなおありがたい。
・高齢者が今からでも参加できるようなスポーツがあればうれしい。
・親向けスポーツイベント、子供向けスポーツイベントを同時に行って、家族で参加できるとうれしい。
・スポーツをするしないに関わらず、スポーツの活動を推進して行くことはよい取り組みだと思う。交流からという面でも、スポーツに興味のなかった人が交流の中で楽しんでいく中で、町を盛り上げていけるとさらによいと思う。幼児から老人まで参加できるような催しがあれば、安城市全体が治安もよくなっていくのではないか。
・東京オリンピック・パラリンピック後、一段とスポーツや選手に興味を持つようになった。親子の会話も増えた。安城に関わりのある選手が多いので、できれば小・中・高の学生に選手との交流があるとより関心を持ってくれると思う。
・平日、園や小学校の低学年くらいの年齢の子は、スポーツする機会がないに等しいため、そういう子たち対象のスポーツイベントがあるといい。
・スポーツをしたいと思っていても平日の日中しか開催されていないことが多く（特に小さな子供向け）働いている人間が参加できない。
・子供が障害を抱えているため、東京パラのTVで見たときは、障害を持って生まれても小さい頃からスポーツに接する、体験する機会がたくさんあるとよかったなと思った。皆さんとてもキラキラしていて素敵だった。
・スキーｏｒスノーボードのツアー（スクール）を実施してほしい。
・知り合いのスポーツ推進委員の方は土日にイベントが入っているので、大変そうである。実際、私もイベントに参加してみたいが、土日は予定があったりして難しく…。スポ進の方の負担も増えるが、平日やっていただけるものとか、あとスタッフの方を増やしていただいて、参加できる機会を増やしていただけると参加できるものもあると思う。

・安城市から海外で活躍するような選手がたくさん出てくれると嬉しいし、そういう選手たちが出場する大会を開催できたらすごいなと思う。
・仕事をしているために、平日に運動をすることが難しい。もっと土曜日、日曜日、祝日に市民が運動できるように教室などを開催してほしい。
・もう少し若い時に継続してスポーツ活動をする機会があれば良かったと思う。ただその頃は仕事や家事、子育てに追われなかなかスポーツを定期的にする機会がなかった。今からだとゆっくりしたものしか出来ない気がする。
・私はあまり運動が得意でなく、激しい運動は好きではないので、ウォーキングイベントなどがあれば参加してみたいなと思う。
・子供と出来る教室やスポーツ体験をもっと増やして、子供にスポーツの選択肢を色々経験させて将来に繋げたい、そこで大人も一緒にできると家族でスポーツに取り組める。
・バスケットボールの取り組みは素晴らしいと思います。 しかし、３×３のコートや選手団体や公式戦なども行って欲しい。
・子連れ（特に未就学児）でできるスポーツが少ない。子どもが成長するまでスポーツができないように感じる。子連れＯＫのヨガやスポーツセンター等、子育て中の父母が運動できる機会を増やして欲しい。
・介護予防として高齢者向けのウォーキングや軽負荷のスポーツ、エクササイズ等はあるか？趣味の一環として楽しめるような取り組みがあれば、そちらの広報も積極的に行っていただけるとありがたい。（介護予防！と謳うと自尊心から嫌がる人もいるので）
・メタボや運動不足の人の管理や統計をとって健康推進都市として市民みんなが健康になれるイベントを考えたいただけたら嬉しい。
・定期的に気軽に参加できる機会がほしい。
・まずは、スポーツ、運動に取り組める時間が足りないので、小さな子供同伴でも活動できるものがあれば助かる。
・フルマラソン大会を計画して欲しい。
・スポーツイベントを開催したりするのも大変だと思うが、老若男女が気軽に参加してカラダを動かせるような機会が多くあるといいなと思う。ラジオ体操、意外といいかも。
・幅広い年齢層が一緒に楽しめるイベントや、第一線で活躍している方を紹介したり一緒に参加出来る機会があると、新しい種目に感心が高まると思う。老若男女、皆が各々の楽しみ方で運動したり観戦したり、健康作りの一つとなると良いと思う。
・成人した障害者が外で楽しく体を動かす機会が、なかなかない。適切な指導の元、集団で長く楽しんで運動できる場があったら是非利用したいと思う。
・スポーツ教室楽しかった。また機会があれば参加したい。
・もうすぐ出産するので、親子で参加できる講座や、子どもが色々なスポーツの体験ができたり、選択肢が広がるような取り組みがあると嬉しい。
・気軽に参加出来るスポーツイベントがあるといい。
・チケット制で、ニュースポーツを多種類経験出来ると楽しいと思う。毎シーズンの市のスポーツ教室の種類が少なく、固定化されている。卓球だと競技として上達したい人、身体を動かしたくて参加する人などレパートリーを増やして欲しい。年に一度か二度他市の教室の人と対抗試合があれば 面白い。名古屋市のピンポン外交などに安城市も参加させていただくとどうか。
・スポーツしたいとは思っているが引っ越してきたばかりで知り合いがいなくなかなかできないので機会があると嬉しい。
・地区ごとの公民館などで、気軽に参加できる年齢層に合わせた講座の種類が今まで以上にあると嬉しい。

② 本人の体力･意欲について

・身近で年をとってまともに歩けなくなった人が２人いる。自分のゆっくりしたペースでしか歩けないが、雨天でない限り続けたいと思う。
・スポーツ運動は好きだが、病気や生活が安定してから行いたいと思う。
・家の近くで手軽に行ける場所があれば行きたい。
・スポーツにあまり関心がない。アンケートを見ていて、自分自身が体を動かすことにもっと家の中でも少しずつ始めようと思う気持ちになった。
・独人でも他のグループ活動の仲間がいるので毎日忙しく、楽しく充実している。自分自身健康維持のため、運動において独自の自己管理をしている。
・年齢を重ねると筋肉が衰え、体力もなくなってくる。それを補うために、少しでも運動を心がけてしている。嫌々ではなく楽しくできないものかと日々思っている。
・堀内・秋葉公園のどちらかを毎日散歩。緑が多く、歩きやすいので満足している。高齢の為、ラジオ体操、ストレッチを簡単に行っている。
・朝５時より公園を散歩６周、朝６時よりストレッチ、６時 30 分よりラジオ体操を毎日やって 10 年になる。体も痛いところもなし。とても毎日が快適。薬もコレステロール１個だけ。ストレッチ、散歩とても楽しく過ごしている。
・過去にはヨガ、水泳、エアロビと運動を楽しんできたが、最近では家の中にこもりっきりで散歩すらままならない状態。今更ながら体を動かすことの大切さを思い知らされている。時間がある方は少しでも長く続けられることをお勧めする。
・気軽に運動できる場所や環境がない。小さい子供がいると、体を動かしたくても連れていけないなどあるので難しい。
・スポーツは好きですが、なかなか継続できず、すぐ諦めてしまう。頑張れる方法が知りたい。
・母に代わり田畑の作業でスポーツができない。でも、草取り、耕しと体は動かしているが、スポーツには入らないのが残念。

・50 代はダイエットのため運動したが、60 代後半になり、食事などで自然に体重も減り、運動はほとんどしなくなった。現在は、家事（掃除、買物（自転車）、旅行など）毎日動くようにしている。
・スポーツは心にも体にもとてもよいことだと思う。ただ、年とともに足腰が痛かったりするので、無理はできない。できることを続けて、健康に気をつけたい。
・友達の誘いでゴルフをしていますが、100 が切れない。それでも週２回指導を受けている現状。できれば、生涯ゴルフの付き合いはしたいと思っている。今 85 歳だが、90 歳くらいまで頑張りたい。
・フィギュアスケートとか体操、スキージャンプなど技術と美しさを競うスポーツを見るのが好き。パラリンピック、オリンピックは、努力しても運に左右されるのもあり、いろいろ考えさせられた。鏡を見て行うときもあるが、体形的にも年齢的にも正しくやれていないことが自分にも分かる。ウォーキングは 20 分くらい、天気のよい日に一人でも家族とでもする。しかし、正しい歩き方かどうか分からない。
・健康促進や趣味としてのスポーツは、仕事、子育て、孫守り、介護などしている人には二の次で、私のサークルでは新しい人が入っても 70 歳に近いひと（60 代以上）が現状。楽しくてずっと続けたいと思う仲間も、老いとともに一人ずつ辞め、私自身も指導者一人で健康に続けられるかは自信なく、未来が不安。施設には恵まれ感謝している。私個人の努力は惜しまず、楽しく生きがいにして学び続けていきたい。
・生涯できるスポーツを見つけたいし、場の提供をしていただけるとありがたい。
・スポーツ、運動は全くしないが、勤務での移動を歩くことに、１日 4000 歩以上を実施するよう努めている。
・運動は健康のためにも絶対始めたいことなので、この機に始めてみようかなと思った。
・特に運動が好きというわけではないけれど、必要を感じ行っている。これからも続けたいとは思うが、年齢、体調を考えると、積極的に活動するのは無理だが、やる気のある若い方を応援していきたいと思っている。
・まいかカードをもらうため、毎日ラジオ体操をしたり、地域のヨガクラスへ参加するなど、日付を記入した。しかし、一旦もらってしまった後、やらなくなってしまったので、また紙を壁に貼って毎日運動したら記入する方法を取り、運動意識を高めたいと思った。
・スポーツ、運動を持続して行うとするなら、自分の強い意志があるかないかにかかる。
・健康には運動が必要だと感じる。週３でスポーツクラブで水泳を始めてから、どんどん体が変わっていくのが分かるようになった。今後も自分に合った適度な運動をやっていきたい。
・よりよいスポーツを見たりしたいと思っている。
・健康のために自分ができる範囲でウォーキングなど続けたい。
・特に競技に捉われず、自分の体調にあったことを実施していきたい。
・年齢を重ねてきて思うことは、どんなスポーツでも友達の輪を増やし楽しんでできることが一番だと思うようになった。
・この数年で転倒による骨折やひざなど関節を痛め、歩行もままならず、スポーツはすることも見ることも大好きたったが、現在はすっかり弱気になってしまった。リハビリで少しでもしっかり歩けるようになりたい。
・コロナで家の中に引っ込んでから体を動かすことがなくなった。買い物も行くのがおっくうなのに運動なんてとてもできない。
・健康寿命をまい進するためにも運動は不可欠。幾つになっても楽しみながら体を動かすことが大事だと思う。
・病気持ちでなかったら、もっと運動やスポーツがしたいと思った
・スポーツにしろ、運動にしろ、続かないことには意味がないので、私にはなかなかない。しいて言えば、お金がそんなにかからないウォーキングぐらいは毎年やろうと目標を立てるのですが、１年が終わる。
・年代が 60 歳代後半で、65 歳まで仕事を続けてきたので、さあ今から何をするか考えてもなかなか行動に移せないので、元気な間は 70 歳代でもできると思うので、これから考えていこうかと思う。
・高齢になっても運動は必要だと思う。私はカーブスに行っているが、運動した後は体が軽く、気持ちも前向きになる。これからも体が動く限り続けたいと思う。
・ボランティアなど興味はあるが、現実的には親の介護等で難しい。このような状況でも力になれることがあれば協力したいと思う。
・スポーツ振興に協力したい。
・働いていると全くスポーツをする時間も余裕もない。遅くまでやっているとやりやすい。子供を一緒に連れていけたり、参加できるとやりやすい。
・スポーツをすることは心身ともに良いことだと思うので、私も思うように体を動かせるならば、ずっと続けていきたかった。これから私でもできるようなものを見つけて楽しみながらやっていきたいと思う。
・高齢で体力、筋力の落ちているのをつくづく感じている。何か運動をと考えないこともないが、ウォーキングをたまに少しやってみるが続かない。
・高齢者なので自分の体力、健康を維持する為に行っている程度なので、このままで継続していこうと思う。
・現在体調が良くなく、歩くのもきついので、運動のことは考えられない。体調が良くなればウォーキングなどやりたいと思っている。
・今まで健康でこれたことに感謝している。この文面を見させていただき、体を動かすことが少なかった自分に情けなく思う。これからは地域の皆さんと少しずつではあるが、交流を深め、楽しく過ごせて行けるようにと願っている。
・今後、歳に合った自分に続けられそうなことを見つけて、苦にならず楽しくやっていけたら幸せかなと考える。
・コロナ禍が落ち着き、マスクが不要になったらスポーツを始めたいと思っている。今までの生活で運動をして、楽しむことが少なかったような気がしている。みんなでスポーツを楽しみたい。
・仕事が忙しく、なかなかできないのが本音。
・スポーツは自分の健康や体力につながる大切な方法。できるだけ頑張りたい。
・ウォーキングかジョギングを少しやるくらいの時間しか取れないため、時間ができたらいろいろやりたい。
・身近で気軽に興味のあるスポーツを始めたいと思った。これまで情報の取り方がよく分からず、始めるきっかけも持たずにいた。

・健康的になる運動を継続したい。
・体を動かすことは、体力や筋肉が減るのを穏やかにしてくれるし、脳にもとても良い影響があると考えている。
・スポーツは好きで何かやってみたいと思うが、年齢的に消極的で気持ちと行動がミスマッチである。 高齢者でも取り組めるスポーツが近場で仲間がいれば行動したいと思う。
・自分自身は健康維持のため、手軽に出来る事をする。
・今はコロナでスポーツ観戦出来ないが、もう少しおちついたら、どんどん外に出て行きたい。
・社会人になって、スポーツや運動に対する意識が薄くなったことを再認識した。子どももいるので、今後一緒に身体を動かしたりできればと感じた。
・健康のために運動しないととは思いながらも仕事が忙しくて運動に費やす時間が取れない状況。このアンケートを機に見直したいと思った。
・老後も健康で歩いていられるように足腰を鍛えたい。
・地元をもっと知りたいです。出来るだけ歩く事が出来れば参加したい。
・今年社会人になり、運動習慣が減ってきているので、出来るだけ体を動かすことを心掛けしている。
・身体を動かすことは、心の安定にもつながる。近年では、コロナ禍と言うこともあり年代問わず体を動かす機会がとても減っているように感じる。少しでもたくさんの方が、楽しんで体を動かすことに興味を持っていただけたらいいなと思っている。私も、職業柄子供たちと接する機会が多いが、未来ある子供達のためにしっかりと体の土台作りをしていきたいと思う。
・特に運動は好きではないが、健康のためにやった方が良いと思う。身近な施設で何か続けることができるものを見つけることができればと思う。
・独身の時はスポーツ好きだったが、コロナや出産が重なり今は育児でスポーツができていない。また育児がひと段落したらスポーツしたい。
・やりたい気持ちとやる機会が一致しないという事実と言い訳がある。心身の健康のためにも、スポーツに関わってはいきたい。
・今まで通り月１程度のゴルフの練習を友人達とのコミュニケーションをとりながら続けて行きたいと思う。

③ スポーツ観戦について

・スポーツを観戦することは好きなので、東京オリンピック・パラリンピックは夢中でテレビ観戦していた。今年のようにオリンピック・パラリンピックがコロナ禍で開催されるかどうか大変心配していた。開催されて、日本人選手の活躍を見ていると、何とも言えない満足感で一杯になった。３年後には北京オリンピックあり、６年後にはアジア大会が愛知県で行われるということで、今からワクワクしている。
・東京オリンピックではテレビにかじりついて見ていた。日本人だけではなく、外国の方も過酷な環境の中で頑張っている姿を見ると、心から応援したくなる。東京オリンピックでは、パラリンピックを放送していたので、テレビで見てどんなに感動したものか。なので、もっとテレビで放送してほしい。若い子たちが一生懸命頑張っている姿を見るだけで勇気をもらえる。
・いろんなスポーツ（トップレベル）の試合も開催してもらえたらぜひ見に行きたい。スケボー等も生で見てみたい。
・スポーツはテレビ観戦することが多い。
・観戦することも好きなので、もし安城でいろいろな試合が開催され観戦できるスペースがもっと確保できればありがたい。
・コロナ禍でオリンピックも無観客、残念だった。その他、スポーツ観戦も中止、延期等で、この２年間は残念な時間を過ごすことが多かった。コロナが終わるまで、もう少し皆で我慢し、通常の生活、スポーツを観戦できることを願いたい。50％の人数で観戦しても楽しくない。100％で見たい。
・４年生の孫は野球クラブに所属している。時々応援に行くが、家にいる顔とグラウンドで見る孫の様子は全然違い、とても頼もしく思え、成長を感じる。スポーツは人と人をつなぐ大切な場所。観戦した１日はとても幸せな気持ちにしてくれる。
・障害者でも観戦することができればいいと思う。
・高齢になってもスポーツを観戦している。テレビ観戦しているだけでわくわく元気が出てくる。
・運動は昔から苦手意識があるが、観戦には興味がある。今年のオリンピック・パラリンピックをテレビで見て、大きな大会が近くで開かれるならば見に行きたいと思ったところだった。
・自分は動くのが好きだけど嫌いな人もいる。スポーツ観戦も自分は見てても何も面白くないそういう人もいるので、このスポーツ観戦は見た方がいいとかって半ば強制的に嫌いな人に押し付けたり動くのが嫌いな人にスポーツやりましょうとかはあまりしない方がいいと思う。その人は観戦する方が好きかもしれないし一人一人考えも違うと思うのでその人たちにも合ったスポーツ普及を頑張ってほしい。

（2）スポーツを行う際の問題

① 指導者、指導方法について

・指導法についての一考察。当今、スポーツの指導について「根性」論的手法が問題になっている。自己尊重教育で育った若い人達の指導は、（これからのスポーツ界を担う人）自尊心を高めることに力点を置いた指導が望まれるのではと私考する。

・元々運動嫌いな人にはハードルが高い。やはり、小中高校生の間に「記録を競うスポーツ」ではなく人生 100 年持ちこたえる体幹を作るような指導を行わないと、どんどん運動センスのない子供は運動から遠ざかるような気がしている。学校教育や部活動にも結果ばかり追う指導はいかがなものかなと考えている。
・学校の部活動は何を目的に活動しているのか。健康のため、体力づくり、仲間づくり（協調性）、精神鍛錬か。私も学生の頃は、昭和の時代で部活動に入って頑張っていたが、長時間の厳しい練習と指導者の体罰や恫喝が当たり前で挫折した。好きで楽しいスポーツを、体力づくり、健康づくり、仲間づくりでやっていたが、実際はチームとしては何が何でも勝てと。確かに試合を行う以上、勝つことは分かるが、学校の部活動にはそれ以外にも教育という目的もあると思う。スポーツには健康のため、体力づくり、仲間づくりを目的にする人と、オリンピックやプロスポーツを目指す人が一緒にやっているのでレベルが違う。オリンピックやプロスポーツを目指す人のレベルでやっていたら、一般の人はついていけないし、つらいだけで楽しまない。本来、スポーツは楽しむものと私は考えている。意見もオリンピックやプロスポーツ選手を目指す人の意見ばっかり通り、一般の人の意見はなかなか通らない。学校の部活動は教育の中の活動なので、体力づくり、健康づくり、仲間づくりを中心に進めてほしい。オリンピックやプロスポーツ選手を目指す人達は、地域や企業のほうでお願いしたい。部活動を指導する学校の先生も長時間の指導とオリンピックやプロスポーツ選手を目指す人やその父兄からも試合には何が何でも勝てと毎回プレッシャーがあり大変。
・市のスポーツ活動についてはよく動いていると思うが、スポーツ経験者か指導者等に限定されているように思う。そういう一部の人たちにはとても行き届いているようだが、一般的にいうところの、新規開拓は駄目。ハードルが高いように思う。参加するのは…。どう言ってよいのか分かるが、箱物はできているけど、そこに入る人たちに気持ちが伝わっていないので、本気度が伝わらないのでは。底辺のそういう人の底上げが第一と思う。各所の町内会組織等を利用して広報活動をしたらよいと思う。中高年は IT には不慣れ。直接の声かけとまでは言わないが、情報の送りっぱなしの広報では駄目。
・なぜ小学生に運動会で順位をつけないのか。オリンピックや世界大会ではメダルとか順位をたたえるのに。リレーが全員となりスポーツできる子が輝けなくなった。自信を持てる場がない。選抜リレーは盛り上がる。それに向けて頑張れる目標となる。令和５年には中学生の部活動がなくなり、スポーツ振興とは逆行している。外部の指導員をつけてやりたい子が十分にできる環境をつくってほしい。このままでは貧困の子はスポーツができなくなっていく。自身がやっていたスポーツは TV で見ても、興味がわくし、見ていて面白いが、見ることもなくなってくる。だから、小さい頃からいろいろなスポーツができるようにすれば、スポーツも盛んになると思う。
・中学生の部活の指導者について、実態を十分承知しているわけではないが、中学校の部活で運動部、文化部とも、その指導者は学校の先生（教員）が行っていると思うが、教員は大変忙しくて大変と聞いている。そこで、部活の指導者は教員でなく、民間の専門家を活用して、生徒の指導に当たる制度をもっともっと導入したほうがよいと思う。民間の指導者の方が知識も豊富で、生徒にとってもやりがいにつながると思われる。
・現代は費用がかかってもスポーツは専門家から指導を受けたい。（特に子供たち）そのための施設や指導者の確保をしてほしい。その上で保護者の運営への負担は避けてあげてほしい。（送り迎えは仕方がない）
・今の安城市の中学の部活動（運動部）は、専門のコーチがいないので、岡崎市の中学、大府市の取組に比べると「市から補助がなくて不利」「お金のある子だけクラブチームに行けるので格差が広がる」と感じる。
・体調に合った指導を気軽にできる人員がいればよい。

② その他の問題について

・コロナで生活が制限されていた時、ストレス発散の為プールを利用した。窓口では「さすが対策がされているな」と思ったが、１時間に１回の休憩時間、ジャグジーに大勢の人が入って談笑していた。係員が数名プールサイドにいたにもかかわらず、注意されることなくそのままだった。体が冷えて温めたいのもわかるが、もう少し対策が取れたのではと思う。
・マナーの悪いスケートボーダーのせいなのと、クレーマーによるせいだと思うが、締め出ししか対応できないことがとても残念。刈谷のフリースクエアのように、ローラースポーツやラジコンのみの場所をつくる方法もあると思う。ただ、締め出すことが解決だろうか。よりマナーを知らないスケートボーダーが増える気がする。フラットスペースでトリックを競うフリースタイルスケートのように、環境に合わせたやり方があると思う。もしくは、他のスポーツも少しでも迷惑をかけたら園内禁止にしてほしいとさえ今は思っている。
・(桜井中央公園)土日などは大会、社会人野球やらでバスケがしたくてもグランドをずっと利用されると使用出来ないのが現状。子どもたちもゲートボールの方に邪魔と注意を受けたことがあったらしい。設備があっても、中央公園のように他のスポーツ利用だけが優先されてしまうと何も出来なくなる。体育館などは人数がいないと利用出来ないと聞いたことがある。もっと利用環境を考えて欲しいです。
・総合運動公園利用者のマナーが良くない。マナーが悪い団体や個人は使用を禁止にして欲しい。
・障がい者とともに、市内のマラソン大会に出たことがかつてあるが、距離が長すぎて気軽に参加出来ない。また、参加した時に、他の選手に邪魔だ、どけと言われて、本人は泣き出した。それ以来参加したくない、できないと思った。障がい者は市内のスポーツ大会に出られないのかと思った。

（3）スポーツ施設について

① 整備してほしい施設について

・三河安城駅付近にマラソンやウォーキングができるおしゃれな道を造ってほしい。運動した後に食事や軽食ができるお店がたくさんできてほしい。市内を歩きたくなるような魅力のあるまちづくりをお願いする。
・市役所を中心として東・西・南・北のウォーキング道路の道標を電柱または標識を作り、歩く道路に目印を掲げて、市民のウォーキング熱をもっと活発にしてみてはどうか。
・大府健康の森のようなスポーツセンターを造ってほしい。
・春日井市と新城市にはスノーボードの施設があるが、安城市にはない。安城市には 23 号線があるので、23 号線沿いに施設を造れば利用しやすく、他の市からも収容ができる。

・身近なところで軽く体を動かせる場所・施設が必要と思う。例えば、公園でバスケットのシュートの練習をしたり、ボードに向かってサッカーボールをキックする。野球のキャッチボールをするためのグラブ・ボール等道具を入れる小さい倉庫を作るとか？誰でも簡単に使えるようにすれば高齢者も外へ出る機会が多くなり、友人ができて会話も増え、健康増進に役立つと思われる。高齢になると運動不足になるため、解消するための簡易施設を要望する。
・〝時間が作れない〟は言い訳かもしれないが、もっと身近に運動ができる場所（遅い時間でも安心・安全に利用できる）があれば、少し考え方も変化するのかもしれない。
・息子が中学硬式野球をやっていて、球場が安城にないため他市に行っていたので、安城に球場が欲しい。
・安城市にもスケートボードパークのような施設はどうか。
・運動できる公園が少ない。大人向けの場所が増えるとうれしい。
・子育て世代も子連れで参加できる施設を作っていただけると、大人も子供もスポーツ、健康に関する興味が広がり、健康都市になっていくと思う。
・桜井町辺りにジムが欲しい。
・私は卓球が好きなため、卓球の施設を増やしてほしいと思った。卓球教室のような一般参加型の教室等を開催してほしいとも思う。
・人生 100 年、健康老人であるためには、徒歩で行けるくらい近くて、いつでもグラウンドゴルフ等ができるようなグラウンドがあると嬉しい。例えば、幸田町の大日陰グラウンドゴルフ場。
・スポーツ課にとっては公園は関係の薄い部門かもしれない。しかし、公園は軽いスポーツを日常的に行うことのできる重要な場所である。市内を東西南北の４地域に分けた場合、西には篠目公園、南には堀内公園、デンパーク、北には柿田公園がある。しかし、東部地域にはこれといって公園がない。市民としての平等性を考えた場合、東部地区に住んでいることは大きなマイナス要因。公園を造るには規定があることは承知しているが、「東部地区に住む」のは大きな大きな損失。ぜひ、上記地区と同等の措置を考えていただけたら東部地区の生活も大いに変わるのではと考える。
・各支所に簡単で安いスポーツジムを設置していただきたい。
・一人一人体力が異なるので、マンツーマンで指導してくれるスポーツジムが安い価格でできるのならぜひ体力づくりのために利用したい。
・パターゴルフのできる施設を熱望する。一見、娯楽のように思われるが、益々高齢者の増加が見込まれる現況、楽しくプレーしながら体を動かせるといったことも含み考えると、いつまでも健康で有意義な老後のアシストができるのではないか。
・運動はしていないが、毎日の農作業で体を動かしているので、特定の運動をしようとは今は思わないが、もう少しみんなが参加できる広場がほしい。
・グラウンドなどのある公園にバスケットゴールがあるとうれしい。
・多くの安城市民が利用できるような施設をつくってほしいです。
・子どもと一緒に暑い日、雨の日に遊べる公共施設（無料）がない。
・気軽にスポーツに参加できるよう、公民館のような大きさの施設がうちから歩いていける距離にあって、いつでも安く利用できるといいと思う。安城市は遊歩道が整備されていて安心してウォーキングを楽しめるところがいいと思う。
・三河安城に 5,000 人規模の屋内競技場、ミニ武道館みたいな愛知県民をよべる施設をつくったほうが安城市の活性化、新幹線駅の再構築になると思う。予算は 10 年、15 年、積立て計画を実施する。
・これからの若い人のために、そして高齢の方の体力づくりのために、安城市はうらやましいな、恵まれているなと他の地域の方から思われるような施設を増やしてほしいなと思う。
・グラウンドゴルフの会場が少なく、市で会場をつくっていただけると大変助かる。学校区に１つあったら老人会で協議をして計画的に利用できるのではと考える。どこにもお願いすることができないと思っているので、管理は各老人会の当番制で行い、安全を守り、親睦を図り、健康をつくり出し、福祉にもなると考える。
・障がい（知的）があっても、安心して楽しく運動できる場所があるといい。
・場所の必要としない歩くところ、公園で散歩できるようなところがあれば、歳を取っても歩けて、子供たちが遊べ、安全な場所が近くにあればうれしい。スポーツに限らなくてもよいのでは。ランニング、散歩コースのある公園が近くにあればと思う。
・仕事を退職し、自由な時間がある年寄りが多くなってきた。そんな年寄りが集まって運動する場所がない。昼間は時間がたっぷりあるのに、学校の施設は使えない。明祥プラザのような広い多目的ルーム（バレーやバスケ、バドミントンができる広さの）がもっと身近にあれば、運動する機会が増えると思う。そして、元気な仲間と交流し、健康で元気な年寄りが増えると思う。ウォーキングなども仲間と集まって行えば楽しいと思うし、みんなと一緒なら頑張れる。
・卓球場を増やしてほしい。
・民間の有料のスポーツジムのような施設器具。市営で格安の施設があるとよい。
・安城市内には硬式野球の練習ができるグラウンドが少ないため、整備する必要があると思う。
・総合運動公園のような施設がもう少しあるといいと思う。公共交通機関が通っているというか交通の便がいいと利用しやすいので、利用する（しよう）と思う。ロッカーみたいな荷物置き場があるといい。
・今現在利用している公民館では自主クラブが利用していて、２、３人の個人的な利用は少々難しい気がする。欲を言えば、ストレッチ、ヨガ等も気楽に参加できるところがもっと増えるといいなと思っている。
・サイクリングロードをもっと市内全体に整備してほしい。

・健康器具がある公園が少ないと思う。広くてバスケットコートが無料で使える公園がたくさんあるといいと思う。今市内にどれだけあるかどうかわからないが、近くに公園がないがために道で遊ばざるを得ない子供たちもたくさんいるので、大人も使える健康器具などが多くある公園がたくさんあれば大人も子供も運動にもっと関心を得るのではないか。
・夜暗くなっても安心して歩いたり、ランニングできたりできるような外灯のある場所があるといいなと思う。
・ボルダリングを行える施設をつくってほしい。初心者でも習えるようにしてほしい。（経験者じゃないとやりづらい雰囲気がある）
・硬式野球場＝プロ野球や高校野球の対象になるもの。陸上競技場＝公式競技のできる施設。
・もっと近く（車を使わない距離）に、気軽に運動ができる施設を増やして欲しい。
・体の基礎体力をつくる為のアドバイスのできる人がいる施設があると良いと思った。
・公園や体育館など、バスケットができるといいかも。愛犬と一緒にスポーツできる場所があるといいな。
・ジムのような物が気楽に使えるといいと思う（各中学校区内にあるとうれしい）。
・里町に住んでいるが、体育館、プールなど施設が車でないと移動が難しく、年とともに行動力がなくなってくるので、安城北部地域に何か造ってほしい。
・スポーツは好きであるが、健康状態を考えると少しの運動しかできない為、地域にいつでも気軽に動けるスペースがあると良い（雨天時用）。
・雨天でも競技できるよう、全天候型の（ドーム）競技場をつくってほしい。
・30 ヤードぐらいの 20 打席のゴルフ練習場で、30 分間で 500 円ぐらいの時間制でやると多くの人が練習できる。ネット張りでなく、室内練習場がいいと思う。
・時間ができる老後にできるスポーツ施設をつくっていただきたい。
・運動できる施設を増やしてほしい。
・老人向けのスポーツジムが低価で利用できるよう、数多くできるように近場に設置していただけるように願いたい。
・小学校チームをはじめ、硬式野球ができる球場が安城にない。刈谷、岡崎にはあるのに。できれば現在やっている子供たち、これからやる子供たちのために球場ができるといいと思う。
・夜勤をやっているので、夜間でも利用できるスケートボード専用の施設がほしい。
・10 年ジョギングをしている。サイクリングロードを使用していたが自転車とすれ違い危険なため、古川緑地公園を使用。各種の運動場があり、外周をローラースケートや散歩、ランニングに利用できる。矢作川にも似たような施設はあるが、樹木がなく直射日光の下の活動になる。年月が掛かるが、河川敷と繋がる田畑をやりくりし、道路を付け替えて施設の開設をお願いしたい。
・碧南市のようにスケートボード、スラックライン、ダンスの教室が安城でもあるといいと思う。碧南臨海公園のような施設が欲しい。
・私は安城の中心部から７キロほど離れたところに住んでいるが、バスがあるとはいえ周りにスポーツ施設や車を気にしなくていいウォーキングコースが無くて困ってる。家に車はあるが家族がそれぞれ生活するにあたって必要な活動に利用しているので運動しに行くためだけに長時間独占してしまうのは厳しい。スポーツ施設への直通バスがあれば既存の施設でも通いやすくなって地域の様々な世代の方も利用しやすくなるかなと思う。
・外の設備でもっとバスケのコートを増やして欲しい。ただ、碧南市のようにアスファルトのコートが市内にあるといいと思う。市内に公園、グランドが多くあるが、実際はバスケの出来るところは少な過ぎる。また、グランドは砂で滑りやすく怪我に繋がる。
・芝生グランドなど施設の充実。
・主婦層が通える施設があると良いな格安で。
・自由にスポーツが行える施設を作って頂きたい
・家族で１日過ごせるような芝生の多目的広場の整備(堀内公園の芝生広場のようなところ)。
・テニスコートを増やしてほしい。土日の予約が取れなくて困っている。
・運動がしやすい施設が充実するといい。
・公園でスケートボードをされると危ないので、スケートボード場を作ってあげて欲しい。無理やりスポーツをさせるよりやりたいという子どもがこんなにたくさんいるのだから大人がやりたい古いスポーツだけではなく子どもの自発的なスポーツを優先させるべきではないか。
・無料で使える運動施設を増やしてほしい。
・高年齢でもジョギングやサイクリングができる環境があればいいと思っている。街頭や専用歩道がないところもあるので、ガードレール等、車道歩道が分離するような交通環境にはして欲しい。
・安心安全な場所を多く設置してほしい。
・国際的なスポーツ誘致やスポーツ観戦よりも市民が使いやすい施設の充実に力を入れて欲しい。私立のスポーツクラブはありますが、もっと安く使える公共施設があると嬉しい。
・コロナになってスポーツの機会が減ったが、近くで遊んだり集える場所が増えるといいと思う。
・仕事後に気軽に運動できる施設が欲しい。
・気楽にできる施設が有るといい。

・刈谷市にある総合運動公園内にあるウイングアリーナのジムエリアのように、民間施設のような充実した器具と広さ、指導者(刈谷はコナミ)を入れて、器具の使い方や指導を気楽に受けることが出来、安価な施設があると良いと思う。
・私も子育ての気分転換、体力維持にスポーツジムを利用したりしたいしたいと思うが、小さい子どもがいるとなかなかハードルが高い。託児施設などが気軽に利用できればスポーツに参加できる人も増えるのかなと思うが、そこにお金がかかると難しいです。
・一人でも出来る運動施設が欲しい。
・無料や低価格でのジムを何ヵ所か作ってほしい。遠いので通いにくい。
・ウォーキングのできる場所をたくさんあれば嬉しいと思う。
・桜井周辺が新しい住宅が増え人口が増えてると思うが、大きな体育館や運動ができる施設が少ない気がする。
・鏡や防音設備のあるスペースを増やしていただきたい。
・運動が好きではない人が、気軽に運動できる施設を作ってほしい。

② 既存施設の内容について

・とにかく駐車場が少ないと思う。
・中心地以外の施設運営・管理、施設の内容を見直すべきである。例えば①中途半端なバスケット場（夜間の利用大いに結構だが、若者の利用都合上）による周囲環境への対応…遊びだけ？②グラウンドの表面土硬い。冬場の土、石灰、木ユリ飛散による周囲へのまき散らし→散水施設設置。③選手の休憩、応援者のベンチ設置、夏場の日陰。④施設の利用申請方法の改革。ネット申請、運用調整を利用者の立場で！！⑤安全管理。ＡＥＤの公園内設置、けがの応急処置装備品の設置、明示。
・安城市の体育館、公民館の多目的ホールは、空調による風の影響でバドミントンができない。風の影響が出ないように工夫してほしい。
・陸上競技場の第２種公認を早く取得して欲しい。いろんな大会がやれるようにして欲しい。記録を出しても公認されないと、選手も来てくれない。
・トレーニング施設について、高重量が扱える器具を置いてもらいたい。
・自転車の通る場所（道路の上）をもっと多くしてもらいたい。歩道を走るのか車道を走るのか迷ってしまう。一部分だけあっても困る。車の運転手の自転車への意識が低く感じるので、車道を走るのが怖い。
・安城市内の市道の自転車レーンの整備をもっと進めていただきたい。バスケットやソフトボールもよいが、一番身近な自転車がもっと安全に楽しく乗れるような街づくりをしていただきたい。
・市外から来た方が体育館などへ行くときのアクセスがもっとよいといいと思う。車で来た方も公共交通機関でも行きやすく、また駅からの行き方も道路や駅に分かりやすく明示してあるといい。駅から道に迷っている方がいらっしゃった。JR 安城駅から体育館は歩きでは遠いと思う。例えば、行事のある日だけシャトルバスでもよい。将来、車に乗らなくなってもスポーツ施設へ気楽に行けるようにバスがたくさんあるとよい。直通バス、自動運転など導入すると利用しやすくなる。
・多目的広場（グラウンド）について、土ではなく、芝生の上でスポーツができるように。各スポーツ場について、修理は予算がない。予備費が必ずあるように。各種目ごと（スポーツ場）について、シャワールームの設置＆屋外のスポーツ場に一時的に太陽を避ける日陰の休憩場の設置。
・施設について、一部の人が頻繁に利用していて、その一部の人たちのものという感じがする。また、交通が不便で、施設まで行くこともできない。
・１．拠点施設から市内分散へ。近くにスポーツ施設があると利用率が高まる。２．自然環境の整備を。例えば、河川堤防の遊歩道、斜面地の野外スポーツ施設など。自然の中で健康づくりができるとよい。３．中学校の部活動を社会体育として実施する方向で段階的に推進を。50 年前にその動きがあったが、未だに変わっていない。一歩前進を。４．歩きたくなる、走りたくなる、自転車に乗りたくなる。専門家に依頼して、市内の歩道・自転車道の現状を改善したい。
・民間のスポーツジムに通っているが、市の施設よりよく管理され、指導もしてくれ、色々なプログラムがあり利用しやすい。利用料金も安い。市の職員に比べ、スポーツジムのスタッフは一生懸命にやっている。民間に比べ、市の施設は無駄が多い。
・スポーツ施設より、うちの近くで安全にウォーキングができるようにしてほしい。
・明祥プラザ（最寄り）のテニスコート、卓球場など、南部公民館だった時代に比べて全く利用ができなくなって不満。今は個人で借りるのが難しく、子供が遊べる場所もなく、イベントもないし、中の児童館は入園前の子供用（それより上の子が来ると職員が怒ってくる）で、利用できる年齢が限られている。明祥学区は、小学生からの自由な遊び場（体を動かして遊ぶところ）がほぼない。
・筋トレマシーンが少なく、時間がもてあそぶ時がある。水泳のレーンが混み合い、気を遣いながらするのでストレスがたまる。
・バスケットコートが少ない。
・アンフォーレをもっと活用してほしい。
・グラウンドの整備が十分行われていない。グラウンドの中にはいくつもの川ができている。グラウンドの雨の日の排水が悪い。排水口の整備を考えてほしい。
・東山中学地区に施設がない気がする。
・ウォーキング、ランニング、サイクリングが安全に出来る様にそれぞれのレーンを設けた自転車道の再整備。

・サイクリングコースを歩いた時は、あまり休憩する所がないなあと感じた（特に夏場）。
・市内には歩道など整備されていて安全だが、市内外れの町内は歩道もなく、企業などの抜け道になっており、車やバイク又は自転車が減速もせず走って行く。家の近くでウォーキング、ジョギングができれば一番良いが、市内の運動場まで行くのに遠い。スポーツ、運動あれこれ言う前に、スポーツ、運動が安全に気軽にできる様整備して欲しい。
・毎週テニスをしているが、予約が取りにくいので、総合公園以外に増面して欲しい。緑町に住んでおり、夜にランニングしているが、道路の街灯が少なく暗い。
・マーメイドパレスの大人利用料が高い。
・ランニングコース①自転車の侵入が多々あり危険。表示板プレートで規制をしてほしい。②犬の散歩で排せつ物の放置もあり
・総合運動公園のスポーツジムは開催されているのに、お風呂の利用ができないのは不便である。また、もしお風呂がコロナの感染対策で閉鎖しているのであれば、スポーツジムも閉鎖したほうがよいのではと思う。気に入って週１回自分も利用していたので、ぜひともお風呂の再開を検討してほしい。
・近所の公園やサイクリングロードの休憩所等に運動する器具があるといいなと思う。
・サイクリングでＪＲ安城駅方面に行きたいけれど、道が狭い。安心して自転車で行けない。車道を車と一緒に走るのは危険すぎる。
・誰もが平等に使用できる施設になっていくとよい。
・近隣にグラウンド付の公園が多々あるが、大きなグラウンドに遊具の少ない公園はもう不要。小さな子供は喜ばない。小さい子供がスポーツ＝体を動かすことに興味を持つ入り口は、遊具のたくさんある場所（刈谷の岩が池公園、豊田市の地域文化広場、赤池のボールネルンドのキドキド等）で、遊びと体を動かすことが両方できる場所が多い。子供の体を動かすことへの興味を育てるためにも大型遊具を備えた公園や全天候に対応できる施設をつくってもらいたい。
・図書館の中に運動器具があるといいかと思う。いろんな場所にちょこっと置いてあるのもおもしろいかな。
・オリンピックを見て、スケートボードをする子供が増えると思うが、公道や公園でするのは危険なため、スケートボード場があるといい。大会もできたり初心者も始められるような施設なら、これから需要があると思う。同じようにスポーツクライミングの施設もあれば、オリンピックを目指す子供たちが増えるかもしれない。気軽に運動できる施設として、トランポリンやアスレチックなどもいいと思う。市内外からの集客も望めると思うし、楽しく運動できてよい。ザ・モール安城の跡地にそれらの大会でもできるような大きな会場が新設されたらいいなと思っていた。
・安城市は総合運動公園や子ども達が体を動かせる普通の公園等、他の市町村と比べると施設の数がとても充実していて綺麗で使いやすいと思う。すごく有難い事だと思っている。
・１人でも出来るよう整備して欲しい。例えば、道路での防犯カメラ設置等。
・スポーツセンターの温水プールを午前中から使用できるようにしてほしい。刈谷市は９：00～「温水プール」が使用できるので刈谷市に行って利用している。
・スポーツセンター内のトレーニングルームでストレッチビデオが流されているが、いつも同じ映像が流れているので、変えて欲しい。
・スポーツセンターのジムをもう少し広くして欲しい。
・学校開放などをもっと利用しやすいようにしてほしい。たくさんいいグラウンドや体育館があるのに簡単に使えないのはもったいないと思う。
・サイクリングロードの広域化をお願いしたい。またボルダリングができる市の施設ができたら利用したい。
・自分の子供が利用するかもしれないので、施設のメンテナンスを正しく行って欲しいです。
・古い遊具などしかない公園は新しい遊具に変えた方が良いと思う。刈谷市のフローラルガーデンやミササガパークのような、老若男女が楽しめて、季節を感じながらウォーキングできるような公園が安城も増えると良いと思う。

③ 施設の予約、利用について

・体育館の予約について（月１回の予約日）特定のスポーツ（バド）で、同じ団体が複数の名前で団体登録していて予約のコマを取っていることがあった。団体の名簿管理までしていただき、公平になるようにお願いしたい。
・体育館などは団体やクラブの人たちが使用していることが多く、気軽に当日に利用することができない。
・スポーツ施設を借りる際、定期利用があると新規で入りにくいし、土日は本当に取れない（安い公民館や青少年は）テニスも始めてみたいと思い、市のレッスンを受けたけど、８回のレッスンでは練習の仕方に自信がないからもっと長く受けたかったです。とても楽しかった。
・体育館の予約などが取りにくいことがあり、思うように活動ができなかったと思う。安城市民で予約が優先されてはいるが、団体も多いので、もっと運動できる施設も欲しいと思うし、予約もインターネットなどで気軽に取れるようになればよいと思う。
・体育館内の卓球場の予約システムについて、団体予約の場合、予約しなければいけない台数が決まっているのは無駄に感じる。市外の人々が安城市内の人々と同料金で施設利用をしているのはおかしい感じがする。
・高齢者に対して、家に閉じこもる時間が多い。外に出て体を動かしたいのですが手段が分からない。施設の利用方法やガイドを分かりやすく伝えてほしい。
・スポーツセンター、マーメイドパレスと両方利用したことがあるが、運営上の関係でしょうか、それぞれの利用カードを持たないといけないので、１枚で両施設使えるよう汎用性があるといい。
・施設数が少なくて予約したくてもできないことが多いので、そこを解消してほしい。

・テニスコートの予約システムについて、不満がある。①予約時に希望の日付の空いているコートを探す際、とにかく探しづらい。コート１カ所ずつしか表示できない。希望の日時を指定したら、安城市の全てのコートの空き状況を表示するようにしてほしい。②テニスコートの料金が前払い制なのをやめてほしい。豊田市と同じ当日払いにしてほしい。
・スポーツセンターの中でスマホが見れないのはおかしい、スマホで暇つぶしの動画などをみながら運動したい。
・お年寄りには施設などは予約も取りやすいが、子供会やお年寄り以外の一般人は予約など取りにくい。休日などは一般人に取りやすくしてほしい。お年寄り優先は分かるが、せめて休日は一般人を優先してほしい。
・体育館やテニスコートの予約をもっと簡単にできるようにして欲しい。支払いも電子決裁できるようになれば予約がスムーズになると思う。
・体育館・スポセンでバドミントンをしている。十分換気もされてあり安心してスポーツをする事ができている。しかし、日中スポーツをする時にカーテンが空いていると十分に活動ができない。窓もドアも空いているのならカーテンは閉めたままでも良いと思うが、皆さんがスポーツを十分に活動できるように検討してもらえる事を願う。
・公園内での規制が多すぎる（キャッチボール禁止等々）。

④ 学校開放施設について

・学校の体育館が使える頻度を増やして欲しい。企業の体育館等も地域に開放して欲しい（子供たちのスポーツの場の確保が大変）。

（4）市のスポーツ施策について

① スポーツ施策全般について

・高年長者多数の対策を急ぐこと。高年長者の意見を組み入れること。その手前の方々の働きに期待する。
・オリンピック・パラリンピック候補者の市からの特別補助、練習場の確保等協力してあげてほしい。
・公共の場を多く造り、なるべく安く、自由に使えるようにしてほしい。公共主催であれこれ企画することは少なめで良い。
・障がい者でもできるスポーツというか運動についてこれから親切にしていただけたらと思う。
・スポーツドクターによる無料健診等の実施。
・安城市が努力して下さっていることは認めます。
・選手のためのスポーツはほどほどに。万事につけ受益者負担を原則に。
・障害者スポーツ支援、普及に更なる努力をしてほしい。情報が少ないように感じる。
・問いから話がずれるが、このアンケートが有効に使用され、市民にとって「嬉しさ」を感じるスポーツ振興に努めていただきたい。
・安城市に引っ越してきて約２年になるが、スポーツ施設も多く、スポーツのしやすい環境が整っていると思う。これからもどんどんスポーツ施設をつくってほしいと思う。
・スポーツ、運動が生活習慣病予防に役立つことの啓蒙活動が必要。
・スポーツ等の発展に頑張っていただきたいと思う。
・できるだけ病気等にならないように健康的に上手に年を重ねていくには、運動での体力維持と筋力維持や認知症にならにように頭脳を鍛える努力をしていかないといけないと思う。そういうことができる身近な機会や場所や施設が必要だと思う。年を取ってもできるだけ病院に、病気にかからないようにできれば、医療費も削減できるし、高齢になっても元気で暮らせるのではないか。そういうことができるような安城市になっていただきたいと願う。
・全国大会に行くようなチームには市からサポートをぜひやっていただきたい。（お金ではなく、施設利用の許可など）せっかく強くなっても、どんどん廃れていってしまう。競技の監督やコーチ、チームをサポートしてあげてほしい。
・安城市にはもっとスポーツ施設を、スポーツクラブを誰もが簡単に利用できて、若い人や子供たちの育成に力を入れ、スポーツ選手を一人でも多く育ててほしい。
・健康づくりにはとても大切だと思う。これからも推進活動をお願いする。
・スポーツは自主・自発的に実施するもの。生涯スポーツにおいても、学校体育の部活においてもそのことを重視し、あくまでも本人の健康増進をねらいとしたい。成績、成果はスポーツを行う本人の目指すもの。市民の生涯スポーツのために税金を使ってほしい。観戦はスポーツではない。
・お友達と仲良くのんびり運動を楽しみたい人とおしゃべりより運動に集中して取り組みたい人とがお互い煩わしい思いをしないで済むような環境づくりをしていただきたい。
・子供の民間スポーツ施設の使用料補助や習い事の補助等あれば、子どものスポーツ人口が増え、長期的にスポーツ実施率が上がるのでぜひ検討いただきたい。（例、子どものスイミングスクール費用 20%補助→親が習い事を考えときにスポーツを選びやすくなる。その子供が大人になり、その子供にもスポーツを勧める。スポーツ人口増。）
・スポーツが好きな人にとって、プラスになる都市づくりを望む。
・小・中学校での運動不足が心配。外部からボランティアを入れて運動にも力を入れてほしい。

・年齢に応じたスポーツ育成。
・スポーツの民間施設に入会したときの市の補助が少しあると嬉しい。
・市民も行政もよくやっていると感心している。
・スポーツを推進していることすら分からない。
・スポーツで健康維持を目標にするため、町内単位でいろいろな活動を計画していただくとありがたい。
・特に若い人世代におけるスポーツ普及は拡大に向けた環境や整備に力を入れていただきたい。特にスポーツを通じてカナダチームの現地誘致はすばらしく、もっとＰＲ活動を続けて欲しいし、姉妹都市の提携に発展させてはどうか。
・子供も大人も多様な様々なスポーツにリアルに接する機会が増えることと、始めてみて自分に合った本当に好きなスポーツを継続・維持できる環境を切に願う。
・今頑張っている選手のために良い環境の整備をしてあげて活動していってほしいと思う。
・安城市は、スポーツに力を入れていると感じる。私は 30 歳のころからバレーボール、ソフトボール、卓球といろいろスポーツを経験してきた。体育館やソフトボール会場、よく利用させてもらった。また、小学校、中学校の体育館も 40 年以上使用させていただいた。地域の方々の温かい支援により、長きにわたり楽しくスポーツを行うことができた。
・個人が目的を持ち、挑戦する環境を作って欲しい。スポーツは、見るより自分がするほうが楽しいと思う。
・他の市と比較して、スポーツ講座等が充実していてよいと思う。
・これからも継続的にスポーツ・運動に取り組む。また、取り組みやすい環境も継続的に確保が必要。
・今後の子供たちの為には、運動をする機会が多く持てるような場所の確保や、楽しく運動が出来る（好きになる）ようになり、皆の日常に取り入れてゆける社会になって欲しいと思う。
・市民が健康でいられるためのスポーツ、運動の提案や企画が、市でやってもらえるとありがたいと思う。
・子供と一緒にボール遊びができる場所が少ないように感じる。３×３コートも増えると子供たちだけでなく、親子でスポーツする機会が増え、嬉しく思う。子供のころからスポーツする習慣があると大人になってからも継続して運動ができると思うので、子供が安全にスポーツできる環境が充実するといいなと思う。
・自分も高齢に向かっていく身の上を考えると、健康に役立てる必要性を感じるが、なかなかその気になってトライしていく意欲を持続させるのは難しいと思われる。こうした高齢者や予備軍にやる気を起こさせるにはどうしたらよいか。手軽な運動をアピールしていく。接し得るチャンスを増やす。ポイント制やチケットの活用で釣る。医療機関でチェックする、付与する。町内会に仕掛けて行催事にエクササイズを漏れなく加える。地域に組ごととか集合住宅ごとの子供を交えたチームをつくるなど、様々に検討いただけたらありがたい。
・年齢的に体力の衰退が感じられ、無理のないスポーツをとできる限り参加している。グラウンドゴルフ等は老いた人たちに人気があり、場所の確保も大変。市管理地の活用を望む。
・スポーツに興味のない人に興味を持てというのは難しい。持てないなりに健康維持のための運動をいかにさせるのかが大事。余談ですが、スポーツが苦手、嫌いだけど、運動の大切さは分かっている人はたくさんいると思う。その層に無理に、しかも一時的に興味を持ってもらうより、その層をどう納得させて、あわよくば取り込むかを考えていってほしい。スポーツが苦手、嫌いな人には、スポーツでむやみに熱くなる人々が嫌いな人も多い。そういう人々を誘致、盛んに応援というのは精神的に無理。
・オリンピックとか関係無く、スポーツ方面に力を入れるのであればしっかりと入れて欲しいと思う。
・スポーツや運動は強要されるものでもなく、強要するものでもない。必要と思う方が行えば良い。メダルのためのスポーツよりも市民全体で行うラジオ体操や田植えレースなど、年齢や性別を超えた地域の活性化が先に必要だと考える。ただし、スポーツを愛する方のために、施設の充実は進めていただきたい。
・次世代の、若い方が楽しみやすいような方針で！
・指導できる人と指導してもらいたい人や団体のマッチングがあれば受動的にスポーツ能力向上するはず。
・ボランティアに頼っている現状を打破し、行政が積極的に設置、維持、管理、運営をしていくべきである。
・スポーツと健康（身体と精神の両方）、美容の密接な関係を行政がもっとアピールしても良いと思う。それが医療費軽減にもつながるから。
・高齢でもあり、健康維持のためには自らが体力づくりをしようという気にさせる方策提示が必要では？根気よく諦めず口説きつづける必要はある。
・色々されているんだなあと思ったのと同時に、知らない取組みが多いのでまず知ってもらう事に重点を置いた方がいいと思った。安城市在住の方に対してお得感が感じられる取り組みがあったら前向きに検討される方が増えると思うし、安城市に住みたいと思ってくれるひとが増える様に思った。
・いろいろなスポーツができる環境を整えて欲しい。
・スポーツをする、しないは個人の自由と考える。余計な取組をして地域の仕事が増えることはやめて欲しい。何もせずに、余った予算を民間のスポーツジムの利用料金補助等にするのが一番助かる。
・無理のない程度で、誰しもが気軽に参加できるスポーツ、運動の普及が望ましい。
・スポーツは(強制的に)やらされるものでは無いと思う。今回の東京オリパラの様に、自発的にウォーキングや軽い筋トレ等々、更には各種スポーツ観戦に行きたくなる環境づくりが必要だと考える。
・生涯を通じてスポーツに親しむことは、健康寿命の伸延につながる。そのため、子ども時代からスポーツに親しむことが肝要である。しかし、部活動の任意化が進むなど世の中は逆の方向に進みつつある。今こそスポーツ好きな子ども育成すべきである。

・地域によって、施設や環境の充実度が違いすぎる。利用したいと思っても日常的に距離や金銭面が遠い、高いと参加しづらい。継続がし難い。健康長寿をめざすなら、行政組織を縦横無尽に活用して成し遂げる必要があるのでは。安城市独自の組織を。
・スポーツに触れる機会が少ない人が少しでも興味を持てたり、触れる機会が増えるような施策があると良いと思う。
・施設のハード面整備よりソフト面を優先した施策の充実。
・特定の競技や抜き出た選手の育成より、運動習慣の一般化を進めていただきたい。
・遊び方も多様化している中、安城である必要は無くなってきている。もっとグローバルなアイデアを期待している。
・スポーツで町おこしにつながるのかどうかを真剣に考えてほしい。スポーツをやっている一部の人々（週１回 53%の成人の人）をターゲットにした町おこしでは、まちの継続的な、かつ効率のいい発展は見込めない。もっと市民全体への住みやすさの追求や住み続けたいと思うまちづくりに注力してもらいたい。(障害者の人でもスポーツができる人をターゲットにするのではごく一部の人からの支持しか得られない。どんな人でも（どんなに体が動かない人でも）幸せに暮らすためには何が必要かを考えてほしい。)

② 情報提供、情報発信について

・このアンケートを通して、安城市が行っているスポーツへの取り組みを知った点が幾つかあったので、もっと情報提供があると良いなと感じた。
・自分はスポーツはそこまで興味ないし、やりたいと思わないけど、子供には何かやらせてあげたいと思っていて、でも情報がないのでもっとクラブとか教室とかあるなら発信してほしい。
・高齢者でも行うことのできるスポーツ、また施設の幅広い紹介。
・中学校など学校の施設も利用できる場合、注意や気をつけたらいいことなどを知りたい。トイレはここのを使用する。荷物置き場や駐車場の場所。ここの場所には進入してはいけないなど。
・チケットの購入のタイミングが分かれば申し込んでもいいが、そのタイミングを知りたい。
・新しくスポーツを始めてみたいと思うが、体験などがどこでいつやっているか全くわからず始められないままになっているので、町内回覧板など、必ず目にするものにチラシなど挟んでいただけるとありがたい。
・スポーツ、運動する施設がいろんな場所にあると思うが、どんな運動ができる施設なのかもう少し説明してほしい。初めての人が行っても、気持ちよく運動ができればいいと思う。
・フレイルを予防するような気軽な運動を情報発信してもらったり、やったらそれに応じてポイントが貯まるなどあれば、やる気も出て続けられるのではないかなあと感じた。
・大会、イベントがあると関係者の方々も忙しく、大変になると思うので、ボランティア募集情報ももう少し知る機会があるといいなと思った。安城市の LINE があるのも今回のアンケートで知った。多くの市民に広く知って利用してもらえたらいいなと思う。
・マーメイドパレスや安城市運動公園の施設の利用方法が分からない。情報が少ないと思う。一般の人が突然行っても利用できるのか等。ボッチャの体験会の告知等、新しいスポーツを知る機会も情報量は少なかったと思う。残念。体験会において子供と参加しようと思っても、年齢や身長等の条件が記入されていなくて、調べることに手間になるときがある。そうすると、期日までに調べ事が進まず、結局申し込まなかったりする。必要なことは告知の際に全て記入しておいてほしい。
・安城出身の方や安城で活躍する選手を新聞や広報で見ると市民としてうれしい。
・小さな子供がいるので参加できない。情報がどこで発信されているのか分からない。古いままの情報が多くて知りたいことが見つからない。
・コロナで外へも出ず、体力、気力が弱っている気がする。でも、いいチャンスと捉えて運動してみるのもいいかなと思っている。ジムのような一人でも気楽に自由にできる施設とかあったら広報などで紹介していただきたい。
・小さい子供がかけっこしたり遊具で遊んだりできる環境をつくってもらえると、若い親御さんたちが喜んでくれると思う。
・イベント情報が届きにくいと感じているので、よく利用するスーパーマーケットやショッピングモールなどにチラシがあると良いなと思う。
・競技レベルの高い（国際レベル、全国レベル）話だけでなく競技を始める・楽しむ人たちをメインにしたイベント・企画を増やして、丁寧に情報発信してほしい。スローガン「みつけよう　マイスポーツ　ひろげよう　元気な笑顔」振興計画が実りあるものとなるように期待している。
・県外から引っ越してきて、知人がいないため広報のみで安城市の情報を得ている。(なぜか回覧板が一度しか回ってこなくなった)なので、スポーツをしたくてもどこで受付をしているのか、どこで希望のスポーツができるのか、料金などが分からない。引っ越してきた人も分かるような情報提供をして頂いたら、市内の施設を活用するようになると思う。
・安城市の施設が何処にあり、何時から利用可能なのか、予約システムの構築（既にあれば情報提供)。
・愛知県は弓道が盛んだというイメージがあったが、安城市ではほとんど情報がない。
・「総合運動公園」ある事は知っているけど、利用した事はない。どうやって申し込むのか？何日前に申し込むのか？中ではどんなスポーツができるのか？ 持ち物は何が要るのか？ スポーツに少し興味はあるが、参加した事は無い。利用しやすい様な環境（「案内、お知らせ等）があれば良いと思っている。

（5）その他の意見

・家の近くにスポーツ施設がないので、施設利用するスポーツをすることがあまりない。〝あんくるバス〟も近くまでは来ないので、交通の便も良くない。高齢になって車の運転をしなくなったら、ますます運動の機会が減ってしまうと思う。
・福祉施策の拡充を願う。
・金銭的な余裕がないと始めることができない。時間の余裕がないとできない。貧困層や低所得層とスポーツは無縁。スポーツの振興よりも格差社会をなくして欲しい。
・大人も子供もスポーツは楽しいと思えるゆとりある生活があればいいと思う。
・子供たちにはもっとスポーツしてほしい。
・年寄りたちが集まって何かできることを望む。声かけ等、大切と思う。
・現代人の生活から感じることは、毎日が忙しく余裕を感じられなく、生き苦しささえ感じる。市民の皆様が少しでも笑顔でいられる、暮らしていける社会になってこそ、他人同士でも気軽にスポーツを楽しみ、会話を楽しみ、暮らしていける環境が整うのではないかと思う。根底には信じ合える、助け合える社会になるように切に願っている。
・長生きするためには体力が必要なので、中国のように公園で運動できたらうれしい。
・コロナ禍での質問で何が集約されるのか、アンケート内容がスポーツ振興なのか市民の健康なのかスポーツ施設を造りたいのか、子どもの夏休みラジオ体操も進めている様子が見えてこない。
・70 代でスポーツもあまりしないので、意見などないです。アンケートを取るなら 60 代までにしては。
・子供のうちからスポーツをする習慣をつけると、大人になっても取り組みやすく、健康維持にも役立つと思っている。大人や年配の人は車でどこでも行けるけど、子供のときに外で遊べなかった子供たちは、将来運動に積極的にならないと思う。
・雨や特に用事がないとき、トレーニングに行かない日は遊歩道でウォーキングをしている。草刈りをしてもらった後はとても気持ちよく歩けている。ただ、犬のフンがそのままになっていることがあり、もっと看板等を立てて各自持ち帰るように表示してほしい。
・地域のスポーツの発展は大変喜ばしいと思う。
・シニア割等の割引きがあると何かとうれしい。
・ゴルフ人口も多いのでゴルフ場とタイアップし、割引券など発行するような援助があるとよい。
・ゴルフがもっとお金のかからないスポーツになってほしい。
・スポーツに釣りが入らない？？ちょっと残念。海、川での釣りが大好き。川遊び？貝拾い？など安城市の川は多様あるが、遊び、スポーツとは無関係？？？防災などにも役立つと思うけど…。
・自然豊かな安城市を生かした活動が多く行われてるとよいなと思う。
・郊外の伸びすぎた雑草駆除。市役所前、駅前だけでなく、少し離れた所は草だらけ。スポーツをする人も協力して清掃すれば、安城に来られたスポーツマンも快く思うのではないか？道路の雑草が多いと感じる。
・スポーツがもっと身近なものになるといいと思う。
・子供が小さいうちはスポーツをする時間がなかなか取れない。親がスポーツをする間の託児が低価格で利用できると非常にうれしい。そのような取組をやっていただけるとすごくスポーツが身近になる。
・安城市にこのような課があることを知らなかったので、知ることができてよかった。
・病院や施設で介護される老人を増やさないよう、スポーツ、運動を楽しむ老人を増やそう。
・ラジオ体操、歩け歩け運動、太極拳、フォークダンス、盆踊りなどなどは、私の身近に感ずるスポーツ。２年前にやめてしまったが、フォークダンスが好きで覚えが悪いのだが、数年楽しんでいた。イスラエルでは広場があれば人々が集い、輪になって始まる。中国では太極拳、情報はテレビからだが、アメリカでは太極拳をしている人々の姿を映し出していた。私は点数とか技を競い合うスポーツは苦手で…。努力もせず負けるのが嫌い。何の努力もしないで楽しい美しい音楽に合わせて体で表現するのがうれしい。皆さん人それぞれに自分に合った運動で体を動かすことがスポーツだと思っている。
・これから高齢化が進み、御年配の方が増える中、そんな方にスポーツに興味を持っていただく、参加していただくためにはどうしたらいいか、考えてあげてほしい。
・年齢的に体力の衰退が感じられ、無理のないスポーツをとできる限り参加している。グラウンドゴルフ等は老いた人たちに人気があり、場所の確保も大変です。市管理地の活用を望む。
・公園（グラウンド付）の大きなものはもう要らないので、商業施設を誘致してほしい。柿田公園周辺には買い物難民も多いし、市の経済面を考えると、スポーツ関連の何かを誘致するより（そこにお金をかけるより）、財政的に潤うし、生きている限り買い物は必要なので、より市民全体への住みやすさ等々、快適さにつながりやすいと思う。イオンモールのように長い通路で「買い物ウォーキング」を楽しめるよう工夫等すれば（何メートルあるのか表示等）全天候で使え、健康づくりにもっとつながる。
・スポーツに限ったことではないが、相談してもまともな回答が返ってこない場合が多い。
・スポーツを通して、地域の人たちと交流ができ、またストレス解消にもなり、スポーツに没頭することにより、日々の嫌なことも忘れさせてくれ、とても素晴らしいことだと思う。
・コロナ以来、スポーツセンター２階トレーニングジムの浴場とサウナが閉鎖されている。コロナ感染拡大予防のためだが、いまだに再開する予定はないとのお返事をいただいた。スポーツジムで運動したあとは汗をかく。汗を流すことなくそのまま私服に着替えたり車に乗るのは非常に不快なため、残念ながら現在スポーツジムは利用していない。民間の浴場施設は再開営業しているが、なぜ公共施設は出来ないのか？慎重をきたすのであれば予防接種証明提示で利用可能など、前向きに検討することは可能だと思う。コロナ対策が結局は運動不足で他の疾病を呼ぶことになっては本末転倒だと考えている。

・スポーツや運動は、自分のペースでやれれば良い。低料金でスポーツが習える、備品の購入ができるとよい。
・何かしら運動を始めてもすぐ止めてしまうので、継続がいかに大事か… 運動をすると、何かポイントがもらえるとか、サービスを受けられるなどのご褒美があると頑張れる気がする。
・説明なしの健康遊具の貸し出し
・よくスポーツセンターを利用させてもらっている。私自身は子供とプールに行くことが多く、家から近いので、小学校が終わってから夕方とかでも行けるので助かっている。子供たちはみんな運動が好きで、長男はソフトボールのクラブチームに所属していたので、よくソフトボール場で試合や練習試合をさせてもらいった。次男はバスケを安城市のスポーツ教室でやらせてもらっていたり、三男はサッカーをやっていて、競技場の素晴らしい芝生で試合をやらせてもらっている。この冬の季節になると、ランニングコースで家族みんなでランニングしたり、とにかく家族みんなで安城市の施設を利用させてもらっている。いつも綺麗に管理されていて、感謝。
・近くである程度強制してやってくれたら嫌でもやる。そういう環境がないとなかなか始まらない。
・地元有望選手の発掘と育成。
・スポーツは「好きな人が やればいい」と言う考え。こんなに市がアンケート取ってまでやらないといけないことなのか？と思っている。スポーツは全然興味ないので要らないところでお金使われたくない。必要な方はちゃんと申請して補助して頂けばいいと思う。申請をした人にはお金出してもらっても何とも思わない。
・興味のあるスポーツだけじゃなく、こういうきっかけを通して楽しさを知れるとすごくいいと思う。
・総合運動公園が市の北部にある為、南部地域の住民は車などの交通手段が無いと利用しにくい。南部にはデンソーやアイシン等の大企業が有り、スポーツ施設も持っているので、市から大企業に対し、積極的に市民へ開放したり、設備の充実を促したりできないか？あとは、碧南市や西尾市等と連携して、隣接市町村の施設情報や割引などを行い、地域でのスポーツ活性に役立てたらどうか？
・学校にお任せのスポーツではなく、社会教育の一環としてのスポーツへと転身していってほしい。
・地域、学校、自治体の連携をもっと強くして、活動場所や時間をある程度自由に選択できるようになればと思う。また、誰もがスポーツを楽しめるように、レベルに応じたチームを選択できるようにしてほしい。自分に合ったスポーツを見つけられるよう、競技間の異動もスムーズにできるようなシステムができればいいと思う。
・部活などを強要するのはやめて欲しい。それで当時大変苦労した。病気との両立でかなり苦労した。かなり迷惑。時代流れをいい加減理解すべき。スポーツはやりたい人だけやればいい。文化なんて理由はいらない。
・部活動の顧問はスポーツ経験者に外部委託すべき、体育の授業はなんなら課外スポーツの窓口要素があってもいいと思う。
・市営グラウンドの自販機を、逆サイドにも設置してほしい。
・「マスク無し」でスポーツジムで運動したり、大声を出して応援したり、これまで当たり前だったことができるような状況に早くなって欲しい。
・子供ができてから、それまでやっていたスポーツができなくなった。出産後にもやりたかったが、夜にやっていたので、子供を見てくれる人がおらず、参加できずにいる。スポーツ・運動はストレス発散のためにもやりたいが、できていないのが現実。市の体操教室などで親子で参加できるものを増やして欲しい。もしくは曜日や時間を選べたら良いのにと思う。本当は託児付きのスポーツジムがあれば嬉しいが...。
・近年急激に、子ども会への入会者が減っている。当然、ソフトやフットボールに参加する児童が激減している。地元町内での介入活動は限界にある。この実態を役所は、把握しているのか？こんなアンケートを取っている場合か？
・小学校でのプール授業が早く再開されることを願っている。
・地域ブランドを作り、すべてのスポーツ種目がそのブランドを冠したチームとして編成されること。例えば、安城ブルズという名前の野球やサッカー、ソフトボール、バスケットチームがあるようになる事。
・ゆるく楽しく出来るような環境が整っていくといいと思う。
・いろいろと環境を整えるのも大事だが、市民一人一人の関心、やる気が大切と思う。

2　中高生向け調査

（1）スポーツ全般に関すること

①　イベント、講座・講習会、大会の開催等について

・市が一眼となって応援できるようなプロチームがあると、そのスポーツに対する関心を高められると思う。
・安城市は運動するための施設が充実しているのでこのまま残してほしいしコロナで今は難しいと思うけど、少しずつまたスポーツなどのイベントが増えるといいなと思う。
・マイナーなスポーツをできる機会が欲しい。
・時間があるときで良いので、地元のスポーツチーム（アイシン AW とか？）などの選手と高校生が絡むことのできるようにしてほしい。そうすればあまりスポーツに興味のない人でも、交流をきっかけにスポーツ観戦など、少しずつ興味を持ってくれる人が増えると思う。
・みんなが、体力をあげて、健康で、スポーツの市といわれるような活動をしてほしい。
・近年では新型コロナウイルス感染症の影響で家の外に出てスポーツや運動を行う機会が以前より少なくなった人も多いと思うので十分な対策をした上で、パラスポーツや 2026 年のアジア競技大会の種目などを知ってもらえるイベントなどが行われると良いと考えている。
・スポーツや運動で身体を動かすことで、生活習慣病の予防につながったり、メリットがたくさんあるので、イベントなどがあったらぜひ参加したいと思う。
・とにかくスポーツ・運動に集中する時間が作れない。私は部活もないし 10 分で家に帰れるからすごく時間があるけれどゲームや携帯に時間を使ってしまうので１時間だけ集中できる時間などを作ってほしい。それと私の家のまわりは田んぼだらけなので走ったり歩いたりできるけど、そういう運動よりもボールやらとび箱やら使うスポーツが好きなので学校などいろいろ近場の施設で貸し出しやらイベントを開いてくれると嬉しい。
・運動を年々しなくなっているのでそういう機会があればいいと思う。
・私は小学３年生から４年間ソフトボールをしていた。私はデンソーさんのプロチームと交流して、自分の悪ぐせを生かしライズボールを投げれるようになるなど、チームがより強化された体験があります。今小学校ではソフトボールにおける関心が下がっているように思えるので、ソフトボールの魅力をデンソーさんなどのプロと一緒に小学生に伝えてほしいと思う。
・私はプロ野球が大好きだが、もっと選手との交流やグラウンドに入れるイベントなど、オフシーズンなどに選手も楽しめて、ファンも楽しめるイベントを増やしてほしい。12 月４日に中日ドラゴンズが行った竜障際の一部と二部どちらも見たが、とても楽しかった。有料でも、オンラインを使うことで楽しめる人が増えて良いと思った。ここ２年ほどコロナウイルスの影響で観戦に行っても声が出せなかったりするので、応援歌をみんなで歌いながら観戦したいという気持ちが大きい。いろんな球場・ドームで満員で存分にスポーツ観戦ができることを楽しみにしている。
・運動をすると気持ちが楽しくなるので体育以外でも、たくさんやっていきたいので大会やボランティア、施設を増やしてほしい。
・私はスポーツ・運動をあまりしたことがないが興味はあるので、そういう初心者向けのイベントをやってほしい。
・コロナウイルスによって運動会などができないところがあるのに大きな大会が開催されるのはおかしい気がする。
・テレビで、バレーの試合をよく見たりするので選手との交流ができたら嬉しい。それを行うことによってバレーに興味をもってもらえるようにしたい。
・スポーツの知識や技術の講習などがあったらいいなと思う。

②　本人の体力・意欲について

・あまり運動をしないししたくないが、抵抗力の低下や病気になりたくないから″しないといけない″のようになってしまい、中々自分から″やりたい″と思えない。又、″できない″と思い込んでしまい、やる気力が出ない。「たくさん運動したほうがいい」と言われ、やってみたら「運動方法が違って体を壊した」という友人がいて、恐怖心が残っている。元々合気道をやっていたが、師範からの期待が重く、やめてしまった。スポーツは気分転換の効果もあると思うが、精神状態が不安定になるのでは、と私は思う。
・自分は、体を動かすことがあまり好きではないので、やろうと思っても意欲がでないし、実際やっても三日坊主で終わってしまうので、どうやったら体を動かすことに意欲がでるのかなと思った。
・スポーツをもっとやりたい、見たい。
・クライミングはあまりやっていなく、自分の体調で、あまり運動はできないけど、頑張っていつかクライミングしたい。
・運動が苦手でも気軽にスポーツがしたい。
・大人になってもやる週間をつけたい。
・スポーツボランティアや総合型地域スポーツクラブがあることを知った。どのような内容か分からないので、調べてみたり、内容について授業でやったり、イベントをひらいて、参加してみたい。2026 年にあるアジア競技大会についても知りたい。
・私は、あまりスポーツが得意ではないし、好きではないので、部活で運動部に入っているが、やっぱり好きになれないなと思っている。でも、最近運動不足でどんどん体が動かなくなっているので、好きではなくても、適度な運動はしなければいけないなと思う。

・スポーツをすることは大切だと思う。スポーツをすることで、ライバルができたりして人との関わりも深まるし、自分自身がスポーツを通して成長できると思うから、何か好きなスポーツを見つけて頑張ったり、いろんなスポーツにふれあうことが大切だと思う。
・運動することは生きていくためにも必要なことだと思うから、持続的にこれからも行っていきたい。
・スポーツ・運動をすることはとても大事だと思う。だから、これからも何でもいいからスポーツを続けていきたいと思った。
・ストレス解消やリラックスするときに、効果的だと思うけど、無理のあるスポーツはさけたいと思う。
・運動することで、気分も晴れるし、体力がつくので、自分は運動することは楽しいので、これからも続けたいと思っている。
・私は、スポーツ仲間とバレーをしているときに、楽しいな、もっとこうすればよかったなど、思うときに成長できると思うので、これからもスポーツを続けていきたいと思っている。
・私はスポーツが嫌いだけど体力づくりのために動いてみようかなと思った。
・得意、不得意関係なくいろいろなスポーツをしてみたい。しかし、今現時点で勉強との両立がむずかしくなっていてなかなか手を付けられない。友達などと楽しくスポーツ・運動を行うことが大切だと思う。
・スポーツをすることで健康によいのでやったほうがよいと思うのでたまにはスポーツをしようと思った。
・スポーツ・運動をすることは大事で体を成長させるためでもあるけれど、私は苦手で体育の授業はあまり楽しめていない。ただ、今年の東京オリンピック・パラリンピックを観戦することは好き。自分なりに運動をしようと思ってやっても途中で諦めてしまう。自分なりの楽しめる運動や続けられる運動がなかなか見つけることができない。運動が全くできないわけではなくて、マット運動とかできるものもあれば、できないものもあって基本的に球技は得意ではない。技を磨こうと練習もなかなか上手くできないし、他の子ができてて気にしてしまう。今からでも運動したら多少は体育も好きになるのかなと思った。
・友達と一緒にスポーツをしたいなと思った。
・スポーツをすることで健康にもよいので自分はやっていて良かったと思う。
・体力をつけてたくさんのスポーツに挑戦したい。
・いろいろなことに挑戦することが大変だと思った。
・私たちが健康で生活するには、適度なスポーツ・運動は必要だと思う。体力向上・健康のためにもこれからも運動を続けたい。
・スポーツや運動は生涯の健康づくりにおいて必要不可欠なものだと思うので、これからもスポーツや運動に親しみ、楽しんでいきたい。
・最近全然運動していないので運動したい。
・運動不足だと病気にかかりやすくなってしまうと思うので、適度な運動を心がけたい。
・体育の授業と登下校以外でも積極的にスポーツをしていきたいと思う。

③ 情報･知識について

・色んな女子の卓球の試合を自由に見れるように Youtube などに載せてほしい
・小学生の子ども会に入っている人限定のフットベースボールを地域の人達に知ってほしい、中学校の部活に取り入れてほしい。
・健康によい体の動かし方、どのようにしたら効率よく体力がつくか。
・どのスポーツでもだがうまくなる方法（自分ならバスケ）を教えてほしい。そして自分は将来日本代表になるのが夢なのでそこのところを教えてほしい。
・どうやったら、運動神経はよくなるのか。

④ スポーツ･運動をすることについて

・スポーツは健康づくりに重要。
・運動は苦手だから苦手な人も受け入れてくれるとうれしい。
・健康のための運動やスポーツは大切だと思うが、やりたくもなくできもしないスポーツをやらされるのは嫌。
・スポーツをするととてもストレス発散になる。普段学校、会社で疲れが留まっていると思う。そんなときはゲームなどではなく体を動かすことでよりストレスが発散されると思う。
・スポーツは健康によく、楽しい。でも、疲れる。
・スポーツは本当に楽しいことだと思う。あとスポーツのおかげでできる友達もいるからいい。テニスを盛り上げてほしい。
・私はスポーツはみんなが居てこそだと思っていて、私がしているスポーツのソフトボールは最大 10 人試合に出れて、でもベンチにいる後輩が支えてくれて、みんなで戦っていると思っている。支えてくれている親・後輩・家族・近所の協力してくれている方々・地域の応援してくれている人々がいるから、やっていけてると思う。
・スポーツをやることで健康な体づくりをできるので、スポーツはやったほうがいいと思う。
・運動は、自分がするのは楽しいけど他の人を見るのはあまり面白くない。

・楽しく出来たり自分の個性が出せていいと思う。
・スポーツはやってて楽しい。友達もたくさんできる。友達との会話にもつながる。
・運動する事は個人的に辛いことなのですが、健康を保つためにはとても大切な事だと思う。
・スポーツや運動を行うことで健康に生活することができたり、新たな楽しみを見つけることができるが、普段スポーツや運動を行わない人が急に過度な運動を行うとけがの心配があるのでそれぞれに合ったことから始めることが大切だと思っている。
・自分から意欲的にやるのはいいが人から強制されてやるのは嫌だ。
・スポーツ、運動をすることによってストレス解消になってとてもよいと思う。部活動に所属することで、運動する機会ができる。
・運動は健康にいいし、体を動かせるのがいいと思った。だけど毎日やるのではなく２日に１回ぐらいがちょうどいいと思った。
・私は運動が苦手なので、あまり進んで運動をすることはなかったけれど、運動やスポーツは実際に行うだけではなく、見たり、支えたりすることもスポーツの関わりとしては大切なことなんだなと思った。
・運動をすると誰かと協力できたり、はげまし合えるからただ体力を作れるだけじゃないんだと思った。
・運動は健康のために良く、上手になってくると楽しくもなってくるのでとてもいいと思う。高齢の方などが延びるともいわれているのでもっと運動を勧めるパンフレットなどがあるといいと思う。
・スポーツをすると病気になりにくくなったり、友達ができたり、体力がついたり、色んないいことがあるので、たくさんの人にもっとスポーツをやってほしい。
・スポーツは、その人の体づくりや健康を維持できるのでいいと思った。
・スポーツは体力とか筋肉とかがつく以外に人との関係性が深まるので人間関係がいい感じになるほか、ストレス解消などのメリットがたくさんあるのでスポーツは積極的にやった方がいいと思う。
・スポーツはやると楽しく、友達やチームの仲間と仲が深まるし、自分も健康になるし体力もつくので自分に対してもメリットがあると思う。あと、チームで勝ったときは、全員で喜びあえるし、負けたときは、チームで反省し次に活かすなど、スポーツはとてもいいものだと思う。
・スポーツをすることによりライバルと競ったり体を動かして汗をかいて気分をリフレッシュできたりして、とても体に良いと思った。また、スポーツを観戦して、チームを応援したりして熱くなれるのでスポーツはとてもすごいと思った。また、運動を通して様々な所を使えると思った。例えばサッカーでいうと、作戦を考えるのに脳を、走る、蹴るなどの行為からは足と腕、全身を使うと思う。またスポーツを通じて様々なコミュニケーションを取れるとも思う。「パスを出せ」、「シュートを打て」や、作戦会議の中でたくさんの会話が生まれると思う。それを通じて仲良くなったりするのもスポーツの良い点と思う。
・スポーツをすると人の性格が分かると感じる。
・開催が遅れてしまった東京オリンピック・パラリンピックを見たが、選手１人１人がメダル獲得に向けて一生懸命戦う姿がすごく感動した。特に卓球を最初から見ていたが、見ているうちに涙が出てしまうくらい画面越しでも伝わってきて卓球への意欲が高まった。学校の授業で卓球をやる機会があり、難しさと技を決めることができるすごさを感じることができた。中学校の頃、３年間剣道をやっていたが、学んだことはたくさんあったが、特に仲間の大切さに気づけた３年間だった。運動は技だったり知識ももちろん大切だが、仲間の重大さってすごいと感じたことがあった。何度も剣道をやめようかなと思った時があった。みんなはできて私だけできないことがあった際、目を少しうるっとさせながらやっていることもあった。しかし、準備運動での走りだったり、休憩での雰囲気がすごく良かった。失敗しても励ましてくれる、嫌な走りでもみんなで声出すことでいつのまにか終わっているかのような感じで素敵な仲間しかいなかった。そこで運動は知識も大切だが、仲間も大切ということを教えてくれた。本当に剣道やってて よかったと思える時だった。
・運動するとスッキリしてストレス発散になる。
・スポーツをすることで気分転換になったり仲間意識ができて仲良くなれるきっかけになったりするのでメリットがたくさんある。
・スポーツをすると、ストレスがなくなる！＝スポーツは最強!!
・スポーツは楽しいこともあれば苦しいこともある。
・スポーツ、運動をすることは、とても大切なことだと思う。ストレス発散にもなるし、なにより楽しいので、やった方がいい。

⑤ その他

・誰でも簡単にできる新しいスポーツができたらもっと運動がしたくなると思う。
・オリンピックとかの放送でアニメがつぶれるのが嫌。
・一緒にスポーツをする仲間がほしい。
・ソフトボールの話だが、試合でコロナ禍だからタイムアップがあってそのルールがあまり納得いってなくて、あと１本ヒットが出たら逆転できたけどタイムアップで負けてしまった。タイムアップではなくタイブレイクなどにしてほしい。それかその回までやりきるなどのことをお願いしたい。あと中学大会参観〇にしてほしい!!
・スポーツがどういった定義なのか。僕自身あまり運動しないので、普段やってるスポーツもないが、これに e-Sports も含まれるなら、だいぶ変わると思う。(含まれないとして) スポーツなどのモチベーション確保には仲間・やりがいが大事だと思う。部活なら仲間はいるけど、やりがいが大会しかなさそうだし、日々のトレーニングでも十分だと感じたので、部活のやりがい及びモチベーションが増えそうなことをして欲しいと思う。どういったのとかいう例は挙げられないが、部活を少しでも楽しくしてほしい。
・運動が苦手な人も気軽にスポーツができる環境を作ってほしい。

・スポーツを見る事は凄く楽しいし、好きだけど、自分がやるとなると時間や場所の問題があったり技術での不安があって大変なので気軽にできる楽しいスポーツがあるといいなと思った。
・スポーツは、自分のストレスを発散させてくれるもの。なので、今後益々市内のスポーツ興業が栄えて、より多くの人のストレスが解消されて、より良い社会になることを望む。
・スポーツボランティアについては、参加したい気持ちがあっても、個人で申し込んで参加することには消極的な人も多いと思うので、学校の部活動など、団体で参加できるとよりボランティアの人数も増え、そのスポーツの魅力も知ってもらえるのではないかと思った。
・近年はｅスポーツなども人気がある。
・やってみたいと思うスポーツはあるけれど、スポーツ用具をそろえるのにお金がかかるのでやることができていない。なので、スポーツ用具が借りられるようになったらうれしいし、スポーツをしたい人が気軽にすることができるのではないかと思う。
・スポーツといっても色々な種類のスポーツがあることが分かった。
・格闘技の習い事など、身近にほしい。
・運動やスポーツを気軽に楽しく簡単にできるようにしてほしい。
・スポーツをやろうとする人が少ないと思う。（若者）スポーツのできる施設が少ないからやりたくてもできない人もいると思うし。スポーツをする時間が無い。
・運動が苦手な人でも楽しめる競技とかがあればいいのにと思っている。
・運動は積極的に行いたいが、そのための時間がほしい。勉強が忙しいのが理由で運動ができない。
・もっと多くのスポーツができる環境を整えてほしい。（草の荒れなど）
・生涯を通して何かできるスポーツがあるといいなと思った。
・中高生（運動部に入っていない）や大人のスポーツ・運動を行う機会が少ないと思う。中高生において、今の体育の授業数ではまだ足りないと思う。毎日忙しい大人の人たちにはそもそも運動をする機会や時間が全くないと思う。

（2）部活動に関すること

①　部活の顧問について

・教えられる側として、結果が出ないときは指導者の教え方、考え方を変えた方がいいと思う。

②　活動場所について

・部活で貸りられるハンドボールコート（体育館か外か）

③　活動内容について

・部活の時間が短すぎる。たまに部活が火曜に無いことに対して疑問しか無い。他の学校はコーチがいるのにこの学校はいない。
・部活動にもっとたくさんバットが欲しい。部活動にもっとボールが欲しい。学校のネットを速く直してほしい。部活動の部室をきれいにしてほしい。
・硬式テニスを部活として増してほしい。
・部活が強制化してきて嫌だ。やりたいスポーツの場所が遠い。アメリカみたいにシーズンで変えれるように部活をしてほしい。
・部活動について各学校での設備の充実させ、新たな部活動の設立に取り組んで欲しい。

④　その他

・勉強や学校活動でのやることが多く、部活動やクラブチームでの練習が負担になってしまう。それゆえ元々大好だったスポーツがめんどくさくなり、好きじゃなくなった。
・部活でのボールが少ない。
・野球では主に考えたりするスポーツなので色々と考えてしまうこともあるけど、チームのみんないるから楽しくできると思ったから。
・高校生が一番動ける時期なのに、大学受験のため、塾があるから、という理由で部活をやめる人が多く、高校生は運動・スポーツを軽視する人が多いので、もっと高校の部活などを大切にしてほしい。

（3）スポーツ施設について

①　整備してほしい施設について

・自分は、部活（卓球部）が終わって家に帰ると野球を練習をしている。だけど、練習する場所がなく困っているのが現状。なので気楽に練習できる場所があればいいなと思っている。
・安祥中の近くにサッカーができる場所がほしい。今は遊ぶときにサッカーがしたいけど少し遠くて不便。
・安城市にはサッカーやバスケ、テニスなどのスポーツが夜までやれる所が少ないと思うので増やして欲しい。
・コートなどお金を出さないで公園みたいな感覚で遊べる場所があるといいと思います。
・卓球の施設が少ないから増やして頂けると幸い。
・気軽にスポーツを行える公園などはあるけど、コートや設備がないので追加してほしい。近くにアスレチックや大きい公園が欲しい。小さい子だけでなく大人もたのしめる広い場所が欲しい。
・ハンドボールができるところを、もっと増やしてほしい。
・硬式野球ができる野球場がほしい。
・ソフトボール場Ｂに時計を設置してほしい。
・良質な人工芝のサッカーコートが市内に欲しい。
・学校にきれいな卓球台がほしい。
・バドミントンが気軽にできる場所がほしい。
・ハンドボールコートが学校以外身近になくて練習しにくい。ゴールとかがあってくれるとうれしい。公園とかにみんなが使える感じてあると、うれしい。無料で使えて。
・ハンドゴールがなくて、キャッチボールしかできないので作ってほしい。
・健康につながる公園などをつくってほしい。
・学校以外でハンドボールができる場所が欲しい。
・テニスコートを増してほしい。
・安城市内に 70m を射てる射場をつくってほしい。
・スポーツや運動のできる施設が身近に多くあれば、自分の好きなときに行けていいと思う。
・安城市篠目中学校付近にもっといろんなスポーツができる場所が欲しい（できれば作野小学校の近く）。
・安城市は運動したいけれど気軽に、行ける場所がないので、気軽に入れるような施設があると、とても興味を持つ。
・ソフトテニスをする際に、市内でのテニスコートをもっと増やしてほしいと思う。練習がたくさんできるように余った時間は素振りや試合をしたいので、気軽に借りれるような施設が欲しい。
・運動できる場がほしいけど、近くにそのそうな施設がすくないため、運動できる施設を増やしてほしい。
・自分はバレーボールとスケートボード、バスケが好きなのでそのスポーツができるところをつくってほしいと思う。
・バスケがしたい。バスケットボールのコートがもっとあったらうれしい。
・東山地区にバスケットコートを作ってほしい。
・自分はバレー部で学校の外にバレーコートはあるのですが他の人がいたりしたときに、出来ないので、できたら公園などにバレーコートを作ってほしい。体育館がぜんぜんとれない（予約）からもう少し体育館が増えればいいなと思った。
・サッカー場（地面が芝で無料のやつ）をもっと増やしてほしい。
・近くに「ソフトテニス」や「バトミントン」などができる場所ができてくれるとうれしい。
・市に弓道場を増やそう！
・筋トレできる施設が欲しい。
・安城のまん中の方では場所が多くありますが、端の方には施設があまりないのでもっと作って欲しい。
・無料で使える室内の野球・ソフトボールの練習場がほしい。
・もっと運動・スポーツが気軽にできる施設が欲しい。もし施設ができたなら、友達と一緒にそこで遊びたいと思う。
・安城東高校にソフトボール場をつくってほしい。
・安城市にスポーツで起きたケガのリハビリテーション施設が欲しい。
・色々なスポーツをできるところがもっとたくさんあったら嬉しいなと思った。
・気軽に体を動かせる場所がもっとたくさんあると良いと思う。

・しっかりとしたバスケのゴールをおいてほしい。（外に）
・学校以外でテニスをすることは楽しいからコートを増やしてほしい。
・近くの公園バスケットコートやバスケットリングがないので公園や公共施設にバスケットコートやリングを増やしてほしい。
・スポーツには、いろいろな種類があって、やりたい競技もたくさんある。しかし、近くにスポーツをする場所が少ないので、もう少し増やしてほしいと思った。
・ハンドボールができて自由に使える体育館が欲しい。
・バスケットボールができるコートを少ないと思うので、もう少し増やしてほしい。
・バトミントンが好きですが、外でやると風であまり思うようにできないので、体育館をもう少しつくってほしい。
・スケートボードをする場所がほしい。オリンピックでも、日本人の人たちがスケートボードで活躍してるし、運動が好きじゃない私でもやろうと思ったスポーツなので、もっと広めたい。だからスケートボードをする場所がほしい。
・バスケットコート増やしてほしい。（土は×）地面がコンクリートでお願いしたい。
・どんな人にもスポーツが楽しめるような場所がほしい。
・運動は楽しいものが多いのでできる場所をもっと増やしてほしい。
・遊びたいけど、体育館借りるとかやる場所確保する時、再来週まで空いてないとかで気軽に運動できないから、もっと場所増やしてほしい。
・テニスコートがほしい。

② 既存施設の内容、施設の予約･利用について

・公園でボール禁止が多いのにグラウンドが身近にないのはどうにかして欲しい。
・施設の予約するまでが大変!!!!
・テニスコートをきれいにしてほしい。→地面がやぶれているから
・東洋アリーナ安城、全体的に狭いと思う。
・体育館での雨漏りなど、学校の施設が古くなっていて少し危険を感じることがある。市立、県立の小・中学校・高校で点検を行い、何か問題があった場合、修理や交換をしてほしいと思っている。
・友達と近くの施設を借りてバレーをしようとするとほとんど埋まっていてとれないことがあるので、使える場所を増やしてほしい。使用料金を減らしてほしい。
・スポーツをやる施設はすごくいいけど公園ではスポーツや運動がしにくいと思う。
・ソフトテニスをやっているけれど、安城市の市営コートはいつも満員で、利用できる機会が非常に少ない。
・東洋アリーナの体育館の予約が平日の朝で学生や普段働いている人達は使用したくても予約することすらできないので平日の夜とか土日にしてほしい。
・スポーツの施設はあるが、予約などしないといけないのが少し面倒だから気楽に利用できるようにしてほしい。
・ホームページとかに体育館の利用状態とか、使える・使えない日とかをのせれるようにしてほしい。

③ 利用料金について

・照明代が高い
・競技場や多目的グラウンドの照明代が高すぎる気がする。
・ソフトボール場の照明代が高いこと。
・安城市の運動施設の施設を借りる料金と照明代を安くしてほしい。
・総合運動公園の照明代を安くしといてほしい。
・安城市の体育館を利用するための費用が高く、中々体育館をかりて、スポーツをしようと思うことができない。

④ その他

・施設が少ない、用具が少ない、古い。
・総合格闘技学ぶ所作ってほしい。

第5章　調査結果総括

1　一般成人向け調査

（1）スポーツ･運動の好嫌度

・スポーツ･運動で体を動かすことが“好き”と回答した人は全体の過半数を超えています。特に、20 歳代、30 歳代の若い年齢層で“好き”と回答した割合が多くなっています。また、自分の健康に自信がある人ほどスポーツ・運動で体を動かすことが“好き”と回答する割合が多い傾向が見られます。
・テレビや競技場でスポーツを観ることが“好き”と回答した人は全体の６割程度となっています。特に、70 歳以上の高齢者では７割以上と他の年代に比べて多くなっています。また、体を動かすことが好きな人ほど、テレビや競技場でスポーツを観ることが“好き”と回答する割合が多い傾向が見られます。
・スポーツ・運動の好嫌度、スポーツ観戦の好嫌度は、ともに男性の方が女性よりも“好き”と回答した割合が多くなっています。

（2）スポーツ･運動の実施状況

・普段のスポーツ・運動の頻度について、“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答し、日常的にスポーツ・運動をする人は全体の４割程度となっています。年齢別にみると、30 歳代は“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答した割合が他の年代に比べて最も少なく、「スポーツ・運動はしない」と回答した人は他の年代に比べて最も多くなっており、仕事等により体を動かす時間的な余裕が少ないことが要因の一つとして考えられます。一方、60 歳以上の年齢層では５割程度が“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答しており、仕事を退職し時間的な余裕があるシニア層ほど運動の頻度が高いことが伺われます。男女別にみると、「スポーツ・運動はしない」と回答した人について、男性では３割強となっていますが、女性では約半数となっており、男女間で大きな差があることがうかがええます。
・普段のスポーツ・運動の頻度を過去の調査結果と比較すると、今回の調査で“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答した人は平成 25 年度調査と比べて大きな差は見られません。新型コロナウイルスによる影響が懸念されていますが、日常的に体を動かす人は大きく減っていない事がうかがわれます。
・普段のスポーツ・運動をする場所について、「自宅の近所の道路や空き地など」や「自宅」といった、比較的近くの場所が多く回答されています。また、「公園や広場」のような開けた場所が３番目に多く回答されていること、市内外の公共施設・民間施設の回答がこれらよりも少なく回答されていることから、新型コロナウイルスの影響で普段のスポーツ・運動をする場所にも変化があることが予想されます。
・現在行っているスポーツ・運動について、「ウォーキング、散歩」が最も多く回答されています。年齢別にみると、20 歳代の若年層では「ジョギング、ランニング、マラソン」が多く回答されていますが、年齢とともに回答が減少していく一方で、「ウォーキング、散歩」は年齢とともに回答が増加しています。特に 60 歳以上の年齢層で過半数が回答しています。また、70 歳以上の高齢者については、「体操」や「グラウンドゴルフ」が多く回答されており、スポーツ経験のな

い人でも簡単に取り組むことができるものに人気が集まっています。20 歳代から 50 歳代の年齢層では、「筋力トレーニング」が比較的多く回答されています。昨今のいわゆる「筋トレブーム」にみられるように、今回の調査でも「筋力トレーニング」が多く回答されており、一人でできる上に、自宅やジム等で手軽にできる運動として認識されていることが考えられます。

・現在行っているスポーツ・運動の「その他」の回答の中で、「ゲームによるフィットネス」と回答する人が見られました。これは、ゲーム機を通じ、自宅で筋力トレーニングができるゲームソフトを使用して運動しているといった内容になります。

・スポーツ・運動を行っている理由について、「健康を保持・増進するため」が７割以上と最も多く回答されており、健康づくりの手段としてスポーツや運動を捉えている市民が多いことがうかがわれます。年齢別にみると、30 歳代、40 歳代で「ダイエットのため」が４割以上と他の年代に比べて多く回答されています。特に 30 歳代については、日常的にスポーツ・運動をする習慣が他の年代に比べて少ないことから、体型が変化してしまったことで、ダイエットを目的としてスポーツ・運動を始めるというケースが考えられます。また、60 歳以上では「体力・筋力を向上させるため」が４割以上回答されています。高齢になるほど体力や筋力が衰えていくことから、スポーツ・運動に取り組むことで介護予防にもつながる取組となります。

・スポーツクラブやチーム等の団体への所属状況について、全体の２割弱が「所属している」と回答しています。年齢別にみると、70 歳以上で他の年代に比べて多く回答されており、スポーツ団体に所属し積極的に活動している人が多いことが伺えます。中学校区別にみると、「明祥中学校区」で「所属している」が３割以上と他の中学校区に比べて特に多く回答されています。

（3）将来のスポーツ活動

・これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動について、「ウォーキング、散歩」が最も多く回答されています。上位 10 項目を見ると、「ウォーキング、散歩」に次いで「ジョギング、ランニング、マラソン」、「ヨガ」、「水泳」、「テニス」、「ゴルフ」、「筋力トレーニング」、「卓球」、「野球、ソフトボール」となっており、チームスポーツより少人数あるいは個人で行うスポーツ・運動を希望する回答が多く、個人志向が強くなっていることがうかがえます。特に、全体で３番目に多い「ヨガ」については、女性が多く回答しています。スポーツ・運動をする頻度別にみると、「週に５日以上」スポーツ・運動をする人については、「ウォーキング、散歩」の回答が４割以上と他に比べて多く回答されており、「ウォーキング、散歩」が手軽に毎日取り組むことができる運動であると認識されていることがうかがえます。

・これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動のその他の回答の中で、少数ではあるものの「ｅスポーツ」の回答がありました。様々な新しいスポーツが生まれている中で、コンピュータゲームやビデオゲームによる対戦をスポーツ競技として捉える考え方も少しずつ広がっていることが考えられます。

・今後、スポーツ・運動を行おうとする場合の目的・理由について、「健康を保持・増進するため」が８割以上と最も多く回答されています。年齢別にみると、特に 50 歳以上の概ね中高年層以上で８割以上回答されています。また、20 歳代から 40 歳代の年齢層では「ダイエットのため」が比較的多く回答されています。「体力・筋力を向上させるため」の回答が最も多く回答されている年齢層は 50 歳代となっており、将来の体力・筋力の低下に備えてスポーツ・運動を始めるといった理由が考えられます。

・今後、スポーツ・運動を行いたい場所について、「市内の公共施設」が過半数を超えています。普段のスポーツ・運動をする場所については「自宅」や「自宅の近所の道路や空き地など」が多く回答されていましたが、市内の公共施設への潜在的なニーズは非常に高いことがうかがえます。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に留意しつつ、多くの人々のニーズに応えられるよう、施設や設備の充実を図っていく必要があります。スポーツ・運動をする頻度別にみると、スポーツ・運動をする習慣がある人では「市内の公共施設」が最も多く回答されている一方、「スポーツ・運動はしない」人では「自宅」が多く回答されています。スポーツ・運動をする習慣のない人でも、自宅で気軽に始めることができるスポーツ・運動の紹介が必要であると考えられます。

・将来、スポーツ・運動を行おうとする時の問題について、「健康・体力面に不安がある」、「スポーツ・運動をする時間的な余裕がない」が多く回答されています。年齢別にみると、20 歳代から 40 歳代の比較的若い年齢層では「スポーツ・運動をする時間的な余裕がない」が多くなっており、仕事等が要因の一つとして考えられます。また、50 歳以上の概ね中高年以上の年齢層では「健康・体力面に不安がある」が多くなっており、スポーツ・運動をする時間的な余裕ができたものの、年齢のためにスポーツ・運動をするための健康状態や体力の持続について不安を抱いている人が多いことがうかがえます。これからやってみたい、続けていきたいスポーツ・運動別にみると、「スポーツ・運動をする施設・場所がない」の回答が最も多い種目は「バスケットボール」となっています。自由記述においても、新たに整備してほしい施設についてバスケットコートやバスケットゴールの設置が多く挙げられており、ニーズが高いことがうかがえます。

・負担しても良いと思う施設利用料について、全体では「301～500 円」が最も多く回答されています。“500 円以下”の回答は全体の約８割を占めており、概ねワンコイン以内での施設利用が求められていることがうかがえます。特に、60 歳以上の高齢者層で「無料」の回答が多くなっています。

（4）スポーツ観戦

・この一年間の直接のスポーツ観戦について、「観戦した」の回答は２割程度となっています。年齢別にみると、他の年代に比べて多く回答されている 40 歳代でも３割弱となっています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市民の外出の自粛に加え、スポーツの試合・大会の中止や開催されても無観客で行わなければならない等、スポーツを観る機会そのものが減ってしまっていることが考えられます。

・観戦したスポーツについては、「野球」が最も多く回答されており、次いで「サッカー」、「ソフトボール」が続いていることから、屋外かつ広い会場の競技を観戦した人が多いことがうかがえます。

・スポーツ観戦を始めたきっかけについて、「家族や友人が出場している」が最も多く回答されており、次いで「家族や友人からの誘い」となっていることから、身近な人物がスポーツと関わりがあったことでスポーツ観戦を始めたという回答が多くなっています。

（5）スポーツボランティア

・スポーツボランティアについて、“行った”の回答は 4.1%と非常に少なくなっており、９割以上が「行わなかった」と回答しています。年齢別にみると、特に 20 歳代、30 歳代の若年層で「行わなかった」が特に多くなっており、30 歳代については“行った”が２%未満となっています。男女別にみると、男性の方が女性よりも多く“行った”と回答しています。
・参加経験のあるスポーツボランティアについて、「イベント・大会の運営や手伝い」が最も多く回答されています。
・今後のスポーツボランティアの意向について、「したい」の回答が２割程度となっています。実際にスポーツボランティアを“行った”人は４%程度となっていますが、スポーツボランティアの参加意向自体はあることがうかがえ、現在スポーツボランティアをしていないが今後してもよいと考えている方々に対し、スポーツボランティアに関わっていただくための方策が必要だと考えられます。
・スポーツボランティアをするために必要なことについて、「身近な場所で参加できること」が７割程度と最も多く回答されており、次いで「自分の自由に使える時間があること」となっています。スポーツボランティアの内容や情報提供に際し、配慮すべき点であることがうかがえます。年齢別にみると、「自分の自由に使える時間があること」については 30 歳代から 50 歳代の年齢層で６割程度となっており、子育て等の私生活や仕事等により多忙な中で実施するスポーツボランティアになるため、プライベートな時間が必要とされていることがうかがえます。

（6）スポーツ指導

・スポーツ・運動の指導経験について、「している・したことがある」の回答は１割程度となっています。年齢別にみると、60 歳代が他の年代に比べて「している・したことがある」を多く回答しており、また、男女別にみると、男性の方が女性よりも多く回答しています。
・指導したスポーツについて、「ソフトボール」が最も多く回答されています。安城市では、昔からソフトボールが盛んに行われており、選手が指導者へと移行していることから、指導者数が多くなっていると考えられます。
・スポーツ・運動の指導における問題について、「施設や場所が不足している」が最も多く回答されており、次いで「参加者が少ない」、「指導者仲間・組織が不足している」となっています。スポーツ・運動をするための場所の確保や指導者の育成を含めた指導環境の整備に加え、気軽に参加できるようにするなど、指導者の負担軽減ややりがいの向上を図る必要があると考えられます。
・スポーツ・運動の指導を行う上で自身が抱えている問題について、「指導の時間が十分に取れない」が最も多く回答されており、次いで「指導する上での技術に不安がある」、「指導する上での知識に不安がある」となっています。年齢別にみると、特に 30 歳代で「指導の時間が十分に取れない」が多く回答されており、将来、スポーツ・運動を行おうとする時の問題と同様に、時間的な余裕が不足していることが大きな課題として考えられます。また、指導をする上での自身の知識や技術に不安を感じている人も多いことから、各スポーツ・運動に関する指導者講習等の実施も必要になると考えられます。

・スポーツ・運動に関する資格取得の有無について、「特に資格を持っていない」が約８割、「資格を持っている」が２割程度と、多くの指導者がスポーツ・運動に関する資格を取得していないと回答しています。年齢別にみると、特に 30 歳代から 50 歳代の８割以上が取得していないと回答しています。
・所有している資格種目について、指導者が多い「ソフトボール」が最も多く回答されています。各種目の資格付与団体については、全国区の協会、団体、連盟が多く回答されています。
・スポーツ・運動の指導に生きがいを感じているかについて、生きがいを“感じている”が７割程度と多く回答されています。年齢別にみると、40 歳代でスポーツ指導に生きがいを“感じている”と回答する割合が多くなっており、仕事等で多忙な時期であるものの、スポーツ指導を気分転換のひとつとして考えるなど、生きがいとして感じていることがうかがえます。また、60 歳以上も多く“感じている”と回答されており、スポーツ・運動の指導が高齢者の生きがいの一つとして認識されていることが考えられます。

（7）地域におけるスポーツ活動

・「総合型地域スポーツクラブ」の認知度について、「名前は聞いたことがある」が１割程度、「聞いたことがない」が約９割となっています。中学校区別にみると、「名前は聞いたことがある」が他の中学校区に比べて最も多くなっている「東山中学校区」でも 15%程度、最も少ない「桜井中学校区」では５％程度となっています。また、スポーツ・運動で体を動かすことが好きな人、あるいはスポーツ・運動をする頻度が高い人ほど、「総合型地域スポーツクラブ」の認知度が高い傾向にあります。しかし、全体的に「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は低い状況となっており、情報提供がさらに必要だと考えられます。
・「総合型地域スポーツクラブ」の内容の認知度について、“知っている”が４割程度となっています。中学校区別にみると、「ふぁみりースポーツステーション」がある「安城南中学校区」での認知度が、他の中学校区に比べて特に多くなっており、身近にクラブが存在していることが、認知度を高める上で重要であることがうかがえます。
・「スポーツ推進委員」の認知度について、「知らない」が７割程度と多くなっています。年齢別にみると、特に 20 歳代、30 歳代の若年層で「知らない」の回答が８割以上となっており、認知度の低さがうかがえます。中学校区別にみると、「知らない」が最も少ない「明祥中学校区」でも回答が６割程度となっていることから、活動状況の紹介など、情報提供がさらに必要だと考えられます。
・「地域社会が中心になってスポーツに取り組んでいくべき」という考え方について、「どちらともいえない」が最も多く回答されているものの、次いで「地域社会が中心となって行うべきだ」が３割程度回答されています。その他の回答の中には「地域社会と学校・企業の両方で取り組むべき」という意見もあり、「どちらともいえない」の回答も併せて考えると、地域社会または学校や企業のどちらかではなく、どちらもが協力・連携し、市全体で一丸となってスポーツ活動に取り組んでいく環境を整備していくことが重要であると考えられます。

（8）市のスポーツ施策

・安城市が行っているスポーツ振興のための取組や施策の満足度について、「どちらでもない」が８割以上と最も多く回答されており、「取組に満足している」が１割程度、「取組に不満がある」が５％程度となっています。年齢別にみると、「取組に満足している」が最も多いのは 40 歳代である一方、「取組に不満がある」が最も多いのは 50 歳代となっており、さらに「取組に満足している」の回答を上回っています。また、中学校区別にみると、「取組に満足している」が最も多いのは「篠目中学校区」の 10.0%、最も少ないのは「安城南中学校区」の 5.6%となっており、全体的に取組に満足している人がまだ多くないことがうかがえます。満足度を高めるため、スポーツ振興の取組をさらに行っていくことが必要となります。

・安城市が行っているスポーツ･運動に関する広報や情報提供について、「いまのままで良い」が５割程度と最も多く回答されていますが、次いで「もっと情報提供を行ってほしい」が多く回答されており、広報や情報提供のニーズが高いことがうかがえます。自由記述においても、そもそもどのようなスポーツ施策があるのか、どこで手に入るのか、施設の利用方法など、人によって情報のニーズが異なっていることから、必要な人に必要な情報が行き渡るように広報・周知の方法を確立していく必要があります。

・スポーツ・運動に関する情報発信ツールについて、「広報あんじょう」が約８割と最も多く回答されており、次いで「町内会観覧版」や「市公式ウェブサイトや特設ウェブサイト」と、既存の方法が多く回答されています。年齢別にみると、特に 20 歳代では、「Instagram（インスタグラム)」、「Twitter（ツイッター)」、「LINE（ライン)」といったＳＮＳ関係の回答が、他の年代に比べて多くなっており、今後、若い世代への情報提供を見越してＳＮＳ等の新しいツールを利活用していくことが必要になると考えられます。

・ラジオ体操の頻度について、“週１回以上”ラジオ体操をすると回答した人は２割程度となっており、「ほとんどしていない・全くしていない」は７割以上となっています。年齢別にみると、特に 20 歳代でラジオ体操をする習慣が少なくなっています。男女別にみると、男性では「毎日している」と「週４～６回程度している」が女性よりも多くなっていますが、これは土木業や工業といった、始業前にラジオ体操をする現場で働く人に男性が多いことが要因の一つとして考えられます。令和２年度に実施した調査と比較すると、“週１回以上”ラジオ体操をするとの回答は令和２年度から令和３年度にかけてやや増加しており、今後もラジオ体操の普及啓発を継続していくことが必要です。

・安城市に拠点を置く３つの企業チームの認知度について、“知っている”の回答が約４割、「チーム名は聞いたことがある」が２割強と、全体の７割程度に認知されています。年齢別にみると、20 歳代、30 歳代で認知度がやや低くなっており、ホームチームサポーター事業と併せて若年層による応援の輪を広げていくことが重要です。

・参加してみたいホームチームサポーター事業について、「市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦」が３割程度と多く回答されていますが、「特にない・わからない」が過半数となっています。企業チームの認知度に対し、ホームチームサポーター事業の認知度が低いことがうかがわれ、広報や情報提供を推進していくことが必要になると考えられます。

・「全日本大学女子ソフトボール選手権（インカレ)」の認知度及び観戦意向について、“観戦したい”は４割程度となっている一方、“観戦したくない”が６割程度と多くなっています。年齢別にみると、特に 20 歳代、30 歳代の若年層で「知らないし、観戦したくない」が多く回答されて

おり、興味・関心の低さがうかがえます。ソフトボールは、市内に企業チームの拠点がある等、安城市で盛んに行われているスポーツであるため、今後も広報や情報提供を通じて盛り上げていくことがいくことが重要です。

・コロナ禍におけるスポーツイベントや教室等の実施方法として望ましい方法について、「３密を回避した状況で実施する」、「マスクの着用や咳エチケットに配慮して実施する」が５割以上と多く回答されています。年齢別にみると、20 歳代から 40 歳代の比較的若い年齢層では「３密を回避した状況で実施する」が、50 歳以上の中高年層以上では「マスクの着用や咳エチケットに配慮して実施する」が多く回答されており、ハード面での感染予防対策と、個人の感染予防への配慮がともに重要であることがうかがえます。新型コロナウイルス感染症の感染状況は日々変化しており、国や県等が出すガイドラインに基づいた運用をし、状況に応じて柔軟な対応を心がけていくことはもちろん、日頃からの呼びかけや情報提供などを通じた感染予防の徹底を、関係各課と協力しながら推進していくことが重要となります。

・今後、安城市内で新設または増設してほしいスポーツ施設について、「温水プール」、「多目的グラウンド」、「体育館」が多く回答されています。これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動では「ジョギング、ランニング、マラソン」、「水泳」、「テニス」等が比較的多く回答されていたことから、プールや多目的グラウンドへのニーズが高いことが考えられます。また、将来、スポーツ・運動を行おうとする時に問題になると考えられることについて、「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が３番目に高くなっていますが、今後整備していくべきスポーツ施設については、様々な状況や市民からの意見を勘案しながら慎重に検討していく必要があります。

（9）施設利用

・総合運動公園内のスポーツ施設の利用について、「利用したことがある」が約５割となっています。年齢別にみると、20 歳代、40 歳代、50 歳代の利用は多い一方で、70 歳以上の高齢者からの利用は３割程度とやや少なくなっています。中学校区別にみると、総合運動公園に近い「安城北中学校区」で「利用したことがある」が最も多く、総合運動公園から遠い「明祥中学校区、「桜井中学校区」で少なくなっています。

・利用したことがある施設について、「体育館」が約６割と最も多く回答されています。年齢別にみると、特に 20 歳代、50 歳代、60 歳代で「体育館」が多く回答されています。また、40 歳代、50 歳代については、「スポーツセンター」が他の年代に比べて多く回答されています。男女別にみると、男性では「野球場」、「陸上競技場」、「多目的グラウンド」といった屋外施設が、女性では「体育館」、「スポーツセンター」といった屋内施設が多くなっており、男女でスポーツをする場所の傾向が違うことがうかがえます。

・スポーツ施設の利用頻度について、“週に１日以上”の回答は１割程度、「月に１～２日」は１割弱、「年に１～数回」は７割以上となっており、頻繁には利用されていないことがうかがえます。年齢別にみると、“週に１日以上”の利用が多いのは 50 歳以上の中高年層となっています。中学校区別にみると、「安城北中学校区」で“週に１日以上”の利用が最も多く回答され、特に「週に１～２日」が多くなっており、総合運動公園が近いために利用頻度も高いことがうかがえます。

・スポーツ施設を利用した結果の満足度について、“満足”の回答が多いのは、「施設の清潔さ」、「施設の安全対策」、「施設の案内表示」といった、施設のハード面での評価となっています。一方、“不満”が多いのは「行事案内などの情報提供」、「予約・要望受付などの相談体制」、「土・日曜日の利用」となっており、ソフト面で不満が多く回答されています。自由記述においても施設の利用・予約に対する意見が見られたことから、利用しやすい環境・体制を強化していくことが必要になると考えられます。

（10）オリンピック・パラリンピック

・東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツに対する関心の高まりについて、「高まった」よりも、「高まらなかった（変化はなかった）」がやや多く回答されています。年齢別にみると、30 歳以上では年齢を重ねるごとに「高まった」の回答が多くなっています。また、スポーツ・運動の好嫌度別に見ると、体を動かすことが好きな人ほど、スポーツに対する関心が「高まった」との回答が多くなっています。東京オリンピック・パラリンピックの開催は、比較的多くの市民にスポーツに対する関心に変化をもたらしたことがうかがえます。

・変化に最もあてはまるスポーツについて、「「みる」スポーツへの関心が高まった」が約７割と最も多く回答されています。年齢別にみると、いずれの年代でも「「みる」スポーツへの関心が高まった」が最も多くなっていますが、20 歳代から 40 歳代の若い年齢層では「「する」スポーツへの関心が高まった」が３割程度と比較的多く回答されています。また、スポーツ・運動の好嫌度別にみると、スポーツ・運動で体を動かすことが「やや嫌い」な人について、「「する」スポーツへの関心が高まった」が１割強となっており、スポーツ・運動がやや嫌いな人に対しても関心を高めたことがうかがえます。東京オリンピック・パラリンピックをテレビ中継等で視聴したことで、「みる」スポーツへの関心が非常に高まり、また、「する」スポーツへの関心の高まりにもつながっています。

・東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことを踏まえ、市が今後取り組んでいくことが望ましい事について、「幅広い世代におけるスポーツの普及・拡大に向けた環境の整備」が最も多く回答されています。また、「地元ゆかりの選手や、カナダ国をはじめとした外国人選手との交流活動」が２番目に多く回答されています。自由記述においても、カナダ女子ソフトボール代表チームのオリンピック事前合宿に伴う交流事業を評価する意見が見られ、今後もこのような取組を続けていくことが望まれています。東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じ、スポーツに対する関心が高まった市民が多くいることから、様々な課題・問題への対応を図りつつ、市全体でスポーツ振興を推進していくことが重要です。

・2026 年に愛知県（名古屋市）で開催されるアジア競技大会の認知度と観戦意向について、“観戦したい”が５割以上と多く回答されています。令和２年度に実施した調査と比較すると、“観戦したい”については令和２年度から令和３年度にかけてやや減少している一方、“知っている”についてはやや増加しています。

・アジア競技大会が開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことについて、「地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）」、「地元（安城市）出身の選手の育成」、「競技開催の誘致」が多く回答されています。アジア競技大会が近隣市でもある名古屋市で開催されることを踏まえ、安城市内での機運を高めていくように様々な取組を推進していくことに加え、海外からの観戦客も含めた受け入れ体制の整備が必要になると考えられます。

2　中高生向け調査

（1）スポーツ･運動の好嫌度

・スポーツ・運動で体を動かすことが“好き”と回答した人は、全体の７割以上となっており、一般成人を大きく上回っています。男女別にみると、男性の方が女性よりも“好き”と回答した割合が多くなっており、一般成人・中高生ともに女性の方がスポーツ・運動に対する苦手意識を持っていることがうかがえます。また、一般成人と同様に、自分の健康に自信がある人ほどスポーツ・運動で体を動かすことが“好き”と回答する割合が多い傾向が見られます。過去の調査と比較すると、体を動かすことが“好き”の回答について、平成 25 年度調査と大きな差はありません。

・テレビや競技場でスポーツを観ることが“好き”と回答した人は全体の６割程度となっています。また、一般成人と同様に、体を動かすことが好きな人ほど、テレビや競技場でスポーツを観ることが“好き”と回答する割合が多い傾向が見られます。過去の調査と比較すると、テレビや競技場でスポーツを観ることが“好き”の回答について、平成 25 年度調査と大きな差はありません。

（2）学校の部活動

・部活動の参加について、全体の９割程度が何かしらの部活動に参加していると回答しており、全体の６割強が運動部、２割程度が文化部に所属しています。中高生別にみると、特に中学生では７割以上が運動部に所属しています。また、高校生では２割程度が部活動に不参加となっています。高校生では部活動の参加が任意であり、また、大学受験等に向けた勉強にかける時間が必要になるなど、部活動をする時間的な余裕が少なくなっていることが考えられます。男女別にみると、女性では３割程度が文化部に所属しており、女性の方が男性よりも文化部に所属するケースが多いことがうかがえます。

・運動部の参加理由について、「スポーツ・運動が好きだから」、「体力をつけたいから」が多く回答されています。中高生別にみると、特に中学生では「体力をつけたいから」の回答が高校生に比べて大きく上回っており、スポーツをするための基礎的な能力を強化したいと考えていることがうかがえます。男女別にみると、女性では「仲間を作りたいから」の回答が３割程度と男性の回答を大きく上回っています。

・文化部の参加理由について、「現在入っている文化部の活動が好きだから」が７割程度と最も多く回答されており、文化部に参加している生徒は、文化部の各活動自体が元々好きで参加していることがうかがえます。中高生別にみると、特に中学生では「スポーツ・運動が苦手だから」が５割以上、「運動部の雰囲気が好きではないから」が２割程度と高校生よりも多く回答されており、スポーツや運動の苦手意識はあるものの、部活動の参加が必要なために、文化部への参加を決めるケースが多いことが考えられます。また、男女別にみると、女性では「仲間を作りたいから」の回答が１割強と男性よりも多く回答されており、運動部、文化部ともに女性では仲間や友人を作ることが部活動参加の目的として捉えられていることがうかがえます。

・部活動に参加していない理由について、「やりたいと思う部活動がないから」が最も多く回答されています。また、「自分の興味・関心のあることに力を入れたいから」や「学習に力を入れたいから」も多く回答されており、学校の部活動以外での活動や学業に力を入れたいことも部活動に参加しない理由として挙げられています。その他の意見では「けがをしてできなくなってしまったから」、「人間関係が悪かったから」という意見もあり、元々部活動に所属していたものの、何らかのトラブルによって辞めてしまったケースもうかがえます。

（3）スポーツ･運動の実施状況

・普段のスポーツ・運動の頻度について、“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答し、日常的にスポーツ・運動をする人は全体の８割程度となっています。中高生別にみると、特に中学生では“週に１日以上”スポーツ・運動をしている人が約９割となっており、運動部の所属の多さも含め、日常的にスポーツ・運動をしていることがうかがえます。一方、高校生では“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答している人は６割強と中学生に比べて少なくなっています。高校生では中学生に比べて運動部への参加が少なくなっていることから、中高生では部活動への所属の有無がスポーツ・運動をする頻度に影響していると考えられます。男女別にみると、「スポーツ・運動はしない」と回答した人について、男性では１割未満となっていますが、女性では２割程度となっており、男女間で大きな差があることがうかがええます。
・普段のスポーツ・運動の頻度を健康への自信度別にみると、健康に自信がある人ほど日常的にスポーツ・運動をする頻度が高くなっています。また、スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが好きな人ほど日常的にスポーツ・運動をする頻度が高くなっています。自由記述において、スポーツ・運動は好きな人がやればいいという意見も見られたことから、中高生にとってはスポーツ・運動が好きで、健康に自信がある生徒が、好きな時に自由に行うものとしてスポーツ・運動が位置づけられていることがうかがえます。
・普段のスポーツ・運動の頻度を過去の調査結果と比較すると、今回の調査で“週に１日以上”スポーツ・運動をしていると回答した人は平成 25 年度調査と比べて大きな差は見られません。新型コロナウイルスによる影響が懸念されていますが、現段階では中高生は普段どおり体を動かすことができているものと考えられます。
・普段のスポーツ・運動をする場所について、「学校の施設」が最も多く回答されています。学校の部活動は基本的に学校内の施設を使用して実施するため、回答が多くなっているものと考えられます。スポーツ・運動をする頻度別にみると、特に“週に３日以上”スポーツ・運動をする人では「学校の施設」が多く回答されており、部活動等により日常的に学校の施設を使用していることがうかがえます。
・現在行っているスポーツ・運動について、「ジョギング、ランニング、マラソン」が最も多く回答されており、次いで「野球、ソフトボール」、「バスケットボール」、「テニス」と続いています。一般成人と比べると、「ウォーキング、散歩」や「筋力トレーニング」のような個人で実施するスポーツ・運動よりも、主に学校での部活動がある種目の方が多く回答されていることが考えられます。スポーツ・運動をする頻度別にみると、「週に５日以上」スポーツ・運動をする人では「野球、ソフトボール」が最も多く回答されており、学校の部活動では野球部やソフトボール部はほぼ毎日練習に取り組んでいることが考えられます。また、「週に１～２日」や「月に１～２日程度」スポーツ・運動をする人では「ジョギング、ランニング、マラソン」が多く回答され

ており、日常的な運動はしていないが、健康維持等のために「ジョギング、ランニング、マラソン」をしている生徒が多いことが考えられます。

・現在行っているスポーツ・運動の「その他」の回答の中で、一般成人と同様に「ゲームによるフィットネス」と回答する人が見られました。ゲーム機を通じ、自宅で筋力トレーニングができるゲームソフトを使用した運動が、市民の間で普段実施するスポーツ・運動として捉えられていることがうかがえます。

・スポーツ・運動を行っている理由について、「スポーツ・運動が好きだから・楽しいから」、「体力・筋力を向上させるため」が５割程度と多く回答されています。スポーツ・運動で体を動かすことが“好き”と回答した人が全体の７割以上となっていることからも、純粋にスポーツや運動が好きであることがスポーツ・運動を行う動機になっていることがうかがえます。中高生別にみると、特に中学生では「体力・筋力を向上させるため」が高校生に比べて多く回答されており、スポーツをするための基礎的な能力を強化したいと考えていることがうかがえます。過去の調査と比較すると、「健康を保持・増進するため」の回答が平成 14 年度調査、平成 25 年度調査と比べて最も多く回答されています。新型コロナウイルス感染症の影響で、中高生の間でも健康に対する意識が高まっていることが考えられます。

（4）将来のスポーツ活動

・これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動について、「テニス」が最も多く回答されています。上位 10 項目を見ると、「テニス」に次いで「バドミントン」、「バスケットボール」、「バレーボール」、「サッカー」、「卓球」、「野球、ソフトボール」、「ハンドボール」、「ダンス」、「水泳」となっており、チームスポーツ、または少人数あるいは個人で行うスポーツ・運動を問わず球技のような専用の運動器具を必要とするものが多く回答されています。男女別にみると、女性については「バドミントン」や「バレーボール」といった屋内のスポーツ・運動種目が比較的多く回答されています。スポーツ・運動をする頻度別にみると、「スポーツ・運動はしない」人について、「バドミントン」、「テニス」、「バスケットボール」が最も多く回答されています。日常的にスポーツや運動をしない生徒でも、ラケットを使う競技や屋内競技に関心があることがうかがえます。

・これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動のその他の回答の中で、少数ではあるものの「ｅスポーツ」の回答がありました。若い世代である中高生の間では、コンピュータゲームやビデオゲームによる対戦をスポーツ競技として捉える考え方が少しずつ広がっていることが考えられます。

・安城市内に新設または増設してほしいスポーツ施設について、「体育館」が最も多く回答されています。これからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動について、「バドミントン」、「バスケットボール」、「バレーボール」、「卓球」、「ハンドボール」といった屋内競技が上位項目として挙げられていることから、屋内競技が実施できる体育館のニーズが高くなっていることがうかがえます。また、「温水プール」が２番目に多く回答されており、一般成人と同様にニーズが高い施設であることがうかがえます。中学校区別にみると、いずれの中学校区でも「体育館」が最も多く回答されており、また、「桜井中学校区」と「安祥中学校区」では「温水プール」が３割程度と多く回答されています。過去の調査と比較すると、回答の傾向は令和３年度調査では過去の調査と概ね同じであり、「体育館」や「温水プール」のニーズが高くなってい

ます。施設整備については、市民からのニーズや地域の状況をみて慎重に検討していくことが必要です。

・将来、スポーツ・運動を行おうとする時の問題について、「スポーツ・運動をする施設・場所がない」、「勉強との両立ができない」が多く回答されています。中高生別にみると、部活動への参加率が高い中学生で、「勉強との両立ができない」が多く回答されています。中学校区別にみると、「安城南中学校区」、「安城西中学校区」、「安祥中学校区」で「スポーツ・運動をする施設・場所がない」が３～４割程度と比較的多く回答されています。これからやってみたい、続けていきたいスポーツ・運動別にみると、「スポーツ・運動をする施設・場所がない」の回答が多い種目は「サッカー」「野球、ソフトボール」、「テニス」といったある程度広い屋外の会場が必要となる種目や、「バレーボール」、「バスケットボール」、「ハンドボール」といった体育館等が必用となる屋内競技が多く回答されています。自由記述においても、新たに整備してほしい施設についてバスケットボールやハンドボールができる場所が多く挙げられており、屋内競技ができる施設のニーズが高いことがうかがえます。

（5）スポーツ･運動への参加希望

・希望するスポーツ、運動を十分楽しめているかについて、約９割が“楽しんでいる”と回答しています。中高生別にみると、中学生、高校生ともに約９割が“楽しんでいる”と回答しており、スポーツや運動を楽しんで行っていることがうかがえます。中学校区別にみると、“楽しんでいる”の回答が最も多いのは「安城北中学校区」の約９割、最も少ないのは「明祥中学校区」の７割強と、中学校区間で最大１割程度の差があり、スポーツ・運動を行う環境に地域差があることが考えられます。過去の調査と比較すると、今回の調査では過去の調査に比べて“楽しんでいる”が最も多く回答されています。

・学校以外でのスポーツ・運動の参加について、「積極的に参加したい」が３割強となっています。男女別にみると、スポーツ・運動で体を動かすことが“好き”と回答した割合が多い男子生徒は、学校以外でのスポーツ・運動に「積極的に参加したい」と回答する多くなっており、スポーツ・運動が好きなことは、スポーツ・運動への積極的な参加の要因の一つになることが考えられます。中学校区別にみると、「積極的に参加したい」の回答が最も多いのは「東山中学校区」の４割強、最も少ないのは「桜井中学校区」の約３割と、中学校区間で最大１割強の差があり、地域によって差があることがうかがえます。過去の調査と比較すると、今回の調査では平成 25 年度調査よりも「積極的に参加したい」と回答した割合がやや減少しています。

（6）スポーツ観戦

・この一年間の直接のスポーツ観戦について、「観戦した」の回答は２割程度となっています。男女別にみると、男性の方が女性よりも多く「観戦した」と回答しており、一般成人・中高生ともに男性の方がスポーツを観戦している傾向が見られます。

・観戦したスポーツについては、「野球」が最も多く回答されており、次いで「サッカー」が続いていることから、屋外かつ広い会場の競技を観戦した人が多いことがうかがえます。また、「バスケットボール」も３番目に多く回答されており、特に女性の回答が多くなっていることから、

中高生の若い世代からの人気が高いことがうかがえます。

・スポーツ観戦を始めたきっかけについて、「家族や友人からの誘い」が最も多く回答されており、次いで「家族や友人が出場している」となっていることから、一般成人と同様に身近な人物がスポーツと関わりがあったことでスポーツ観戦を始めたという回答が多くなっています。

（7）スポーツボランティア

・スポーツボランティアについて、“行った”の回答は１割程度と少なくなっており、約９割が「行わなかった」と回答しています。中高生別にみると、特に高校生では“行った”が１割未満となっています。男女別にみると、一般成人と同様に男性の方が女性よりも多く“行った”と回答しています。過去の調査と比較すると、今回の調査では平成 25 年度調査と比べて“行った”の回答が減少しています。

・参加経験のあるスポーツボランティアについて、一般成人と同様に「イベント・大会の運営や手伝い」が最も多く回答されています。

・今後のスポーツボランティアの意向について、「したい」の回答が約４割となっています。実際にスポーツボランティアを“行った”人は１割程度となっていますが、スポーツボランティアの参加意向自体はあることがうかがえ、現在スポーツボランティアをしていないが今後してもよいと考えている方々に対し、スポーツボランティアに関わっていただくための方策が必要だと考えられます。

・スポーツボランティアをするために必要なことについて、「近くの場所で参加できること」が最も多く回答されています。中高生は一般成人と比べると行動範囲がある程度限られるため、可能な限り身近な地域でスポーツボランティアを紹介するなど、スポーツボランティアの内容や情報提供に際し、配慮すべき点であることがうかがえます。中高生別にみると、特に中学生で「イベント・大会に魅力があること」、「選手や他のボランティアとの交流ができること」が高校生よりも多く回答されています。スポーツボランティアを通じ、スポーツや運動により魅力を感じてもらえるような取組を図っていくことが重要です。

（8）総合型地域スポーツクラブ

・「総合型地域スポーツクラブ」の認知度について、「名前は聞いたことがある」が１割程度、「聞いたことがない」が約９割となっています。過去の調査と比較すると、回答の傾向について今回の調査では平成 25 年度調査と大きな差はありません。「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は低い状況となっており、情報提供がさらに必要だと考えられます。

・「総合型地域スポーツクラブ」の内容の認知度について、“知っている”が４割程度となっています。過去の調査と比較すると、今回の調査では平成 14 年度調査、平成 25 年度調査と比べて“知っている”と回答した割合に大きな差はありませんが、「よく知っている」の回答は今回の調査が最も少なくなっています。

（9）オリンピック・パラリンピック

・東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツに対する関心の高まりについて、「高まった」が「高まらなかった（変化はなかった）」よりも多く回答されています。男女別にみると、女性の方が男性よりも多く「高まった」と回答されています。スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが好きな人ほど、スポーツに対する関心が高まったと回答しています。東京オリンピック・パラリンピックの開催は、中高生に対してもスポーツに対する関心に変化をもたらしたことがうかがえます。

・変化に最もあてはまるスポーツについて、「「する」スポーツへの関心が高まった」と「「みる」スポーツへの関心が高まった」が多く回答されています。中高生別にみると、運動部活動の所属が多く、日常的にスポーツ・運動をする頻度が高い中学生で「「する」スポーツへの関心が高まった」が多く回答されています。また、高校生では「「みる」スポーツへの関心が高まった」が最も多く回答されています。男女別にみると、運動部活動の所属が多く、日常的にスポーツ・運動をする頻度が高い男性で「「する」スポーツへの関心が高まった」が多く回答されています。スポーツ・運動の好嫌度別にみると、スポーツ・運動で体を動かすことが「やや嫌い」な人について、「「する」スポーツへの関心が高まった」が２割強となっており、スポーツ・運動がやや嫌いな人に対しても関心を高めたことがうかがえます。東京オリンピック・パラリンピックをテレビ中継等で視聴したことで、中高生の間で「みる」スポーツ、「する」スポーツへの関心が大きく高まったことがうかがえます。

・2026 年に愛知県（名古屋市）で開催されるアジア競技大会の認知度と観戦意向について、“知らない”の回答は８割以上となっていますが、“観戦したい”が６割程度と多く回答されています。特に「知らないが、観戦したい」が多く回答されており、認知度は低いものの、関心が高いことがうかがえます。スポーツ・運動の好嫌度別にみると、体を動かすことが“好き”な人ほど、“観戦したい”の回答が多くなっています。

・アジア競技大会が開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことについて、「地元（安城市）出身の選手との交流」、「地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）」、「地元（安城市）出身の選手の育成」が多く回答されています。安城市にゆかりのある選手の紹介・交流機会を設け、中高生のスポーツ・運動に対する関心を高めていくこと必要性がうかがえます。また、中高生も含めて安城市出身の選手を育成し、世界的な大会に向けて輩出できるような環境・体制づくりも必要になると考えられます。

（10）スポーツ・運動の情報・知識

・スポーツ・運動の情報・知識で知りたい内容について、「体力づくり」、「スポーツ・運動の技能・技術の向上」、「健康づくり」が多く回答されています。中高生別にみると、特に中学生で、「体力づくり」、「スポーツ・運動の技能・技術の向上」の回答が高校生に比べて多く回答されており、スポーツをするための基礎的な能力を強化したいという考えが大きいことがうかがえます。男女別にみると、女性では「女性のスポーツ」が多く回答されており、スポーツ分野における女性活躍の推進を図る必要性がうかがえます。過去の調査と比較すると、今回の調査では平成 14 年度調査、平成 25 年度調査と比べて回答の傾向に大きな差はありませんが、「障害者スポーツ」

については過去の調査と比べて最も多く回答されています。これは、東京パラリンピックの開催を通じ、障害者スポーツの認知度の高まりや選手の活躍を知ったことが要因の一つとして考えられます。

資料編　調査票

スポーツに関するアンケートのお願い

一般成人向け

日頃から市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

安城市では、平成 28 年度に「第２次安城市スポーツ振興計画（H28～R7）」を策定し、『みつけよう　マイスポーツ　ひろげよう　元気な笑顔』をスローガンに掲げ、成人の週１回以上のスポーツ実施率 53%の実現を目指して、スポーツ振興のための取組を行っています。今よりもさらに、生涯にわたりあらゆる機会、あらゆる場所においてスポーツが行われ、市民の皆様がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができる社会を築くため、令和３、４年度において「第２次安城市スポーツ振興計画」の中間見直しをいたします。

このアンケートは広く市民の皆様のお考えをお伺いし、現在の計画の進捗状況の把握や計画の見直しに際して今後の取組への基礎資料として活用させていただく、非常に重要なアンケートです。

質問項目が多く誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

●Ｗｅｂアンケートのご案内●

本アンケートは、

① 郵送回答（この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒にて送付）

② インターネット回答

のどちらかの回答方法を選べます。

※インターネット回答の場合は、右記の ID、パスワードを入力し、ご回答ください。

ID：
Pass：

〇インターネット回答は、パソコン、スマートフォン・タブレット端末、携帯電話のいずれか、次の URL または二次元バーコードからアクセスしてください。

https://wsurvey.jp/s.php?a=ANJ-20-

※アンケートを中断した際、別途再開用の ID とパスワードが発行されます。
画面の案内に従って再開用 ID、再開用パスワードを入力し、アンケートを再開してください。

◆回答にあたってのお願い◆

1 安城市在住で20歳以上の市民の中から4,000人の方を無作為に抽出しました。

2 このアンケートは、宛名の方に記入をお願いしましたが、何らかの都合で記入できない場合は、家族の中で20歳以上の方であれば、どなたでも結構ですので代わってご回答をお願いします。その場合は、記入された方の立場でお考えください。

3 回答は、あてはまる番号を〇で囲んでください。

4 アンケートに氏名を記入する必要はありません。結果は全て統計的に処理し、この目的以外に利用することはありませんので、普段思っていることや感じていることを、ありのままご回答ください。
集計結果につきましては、広報あんじょう、ウェブサイト等で発表させていただきます。

5 ご記入いただいたアンケートは、**12月10日（金）**までに同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送、またはインターネットでご回答ください。
※返信用封筒の郵便番号 446-8790　174は料金受取人払用の安城市役所の郵便番号です

6. この調査に関するご質問やお問合せは、下記へお願いします。

担　当　**安城市教育委員会生涯学習部スポーツ課**（東祥アリーナ安城 内）
電　話　０５６６－７５－３５３５（直通）
ＦＡＸ　０５６６－７７－９２９３

このアンケートにおいて、「スポーツ・運動」とは、競技としての運動のほか、健康づくりのために行うウォーキング（散歩）、サイクリングやレクリエーションなど身体を使う運動全般を指します。

1　あなた自身についてお聞きします

問１　あなたの年齢を教えてください。（○は１つ）

１．20 歳代	２．30 歳代	３．40 歳代
４．50 歳代	５．60 歳代	６．70 歳以上

問２　あなたの性別を教えてください。（○は１つ）

１．男性	２．女性	３．その他

問３　あなたの職業を教えてください。（○は１つ）

１．会社員	２．自営業	３．主婦・主夫
４．教員	５．学生	６．公務員
７．無職	８．その他（　　）	

問４　あなたが住んでいる中学校区を教えてください。（○は１つ）
（中学校区がわからない場合は、封筒のあて名シールをご参照ください。）

１．安城南中学校区	２．安城北中学校区	３．明祥中学校区
４．安城西中学校区	５．桜井中学校区	６．東山中学校区
７．安祥中学校区	８．篠目中学校区	

問５　あなたは、自分の健康に自信を持っていますか。（○は１つ）

１．自信がある	２．やや自信がある	３．どちらでもない
４．やや自信がない	５．自信がない	

2　スポーツ・運動は好きですか

問６　あなたは、スポーツ･運動で体を動かすことは好きですか。（○は１つ）

１．好き	２．やや好き	３．どちらでもない
４．やや嫌い	５．嫌い	

問７　あなたは、テレビや競技場でスポーツを観ることは好きですか。（○は１つ）

１．好き	２．やや好き	３．どちらでもない
４．やや嫌い	５．嫌い	

３　スポーツ・運動の実施状況についてお聞きします

問８　あなたは、普段何日くらいスポーツ・運動をしていますか。（○は１つ）

１．週に５日以上	２．週に３～４日	３．週に１～２日
４．月に１～２日程度	５．スポーツ・運動はしない（⇒　**問 13 へ**）	

問９　問８で、「１～４」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、普段どこでスポーツ・運動をしていますか。（○はいくつでも）

１．自宅	２．自宅の近所の道路や空き地など
３．公園や広場	４．学校の施設
５．市内の公共施設	６．市内の民間施設
７．市外の公共施設	８．市外の民間施設
９．職場にあるスポーツ施設	10．その他（　　）

問 10　問８で、「１～４」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、現在行っているスポーツ・運動は何ですか。以下の空欄に**３つまで**記入してください。

（　　）　（　　）　（　　）

問 11　問８で、「１～４」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、今、スポーツ･運動を行っているのはどのような理由からですか。（○は**３つまで**）

１．健康を保持・増進するため	２．ダイエットのため
３．友だちづくり・交友のため	４．スポーツ・運動が好きだから・楽しいから
５．ストレス解消のため	６．体力・筋力を向上させるため
７．病気や怪我のリハビリのため	８．競技で記録に挑戦するため
９．競技での勝ち負けを競うため	
10．その他（　　）	

問 12　問８で、「１～４」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、スポーツクラブやチーム等の団体に所属していますか。（○は１つ）

１．所属している	２．所属していない

４　将来のスポーツ活動についてお聞きします

問 13　あなたがこれからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動を以下の空欄に**３つまで**記入してください。

（　　）　（　　）　（　　）

問 14　今後、あなたがスポーツ・運動を行おうとする場合、どのような目的・理由で行うことになると思いますか。（○は**３つまで**）

１．健康を保持・増進するため	２．ダイエットのため
３．友だちづくり・交友のため	４．スポーツ・運動が好きだから・楽しいから
５．ストレス解消のため	６．体力・筋力を向上させるため
７．病気や怪我のリハビリのため	８．競技で記録に挑戦するため
９．競技での勝ち負けを競うため	
10. その他（　　）	

問 15　今後、あなたがスポーツ･運動を行おうとする時、どこで行いたいですか。（○はいくつでも）

１．自宅	２．自宅の近所の道路や空き地など
３．公園や広場	４．学校の施設
５．市内の公共施設	６．市内の民間施設
７．市外の公共施設	８．市外の民間施設
９．職場にあるスポーツ施設	10．その他（　　）

問 16　あなたが、将来、スポーツ・運動を行おうとする時に問題になると考えられることは何ですか。（○は**３つまで**）

１．スポーツ・運動をする施設・場所がない	２．自分のレベルに合った指導が受けられない
３．一緒に活動する仲間がいない	４．用具の購入や施設使用料等が高い
５．スポーツ・運動の情報・知識が足りない	６．スポーツ・運動をする時間的な余裕がない
７．健康・体力面に不安がある	８．スポーツ・運動をする意欲が出ない
９．自分が持っている技術に自信がない	10．家族の理解が得られない
11．その他（　　）	

問 17　スポーツ･運動を行う際、あなたが負担しても良いと思う一回あたりの施設使用料はいくらですか。（○は１つ）

１．無料	２．１～100 円	３．101～300 円	４．301～500 円
５．501～700 円	６．701～999 円	７．1,000 円以上	

５　スポーツ観戦についてお聞きします

問 18　あなたは、この一年間に直接スポーツ（プロ、アマ問わず）を観戦しましたか。（○は１つ）
※テレビ観戦は含みません。

１．観戦した	２．観戦していない（⇒　問 20 へ）

問 19　問 18 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、観戦したスポーツは何ですか。以下の空欄に**３つまで**記入してください。

（　　）	（　　）	（　　）

問 20　あなたは、どのようなきっかけでスポーツ観戦を始めましたか。問 18 で、「２」を選んだ人は、どのようなきっかけがあれば、スポーツ観戦をしたいと思いますか。（○は**３つまで**）

１．自分がしている（いた）	２．家族や友人が出場している
３．家族や友人からの誘い	４．チームや選手のファン
５．施設が近い	６．チケットの入手
７．テレビや新聞、ＳＮＳなどで興味をもった	８．地元チームが出場している
９．その他（　　）	

６　スポーツボランティアについてお聞きします

問 21　あなたは、この一年間にスポーツボランティアをしたことがありますか。（○は１つ）

１．自主的に行った	２．頼まれて行った	３．行わなかった（⇒　問 23 へ）

問 22　問 21 で、「１」または「２」を選んだ人にお聞きします。
あなたがしたことがあるスポーツボランティアは何ですか。（○はいくつでも）

１．イベント・大会の運営や手伝い	２．スポーツの指導
３．スポーツの審判	４．団体・クラブの運営や世話
５．その他（　　）	

問 23　すべての方にお聞きします。
あなたは、今後（も）スポーツボランティアをしたいと思いますか。（○は１つ）

１．したい	２．したくない（⇒　問 25 へ）

問 24　問 23 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、スポーツボランティアをするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は**３つまで**）

１．自分の自由に使える時間があること	２．身近な場所で参加できること
３．家族などの協力・応援があること	４．自分の能力が活かせること
５．イベント・大会に魅力があること	６．記念品がもらえること
７．選手や他のボランティアとの交流ができること	
８．ボランティアに関する情報が入手できること	
９．その他（　　）	

７　スポーツ指導についてお聞きします

問 25　あなたは、スポーツ・運動の指導をしたことがありますか。（○は１つ）

１．している・したことがある　　２．したことがない（⇒　問 31 へ）

問 26　問 25 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたが指導しているスポーツ・運動の種目、その指導年数、主な指導対象、指導目的について教えてください。

	（例１）	（例２）	1	2	3
指導しているスポーツ	バドミントン	卓球			
指導している年数	約３年	約１０年			
指導対象（年齢） 【少年 青年 中年 高齢者】 から選択してください。	少年	中年 高齢者			
指導対象（性別）	男女とも	女性			
指導目的 【健康 楽しみ 競技 リハビリ】 から選択してください。	競技	健康 楽しみ			

問 27　問 25 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、スポーツ・運動の指導を行う際に、何か問題になっていることはありますか。
（○はいくつでも）

１．施設や場所が不足している　　２．指導者仲間・組織が不足している
３．参加者が少ない　　４．参加費や施設使用料が高額である
５．参加者の知識が不足している　　６．参加者に時間的な余裕が少ない
７．参加者の健康や体力面に不安がある　　８．参加者のスポーツ・運動への意欲が低い
９．参加者の技術レベルの差が大きい　　10．指導に対する報酬が少ない
11．その他（　　）

問 28　問 25 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
スポーツ・運動を指導していく上で、あなた自身が抱えている問題点はありますか。
（○はいくつでも）

１．指導の時間が十分に取れない　　２．指導する際の金銭的負担（持ち出し）が大きい
３．家族の理解が得られない　　４．指導する上での技術に不安がある
５．指導する上での知識に不安がある　　６．体力面で不安がある
７．参加者が上達するか不安がある　　８．参加者とのコミュニケーションに不安がある
９．その他（　　）

問 29　問 25 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、スポーツ・運動に関する資格を取得していますか。
取得している場合は、その資格名や取得後の年数などについて教えてください。

１．特に資格を持っていない	２．資格を持っている

↓ **※取得されている資格について教えてください。**

資格名	資格付与団体名	取得後の年数	その資格での指導の有無
（例１）スポーツ指導員・卓球	日本体育協会	約５年	指導している
（例２）ソフトボール・審判員	日本ソフトボール協会	約７年	大会の審判をしている

問 30　問 25 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、自分がスポーツ・運動の指導を行っていることに生きがいを感じていますか。
（○は１つ）

１．大変感じている	２．少し感じている
３．あまり感じていない	４．全く感じていない

８　地域におけるスポーツ活動についてお聞きします

問 31　あなたは、「総合型地域スポーツクラブ（※）」の名前を聞いたことがありますか。
（○は１つ）

１．名前は聞いたことがある	２．聞いたことがない（⇒　問 33 へ）

※総合型地域スポーツクラブ
スポーツの得意・不得意、性別や年齢などにかかわりなく、地域の誰でも継続的にスポーツに親しむことができるよう、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブのこと。安城市では、平成２０年に市内最初の総合型地域スポーツクラブとして、東山中学校区に「ＡＮＪＯほく部みんスポクラブ」が創設されるなど、各地域で活動しています。

問 32　問 31 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」がどのようなものか知っていますか。（○は１つ）

１．よく知っている	２．少し知っている	３．内容は知らない

問 33　地域スポーツの振興を図るため活動している「スポーツ推進委員（※）」を知っていますか。
（○は１つ）

１．よく知っている	２．名前を聞いたことがある	３．知らない

※スポーツ推進委員（平成２３年度まで「体育指導委員」）
地域でスポーツを推進するため、スポーツ基本法に基づき、教育委員会が委嘱した方。誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を作るため、小学校区ごとに配置されている推進委員が中心となってスポーツ交流会などのイベントを企画しています。

問 34　これまでのスポーツ活動は学校や企業が中心ですが、現在、地域社会が中心になってスポーツに取り組んでいくべきだと言われています。このような考え方に対して、あなたはどのように思いますか。（○は１つ）

１．地域社会が中心となって行うべきだ	２．どちらともいえない
３．今までどおり、学校や企業で行えばよい	４．その他（　　）

９　市のスポーツ施策についてお聞きします

問 35　あなたは、安城市が行っているスポーツ振興のための取組や施策に満足していますか。（○は１つ）

１．取組に満足している	２．どちらでもない	３．取組に不満がある

問 36　安城市が行っているスポーツ･運動に関する広報や情報提供は、十分だと思いますか。（○は１つ）

１．もっと情報提供を行ってほしい	２．いまのままで良い	３．情報の提供が多すぎる

問 37　問 36 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
スポーツ・運動に関する情報発信方法としてどういったツールを望みますか。（○は**３つまで**）

１．広報あんじょう	２．市公式ウェブサイトや特設ウェブサイト
３．新聞や折込チラシ	４．町内会回覧版
５．Facebook（フェイスブック）	６．Instagram（インスタグラム）
７．Twitter（ツイッター）	８．LINE（ライン）
９．Tik Tok（ティックトック）	10．YouTube（ユーチューブ）
11．その他（　　）	

問 38　「第２次スポーツ振興計画」における重点施策の一つに、「ラジオ体操の普及啓発」を掲げています。ラジオ体操をする頻度はどの程度ですか。（○は１つ）

１．毎日している
２．週４～６回程度している
３．週２～３回程度している
４．週１回程度している
５．月１回程度している
６．ほとんどしていない・全くしてない

問 39　本市では、市内に拠点を置く３つの企業チーム「デンソーブライトペガサス（女子ソフトボール）」「アイシン　ウィングス（女子バスケットボール）」「ＧＴＲニッセイ（軟式野球）」をホームチームと位置づけ、市民でチームを応援して本市を盛り上げる事業として、『ホームチームサポーター事業』を平成２８年度より展開しています。その３チームを知っていますか。（○は１つ）

１．３チームとも知っている	２．１～２チームは知っている
３．チーム名は聞いたことがある	４．全く知らない

問 40　ホームチームサポーター事業の企画の中で参加してみたいものはありますか。
（○は**３つまで**）

１．バスでの試合観戦ツアー（市外含む）	２．バスでの練習見学ツアー（市外含む）
３．市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦	
４．選手によるクリニック（指導会）	５．選手によるサイン会
６．その他（　　）	
７．特にない・わからない	

問 41　令和元年から安城で開催している「全日本大学女子ソフトボール選手権（インカレ）」を知っていますか。また、その試合を観戦したいですか。（○は１つ）

１．知っているし、観戦したい（観戦したことがある）	２．知っているが、観戦したくない
３．知らないが、観戦したい	４．知らないし、観戦したくない

問 42　コロナ禍におけるスポーツイベントや教室等の実施方法としてどのような方法を望みますか。（○は**３つまで**）

１．３密を回避した状況で実施する
２．マスクの着用や咳エチケットに配慮して実施する
３．人と人との間隔を意識して実施する
４．参加人数を限定して実施する
５．開催時間を短縮して実施する
６．オンラインを活用し、自宅で行えることを中心に実施する
７．参加者・選手と観戦客の動線を分離して実施する
８．同伴者（家族等）や観戦客を会場に入れずに無観客で実施する
９．ワクチン接種済みであることを参加条件にして実施する
10．その他（　　）

問 43　今後、安城市内で新設または増設してほしいスポーツ施設は何ですか。
以下の中から選んでください。（○は**３つまで**）

１．体育館	２．陸上グラウンド	３．サッカー場
４．野球・ソフトボール場	５．温水プール	６．テニスコート
７．武道場	８．ゲートボール場・グラウンドゴルフ場	
９．ダンススタジオ	10．スケートボードができる広場	
11．多目的グラウンド	12．３×３（※）コート	
13．その他（　　）		

※3×3（スリーエックススリー）
　世界中のストリートでプレイされている３人制バスケットボール３on３（スリーオンスリー）に国際バスケットボール連盟（FIBA）が 2007 年に正式な統一ルールを設け、バスケットボールの新種目として確立した競技です。東京 2020 オリンピックでは正式種目として採用されました。

10　施設利用についてお聞きします

問 44　あなたは、総合運動公園内のスポーツ施設を利用したことがありますか。（○は１つ）

１．利用したことがある	２．利用したことがない（⇒　問 48 へ）

問 45　問 44 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、総合運動公園内のスポーツ施設で利用したことがある施設はどれですか。
（○は３つまで）

１．体育館	２．野球場	３．陸上競技場
４．ソフトボール場	５．スポーツセンター	６．テニスコート
７．多目的グラウンド	８．ランニングコース	
９．その他（　　）		

問 46　問 44 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、どのくらいの頻度で施設を利用していますか。（○は１つ）

１．週に５日以上	２．週に３～４日	３．週に１～２日
４．月に１～２日程度	５．年に１～数回	

問 47　問 44 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
利用した結果の満足度を教えてください。該当する番号に○印をつけてください。
（それぞれ○は１つ）

	大変満足	ほぼ満足	どちらとも言えない	やや不満	大いに不満
職員・スタッフの対応	1	2	3	4	5
施設の清潔さ（施設の外回りの清掃含む）	1	2	3	4	5
施設の安全対策（使用上の注意事項の説明など）	1	2	3	4	5
施設の案内表示（誘導看板などのわかりやすさなど）	1	2	3	4	5
行事案内などの情報提供（イベント案内等の豊富さなど）	1	2	3	4	5
予約・要望受付などの相談体制	1	2	3	4	5
土、日曜日の利用（予約のとりやすさ(施設の空き状況)など）	1	2	3	4	5
総合的な利用満足度	1	2	3	4	5

11　オリンピック・パラリンピックについてお聞きします

問 48　東京オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツに対する関心が高まりましたか。
（○は１つ）

１．高まった	２．高まらなかった（変化はなかった）

問 49　問 48 で、「１」を選んだ人にお聞きします。

本市では、スポーツ振興計画に基づき「する」「みる」「おしえる」「ささえる」スポーツの振興にそれぞれ取り組んでいます。東京オリンピック・パラリンピックが開催されてから、あなた自身の変化に最もあてはまるものは何ですか。（○は１つ）

１．「する」スポーツへの関心が高まった（例：スポーツイベントに参加する）
２．「みる」スポーツへの関心が高まった（例：現地でスポーツを観戦する）
３．「おしえる」スポーツへの関心が高まった（例：スポーツを指導する）
４．「ささえる」スポーツへの関心が高まった（例：ボランティア活動をする）

問 50　東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことを踏まえ、本市が今後取り組んでいくことが望ましい事は何だと思いますか。（○は**３つまで**）

１．国際大会に出場する選手の事前合宿誘致
２．地元ゆかりの選手や、カナダ国をはじめとした外国人選手との交流活動
３．障害者スポーツの普及活動
４．国際大会に関連した取組を活かしたシティプロモーション（※）、スポーツイベントの開催
５．地域ブランドや、これを活かした地場産品のアピール
６．幅広い世代におけるスポーツの普及･拡大に向けた環境の整備
７．その他（　　）

※シティプロモーション

地域の魅力を内外に発信し、地域経済を活性化させる活動のことです。

問 51　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されることについて、あなたは知っていますか。また、観戦したいと思いますか。（○は１つ）

１．知っているし、観戦したい	２．知っているが、観戦したくない
３．知らないが、観戦したい	４．知らないし、観戦したくない

問 52　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことは何ですか。（○は**３つまで**）

１．地元（安城市）出身の選手との交流
２．地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）
３．参加選手の事前合宿の誘致
４．競技開催の誘致
５．地元（安城市）出身の選手の育成
６．アジア競技大会に関する情報提供（広報等）
７．ボランティア募集についての情報提供
８．会場等での応援機会の確保（パブリックビューイング（※）、バスツアー等含む）
９．安城市のＰＲ
10．その他（　　）
11．特にない

※パブリックビューイング

スポーツ競技等のイベントにおいて、スタジアムや街頭等にある大型の映像装置を利用して観戦を行うイベントのことです。

12　その他

問 53　最後に、あなたのスポーツ・運動に関するご意見等を自由に書いてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、

～成人の週1回以上 スポーツ実施率『53％』の実現を目指して！～
（平成29年度：48．2％　令和元年度：48．8％）

「みつけよう マイスポーツ ひろげよう 元気な笑顔」

中学生・高校生のスポーツに関するアンケートのお願い

中学生、高校生向け

安城市では、多くのみなさんにスポーツを楽しんでもらえるための計画づくりを進めています。

そこで、安城市内の中学・高校生のみなさんを対象に、学校や家でのスポーツ活動の状況やスポーツに対する考え方などについてアンケートを行うこととなりました。

あなたが、現在行っているスポーツのことや、これからのスポーツに対する取り組み方についてありのままに答えてください。

今よりもさらに、安城市でスポーツが盛んに行われるようにするため、みなさんのご協力をお願いします。

◆回答にあたってのお願い◆

1　このアンケート調査は、安城市内に住んでいる中学2年生、高校2年生の方を対象としています。

2　回答は、あてはまる番号を〇で囲んでください。

3　アンケートに氏名を記入する必要はありません。結果は全て統計的に処理し、この目的以外に利用することはありませんので、普段思っていることや感じられていることを、ありのままご回答ください。

4　ご記入いただいたアンケートは、**12月10日（金）** までに返信用封筒に入れて、担任の先生にお渡しください。

5　アンケートについてご不明な点・ご質問等がありましたら、下記までおたずねください。

担　当　　安城市教育委員会生涯学習部スポーツ課（東祥アリーナ安城　内）
電　話　　０５６６－７５－３５３５（直通）
ＦＡＸ　　０５６６－７７－９２９３

このアンケートにおいて、「スポーツ・運動」とは、競技としての運動のほか、健康づくりのために行うウォーキング（散歩）、サイクリングやレクリエーションなど身体を使う運動全般を指します。

1　あなた自身についてお聞きします

問１　あなたは中学生ですか、高校生ですか。（○は１つ）

１．中学生	２．高校生

問２　あなたの性別を教えてください。（○は１つ）

１．男性	２．女性	３．その他

問３　あなたが住んでいる中学校区を教えてください。（○は１つ）

１．安城南中学校区	２．安城北中学校区	３．明祥中学校区
４．安城西中学校区	５．桜井中学校区	６．東山中学校区
７．安祥中学校区	８．篠目中学校区	９．その他（　　）

問４　あなたは、自分の健康に自信を持っていますか。（○は１つ）

１．自信がある	２．やや自信がある	３．どちらでもない
４．やや自信がない	５．自信がない	

2　スポーツ・運動は好きですか

問５　あなたは、スポーツ･運動で体を動かすことは好きですか。（○は１つ）

１．好き	２．やや好き	３．どちらでもない
４．やや嫌い	５．嫌い	

問６　あなたは、テレビや競技場でスポーツを観ることは好きですか。（○は１つ）

１．好き	２．やや好き	３．どちらでもない
４．やや嫌い	５．嫌い	

3　学校の部活動についてお聞きします

問７　あなたは、学校の部活動に参加していますか。部活動に参加している人は、所属している部活動の名前も記入してください。（○は１つ）

１．運動部活動に参加（⇒　**問８へ**）・・・所属している部活動（　　部）
２．文化部活動に参加（⇒　**問９へ**）・・・所属している部活動（　　部）
３．部活動に不参加　（⇒　**問 10 へ**）

問８　問７で、「１」を選んだ人にお聞きします。
運動部活動に参加している理由は何ですか。（○は３つまで）

１．やりたい種目があるから
２．スポーツ・運動が好きだから
３．技能を向上させたいから
４．体力をつけたいから
５．仲間をつくりたいから
６．家族に勧められているから
７．特に理由はない
８．その他（　　）

問９　問７で、「２」を選んだ人にお聞きします。
文化部活動に参加している理由は何ですか。（○は３つまで）

１．現在入っている文化部の活動が好きだから
２．技能を向上させたいから
３．仲間をつくりたいから
４．家族に勧められているから
５．スポーツ・運動が苦手だから
６．健康・体力面で不安があるから
７．運動部の雰囲気が好きではないから
８．特に理由はない
９．その他（　　）

問 10　問７で、「３」を選んだ人にお聞きします。
部活動に参加されない理由は何ですか。（○は３つまで）

１．自分の興味・関心のあることに力を入れたいから
２．学習に力を入れたいから
３．やりたいと思う部活動がないから
４．家族の理解が得られないから
５．特に理由はない
６．その他（　　）

４　あなたのスポーツの実施状況についてお聞きします

問 11　あなたは、学校の体育の授業以外に、何日くらいスポーツ・運動を行っていますか。（学校の部活動も日数に含めて回答してください。）（○は１つ）

１．週に５日以上	２．週に３～４日	３．週に１～２日
４．月に１～２日程度	５．スポーツ・運動はしない（⇒　問 15 へ）	

問 12　問 11 で、「１～４」を選んだ人にお聞きします。
あなたは普段どんなところでスポーツ・運動をしていますか。（○はいくつでも）

１．自宅	２．自宅の近所の道路や空き地など
３．公園や広場	４．学校の施設
５．市内の公共施設	６．市内の民間施設
７．市外の公共施設	８．市外の民間施設
９．その他（　　）	

問 13　問 11 で、「１～４」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、体育の授業以外で、現在行っているスポーツ・運動は何ですか。以下の空欄に３つまで記入してください。

（　　）　（　　）　（　　）

問 14　問 11 で、「１～４」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、今、スポーツ・運動を行っているのはどのような理由からですか。
（○は３つまで）

１．健康を保持・増進するため	２．ダイエットのため
３．友だちづくり・交友のため	４．スポーツ・運動が好きだから・楽しいから
５．ストレス解消のため	６．体力・筋力を向上させるため
７．病気・怪我のリハビリのため	８．競技で記録に挑戦するため
９．競技での勝ち負けを競うため	
10．その他（　　）	

５　将来のスポーツ活動についてお聞きします

問 15　あなたがこれからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツ・運動を３つまで答えてください。

（　　）　（　　）　（　　）

問 16　今後、安城市内で新設または増設してほしいスポーツ施設は何ですか。
以下の中から選んでください。（○は３つまで）

１．体育館	２．陸上グラウンド	３．サッカー場
４．野球・ソフトボール場	５．温水プール	６．テニスコート
７．武道場	８．ダンススタジオ	９．スケートボードができる広場
10．サイクリングロード	11．多目的グラウンド	12．３×３（※）コート
13．その他（　　）		

※3×3（スリーエックススリー）
世界中のストリートでプレイされている３人制バスケットボール３on３（スリーオンスリー）に国際バスケットボール連盟（FIBA）が 2007 年に正式な統一ルールを設け、バスケットボールの新種目として確立した競技です。東京 2020 オリンピックでは正式種目として採用されました。

問 17　あなたが、将来、スポーツ・運動を行おうとする時に問題になると考えられることは何ですか。（○は**３つまで**）

１．スポーツ・運動をする施設・場所がない	２．自分のレベルに合った指導が受けられない
３．一緒に活動する仲間がいない	４．用具の購入や施設使用料等が高い
５．スポーツ・運動の情報・知識が足りない	６．スポーツ･運動をする時間的な余裕がない
７．健康・体力面に不安がある	８．スポーツ･運動をする意欲が出ない
９．自分が持っている技術に自信がない	10．勉強との両立ができない
11．親・保護者の理解が得られない	
12．その他（　　）	

６　スポーツ・運動への参加希望についてお聞きします

問 18　現在、あなたが希望するスポーツ・運動は十分に楽しめていますか。（○は１つ）

１．十分楽しんでいる	２．やや楽しんでいる
３．あまり楽しめていない	４．全く楽しめていない

問 19　もし、学校以外で気軽にスポーツ・運動ができれば、参加したいと思いますか。（○は１つ）

１．積極的に参加したい	２．どちらともいえない
３．あまり参加したくない	

７　スポーツ観戦についてお聞きします

問 20　あなたは、この１年間に直接スポーツ（プロ、アマ問わず）を観戦しましたか。
※学校の体育の授業、部活動、テレビ観戦は含みません。（○は１つ）

１．観戦した	２．観戦していない（⇒　**問 22 へ**）

問 21　問 20 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、観戦したスポーツは何ですか。以下の空欄に**３つまで**記入してください。

（　　）	（　　）	（　　）

問 22　あなたは、どのようなきっかけでスポーツ観戦を始めましたか。問 20 で、「２」を選んだ人は、どのようなきっかけがあれば、スポーツ観戦をしたいと思いますか。（○は**３つまで**）

１．自分がしている（いた）	２．家族や友人が出場している
３．家族や友人からの誘い	４．チームや選手のファン
５．施設が近い	６．チケットの入手
７．テレビや新聞、ＳＮＳなどで興味をもった	８．地元チームが出場している
９．その他（　　）	

８　スポーツボランティアについてお聞きします

問 23　あなたは、この一年間にスポーツボランティアをしたことがありますか。（○は１つ）

１．自主的に行った	２．頼まれて行った	３．行わなかった（⇒　**問 25 へ**）

問 24　問 23 で、「１」または「２」を選んだ人にお聞きします。
あなたがしたことがあるスポーツボランティアは何ですか。（○はいくつでも）

１．イベント・大会の運営や手伝い
２．スポーツの指導や指導の手伝い
３．スポーツの審判や審判の手伝い
４．その他（　　）

問 25　すべての方にお聞きします。
あなたは、今後（も）スポーツボランティアをしたいと思いますか。（○は１つ）

１．したい	２．したくない（⇒　**問 27 へ**）

問 26　問 25 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、スポーツボランティアをするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は**３つまで**）

１．自分の自由に使える時間があること　　２．近くの場所で参加できること
３．家族などの協力・応援があること　　４．自分の能力が活かせること
５．イベント・大会に魅力があること　　６．記念品がもらえること
７．選手や他のボランティアとの交流ができること
８．ボランティアに関する情報が入手できること
９．その他（　　）

９　総合型地域スポーツクラブについてお聞きします

問 27　あなたは、「総合型地域スポーツクラブ（※）」の名前を聞いたことがありますか。（○は１つ）

１．名前は聞いたことがある	２．聞いたことがない（⇒　**問 29 へ**）

※総合型地域スポーツクラブ
　スポーツの得意・不得意、性別や年齢などにかかわりなく、地域の誰でも継続的にスポーツに親しむことができるよう、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブのこと。安城市では、平成２０年に市内最初の総合型地域スポーツクラブとして、東山中学校区に「ＡＮＪＯほく部みんスポクラブ」が創設されるなど、各地域で活動しています。

問 28　問 27 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」がどのようなものか知っていますか。（○は１つ）

１．よく知っている	２．少し知っている	３．内容は知らない

10　オリンピック・パラリンピックについてお聞きします

問 29　東京オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツに対する関心が高まりましたか。（○は１つ）

１．高まった	２．高まらなかった（変化はなかった）

問 30　問 29 で、「１」を選んだ人にお聞きします。
本市では、スポーツ振興計画に基づき「する」「みる」「おしえる」「ささえる」スポーツの振興にそれぞれ取り組んでいます。東京オリンピック・パラリンピックが開催されてから、あなた自身の変化に最もあてはまるものは何ですか。（○は１つ）

１．「する」スポーツへの関心が高まった（例：スポーツイベントに参加する）
２．「みる」スポーツへの関心が高まった（例：現地でスポーツを観戦する）
３．「おしえる」スポーツへの関心が高まった（例：スポーツを指導する）
４．「ささえる」スポーツへの関心が高まった（例：ボランティア活動をする）

問 31　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されることについて、あなたは知っていますか。また、観戦したいと思いますか。（○は１つ）

１．知っているし、観戦したい	２．知っているが、観戦したくない
３．知らないが、観戦したい	４．知らないし、観戦したくない

問 32　2026 年にアジア競技大会が愛知県（名古屋市）で開催されるにあたり、本市で取り組んでほしいことは何ですか。（○は**３つまで**）

１．地元（安城市）出身の選手との交流
２．地元（安城市）出身の選手の紹介（広報活動）
３．参加選手の事前合宿の誘致
４．競技開催の誘致
５．地元（安城市）出身の選手の育成
６．アジア競技大会に関する情報提供（広報等）
７．ボランティア募集についての情報提供
８．会場等での応援機会の確保（パブリックビューイング（※）、バスツアー等含む）
９．安城市のＰＲ
10．その他（　　）
11．特にない

※パブリックビューイング
スポーツ競技等のイベントにおいて、スタジアムや街頭等にある大型の映像装置を利用して観戦を行うイベントのことです。

11　その他

問 33　スポーツ・運動の情報・知識では、どんな内容について知りたいと思いますか。
（○は**３つまで**）

１．健康づくり	２．体力づくり
３．スポーツ・運動の技能・技術の向上	４．スポーツ・運動の知識・考え方
５．少年スポーツ	６．女性スポーツ
７．中高年のスポーツ	８．障害者スポーツ
９．その他（　　）	

問 34　最後に、あなたのスポーツ・運動に関するご意見等を自由に書いてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
返信用封筒に入れて、
１２月１０日（金）までに担任の先生にお渡しください。

安城市スポーツ振興計画
スポーツに関する基礎調査報告書

発行　令和４年１月
編集　安城市教育委員会生涯学習部スポーツ課

〒446-0061
安城市新田町新定山 41-8（総合運動公園内）
Tel　0566-75-3535／　Fax　0566-77-9293
URL　https://www.city.anjo.aichi.jp/index.html